# (19) 世界知的所有権機関 国際事務局



# 

(43) 国際公開日 2003 年10 月23 日 (23.10.2003)

**PCT** 

# (10) 国際公開番号 WO 03/087089 A1

(51) 国際特許分類<sup>7</sup>: C07D 401/12, 401/14, 405/14, 409/14, 413/14, 417/14, 487/04, 495/04, A61K 31/454, 31/4709, 31/5377, 31/5415, 31/4545, 31/517, A61P 1/00, 11/00, 11/02, 17/00, 27/02, 29/00, 31/18, 37/08, 43/00, 11/06

(21) 国際出願番号:

PCT/JP03/04841

(22) 国際出願日:

2003 年4 月16 日 (16.04.2003)

(25) 国際出願の言語:

日本語

(26) 国際公開の言語:

日本語

(30) 優先権データ:

特願2002-113220 2002 年4 月16 日 (16.04.2002) JP 特願2002-240509 2002 年8 月21 日 (21.08.2002) JP

(71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 帝人株 式会社 (TEIJIN LIMITED) [JP/JP]; 〒541-0054 大阪府 大阪市中央区南本町1丁目6番7号 Osaka (JP).

(72) 発明者; および

(75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 松本由之 (MAT-SUMOTO, Yoshiyuki) [JP/JP]; 〒191-0065 東京都日野市旭が丘4丁目3番2号帝人株式会社東京研究センター内 Tokyo (JP). 今井 穣 (IMAI, Minoru) [JP/JP]; 〒191-0065 東京都日野市旭が丘4丁目3番2号帝人株式会社東京研究センター内 Tokyo (JP). 澤井善行 (SAWAI, Yoshiyuki) [JP/JP]; 〒191-0065 東京都日野市旭が丘4丁目3番2号帝人株式会社東京研究センター内 Tokyo (JP). 竹内進 (TAKEUCHI, Susumu) [JP/JP]; 〒191-0065 東京都日野市旭が丘4丁目3番2号帝人株式会社東京研究センター内 Tokyo (JP). 中西頭伸 (NAKANISHI, Akinobu) [JP/JP]; 〒191-0065

東京都 日野市 旭が丘 4 丁目 3 番 2 号 帝人株式会社 東京研究センター内 Tokyo (JP). 南園 邦夫 (MINAMI-ZONO,Kunio) [JP/JP]; 〒191-0065 東京都 日野市 旭が 丘 4 丁目 3 番 2 号 帝人株式会社 東京研究センター内 Tokyo (JP). 横山 朋典 (YOKOYAMA,Tomonori) [JP/JP]; 〒191-0065 東京都 日野市 旭が丘 4 丁目 3 番 2 号 帝 人株式会社 東京研究センター内 Tokyo (JP).

(74) 代理人: 三原 秀子 (MIHARA, Hideko); 〒100-0011 東京都 千代田区 内幸町 2 丁目 1番 1号 株式会社帝人知的財産センター内 Tokyo (JP).

(81) 指定国 (国内): AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DZ, EC, EE, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KP, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MZ, NI, NO, NZ, OM, PH, PL, PT, RO, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, YU, ZA, ZM, ZW.

(84) 指定国 (広域): ARIPO 特許 (GH, GM, KE, LS, MW, MZ, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア特許 (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ特許 (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU, IE, IT, LU, MC, NL, PT, RO, SE, SI, SK, TR), OAPI 特許 (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

#### 添付公開書類:

## — 国際調査報告書

2文字コード及び他の略語については、定期発行される 各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語 のガイダンスノート」を参照。

(54) Title: PIPERIDINE DERIVATIVES HAVING CCR3 ANTAGONISM

(54) 発明の名称: CCR3拮抗作用を有するピペリジン誘導体

$$\begin{array}{c|c}
 & R^3 N \cdot X - (CH_2)_q & Y \\
 & N - (CH_2)_r & R^7
\end{array}$$
(I)

(57) Abstract: It is intended to provide low-molecular weight compounds having an activity of inhibiting the binding of a CCR3 ligand to CCR3 on a target cell, i.e., CCR3 antagonists. Namely, compounds represented by the following general formula (I), pharmaceutically acceptable acid addition salts thereof or pharmaceutically acceptable C<sub>1-6</sub> alkyl

adducts thereof and medicinal compositions having effects of treating and/or preventing diseases in which CCR3 participates such as asthma and allergic nephritis which contain the same as the active ingredient.

## (57) 要約:

本発明の目的は、CCR3のリガンドが標的細胞上のCCR3に結合することを阻害する活性を有する低分子化合物、すなわちCCR3拮抗剤を提供することである。本発明は、下記式(I)で表わされる化合物、その薬学的に許容される酸付加体、又はその薬学的に許容される $C_1\sim C_6$ アルキル付加体、或いはそれを有効成分として含有する、喘息、アレルギー性鼻炎等のCCR3が関与する疾患を治療及び/又は予防する作用を有する医薬組成物である。

$$R^{1} \xrightarrow{(CH_{2})_{p}} N \xrightarrow{R^{2}} N^{-(CH_{2})_{q}} \xrightarrow{Y} R^{6}$$

1

#### 明細書

CCR3拮抗作用を有するピペリジン誘導体

## 技術分野

本発明は、CCR3(C一C Chemokine Receptor 3)拮抗作用を有するピペリジン誘導体に関する。さらに詳しくは、本発明は、気管支喘息、アレルギー性鼻炎、アトピー性皮膚炎、蕁麻疹、接触皮膚炎、又はアレルギー性結膜炎等のアレルギー性疾患、潰瘍性大腸炎又はクローン病等の炎症性腸疾患、好酸球増加症、好酸球性胃腸炎、好酸球増加性腸症、好酸球性筋膜炎、好酸球性肉芽腫、好酸球性膿疱性毛包炎、好酸球性肺炎、又は好酸球性白血病等の好酸球、好塩基球、又は活性化T細胞等の増加又は組織への浸潤が病気の進行、維持に主要な役割を演じている疾患、或いはHIV(ヒト免疫不全ウイルス)の感染に起因するエイズ(AIDS:後天性免疫不全症候群)に対する治療薬及び/又は予防薬として効果が期待できるCCR3拮抗剤に関する。

## 背景技術

近年、気管支喘息等のアレルギー性疾患の本質的な病態は慢性炎症であるという概念が確立され、なかでも好酸球の炎症局所への集積がその大きな特徴の一つとしてとらえられている(例えば、Busse, W. W. J. AllergyClin. Immunol. 1998, 102, S17-S22;藤澤隆夫 現代医療 1999, 31, 1297等参照)。例えば、サルの喘息モデルにおいて抗接着分子(ICAM-1)抗体を投与することにより、好酸球の集積が抑えられ、遅発型の喘息症状発現が抑制されることからも、アレルギー性疾患における好酸球

WO 03/087089 PCT/JP03/04841

の重要性が強く示唆されている (Wegner, C. D. et al. Science, 1990, 247, 456)。

この好酸球の集積及び/又は遊走を引き起こす特異的走化因子(好酸 球特異的ケモカイン)としてエオタキシンが同定された(例えば、Jo se, P. J., et al. J. Exp. Med. 1994, 17 9,881;Garcia-Zepda, E. A. etal. Nat ure Med. 1996, 2, 449; Ponath, P. D. et al. J. Clin. Invest. 1996, 97, 604; Ki taura, M. et al. J. Biol. Chem. 1996, 271,7725等参照)。また、エオタキシンは好酸球上に発現して いるCCR3に結合し、好酸球の集積及び/又は遊走の作用を発現する ことが解明された。さらに、エオタキシン-2、RANTES (reg ulated upon activation normal cell expressed and secretedの略称。) 、MCP-2 (monocyte chemoattractant protein-2の略称。)、MCP-3 (monocyte ch emoattractant protein-3の略称。)、MCP -4 (monocyte chemoattractant prot ein-4の略称。) 等の走化性因子もエオタキシンよりも作用強度は 弱いものの、ССR3を介してエオタキシンと同様の作用を示し得るこ とが知られている (例えば、Kitaura, M. et al. J. Biol. Chem. 1996, 271, 7725; Daughert y, B. L. et al. J. Exp. Med. 1996, 183, 2349; Ponath, P. D. et al. J. Exp. Med . 1996, 183, 2437; Hiath, H. et al. J. Clin. Invest. 1997, 99, 178; Patel, V.

P. et al. J. Exp. Med. 1997, 185, 1163; Forssmann, U. et al. J. Exp. Med. 185, 2171, 1997等参照)。

エオタキシンの好酸球への作用は、好酸球の遊走惹起のみだけでなく、接着分子受容体(CD11b)の発現増強(例えば、Tenscher, K. et al. Blood, 1996, 88, 3195等参照)、活性酸素の産生促進(例えば、Elsner, J. et al. Eur. J. Immunol. 1996, 26, 1919等参照)、EDN(eosinophil-derived neurotoxineの略称)の放出促進(El-Shazly, et al. Int. Arch. Allergy Immunol. 1998, 117(suppl. 1), 55参照)等、好酸球の活性化に関する作用も報告されている。また、エオタキシンは骨髄からの好酸球及びその前駆細胞の血中への遊離を促進させる作用を有することも報告されている(例えば、Palframan, R. T. et al. Blood 1998, 91, 2240等参照)。

エオタキシン及びCCR3が、気管支喘息等のアレルギー性疾患において重要な役割を演じていることが、多くの報告により示唆されている。例えば、マウス喘息モデルにおいて抗エオタキシン抗体により好酸球浸潤が抑制されること(Gonzalo, J.-A.et al. J.Clin.Invest.1996,98,2332参照)、マウス皮膚アレルギーモデルにおいて抗エオタキシン抗血清により好酸球浸潤が抑制されること(Teixeira, M.M.et al. J.Clin.Invest.1997,100,1657)、マウスモデルにおいて抗エオタキシン抗体が肺肉芽腫の形成を抑制すること(Ruth,J.H.et al. J.Immunol.1998,161,

4276参照)、エオタキシン遺伝子欠損マウスを用いた喘息モデル及び間質性角膜炎モデルにおいて好酸球の浸潤が抑制されること(Rothenberg, M. E. et al. J. Exp. Med. 1997, 185, 785参照)、喘息患者の気管支では健常者に比べエオタキシン及びCCR3の発現が、遺伝子レベル、蛋白レベルともに亢進していること(Ying, S. et al. Eur. J. Immunol. 1997, 27, 3507参照)、慢性副鼻腔炎患者の鼻上皮下組織ではエオタキシンの発現が亢進していること(Am. J. Respiれてはエオタキシンの発現が亢進していること(Am. J. Respir. Cell Mol. Biol. 1997, 17, 683参照)等が報告されている。

また、炎症性大腸疾患である潰瘍性大腸炎及びクローン病の炎症部位において、エオタキシンが多く発現していることが報告されていることから(Garcia-Zepda, E.A.etal. Nature Med.1996, 2, 449 参照)、これらの炎症性腸疾患においてもエオタキシンが重要な役割を担っていることが考えられる。

これらのデータから、エオタキシンは、CCR3を介して好酸球を病変部位に集積、活性化することにより、好酸球が病変の進展に深く関わっていると想定され得る疾患、例えば、気管支喘息、アレルギー性鼻炎、アトピー性皮膚炎、蕁麻疹、接触皮膚炎、又はアレルギー性結膜炎等のアレルギー性疾患、潰瘍性大腸炎又はクローン病等の炎症性腸疾患、或いは好酸球増加症、好酸球性胃腸炎、好酸球増加性腸症、好酸球性筋膜炎、好酸球性肉芽腫、好酸球性膿疱性毛包炎、好酸球性肺炎、又は好酸球性白血病等の発症、進展、又は維持に深く関与していることが強く示唆されている。さらに、CCR3は好酸球のみならず好塩基球、Th2リンパ球上にも発現しており、エオタキシンによりこれらの細胞の細胞内カルシウムイオン濃度上昇及び細胞遊走が惹起されることが報告さ

れていることから、エオタキシン及びCCR3は好塩基球及びTh2リンパ球の細胞を集積させ、活性化する事によってもアレルギー性疾患等、これらの細胞が関与する疾患の発症、進展、又は維持に関わっていると考えられる(例えば、Sallusto, F. et al. Science 1997, 277, 2005; Gerber, B.O. et al. Current Biol. 1997, 7, 836; Sallusto, F. et al. J. Exp. Med. 1998, 187, 875; Uguccioni, M. et al. J. Clin. In vest. 1997, 100, 1137; Yamada, H. et al. Biochem Biophys. Res. Commun. 1997, 231, 365等参照)。

従って、エオタキシン等のCCR3のリガンドがCCR3に結合することを阻害する化合物、すなわち、CCR3拮抗剤は、CCR3のリガンドの標的細胞への作用を阻害するので、アレルギー性疾患又は炎症性 腸疾患等の疾患の治療薬及び/又は予防薬として有用であることが期待 できる。が、そのような作用を有する薬剤は知られてない。

また、HIV-1 (ヒト免疫不全ウイルス-1) が宿主細胞に感染する際にCCR3を利用する可能性のあることが報告されていることから、CCR3拮抗剤はHIVウイルス感染に起因するエイズ (AIDS:後天性免疫不全症候群) の治療薬若しくは予防薬としても有用であることが期待できる (例えば、Choe, H. et al. Cell 1996, 85, 1135; Doranz, B. J. et al. Cell 11 1996, 85, 1149参照)。

最近、ピペリジン誘導体(WO9802151号明細書、WO980 4554号明細書、WO0029377号明細書、WO0031033 号明細書、WO0035449号明細書、WO0035451号明細書、 WO0035452号明細書、WO0035453号明細書、WO00 35454号明細書、WO0035876号明細書、WO003587 7号明細書、WO0051607号明細書、WO0051608号明細 書、WOO051609号明細書、WOO051610号明細書、WO 0053600号明細書、WO0058305号明細書、WO0059 497号明細書、WOO059498号明細書、WOO059502号 明細書、WO0059503号明細書、WO0076511号明細書、 WO0076512号明細書、WO0076513号明細書、WO00 76514号明細書、WOOO76972号明細書、WOOO7697 3号明細書、WO0105782号明細書、WO0114333号明細 書、WO0164216号明細書、WO0177101号明細書、WO 0192227号明細書、WO0198268号明細書、WO0198 269号明細書、WO0198270号明細書、WO0202525号 明細書、WOO204420号明細書参照)、ピペラジン誘導体(EP 0903349号明細書、WO0034278号明細書、WO0102 381号明細書参照)、及びその他の低分子化合物(WO995532 4号明細書、WO9955330号明細書、WO0004003号明細 書、WOO027800号明細書、WOO027835号明細書、WO 0027843号明細書、WO0031032号明細書、WO0041 685号明細書、WO0053172号明細書、WO0109088号 明細書、W〇0128987号明細書、W〇0129000号明細書参 照)が、CCR3に対する拮抗活性を有することが報告されている。し かしながら、これらの化合物は、本発明の化合物とは異なる。

WO0107436号明細書及びWO9937304号明細書には、ファクターXa阻害活性を有するオキソピペラジン誘導体が記載されているが、本発明のピペリジン誘導体に関する具体的記載はなく、またこ

れらのオキソビペラジン誘導体が CCR3 拮抗阻害活性を有することは知られていない。WOO132615号明細書及びWOO268409号明細書には、NMDA/NR2B拮抗活性を有するN一置換ピペリジン誘導体が記載されているが、本発明のピペリジン誘導体に関する具体的記載はなく、これらのN一置換ピペリジン誘導体が CCR3 拮抗阻害活性を有することは知られていない。

本発明の目的は、CCR3のリガンドが標的細胞上のCCR3に結合することを阻害する活性を有する低分子化合物、すなわちCCR3拮抗剤を提供することである。

本発明の更なる目的は、CCR3のリガンドが標的細胞上のCCR3に結合することが病因の一つである疾患の治療剤及び/又は予防剤を提供することである。

# 発明の開示

本発明は、

## (1)式(I)

$$\begin{array}{c|c}
R^{3}N \cdot X^{-(CH_{2})}q & Y \\
N - (CH_{2})_{r} & R^{7}
\end{array}$$

$$\begin{array}{c|c}
R^{1} & (CH_{2})_{p} & R^{7}
\end{array}$$

$$\begin{array}{c|c}
(I)
\end{array}$$

[式中、 $R^1$ はフェニル基、 $C_3 \sim C_8$ シクロアルキル基、又は芳香族複素環基(ヘテロ原子として酸素原子、硫黄原子、及び窒素原子からなる群から選ばれる原子を $1\sim3$ 個有する。)を表わし、

R<sup>1</sup>におけるフェニル基又は芳香族複素環基は、ベンゼン環又は芳香族 複素環基 (ヘテロ原子として酸素原子、硫黄原子、及び窒素原子からな る群から選ばれる原子を1~3個有する。)と縮合して縮合環を形成し てもよく、

 $R^{1}$ におけるフェニル基、 $C_{3} \sim C_{8}$ シクロアルキル基、芳香族複素環基、 又は縮合環は、無置換或いはハロゲン原子、ヒドロキシ基、シアノ基、 ニトロ基、カルボキシル基、 $C_1 \sim C_6$ アルキル基、 $C_3 \sim C_8$ シクロア ルキル基、 $C_2 \sim C_6$  アルケニル基、 $C_1 \sim C_6$  アルコキシ基、 $C_1 \sim C_6$ アルキルチオ基、 $C_3 \sim C_5$ アルキレン基、 $C_2 \sim C_4$ アルキレンオキシ 基、С1~С3アルキレンジオキシ基、フェニル基、フェノキシ基、フ ェニルチオ基、ベンジル基、ベンジルオキシ基、ベンゾイルアミノ基、 ホルミル基、 $C_2 \sim C_7$ アルカノイル基、 $C_2 \sim C_7$ アルコキシカルボニ ル基、 $C_2 \sim C_7$  アルカノイルオキシ基、 $C_2 \sim C_7$  アルカノイルアミノ 基、 $C_1 \sim C_6$ アルキルスルホニル基、 $C_3 \sim C_8$ (アルコキシカルボニ  $\nu$ ) メチル基、アミノ基、モノ ( $C_1 \sim C_6$  アルキル) アミノ基、ジ  $(C_1 \sim C_6$  アルキル) アミノ基、カルバモイル基、 $C_2 \sim C_7$  N - アル キルカルバモイル基、C4~C3N-シクロアルキルカルバモイル基、 N-フェニルカルバモイル基、ピペリジルカルボニル基、モルホリニル カルボニル基、ピロリジニルカルボニル基、ピペラジニルカルボニル基、 N-メトキシカルバモイル基、 (ホルミル) アミノ基、及びウレイド基 からなる群から選ばれる1個以上の置換基で置換されてもよく、 R¹のフェニル基、C₃~C₃シクロアルキル基、芳香族複素環基、又は 縮合環の置換基は、無置換或いは $C_1 \sim C_6$ アルキル基、 $C_2 \sim C_6$ アル ケニル基、C<sub>2</sub>~C<sub>6</sub>アルキニル基、フェニル基、C<sub>3</sub>~C<sub>5</sub>アルキレン 基、 $C_3 \sim C_8$ シクロアルキル基、 $C_3 \sim C_8$ シクロアルケニル基、 $C_1$  $\sim C_6 P$ ルコキシ基、 $C_1 \sim C_6 P$ ルキルチオ基、アミノ基、モノ( $C_1$ 

 $\sim C_6 P N キル) アミノ基、ジ (C_1 \sim C_6 P N キル) アミノ基、ピロリ$ 

ジニル基、ピペリジル基、 $C_3 \sim C_7$ ラクタム基、カルバモイル基、 $C_2$ 

~ $C_7N-$ アルキルカルバモイル基、 $C_2$ ~ $C_7$ アルコキシカルボニル基、

カルボキシル基、ヒドロキシ基、ベンゾイル基、シアノ基、トリフルオロメチル基、ハロゲン原子、及びtertーブトキシカルボニルアミノ基からなる群から選ばれる1個以上の置換基によって置換されていてもよい。

ただし、 $R^1$ が $C_3 \sim C_8$ シクロアルキル基の場合、その置換基としてアミノ基、モノ( $C_1 \sim C_6$ アルキル)アミノ基、又はジ( $C_1 \sim C_6$ アルキル)アミノ基を含まない。

pは、1~6の整数を表す。

 $R^2$ 及び $R^3$ は、同一又は異なって、それぞれ独立に、水素原子、 $C_1$  ~  $C_6$  アルキル基、又はフェニル基を表わし、

 $R^2$ 及び $R^3$ における $C_1 \sim C_6$ アルキル基又はフェニル基は、無置換或いはハロゲン原子、ヒドロキシ基、 $C_1 \sim C_6$ アルキル基、 $C_2 \sim C_7$ アルコキシカルボニル基、アミノ基、カルバモイル基、カルボキシル基、シアノ基、及び $C_1 \sim C_6$ アルコキシ基からなる群から選ばれる 1 個以上の置換基によって置換されてもよい。

Xは、-CO-、 $-SO_2-$ 、 $-CH_2-$ 、-CS-、又は単結合を表す。

qは、0又は1を表す。

rは、0又は1を表す。

Yは、 $-(R^4)C=C(R^5)-$ 、-S-、又は $-NR^8-$ を表す。

 $R^4$ 、 $R^5$ 、 $R^6$ 及び $R^7$ は、同一又は異なって、それぞれ独立に、水素原子、ハロゲン原子、ヒドロキシ基、シアノ基、ニトロ基、カルボキシル基、 $C_1 \sim C_6$ アルキル基、 $C_3 \sim C_8$ シクロアルキル基、 $C_2 \sim C_6$ アルケニル基、 $C_1 \sim C_6$ アルコキシ基、 $C_1 \sim C_6$ アルキルチオ基、 $C_3 \sim C_5$ アルキレン基、 $C_2 \sim C_4$ アルキレンオキシ基、 $C_1 \sim C_3$ アルキレンジオキシ基、フェニル基、フェノキシ基、フェニルチオ基、フェニ

ルスルフォニル基、ベンジル基、ベンジルオキシ基、ベンゾイルアミノ基、ホルミル基、 $C_2 \sim C_7$  アルカノイル基、 $C_2 \sim C_7$  アルカノイルアミカルボニル基、 $C_2 \sim C_7$  アルカノイルアミノ基、 $C_3 \sim C_7$  アルカノイルアミノ基、 $C_4 \sim C_{10}$  シクロアルカノイルアミノ基、 $C_3 \sim C_7$  アルケノイルアミノ基、 $C_1 \sim C_6$  アルキルスルホニル基、 $C_1 \sim C_6$  アルキルスルホニルアミノ基、 $C_3 \sim C_8$  (アルコキシカルボニル)メチル基、アミノ基、モノ( $C_1 \sim C_6$  アルキル)アミノ基、ジ( $C_1 \sim C_6$  アルキル)アミノ基、カルバモイル基、 $C_2 \sim C_7$  N - アルキルカルバモイル基、 $C_4 \sim C_8$  N - シクロアルキルカルバモイル基、N - 7 エニルカルバモイル基、 $N - (C_7 \sim C_{12}$  フェニルアルキル)カルバモイル基、ビベリジルカルボニル基、モルホリニルカルボニル基、ビロリジニルカルボニル基、ビベラジニルカルボニル基、N - メトキシカルバモイル基、スルファモイル基、 $C_1 \sim C_6$  N - アルキルスルファモイル基、(ホルミル)アミノ基、(チオホルミル)アミノ基、ウレイド基、又はチオウレイド基を表し、

 $R^4$ 、 $R^5$ 、 $R^6$ 及び $R^7$ の前記基は、それぞれ独立に、無置換或いは $C_1 \sim C_6$  アルキル基、 $C_2 \sim C_6$  アルケニル基、 $C_2 \sim C_6$  アルキニル基、 $C_3 \sim C_6$  アルキレン基、 $C_3 \sim C_8$  シクロアルケニル基、 $C_3 \sim C_8$  シクロアルケニル基、 $C_1 \sim C_6$  アルコキシ基、  $(C_1 \sim C_6$  アルコキシ)( $C_1 \sim C_6$  アルコキシ)基、 フェニル( $C_1 \sim C_6$  アルコキシ)基、 $C_1 \sim C_6$  アルコキシ)基、 $C_1 \sim C_6$  アルキルチオ基、アミノ基、モノ( $C_1 \sim C_6$  アルキル)アミノ基、ジ( $C_1 \sim C_6$  アルキル)アミノ基、ビロリジニル基、ビベリジル基、  $(C_2 \sim C_7$  アルカノイル)ビベリジル基、 $(C_3 \sim C_7$  ラクタム基、カルバモイル基、 $(C_2 \sim C_7$  N ー アルキルカルバモイル基、 $(C_4 \sim C_8$  N ー シクロアルキルカルバモイル基、 $(C_1 \sim C_8$  N ー シクロアルキルカルバモイル基、 $(C_2 \sim C_7$  N ー アルキルカルバモイル基、 $(C_3 \sim C_7 \sim C_1 \sim$ 

 $C_7$ アルカノイルアミノ基、 $C_2 \sim C_7$ アルコキシカルボニル基、カルボキシル基、ヒドロキシ基、ベンゾイル基、シアノ基、トリフルオロメチル基、ハロゲン原子、t ert ープトキシカルボニルアミノ基、 $C_1 \sim C_6$ アルキルスルホニル基、及び複素環若しくは芳香族複素環(複素環若しくは芳香族複素環は、ヘテロ原子として酸素原子、硫黄原子、及び窒素原子からなる群から選ばれる原子を $1\sim3$ 個有し、 $C_1 \sim C_6$ アルキル基で置換されてもよい。)からなる群から選ばれる1個以上の置換基によって置換されていてもよい。

 $R^8$ は、水素原子又は $C_1 \sim C_6$ アルキル基を表わし、

 $R^8$ における $C_1 \sim C_6$ アルキル基は、無置換或いはハロゲン原子、ヒドロキシ基、シアノ基、ニトロ基、カルボキシル基、カルバモイル基、メルカプト基、グアニジノ基、 $C_3 \sim C_8$ シクロアルキル基、 $C_1 \sim C_6$ アルコキシ基、 $C_1 \sim C_6$ アルキルチオ基、フェニル基(フェニル基は、無置換或いはハロゲン原子、ヒドロキシ基、 $C_1 \sim C_6$ アルキル基、及びベンジルオキシ基からなる群から選ばれる 1個以上の置換基によって置換されていてもよい。)、フェノキシ基、ベンジルオキシ基、ベンジルオキシカルボニル基、 $C_2 \sim C_7$ アルカノイル基、 $C_2 \sim C_7$ アルカノイルアミノ基、 $C_2 \sim C_7$ アルカノイルオキシ基、 $C_2 \sim C_7$ アルカノイルアミノ基、 $C_2 \sim C_7$ アルカルバモイル基、 $C_2 \sim C_7$ アルカノイルアミノ基、 $C_2 \sim C_7$ アルカルバモイル基、 $C_2 \sim C_7$ アルキルスルホニル基、アミノ基、モノ( $C_1 \sim C_6$ アルキル)アミノ基、ジ( $C_1 \sim C_6$ アルキル)アミノ基、及びウレイド基からなる群から選ばれる 1個以上の置換基によって置換されていてもよい。〕

で表される化合物、その薬学的に許容される酸付加体、又はその薬学的 に許容される $C_1 \sim C_6$ アルキル付加体、

(2)前記式(I)において、Xが $-SO_2$ -である(1)に記載の化

- 合物、その薬学的に許容される酸付加体、又はその薬学的に許容される $C_1 \sim C_6$ アルキル付加体、
- (4) 前記式(I) において、Xが $-CH_2$ -である(1) に記載の化合物、その薬学的に許容される酸付加体、又はその薬学的に許容される $C_1 \sim C_6$ アルキル付加体、
- (5) 前記式(I) において、Xが-CS-である(1) に記載の化合物、その薬学的に許容される酸付加体、又はその薬学的に許容されるC1~C8アルキル付加体、
- (6)前記式(I)において、Xが単結合である(1)に記載の化合物、その薬学的に許容される酸付加体、Yはその薬学的に許容される $C_1$ ~ $C_6$ アルキル付加体、
- (7)前記式(I)において、Yが-(R<sup>4</sup>)C=C(R<sup>5</sup>)-である
- (1)  $\sim$  (6) のいずれかに記載の化合物、その薬学的に許容される酸付加体、又はその薬学的に許容される $C_1 \sim C_6$ アルキル付加体、
- (8)前記式(I)において、Yが-S-である(1) $\sim$ (6)のいずれかに記載の化合物、その薬学的に許容される酸付加体、又はその薬学的に許容される $C_1\sim C_6$ アルキル付加体、
- (9) 前記式(I) において、 $Yが-NR^8-$ である(1)  $\sim$  (6) のいずれかに記載の化合物、その薬学的に許容される酸付加体、又はその薬学的に許容される $C_1 \sim C_8$  アルキル付加体、
- (10) 前記式 (I) において、 $R^1$  が置換もしくは無置換のフェニル基である (1) ~ (9) のいずれかに記載の化合物、その薬学的に許容される酸付加体、又はその薬学的に許容される  $C_1$  ~  $C_6$  アルキル付加

体、

- (11)前記式(I)において、 $R^2$ が水素原子である(1)~(1
- 0) のいずれかに記載の化合物、その薬学的に許容される酸付加体、又はその薬学的に許容される $C_1 \sim C_6$ アルキル付加体、
- (12) 前記式 (I) において、R<sup>3</sup>が水素原子である (1) ~ (1
- 1) のいずれかに記載の化合物、その薬学的に許容される酸付加体、又はその薬学的に許容される $C_1 \sim C_6$ アルキル付加体、
- $(1\ 3)$  前記式 (I) において、q=0であり、かつr=0である
- $(1) \sim (12)$  のいずれかに記載の化合物、その薬学的に許容される酸付加体、又はその薬学的に許容される $C_1 \sim C_6$ アルキル付加体、
- (14) 前記式 (I) において、q=1であり、かつr=0である
- $(1) \sim (12)$  のいずれかに記載の化合物、その薬学的に許容される 酸付加体、又はその薬学的に許容される  $C_1 \sim C_6$  アルキル付加体、
- (15) 前記式 (I) において、q=0であり、かつr=1である
- (1) ~ (12) のいずれかに記載の化合物、その薬学的に許容される  $\mathbb{C}_1$  ~  $\mathbb{C}_6$  アルキル付加体、
- (16) 前記式 (I) において、p=1である  $(1)\sim(15)$  のいずれかに記載の化合物、その薬学的に許容される酸付加体、又はその薬学的に許容される  $C_1\sim C_6$  アルキル付加体、
- (17)前記式(I)において、Yが一( $R^4$ ) C=C( $R^5$ )一であり、 $R^1$ が置換もしくは無置換のフェニル基であり、 $R^2$ が水素原子であり、Q=0であり、Q=0であり、Q=0であり、Q=0であり、Q=0であり、Q=0であり、Q=0であり、Q=0であり、Q=0であり、Q=0であり、Q=0
- (18) 前記式 (I) において、Yが $-(R^4)$   $C=C(R^5)$  ーであり、 $R^1$ が置換もしくは無置換のフェニル基であり、 $R^2$ が水素原子で

あり、 $R^3$ が水素原子であり、q=0であり、r=0であり、p=1である (3) に記載の化合物、その薬学的に許容される酸付加体、又はその薬学的に許容される $C_1\sim C_6$ アルキル付加体。

(21) 前記式 (I) において、 $R^4$ 及び $R^5$ が、同一または異なって、それぞれ独立に、水素原子、ハロゲン原子、ヒドロキシ基、シアノ基、ニトロ基、カルボキシル基、 $C_1 \sim C_6$ アルキル基、 $C_1 \sim C_6$ アルコキシ基、 $C_2 \sim C_7$ アルコキシカルボニル基、 $C_2 \sim C_7$ アルカノイルアミノ基、 $C_1 \sim C_6$ アルキルスルホニル基、アミノ基、カルバモイル基、 $C_2 \sim C_7$ Nーアルキルカルバモイル基、スルファモイル基、又は $C_1 \sim C_6$ Nーアルキルスルファモイル基である(17)~(20)のいずれかに記載の化合物、その薬学的に許容される酸付加体、又はその薬学的に許容される $C_1 \sim C_6$ アルキル付加体、

(22)前記式(I)において、 $R^4$ 及び $R^5$ が、同一または異なって、それぞれ独立に、ハロゲン原子、ヒドロキシ基、シアノ基、ニトロ基、 $C_1 \sim C_6$ アルキル基、 $C_1 \sim C_6$ アルコキシ基、 $C_2 \sim C_7$ アルコキシカルボニル基、 $C_1 \sim C_6$ アルキルスルホニル基、又は $C_1 \sim C_6$  N - アル

キルスルファモイル基、である(17)~(20)のいずれかに記載の化合物、その薬学的に許容される酸付加体、又はその薬学的に許容される $C_1$ ~ $C_6$ アルキル付加体、

- (23)前記式(I)において、 $R^1$ が、同一または異なって、それぞれ独立に水素原子、ハロゲン原子、ヒドロキシ基、シアノ基、ニトロ基、 $C_1 \sim C_6$ アルキル基、又は $C_1 \sim C_6$ アルコキシ基である(17)~(22)のいずれかに記載の化合物、その薬学的に許容される酸付加体、又はその薬学的に許容される $C_1 \sim C_6$ アルキル付加体。
- (24) (1)  $\sim$  (23) のいずれかに記載の前記式(I) で表される 化合物、その薬学的に許容される酸付加体、又はその薬学的に許容される $C_1 \sim C_6$  アルキル付加体を有効成分とする、CCR3 拮抗作用を有する医薬組成物、
- (25) (1)  $\sim$  (23) のいずれかに記載の前記式(I) で表される 化合物、その薬学的に許容される酸付加体、又はその薬学的に許容される $C_1 \sim C_6$  アルキル付加体を有効成分とする、CCR3 が関与する疾 患の予防及び/又は治療用組成物、
- (26)前記疾患がアレルギー性疾患である(25)に記載の予防及び /又は治療用組成物、
- (27)前記アレルギー性疾患が、気管支喘息、アレルギー性鼻炎、アトピー性皮膚炎、蕁麻疹、接触皮膚炎、又はアレルギー性結膜炎である (26)に記載の予防及び/又は治療用組成物、
- (28)前記疾患が、炎症性腸疾患である(25)に記載の予防及び/ 又は治療用組成物、
- (29) 前記疾患が、エイズ(後天性免疫不全症候群)である(25) に記載の予防及び/又は治療用組成物、
- (30) 前記疾患が、好酸球増加症、好酸球性胃腸炎、好酸球増加性腸

症、好酸球性筋膜炎、好酸球性肉芽腫、好酸球性膿疱性毛包炎、好酸球性肺炎、又は好酸球性白血病である(25)に記載の予防及び/又は治療用組成物、

である。

# 発明を実施するための最良の形態

本発明の $R^1$ におけるフェニル基、 $C_3 \sim C_8$ シクロアルキル基、芳香族複素環基、又は縮合環の置換基の数、及び $R^1$ のフェニル基、 $C_3 \sim C_8$ シクロアルキル基、芳香族複素環基、又は縮合環の置換基のさらなる置換基の数は、化学的に可能と考え得る数であり、好ましくは $0 \sim 1$ 5個、より好ましくは $0 \sim 1$ 0個、さらにより好ましくは $0 \sim 7$ 個である。

 $R^1$ における「 $C_3 \sim C_8$ シクロアルキル基」とは、例えばシクロプロピル、シクロブチル、シクロペンチル、シクロペキシル、シクロペプチル、及びシクロオクチル基等の環状のアルキル基を意味し、その好適な具体例としては、シクロプロピル基、シクロペンチル基、及びシクロペキシル基等が挙げられる。

R¹における、「芳香族複素環基(ヘテロ原子として酸素原子、硫黄原子、及び窒素原子からなる群から選ばれる原子を1~3個有する。)」とは、例えば、チエニル、フリル、ピロリル、イミダゾリル、ピラゾリル、オキサゾリル、イソオキサゾリル、チアゾリル、イソチアゾリル、ピリジル、ピリミジニル、トリアジニル、トリアゾリル、オキサジアゾリル(フラザニル)、及びチアジアゾリル基等の芳香族複素環基を意味し、その好適な具体例としては、チエニル、フリル、ピロリル、及びピリジル基等が挙げられる。

R¹における「縮合環」とは、上記フェニル基又は芳香族複素環基が

、ベンゼン環、又は芳香族複素環基(ヘテロ原子として酸素原子、硫黄原子、及び窒素原子からなる群から選ばれる原子を1~3個有する。)と可能な任意の位置で縮合して形成される2環式芳香族複素環基を意味し、その好適な具体例としては、ナフチル、インドリル、ベンゾフラニル、ベンゾチエニル、キノリル及びベンゾイミダゾリル基等が挙げられる。

本発明のR<sup>1</sup>は、フェニル基、チエニル基、フラニル基、ピロリル基 、ナフチル基、ベンゾチエニル基、ベンゾフラニル基、又はインドリル 基である場合が特に好ましい。

 $R^1$ におけるフェニル基、 $C_3 \sim C_8$ シクロアルキル基、芳香族複素環基、又は縮合環の置換基としての「ハロゲン原子」とは、フッ素原子、塩素原子、臭素原子、及びヨウ素原子等を意味し、その好適な具体例としてはフッ素原子、塩素原子、臭素原子、又はヨウ素原子が挙げられる。

 $R^1$ の置換基としての「 $C_1 \sim C_6$ アルキル基」とは、例えば、メチル、エチル、n-プロピル、n-プチル、n-ペンチル、n-ペンチル、n-ペキシル、n-ペプチル、n-オクチル、イソプロピル、イソブチル、n-ペンチル、n-オクチル、イソペンチル、ネオペンチル、n-4 としては、メチルペンチル、n-4 としては、メチル、エチル、プロピル、及びイソプロピル基等が挙げられる。

 $R^1$ の置換基としての「 $C_3 \sim C_8$ シクロアルキル基」は、前記  $R^1$ の 「 $C_3 \sim C_8$ シクロアルキル基」の定義と同様であり、その好適な具体 例も同じ基を挙げることができる。

 $R^{1}$ の置換基としての「 $C_{2} \sim C_{6}$ アルケニル基」とは、例えば、ビニ

ル、アリル、1-プロペニル、<math>2-プテニル、3-プテニル、2-メチル-1-プロペニル、4-ペンテニル、5-ヘキセニル、及び<math>4-メチル-3-ペンテニル基等の $C_2\sim C_6$ の直鎖又は分枝状のアルケニル基を意味し、その好適な具体例としては、ビニル基及び2-メチル-1-プロペニル基等が挙げられる。

 $R^1$ の置換基としての「 $C_1 \sim C_6$  アルコキシ基」とは、前記  $C_1 \sim C_6$  アルキル基とオキシ基とからなる基を意味し、その好適な具体例としては、メトキシ基及びエトキシ基等が挙げられる。

 $R^{-1}$ の置換基としての「 $C_1 \sim C_6$  アルキルチオ基」とは、前記  $C_1 \sim C_6$  アルキル基とチオ基とからなる基を意味し、その好適な具体例としては、メチルチオ基及びエチルチオ基等が挙げられる。

 $R^1$ の置換基としての「 $C_3 \sim C_5$ アルキレン基」とは、例えば、トリメチレン、テトラメチレン、ペンタメチレン、及び1-メチルトリメチレン基等の $C_3 \sim C_5$ の2 価のアルキレン基を意味し、その好適な具体例としては、トリメチレン基及びテトラメチレン基等が挙げられる。

 $R^1$ の置換基としての「 $C_2 \sim C_4$  アルキレンオキシ基」とは、例えば、エチレンオキシ( $-CH_2CH_2O-$ )、トリメチレンオキシ( $-CH_2$   $CH_2CH_2CH_2CH_2$  O-)、テトラメチレンオキシ( $-CH_2CH_2CH_2CH_2$  O-)、1,1-ジメチルエチレンオキシ( $-CH_2C$  ( $CH_3$ )  $_2O-$ )基等の $C_2 \sim C_4$ の2 価アルキレン基とオキシ基とからなる基を意味し、その好適な具体例としては、エチレンオキシ基及びトリメチレンオキシ基等が挙げられる。

 $R^{1}$ の置換基としての「 $C_{1} \sim C_{3}$ アルキレンジオキシ基」とは、例えば、メチレンジオキシ( $-OCH_{2}O-$ )、エチレンジオキシ( $-OCH_{2}CH_{2}CH_{2}O-$ )、トリメチレンジオキシ( $-OCH_{2}CH_{2}CH_{2}O-$ )、プロピレンジオキシ( $-OCH_{2}CH$ ( $CH_{3}$ )O-)基等の $C_{1}$ 

 $R^1$ の置換基としての「 $C_2 \sim C_7$ アルカノイル基」とは、例えば、アセチル、プロパノイル、ブタノイル、ベンタノイル、ヘキサノイル、ヘプタノイル、イソブチリル、3-メチルブタノイル、2-メチルブタノイル、ピバロイル、4-メチルベンタノイル、3, 3-ジメチルブタノイル、及び5-メチルヘキサノイル基等の $C_2 \sim C_7$ の直鎖又は分枝状のアルカノイル基を意味し、その好適な具体例としては、アセチル基等が挙げられる。

 $R^1$ の置換基としての「 $C_2 \sim C_7$ アルコキシカルボニル基」とは、前記  $C_1 \sim C_6$ アルコキシ基とカルボニル基とからなる基を意味し、その好適な具体例としては、メトキシカルボニル基及びエトキシカルボニル基等が挙げられる。

 $R^1$ の置換基としての「 $C_2 \sim C_7$ アルカノイルオキシ基」とは、前記  $C_2 \sim C_7$ アルカノイル基とオキシ基とからなる基を意味し、その好適 な具体例としてはアセチルオキシキ基等が挙げられる。

 $R^1$ の置換基としての「 $C_2 \sim C_7$  アルカノイルアミノ基」とは、前記  $C_2 \sim C_7$  アルカノイル基とアミノ基とから成る基を意味し、その好適 な具体例としては、アセチルアミノ基等が挙げられる。

 $R^1$ の置換基としての「 $C_1 \sim C_6$  アルキルスルホニル基」とは、前記  $C_1 \sim C_6$  アルキル基とスルホニル基とからなる基を意味し、その好適 な具体例としては、メチルスルホニル基等が挙げられる。

 $R^1$ の置換基としての「 $C_3 \sim C_8$ (アルコキシカルボニル)メチル基」とは、前記  $C_2 \sim C_7$  アルコキシカルボニル基とメチル基とからなる基を意味し、その好適な具体例としては、(メトキシカルボニル)メ

チル基及び (エトキシカルボニル) メチル基等が挙げられる。

 $R^1$ の置換基としての「モノ( $C_1 \sim C_6$ アルキル)アミノ基」とは、前述した  $C_1 \sim C_6$ アルキル基によって置換されたアミノ基を意味し、その好適な具体例としては、メチルアミノ基、エチルアミノ基等が挙げられる。

 $R^1$ の置換基としての「ジ( $C_1 \sim C_6$  アルキル)アミノ基」とは、同一又は異なった 2 つの前述した  $C_1 \sim C_6$  アルキル基によって置換されたアミノ基を意味し、その好適な具体例としては、ジメチルアミノ基、ジエチルアミノ基、及びN-エチル-N-メチルアミノ基等が挙げられる。

 $R^1$ の置換基としての「 $C_2 \sim C_7 N$ -アルキルカルバモイル基」とは、前述した  $C_1 \sim C_6$  アルキル基とカルバモイル基とからなる基を意味し、その好適な具体例としては、N-メチルカルバモイル基及びN-エチルカルバモイル基等が挙げられる。

 $R^1$ の置換基としての「 $C_4 \sim C_8 N$  - シクロアルキルカルバモイル基」とは、前記  $C_3 \sim C_8$  シクロアルキル基とカルバモイル基とからなる基を意味し、その好適な具体例としては、N - シクロベンチルカルバモイル基及びN - シクロヘキシルカルバモイル基等が挙げられる。

 $R^{-1}$ の置換基としての「ピペリジルカルボニル基」とは、ピペリジンとカルボニルが結合した基を意味し、好適な具体例としては(1-ピペリジル)カルボニル基等が挙げられる。

 $R^{-1}$ の置換基としての「モルホリニルカルボニル基」とは、モルホリンとカルボニルが結合した基を意味し、好適な具体例としては(1-モルホリニル)カルボニル基等が挙げられる。

 $R^{-1}$ の置換基としての「ピロリジニルカルボニル基」とは、ピロリジンとカルボニルが結合した基を意味し、好適な具体例としては(1-ビ

ロリジニル)カルボニル基等が挙げられる。

 $R^{-1}$ の置換基としての「ビベラジニルカルボニル基」とは、ピベラジンとカルボニルが結合した基を意味し、好適な具体例としては(1-ピベラジニル)カルボニル基等が挙げられる。

また、 $R^1$ の置換基として特に好ましいのは、ハロゲン原子、ヒドロキシ基、シアノ基、ニトロ基、 $C_1 \sim C_6$  アルキル基、 $C_1 \sim C_6$  アルコキシ基が挙げられる。

 $R^1$ のフェニル基、 $C_3 \sim C_8$ シクロアルキル基、芳香族複素環基、又は縮合環の置換基のさらなる置換基としての「 $C_2 \sim C_6$ アルキニル基」とは、例えば、エチニル、メチルエチニル、及びエチルエチニル基等の $C_2 \sim C_6$ アルキニル基を意味し、その好適な具体例としては、エチニル基等が挙げられる。

 $R^1$ の置換基のさらなる置換基としての「 $C_3 \sim C_8$ シクロアルケニル基」とは、例えば、シクロベンテニル、シクロヘキセニル、1, 3-シクロヘキサジエニル基等の $C_3 \sim C_8$ の環状のアルケニル基を意味し、その好適な具体例としては、シクロヘキセニル基等が挙げられる。

 $R^1$ の置換基のさらなる置換基としての「 $C_3 \sim C_7$ ラクタム基」とは、例えば、3-プロパンラクタム、4-プタンラクタム、5-ペンタンラクタム、6-ヘキサンラクタム等の環状アミドから水素原子を1個除いた基を意味し、その好適な具体例としては「4-プタンラクタムから水素原子を1個除いた基」等が挙げられる。

 $R^1$ の置換基のさらなる置換基としての $C_1 \sim C_6$  アルキル基、 $C_2 \sim C_6$  アルケニル基、 $C_1 \sim C_6$  アルコキシ基、 $C_1 \sim C_6$  アルキルチオ基、 $C_3 \sim C_5$  アルキレン基、 $C_3 \sim C_8$  シクロアルキル基、モノ( $C_1 \sim C_6$  アルキル)アミノ基、ジ( $C_1 \sim C_6$  アルキル)アミノ基、ジ( $C_1 \sim C_6$  アルキル)アミノ基、 $C_2 \sim C_7$  アルコキシカルボニル基、又は $C_2 \sim C_7$  N - アルキルカルバモイル基は、

 $R^{-1}$ の置換基についてそれぞれ定義されたものと同様であり、それぞれ同じ例を好適な具体例として挙げることができる。

式 (I) において、pは、 $1\sim6$ の整数を表し、好ましくは1又は3である。

本発明の $R^2$ 及び $R^3$ における $C_1 \sim C_6$ アルキル基又はフェニル基の置換基の数は、化学的に可能と考え得る数であり、好ましくは $0 \sim 13$  個、より好ましくは $0 \sim 10$  個、さらにより好ましくは $0 \sim 7$  個である。

 $R^2$ 及び $R^3$ における $C_1 \sim C_6$ アルキル基は、 $R^1$ の置換基として定義されたものと同様であり、同じ例を好適な具体例として挙げることができる。

 $R^2$ 及び $R^3$ における $C_1 \sim C_6$ アルキル基又はフェニル基の置換基としてのハロゲン原子、 $C_1 \sim C_6$ アルキル基、 $C_2 \sim C_7$ アルコキシカルボニル基及び $C_1 \sim C_6$ アルコキシ基は、前記 $R^1$ の置換基について定義されたものと同様であり、それぞれ同じ例を好適な具体例として挙げることができる。

- 式 (I) の  $R^2$  及 V  $R^3$  は、それぞれ水素原子を表す場合が好ましく、 どちらも水素原子を表わす場合が特に好ましい。
- 式(I)において、Xは、-CO-、 $-SO_2-$ 、 $-CH_2-$ 、-C S-、又は単結合を表す。いずれも好適な具体例として挙げることができる。ここで、-CO-はカルボニル基を、 $-SO_2-$ はスルホニル基を、-CS-はチオカルボニル基をそれぞれ意味する。
- 式(I)において、qは0又は1を表し、rは0又は1を表す。好適な具体例として、q=0かつr=0、q=1かつr=0、及びq=0かつr=1の場合を挙げることができる。
- 式(I)において、Yは、-( $R^4$ )C=C( $R^5$ )-、-S-、Xは $-NR^8-$ を表す。いずれも好適な具体例として挙げることができる

0

本発明の $R^4$ 、 $R^5$ 、 $R^6$ 、及び $R^7$ における上記の基の置換基の数は、化学的に可能と考え得る数であり、好ましくは $0\sim15$ 個、より好ましくは $0\sim7$ 個である。

 $R^4$ 、 $R^5$ 、 $R^6$ 及び $R^7$ における「 $C_4$ ~ $C_{10}$ シクロアルカノイルアミノ基」とは、 $C_4$ ~ $C_{10}$ シクロアルカノイル基とアミノ基からなる基を意味し、その好適な具体例は、シクロプロパノイルアミノ、シクロプタノイルアミノ、シクロペンタノイルアミノ、及びシクロヘキサノイルアミノ等が挙げられる。

 $R^4$ 、 $R^5$ 、 $R^6$ 、及び $R^7$ における「 $C_3 \sim C_7$ アルケノイルアミノ基」とは、 $C_3 \sim C_7$ アルケノイル基とアミノ基からなる基を意味し、その好適な具体例はアクリロイル等が挙げられる。

 $R^4$ 、 $R^5$ 、 $R^6$ 、及び $R^7$ における「 $C_1 \sim C_6$  アルキルスルホニルアミノ基」とは、 $C_1 \sim C_6$  アルキルスルホニル基とアミノ基からなる基を意味し、その好適な具体例はメチルスルホニルアミノ、エチルスルホニルアミノ、プロピルスルホニルアミノ、及びブチルスルホニルアミノ等が挙げられる。

 $R^4$ 、 $R^5$ 、 $R^6$ 、及び $R^7$ における「 $N-(C_7\sim C_{12}$ フェニルアルキル)カルバモイル基」とは、カルバモイル基と $C_7\sim C_{12}$ フェニルアルキル基からなる基を意味し、その好適な具体例はフェニルメチルカルバモイル及びフェニルエチルカルバモイル等が挙げられる。

 $R^4$ 、 $R^5$ 、 $R^6$ 、及び $R^7$ における「 $C_1 \sim C_6 N$  - P  $\nu$  +  $\nu$  +

また、 $R^4$ 、 $R^5$ 、 $R^6$ 、及び $R^7$ として特に好ましいのは、ハロゲン原子、ヒドロキシ基、シアノ基、ニトロ基、 $C_1 \sim C_6$  アルキル基、 $C_1$  ~ $C_6$  アルコキシ基、 $C_2 \sim C_7$  アルコキシカルボニル基、 $C_1 \sim C_6$  アルスルホニル基、及び $C_1 \sim C_6$  N - アルキルスルファモイル基が挙げられる。

 $R^4$ 、 $R^6$ 、 $R^6$ 、及び $R^7$ の置換基としての $C_1 \sim C_6$ アルキル基、 $C_2 \sim C_6$ アルケニル基、 $C_2 \sim C_6$ アルキニル基、 $C_3 \sim C_5$ アルキレン基、 $C_3 \sim C_8$ シクロアルキル基、 $C_3 \sim C_8$ シクロアルキル基、 $C_1 \sim C_6$ アルコキシ基、 $C_1 \sim C_6$ アルキルチオ基、モノ( $C_1 \sim C_6$ アルキル)アミノ基、ジ( $C_1 \sim C_6$ アルキル)アミノ基、 $C_3 \sim C_7$ ラクタム基、 $C_2 \sim C_7$  N - アルキルカルバモイル基、 $C_4 \sim C_9$  N - シクロアルキルカルバモイル基、 $C_4 \sim C_9$  N - シクロアルキルカルバモイル基、 $C_4 \sim C_9$  N - シクロアルキルカルバモイル基、 $C_7 \sim C_{12}$  フェニルアルキル)カルバモイル基、

又は $C_2 \sim C_7$ アルコキシカルボニル基は、 $R^1$ の置換基、それら置換基のさらなる置換基、或いは $R^4$ 、 $R^5$ 、 $R^6$ 及び $R^7$ についてそれぞれ定義されたものと同様であり、それぞれ同じ例を好適な具体例として挙げることができる。

 $R^4$ 、 $R^5$ 、 $R^6$ 及び $R^7$ の置換基としての「( $C_1 \sim C_6$ アルコキシ)( $C_1 \sim C_6$ アルコキシ)基」とは、 $C_1 \sim C_6$ アルコキシ基と $C_1 \sim C_6$ アルコキシ基からなる基を意味し、その好適な具体例はメトキシメトキシ、メトキシエトキシ、及びエトキシエトキシ基等が挙げられる。

 $R^4$ 、 $R^6$ 、 $R^6$ 及び $R^7$ の置換基としての「フェニル( $C_1 \sim C_6$ アルコキシ)基」とは、フェニル基と $C_1 \sim C_6$ アルコキシ基からなる基を意味し、その好適な具体例は、ベンジルオキシ、フェニルエトキシ、及びフェニルプロポキシ基等が挙げられる。

 $R^4$ 、 $R^5$ 、 $R^6$ 及び $R^7$ の置換基としての「( $C_2 \sim C_7$ アルカノイル)ピペリジル基」とは、 $C_2 \sim C_7$ アルカノイル基とピペリジル基からなる基を意味し、その好適な具体例は1-(アセチル)-4-ピペリジル基等を挙げられる。

本発明の $R^8$ における $C_1 \sim C_6$ アルキル基の置換基の数、及び $R^8$ における $C_1 \sim C_6$ アルキル基の置換基であるフェニル基の置換基の数は、化学的に可能と考え得る数であり、好ましくは $0 \sim 15$  個、より好ましくは $0 \sim 10$  個、さらにより好ましくは $0 \sim 7$  個である。

 $R^8$ としての $C_1 \sim C_6$ アルキル基は、 $R^1$ の置換基について定義されたものと同様であり、同じ例を好適な具体例として挙げることができる。

 $R^8$ における $C_1 \sim C_6$ アルキル基の置換基としてのハロゲン原子、 $C_3 \sim C_8$ シクロアルキル基、 $C_1 \sim C_6$ アルコキシ基、 $C_1 \sim C_6$ アルキルチオ基、 $C_2 \sim C_7$ アルカノイル基、 $C_2 \sim C_7$ アルカノイルオキシ基、 $C_2 \sim C_7$ アルカノイルアミノ基、 $C_3 \sim C_7$ アルカノイルアミノ基、 $C_3 \sim C_7$ アルカノイルアミノ基、 $C_5 \sim C_7$ 

 $_2 \sim C_7 N$  ーアルキルカルバモイル基、 $C_2 \sim C_6$  アルキルスルホニル基、モノ( $C_1 \sim C_6$  アルキル)アミノ基及びジ( $C_1 \sim C_6$  アルキル)アミノ基は、前記  $R^1$  の置換基について定義されたものと同様であり、それぞれ同じ例を好適な具体例として挙げることができる。

また、 $R^8$ における $C_1 \sim C_6$ アルキル基の置換基としてのフェニル基の置換基である「ハロゲン原子」、「 $C_1 \sim C_6$ アルキル基」、又は「 $C_1 \sim C_6$ アルコキシ基」は、前記 $R^1$ の置換基について定義されたものと同様であり、それぞれ同じ例を好適な具体例として挙げることができる。

式(I)のピペリジン誘導体の好適な具体例として、下記の表  $1 \sim$ 表 8 に示される各置換基を含有する化合物を挙げることができる。なお、表  $1 \sim$ 表 8 において、「c ompnd.No.」は「化合物番号」を意味する。

表 1-1 から表 1-6 は、X= 単結合、q=0、 r=0、 かつ  $Y=-(R^4)$   $C=C(R^5)$  -c 表される化合物の好適な具体例である。表 2 は、X=-CO-、q=0、 r=0、 かつ  $Y=-(R^4)$   $C=C(R^5)$  -c 表される化合物の好適な具体例である。表 3 は、X=-S  $O_2-$ 、q=0、 r=0、 かつ  $Y=-(R^4)$   $C=C(R^5)$  -c 表される化合物の好適な具体例である。表 4 は、 $X=-CH_2-$ 、q=0、 r=0、 かつ  $Y=-(R^4)$   $C=C(R^5)$  -c 表される化合物の好適な具体例である。表 5 は、X=-CO-、q=0、 r=0、 かつ Y=-S -c 表される化合物の好適な具体例である。表 6 は、X=-CO-、q=0、 r=0、 かつ  $Y=-N(R^8)$  -c 表される化合物の好適な具体例である。表 7 は、X=-CO-、q=1、 r=0、 かつ  $Y=-(R^4)$   $C=C(R^5)$  -c 表される化合物の好適な具体例である。表 8 は、X=-CS-、q=0、 x=00、 x=00、 x=00、 x=00、 x=00、 x=00 、 x=00 x=00 、 x=00 x=00 、 x=00 x=

で表される化合物の好適な具体例である。

	《表1-1》	X =単結合.	q = 0, r	= 0, Y = -	(R4)C=0	C(R5)-	•
cmpnd NO.	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
1-1-1	CI	н	Н	Н	Н	Н	н
1-1-2	CI	н	н	н	н	NO2	н
1-1-3	CI	н	Н	н	н	Me	н
1-1-4	CI	н	н	н	н	CI	н
1-1-5	CI	н	н	н	н	F	н
1-1-6	CI	Н	н	H <sub>.</sub>	н	CF3	н
1-1-7	CI	н	н	н	н	соон	н
1-1-8	CI	н	н	н	Cl	CI	н
1-1-9	CI CI	н	н	Н	н	н	Me
1-1-10		н	н	н	н	MeO	н
1-1-11	CI	н	н	н	н	н	NO2

1-1-12	CI	Н	Н	н	н	н	MeO
1-1-13	CI	н	н	н	н	н	F
1-1-14	CI	н	н	н	н	н	CI
1-1-15	CI	н	н	н	н	OCF3	н
1-1-16	CI	н	н	н	н	CN	н
1-1-17	CI CI	Н	н	н	н	н	CN
1-1-18	CI CI	н	н	н	н	н	соон
	CI	н	н	н	н	ОН	н
1-1-20	CI CI	н	н	н	н	н	ОН
1-1-21	MeN	н	н	н	н	NO2	н
1-1-22	MeN	н	н	н	н	Me	н
1-1-23	MeN	н	н	н	н	CI	н

1-1-36	MeN	Н	Н	Н	Н	Н	CN
1-1-37	MeN	. н	н	н	Н	н	соон
1-1-38	MeN	н	н	н	н	ОН	н
1-1-39	MeN	н	н	н	н	. н	ОН
1-1-40	Q.,	н	Н	н	н	NO2	н
1-1-41		Н	н	н	Н	Ме	н
1-1-42	Q.,	н	н	н	н	CI	н
1-1-43	Q	н	н	н	н	F	н
1-1-44	Q	н	, н	н	н	CF3	Н
1-1-45		н	н	н	н	соон	н
1-1-46	Q	н	н	н	CI	CI	Н
1-1-47		н	н	н	н	Н	Me

1-1-48	Q.,	н	н	н	н	MeO	н
1-1-49	Q	н	н	н	н	н	NO2
1-1-50	Q	н	н	н	н	н	MeO
1-1-51	Q	н	н	н	н	н	F
1-1-52	Q.	н	н	н	н	н	CI
1-1-53		н	н	н	н	OCF3	н
1-1-54	Q	н	н	н	н	CN	н
1-1-55	Q	н	н	н	н	н	CN
1-1-56	Q.,	н	н	н	н	н	соон
1-1-57	Q	′ н	н	н	н	ОН	н
1-1-58	Q	н	н	н	н	н	ОН
1-1-59	Q	н	Н	н	н	NO2	н

1-1-60		н	н	н	н	Me	н
1-1-61	Q	н	н	н	н	CI	н
1-1-62	Q	Н	н	н	н	F	н
1-1-63		Н	Н	н	н	CF3	н
1-1-64		н	Н	н	н	СООН	н
1-1-65	Q	н	н	н	CI	CI	н
1-1-66	Q	н	н	н	н	н	Me
1-1-67	Q	н	Н	н	Н	MeO	Н
1-1-68		н	Н	н	н	н.	NO2
1-1-69	Q	н	н	н	н	н	MeO
1-1-70		н	Н	н	н	н	F
1-1-71	Q	н	н	Н	н	н	CI

1-1-120	S.	н	Н	Н	н	CF3	<b>H</b>
1-1-121	\$	Н	Н	н	н	соон	H
1-1-122	S.	н	н	н	CI ·	CI	н
1-1-123	S.	н	н	н	н	Н	Me
1-1-124	S.	. н	н	н	н	MeO	н
1-1-125	\$	н	. Н	н	н	н	NO2
1-1-126	S.	н	н	н	н	н	MeO
1-1-127	S.	н	н	н	н	н	F
1-1-128	S	н	Н	н	н	н	CI
1-1-129	S.	н	Н	н	н	OCF3	н
1-1-130	S.	н	н	н	н	CN	н
1-1-131	S	Н	н	н	н	н	CN

1-1-144	CIOH	Н	Н	Н	н	н	NO2
1-1-145	CI	н	н	н	н	н	MeO
1-1-146	CIOH	н	н	н	н	н	F
1-1-147	CIOH	н	н	н	H	н	CI
1-1-148	CIOH	Н	н	н	н	OCF3	н
1-1-149	CIOH	н	н	н	н	CN	н
1-1-150	CIOH	н	н	н	н	н	CN
1-1-151	CIOH	Н	н	н	н	н	соон
1-1-152	CIOH	Н	н	Н	н	ОН	н
1-1-153	CIOH	н	н	н	н	н	ОН

《表1-2》X = 単結合, q = 0, r = 0, Y = -(R4)C=C(R5)-

ampad NO	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
1-2-1	MeN	Н	Н	Н	Н	Н	Н
1-2-2	Q.,	н	Н	н	н	н	н
1-2-3	Q	н	н	н	Н	Н	Н
1-2-4	CI	н	· н	н	н	н	н
1-2-5	Q.,	. н	н	н	н	н	Н
1-2-6	F <sub>3</sub> C	н	Н	н	н	н	н
1-2-7	10.	н	н	н	н	н	н
1-2-8	NC C	н	н	н	н	н	Н
1-2-9	O <sub>2</sub>	н	н	н	н	н	Н
1-2-10	MeOOC	H	н	н	н	н	н

1-2-11	MeO	н	н	Н	Н	н	н
1-2-12	Q.,	н	н	Н	Н	н	н
1-2-13		н	н	<b>H</b>	Н	н	н
1-2-14	Q	н	Н	н .	Н	Н	н
1-2-15	HN	н	н	н	Н	н	Н
1-2-16	Ne Ne	н	н	н	н	н	н
1-2-17		H	н	н	н	Н	н
1-2-18	(s)	н	н	н	н	н	н
1-2-19		Н	н	н	н	н	н
1-2-20	CN.	н	н	н	н	н	н
1-2-21	N .	н	н	н	н	н	н

1-2-110	ОН	Н	н	н	н	н	н
1-2-111	OMe NO <sub>2</sub>	н	н	н	н	н	н
1-2-112	NH.	н	н	н	н	н	н
1-2-113	S	Н	н	н	н	н	н
1-2-114		Н	Н	н	н	Н	н
1-2-115	<b>.</b>	н	н	н	н	н	н
1-2-116		н	н	н	н	н	н
1-2-117	CICH	н	н	н	н	н	H
1-2-118	Вг	н	н	н	Н	н	н
1-2-119	O <sub>2</sub> IN	н	н	н	н	н	н
1-2-120	O <sub>2</sub> N F.	н	н	н	н	н	Н

1-2-154	CI NH <sub>2</sub>	Н	н	н	Н	н	н
1-2-155	NO <sub>2</sub>	н	Н	н	н	н	н
1-2-156	O <sub>2</sub> N	н	<b>H</b>	н	Н	Н	н
1-2-157	<b>F</b>	н	н	н	Н	н	н
1-2-158	NH <sub>2</sub>	н	н	н	Н	Н	н
1-2-159	F <sub>3</sub> CS	Н	н	н	н	н	н
1-2-160	OH	н	н	н	н	н	н
1-2-161	СООН	Н	н	н	н	н	н
1-2-162	CI OH	н	н	н	Н	н	н
1-2-163	CI CI	Н	Н	Н	н	н	н
1-2-164	F₂HCO	н	н	н	н	н	н

《寿1-3》	X =単結合	a = 0, r = 0	Y = -(R4)C = C(R5) -
--------	--------	--------------	----------------------

	《表1-3》X =単結合, q = 0, Y = -(R4)C=C(R5)-												
cmpnd NO.		R2	R3	R4	R5	R6	R7						
1-3-1	Q.	Н	н,	н	н	н	H H N N N N N N N N N N N N N N N N N N						
1-3-2	CI	н	н	н	н	н	, N O						
1-3-3	Q	Н	н	н	н	н	H N O H						
1-3-4	Q	<b>H</b>	н	н	н	н	$N \longrightarrow N \longrightarrow$						
1-3-5	Q	н	н		н	н	H N N H						
1-3-6	CI OH	н	н	н	н	н	H H N N N N N N N N N N N N N N N N N N						
1-3-7	CI	н	н	' н	н	, N O	н						
1-3-8	CI	н	Н	н	н	, N NH₂	н						
1-3-9	CI CI	Н	н	н	н	н	,-N						
	CI						. N						
1-3-11	CI	н	н	н	н	. н	. H N N N N N N N N N N N N N N N N N N						

1-3-23	CI	н	н	н	н	. Н	, N O O
1-3-24	CI	н	н	н	н	н	N
1-3-25	CI	н	н	н	н	н	H N O
1-3-26	CI	н	н	н	н	н	· N S
1-3-27	CI CI	н	н	н	н	н	-N O
1-3-28	CI CI	н	н	н	н	н	H
1-3-29	CI	н	н	н	Н	н	. N
1-3-30	CI	н	н	н	н	н	H
1-3-31	CI	н	н	н	н	н	H
	- '	н	н	н	н	н	U
1-3-33	CI	н	н	н	н	н	, N O

1-3-34	CI CI	н	н	н	н	н	N N O
1-3-35	CI	н	н	н	н	н	H
1-3-36	CI	н	н	н	н	н	H O O
1-3-37	CI	н	н	н	н	н	H
1-3-38	CI CI	н	н	н	н	н	, N O
1-3-39	CI	н	н	н	н	н	H
1-3-40	CI	н	н	н	н	н	HNOO
1-3-41	CI CI	н	н	н	н	н	, N CI
1-3-42	CI CI	н	н	н	н	н	HNO
1-3-43	CI CI	н	н	н	н	н	H N O
1-3-44	CI	н	н	н	н	н	-N COOMe

1-3-67		н	н	н	н	н	H O
1-3-68	Q	н	н	н	н	н	, N 0 0
1-3-69	Q	н	н	Н	<b>H</b> .	н	H NH2 O
1-3-70	Q	. <b>H</b>	н	н .	н	н	H N O O
1-3-71	Q	н	н	H	Н	Н	H N O O
1-3-72		н	н	н	Н	н	, N COOMe
1-3-73	Q	н	н	н	н	н	··N
1-3-74				н		н	, N O
1-3-75	Q.	н	н	н	н	н	, N COOMe
1-3-76	Q.	н	н	н	н	н	N N
1-3-77		н	н	н	н	н .	, N N N

1-3-78	Q	н	н	н	н	Н	, N N N
1-3-79	Q	н	н	н	н	<b>н</b>	H NS O <sub>2</sub>
1-3-80	Q	н	н	н	н	н	, N O
1-3-81	Q	н	н	н	н	н	- N 0
1-3-82	Q	Н	н	н	н	н	H N O
1-3-83	Q	н	н	н	н	н	H N N NH <sub>2</sub>
1-3-84	Ö.	н	н	н	н	н	, N OH
1-3-85	Q	н	н	н	H	н	, N 0 0
1-3-86	Q	Н	н	н	н	н	N COOMe
1-3-87	Q	н	н	н	н	н	, H
1-3-88	Q	н	н	н	н	н	N

1-3-89	Q	н	н	н	н	н	· N COOMe
1-3-90	Q	н	н	н	н	Н	, N N N
1-3-91	Q	н	н	н	н	н	, N N
1-3-92		н	н	н	н	н	H H N N O
1-3-93		н	н	н	н	н	H N.s
1-3-94	СІ	н	н	н	н	н	N H N H
1-3-95	СІ	н	н	н	н	н	, N 0
1-3-96	СІСІОН	н	н	н	н	н	, .N 0
1-3-97	CICH	н	н	н	н	н	, N O
1-3-98	СІСОН	н	н	н	н	н	, NH <sub>2</sub> NH <sub>2</sub>
1-3-99	CIOH	н	н	н	н	н	, N OH

1-3-100	CIOH	н	н	н	н	н	H 0 0
1-3-101	CIOH	н	н	н	н	н	H COOMe
1-3-102	CI	н	н	н	н	Н	, N O
1-3-103	СІ	н	н	н	н	н	H
1-3-104	СІОН	н	н	н	н	н	, N COOMe
1-3-105	СІОН	н	н	н	н	н .	H N N
1-3-106	CI OH	н	н	н	Н	н	, N N
1-3-107	CI OH	н	Н	н	н	н	H H N N
1-3-108	СІ	н	н	н	н	н	H N.S O <sub>2</sub>
1-3-109	CIOH	н	н	н	Н	н	NH NH
1-3-110	CIOH	н	н	н	н	н	$\begin{array}{c} H \\ N \\ O \\ O \\ \end{array}$

1-3-133	Вг	н	н	Н	н	н	H COOMe
1-3-134	Вг	н	н	н	н	н	, N
1-3-135	Вг	н	н	Н	н	н	, H
1-3-136	Вг	н	н	н	н	н	, N COOMe
1-3-137	Вг	н	н	н	н	н	H N N
1-3-138	Вг	н	н	н	н	н	H N N
1-3-139	Вг	н	н	н	н	н	H H O
1-3-140	Вг	н	н	н	н	н	H N <sub>S</sub> O <sub>2</sub>
1-3-141	MeN	н	н	н	н	н .	N N N N N N N N N N N N N N N N N N N
		н	н	н	н	н	0 0
	MeN	н	Н	Н	і н	Н	H N O

1-3-155	MeN	н	н	н	н	н	H H , N N N O
1-3-156	MeN	н	н	н	н	н	H N.s O <sub>2</sub>
1-3-157	S.	н	н	н	н	н	N N N N N N N N N N N N N N N N N N N
1-3-158	S	н	н	н	н	н	$ \begin{array}{ccccc} H & H \\ N & N \\ O & O \end{array} $
1-3-159	s	н	н	н	н	н	, N 0
1-3-160	\$	н	н	н	н	н	, N 0
1-3-161	\$	Н	н	н	н	н	, N 0 0
1-3-162	S.	н	н	н	н	<b>н</b>	, .N → NH₂ O
1-3-163	S	н	н	н	н	н	, N OH
1-3-164	S.	н	н	н	н	<b>H</b> .	, N O O
1-3-165	S	н	н	н	н	н	, N COOMe

WO 03/087089 PCT/JP03/04841

73

Н 1-3-166 Н 1-3-167 Н 1-3-168 , N N Н 1-3-169 , N N н н н н Н 1-3-170 `N N N \ н н н н н 1-3-171 1-3-172 н н н н Н 1-3-173 н н н н н н н Н 1-3-174 н 1-3-175 CI н н н н , м сооме Н 1-3-176

1-3-188	Q	н	Н	н	н	, N O O	н
1 <b>-3-189</b>		н	н	н	Н	$N \longrightarrow NH_2$	Н
1-3-190	Q.,	н	н	н	н	, N OH	н
<b>1-3-191</b>	Q.	н	н	н	н	H O O	н
1-3-192		н	н	н	н	COOMe	н
1-3-193	Q	н	н	н	н	· N O	н
1-3-194		н	н	н	н	, N O	н
1-3-195		н				H .N COOMe	Н
1-3-196	Q	н	Н	н	Н	H N	н
1-3-197	Q.	н	н	н	Н	, N N N	н
1-3-198		н	Н	Н	۲	H H O	н

1-3-266	MeN	н	н	н	$H \xrightarrow{N} 0 0$	н
1-3-267	MeN	н	н	н	H NO	H
1-3-268					H NO	н
1-3-269	MeN	н	н	н	H N O	н
1-3-270	MeN	н	н	н	H ,.N NH₂	н
1-3-271					H N OH	н
1-3-272	MeN	н	н	н	H N O	н
1-3-273	MeN				H N COOMe	н
1-3-274	MeN	н	н	н	H N	н
1-3-275	MeN	н	н	н	H , H	н
1-3-276	MeN	н	н	н	H N COOME	н

1-3-277	MeN	н	н	н	H , N N	н
1-3-278	MeN	н	н	Н	H N N N	н
1-3-279	MeN	н	н	н	$H \longrightarrow N \longrightarrow $	н
1-3-280	MeN	. н	н	н	H NSO2	н
1-3-281	\$	н	н	н	H N N N N N N N N N N N N N N N N N N N	н
1-3-282	S.	н	н	н	$H \longrightarrow N \longrightarrow N \longrightarrow N \longrightarrow 0$	н
1-3-283	S	н	н	н	H N O	н
1-3-284	\$				H NO	н
1-3-285	\$	н	н	н	H , N O	н
1-3-286	S.	н	н	н	H , N NH <sub>2</sub>	н
1-3-287	\$	н	н	н	H N OH	н

1-3-288	\$	н	н	н	H N O O	н
1-3-289	S	н	н	н	H N COOMe	н
1-3-290	S.	н	н	н	H .N	н
1-3-291	S.	н	н	н	H H O	н
1-3-292	S	н	н	н	H , H COOMe	н
1-3-293	\$	н	н	н	H N N	н
1-3-294	\$	н	н	н	$H \longrightarrow N \longrightarrow N$	н
1-3-295		н	н	н	H H H	н
1-3-296	\$	н	н	н	H NSO2	н

	《表1-4》	X =単結合.	q = 0, r =	= 0, Y = -	(R4)C=C	(R5)-	
empnd NO	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
1-4-1	СІОН	Н	н	н	н	н	OMe
1-4-2	CIOH	н	н	н	н	Н	OMe
1-4-3	Вг	н	н	н	н	Н	OMe
1-4-4	O <sub>2</sub> N OH	н	н	н	н	н	OMe
1-4-5	Q	н	н	н	н	Н	OMe
1-4-6	MeN	н .	н	н	н	н	OMe
1-4-7	S.	н	н	н	н	н	OMe
1-4-8	Q	н	н	н	н	н	OMe
1-4-9	CI CH	н	н	н	н	н	OMe
1-4-10	CI						N O
1-4-11	Вг	н	н	н	н	н	, H N N

	《表1一5	5》X =単結合	. q = 0. r	= 0. Y = ·	-(R4)C=C(	R5)-	
cmpnd NO	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
1-5-1	CIOH	н	Н	н	н	COOEt	Н
1-5-2	CIOH	н	н	Н	н	COOEt	н
1-5-3	Q	н	н	н	н	COOEt	н
1-5-4	Q	н	н	н	Н	COOEt	Н
1-5-5	CIOH	н	н	н	н	COOCH(Me)2	н
1-5-6	CIOH	н	н	H	н	COOCH(Me)2	Н
1-5-7	Q.,	н	н	н	н	COOCH(Me)2	н
1-5-8	Q	н	н	н	н	COOCH(Me)2	н
1-5-9	Q	н	н	н	н	СООМе	н
1-5-10	Q	н	н	н	н	СООМе	н
1-5-11	СІ ОН	н	Н	Н	н	COOMe	н

1-5-12	O <sub>2</sub> N OH	н	н	Н	н	СООМе	н
1-5-13	\$	н	н	н	Н	СООМе	н
1-5-14	CIOH	н	Me	H	н	COOMe	н
1-5-15	Q	н	Me	н	н	СООМе	н
1-5-16	Q	н	Me	н	н	COOMe	н
1-5-17	CIOH	н	Me	н	СООМе	н	н
1-5-18	Q.,	н	Me	н	COOMe	н	н
1-5-19	Q	н	Me	н	COOMe	н	н
1-5-20	Q	н	н	н	н	соон	н
1-5-21	MeN OH	н	н	н	н	СООН	н
1-5-22	Вг	н	н	н	н	соон	н
1-5-23	Q	н	н	н	н	O N N	н

1-5-24	Q.,	н	н	н	Н	N N N N N N N N N N N N N N N N N N N	н
1-5-25	Q.,	н	Н	н	н	N N N O N	н
1-5-26	Q.,	н	Н	н	н	O N COOMe	н
1-5-27	Q.,	н	Н	н	Н	H N O	н
1-5-28	Q	н	н	н	н	H	н
1-5-29	Q	н	Н	н	н	. N N	н
1-5-30	Q.	Н	н			N H	н
1-5-31	Q.,	н	н	н	н	N N	н
1-5-32	Q.,	н	н			, N H	н
1-5-33	Q.,	н	н	н	н	N H	н
1-5-34	Q	н	н	н	н	N COOEt	н
1-5-35	Q.	н	н	н	н	N OH	Н

100

106

	《表1-6》X =	単結合, q = 0, r = 0, Y					
cmpnd NO.	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
1-6-1	CI	н	Et	Н	Н	Н	н
1-6-2	CI	Et	Et	н	н	н	н
1-6-3	CI	CH2C6H5	CH2C6H5	н	н	Н	н
1-6-4	CI	н	CH2C6H5	н	н	H	н
1-6-5	CI	(CH2)5CH3	(CH2)5CH3	Н	н	н	н
1-6-6	CI	Н	(CH2)5CH3	н	н	н	H
1-6-7	CI CI	(CH2)3C6H5	(CH2)3C6H5	н	н	н	н
1-6-8	CI	н	(CH2)3C6H5	н	н	н	н
1-6-9	CI	н	CH2COOMe	н	н	н	н
1-6-10	CI CI	н	(CH2)4COOEt	н	н	н	н

1-6-11	CI	н	(CH2)3NH2	н	н	н	н
1-6-12	CI CI	н	(CH2)2CONH2	н	н	н	н
1-6-13	CI	н	(CH2)2COOH .	н	н	н	н
1-6-14	CI	н	(CH2)2CN	Н	н	н	н
1-6-15	CI	Н	(CH2)2COOEt	н	н	н	н
1-6-16		н	Et	н	н	н	н
1-6-17	<b>Q</b>	Et	Et	н	н	н	н
1-6-18	<b>Q</b>	CH2C6H5	CH2C6H5	н	н	н	н
1-6-19	<b>Q</b>	н	CH2C6H5	н	н	н	н
1-6-20		(CH2)5CH3	(СН2)5СН3	н	н	н	н
1-6-21	Q	н	(СН2)5СН3	н	н	н	н

1-6-22	Q	(CH2)3C6H5	(CH2)3C6H5	н	н	н	н
1-6-23	Q.,	н	(CH2)3C6H5	н	н	н	н
1-6-24		н	CH2COOMe	н	н	н	н
1-6-25		н	(CH2)4COOEt	н	н	н	н
1-6-26	Q.,	H	(CH2)3NH2	н	н	н	н
1-6-27	Q	н	(CH2)2CONH2	н	н	н	н
1-6-28	<b>Q</b>	н	(CH2)2COOH	н	н	н	н
1-6-29	Q	н	(CH2)2CN	н	н	н	н
1-6-30	Q.,	н	(CH2)2COOEt	н	н	н	н
1-6-31	Q	н	Et	<b>H</b>	н	н	н
1-6-32	Q	Et	Et	н	н	н	н

1-6-33	Q	CH2C6H5	CH2C6H5	н	Н	н	н
1-6-34	Q	<b>H</b>	CH2C6H5	н	Н	н	н
1-6-35	Q	(CH2)5CH3	(CH2)5CH3	н	н	Н	н
1-6-36	Q	н	(CH2)5CH3	н	н	H .	н
1-6-37	Q	(CH2)3C6H5	(CH2)3C6H5	н	н	Н	н
1-6-38		н	(CH2)3C6H5	н	н	н	н
1-6-39	Q	н	CH2COOMe	н	н	н	Н
1-6-40	Q	н	(CH2)4COOEt	н	н	н	н
1-6-41		н	(CH2)3NH2	н	н	н	н
1-6-42	Q	н	(CH2)2CONH2	н	н	н	н
1-6-43	0	н	(CH2)2COOH	н	н	н	н

1-6-44	Q	н	(CH2)2CN	H	Н	н	н
1-6-45	Q	н	(CH2)2COOEt	н	н	н	н
1-6-46	CIOH	н	Et	н	н	н	н
1-6-47	CIOH	Et	Et	н	н	н	н
1-6-48	CIOH	CH2C6H5	CH2C6H5	н	Н	н	н
1-6-49	СІ	н	CH2C6H5	н	н	н	Н
1-6-50	СІ	(CH2)5CH3	(СН2)5СН3	н	н	н	н
1-6-51	CIOH	н	(CH2)5CH3	н	н	н	н
1-6-52	CIOH	(CH2)3C6H5	(CH2)3C6H5	н	н	н	н
1-6-53	CIOH	н	(CH2)3C6H5	н	н	н	н
1-6-54	CICH	н	CH2COOMe	н	н	н	н

ı

1-6-55	CICH	н	(CH2)4COOEt	Н	н	н	н
1-6-56	CICH	н	(CH2)3NH2	н	н	н	н
1-6-57	CI	н	(CH2)2CONH2	Н	Н	н	н
1-6-58	CIOH	н	(CH2)2COOH	н	н	н	н
1-6-59	CIOH	н	(CH2)2CN	н	Н	Н	н
1-6-60	CIOH	н	(CH2)2COOEt	Н	н	Н	Н
1-6-61	CIOH	н	Et	н	н	н	н
1-6-62	CIOH	Et	Et .	н	н	н	н
1-6-63	CIOH	CH2C6H5	CH2C6H5	н	н	н	н
1-6-64	CIOH	н	CH2C6H5	н	н	Н	н
1-6-65	CIOH	(CH2)5CH3	(CH2)5CH3	н	н	н	н

1-6-66	CIOH	н	(CH2)5CH3	н	H	н	н
1-6-67	CIOH	(CH2)3C6H5	(CH2)3C6H5	н	н	н	Н
1-6-68	CIOH	н	(CH2)3C6H5	н	н	н	н
1-6-69	CIOH	н	CH2COOMe	н	н	н	н
1-6-70	CIOH	н	(CH2)4COOEt	н	н	н	н
1-6-71	CI OH	н	(CH2)3NH2	н	н	н	н
1-6-72	CIOH	<b>H</b>	(CH2)2CONH2	н	H	н	н
1-6-73	CIOH	н	(CH2)2COOH	н	н	н	н
1-6-74	CIOH	н	(CH2)2CN	н	н	н	н
1-6-75	CIOH	н	(CH2)2COOEt	н	Н	н	н
1-6-76	CI OH	н	Et	н	н	н	н

1-6-77	Br	Et	Et	н	н	н	н
1-6-78	Вг	CH2C6H5	CH2C6H5	н	н	н	н
1-6-79	Вг	<b>H</b>	CH2C6H5	н	H	н .	н
1-6-80	Br	(CH2)5CH3	(CH2)5CH3	н	н	н	н
1-6-81	Br	н	(CH2)5CH3	н	Н	н	н
1-6-82	Вг	(CH2)3C6H5	(CH2)3C6H5	н	н	<b>H</b>	н
1-6-83	Вг	н	(CH2)3C6H5	н	н	н	н
1-6-84	Br	н	CH2COOMe	н	н	н	н
1-6-85	Вг	н	(CH2)4COOEt	н	н	н	н
1-6-86	Br	н	(CH2)3NH2	н	н	н	н
1-6-87	Вг	н	(CH2)2CONH2	н	н	н	н

1-6-88	Вг	н	(CH2)2COOH	н	н	н	н
1-6-89	Br	н	(CH2)2CN	н	н	н	н
1-6-90	Br	н	(CH2)2COOEt	н	н	н	н
1-6-91	MeN	н	Et	н	н	н	н
1-6-92	MeN	Et	Et	н	н	н	н
1-6-93	MeN	CH2C6H5	CH2C6H5	н	н	н	н
1-6-94	MeN	н	CH2C6H5	н	н	н	н
1-6-95	MeN	(CH2)5CH3	(CH2)5CH3	н	н	н	н
1-6-96	MeN	н	(CH2)5CH3	н	н	н	Н
1-6-97	MeN	(CH2)3C6H5	(CH2)3C6H5	н	н	н	н
1-6-98	MeN	н	(CH2)3C6H5	н	н	н	н

1-6-99	MeN	н	CH2COOMe	н	н	н	н
1-6-100	MeN	н	(CH2)4COOEt	н	н	н	н
1-6-101	MeN	· н	(CH2)3NH2	н	н .	н	н
1-6-102	MeN	н	(CH2)2CONH2	н	н	н	н
1-6-103	MeN	н	(CH2)2COOH	н	н	н	н
1-6-104	M eN	н	(CH2)2CN	н	н	н	н
1-6-105	MeN	н	(CH2)2COOEt	н	н	н	н
1-6-106	S	Н	Et	н	Н	н	н
1-6-107	S.	Et	Et	н	Н	н	Н
1-6-108	S.	CH2C6H5	CH2C6H5	н	н	н	н
1-6-109	S.	н	CH2C6H5	н	Н	Н	н

1-6-110	S	(CH2)5CH3	(CH2)5CH3	н	н	Н	Н
1-6-111	S.	н -	(CH2)5CH3	н	н	н	н
1-6-112	S.	(CH2)3C6H5	(CH2)3C6H5	н	н	н	н
1-6-113	S	H	(CH2)3C6H5	н	н	н	н
1-6-114	S	н	CH2COOMe	н	н	н	н
1-6-115	S.	н	(CH2)4COOEt	н	н	н	н .
1-6-116	S.	н	(CH2)3NH2	н	н	н	н
1-6-117	S.	н	(CH2)2CONH2	н	н	н	н
1-6-118	S.	н	(CH2)2COOH	н	н	н	н
1-6-119	S.	н	(CH2)2CN	н	н	н	н
1-6-120	5.	н	(CH2)2COOEt	н	н	Н	н

122  $X = -CO^-, q = 0, r = 0, Y = -(R4)C = C(R5) -$ 

表2

表2							
cmpnd NO.2—	R1~(CH2)p~ -	R2	R3	R4	R5	R6	R7 .
1	CI CI	н	н	н	н	, н	н
2	CI CI	н	н	н	Cl	н	н
3	Q	Н	н	Н	H	н	н
4	Q.,	H	н	н	Cl <sup>.</sup>	н	н
5	CI.	н	н	н	н	н	н
6	cı C.	н	н	н	н	н	н
7	ci C.	н	н	н	н	н	н
8	Q	н	н	н	н	н	н
9	MeO	н	н	н	н	н	н
10	Q	н	н	н	н	н	н
11	СІСІОН	н	Н	н	н	н	н
12	Вг	н	н	н	н	н	н

13	Br	н	н	н	н	н	н
14	Br F.	н	н	н	н	н	н
15	Br	н	н	н	н	н	н
16	СІОН	. н	н	н	н	Н	н
17	CI	н	н	н	н	н	н
18	M eN	н	н	н	н	н	н
19	S.	н	н	н	н	н	н
20	МеО	н	н	н	н	н	н
21	0 <sub>2</sub> N	н	н	Н	н	н	н
22	MeO	н	н	н	Н	Н	н
23	Q.	н	н	н	н	н	н
24	Q	н	н	н	н	н	н
25	<u> </u>	н	н	н	н	н	н

WO 03/087089 PCT/JP03/04841

26	СІ	н	н	н	н	н	н
27	NC OH	н	н	<b>H</b>	н	<b>H</b>	н
28	CI OH	н	н	н	н	н	н
29	CF <sub>3</sub> OH	н	н	н	н	н	н
30	СІОН	н	н	н	н	н	н
31	Q.	Н	н	н	н	н	н
32	F.C.	н	н	н	н	н	н
33	Br.	н	н	н	н	н	н
34	F <sub>3</sub> C	н	н	н	Н	н .	н
35	H0.	н	н	н	н	н	н
36	NC.	н	н	н	н	н	н
37	0 <sub>2</sub>	н	н	Н	н	н	н
38	MeOOC.	н	н	н	н	н	н

PCT/JP03/04841

WO 03/087089 PCT/JP03/0

39	, N	н	н	н	н	Н	н
40	MeO	н	н	н	н	н	н
41	~0~	н	н	н	н	н	н
42	~°Q.	н	н	H	н	н 🔧	н
43	Y°C.	н	н	н	н	н	• н
44	10.	н	н	н	н	н	н
45		н	н	н	н	н	н
46	0°Q.	н	н	н	н	н	н
47		н	н	н	Н	н	н
48	THE COLUMN THE PROPERTY OF THE	н	н	н	н	н	н
49	<b>S</b>	н	н	н	н	н	н
50		н	н	н	н	н	н
51	Q.,	н	Н	н	н	н	н

52	CN CN	н	н	н	Н	<b>H</b>	н
53	CI.	н	н	н	н	<b>H</b> .	Н
54		н	н	н	н	н	н
55		н	н	н .	н	н	н
56		н	н	н	Н	н	н
57	F <sub>3</sub> C	н	н	н	н	н	н
58	CI F	н	н	н	н	н	<b>H</b>
59	CI	н	н,	Н	Н	н	н
60	<u> </u>	н	н	н	н	н	н
61	F <sub>3</sub> C	н	н	н	н	н	н
62	F <sub>3</sub> C0	н	Н	н	н	н	н
63	MeO F	н	н	н	н	н	н
64	O <sub>2</sub> N F.	н	н	н	н	н	н

65	02N	н	<b>H</b> .	н	н	н	н
66	F.	н	н	н	н	н	н
67	F₃CS	<b>H</b>	н	н	H	н .	н
68	CI	н	н	· Н	н	н	н
69	F <sub>2</sub> HC	н	н	н	н	н	н
70	C.	н	н	н	н	<b>H</b>	н
71	NO <sub>2</sub>	н	Н	н	н	н	н
72	СООН	н	н	Н	н	н	н
73	Br	Н	н	н	н	н	н
74	<u></u>	н	н	н	н	н	н
75	F.	н	н	н	н	н	н
76	CI CI	н	н	н	н	н	н
77	NC.	н	н	н	Н	н	н

78	но	н	Н	н	н	н	н
79 <b>`</b>	EtO	н	н	H	н	н	н
80	O <sub>2</sub> N	н	н	н	н	н	н
81	CI	н	н	н	н '	н .	н
82	F F	н	н	н	н	н	н
83	Br	н	н	н	н	н	н
84	F <sub>3</sub> C F	н	н	н	н	н	н
85	HO CI	н	н	н	H	н	н
86	F F	н	н	н	н	н	н
87	MeO Br	н	н	н	н	н	н
88	MeO OEt	н	Н	н	н	н	н
89	MeO	н	н	н	н	н	н

101	E10 OE1	н	н	н	·	н	н	н	
102	но	н	н	۲	1	н	н	Н	
103	OMe OMe	н	н	,	н	н	н	н	ı
104	0.11.	″ → Н	н	l	н	н	н		4
105	мео Соон	H	1	Н	н	н		4	н
106	CI NO2	н		н	н	н		н	н
107	но	н		н	<b>H</b>	н		н	н
108	Me <sup>O</sup>	. — Н		н	н	н		н	н
109	EtO.	ŀ	1	н	н	ł	4	Н	н
110	ноос	or Ora	н	н	н		н	н	н
111	HO ON	A e	н	н	ŀ	1	н	н	н
11	02N	~.·	н	н		Н	н	н	н
. 11	13 F <sub>3</sub> C CF <sub>3</sub>	~··	н	Н		н	н	н	н

114	OMe NO <sub>2</sub>	н	н	· н	н	н	н
115	Q	н	н	н	н	н	н
116	M eN	Н	н	н	н	н	н
117	OM e	н	Н	н	н	н	н
118	Q.L.	н	н	н	н	н	н
119	M eN	н	н	н	н	н	н
120	N.	н	Н	н	н	н	н
121	ОН .	н	н	н	н	н	<b>H</b> .
122	OAC.	н	н	н	н	н	Н
123	ОН	н	н	н	н	н	н
124	NH.	Н,	н	н	н	н	Н
125		н	н	н	н	н	н

126	MeN	<b>H</b>	<b>.</b>	н	н	Н	н
127		н	н	н	н	н	н
128	<b>Q</b>	н	н	н	н	н	н
129	OEt	н	н	н	Н	н	н
130	HN	н	н	Н	н	Н	н
131	M eN	н	н	н	н	н	н
132	N <sub>Me</sub>	<b>H</b>	н	н	н	н	н
133	MeN	н	н	н	н	н	н
134	M eN	н	н	н	н	Н	H
135	M eN O M e	H	н	н	н	Н	н
136	S.	н	н	н	н	Н	н
137	N N e	н	н	н	н	н	н

149	<b>200.</b> .	Н.	н	н	Н	Н	н
150	C.	н	н	н	н	н	<b>H</b> .
151		н	н	H .	H	н	н
152		н	н	н	н	н	н
153	&II.	н	н	Н	н	н	н
154		н	н	н	Н	н	н
155	Q	н	Н	н	н	н	н
156	Q.,	Н	н	Н	н	н	Н
157	I OH	н	н	н	. н	н	н
158	O <sub>2</sub> N OH	н	н	н	н	н	н
159	СІ	н	н	н	н	н	н
160	ОН	н	н	Н	н	н	н
161	<b>Б</b> ОН	н	н	н	н	н	н

162	ОН	н	н	н	н	н	Н
163	CI NH2	н	н	Н	н	н	Н
164	С ОН	н	Н	Н	н	н	н
165	NH <sub>2</sub>	н	н	н	н	н	н
166	→ OH	н	н	н	н	н	н
167	F <sub>3</sub> CO OH	н	н	н	н	н	н
168	ОМе	н	н	н	н	н	н
169	он	н	н	н	н	н	н
170	OEt OH	н	н	н	н	н	. н
171	Соон	н	н	н	н	н	н
172	JOH SN.	н	н	н	н	н	н
173		н	н	н	н	н	н
174	<b>€</b> N	н	н	н	н	н	н

175	n	н .	н	н	н	Н	H.
176	⟨s <sup>N</sup>	н	н	н	н	н	н
177	HN.N	н	н	н	н	н	н
178	N.X.	н	н	н	H	н	н
179		н	н	н	н	н	н
180	CI COL.	н	н	н	н	н	н
181	Cs.	н	н	Н	н	н	н
182	L.	н	н	н	н	н	н
183	CN.	н	н	Н	н	н	н
184	(N)	н	н	Н	н	н	н
185	N)	н	н	Н	н	н	н
186	CIOH	н	н	н	CI	н	н
187	O <sub>2</sub> N OH	н	н	н	CI	н	н

188	MeO	н	н	Н	CI	н	н
189	CI	н	н	н	CI	н	н
190	Br	н	н	н	CI	н	н
191	0 <sub>2</sub> N	н	н	H ,	CI	н	н
192	MeO	н	н	н	CI	н	н
193	СІОН	н	н	н	CI	н	н
194	M eN	н	н	н	CI	<b>H</b> .	н
195	\$	н	н	н	CI	н	н
196		н .	н	н	CI	н	н
197		н	н	н	CI	н	н
198	Вг	н	н	н	CI	н	н
199	8.	н	н	н	CI	н	н
200	<u> </u>	Н	н	н	CI	н	н

201	CIOH	н	н	Cl	н	н	н
202	CI OH	н	н	н	ОМе	<b>H</b>	н
203	CIOH	н	н	н	СООМе	н	н
204	СІОН	н	н	Н	н	CI	н
205	CIOH	н	н	н	н	COOMe	н
206	CI OH	н	н	н	н	Н	CI
207	CI OH	н	н	н	OCF3	н	н
208	СІОН	н	н	COOMe	н	н	н
209	СІСІОН	н	н	н	CF3	н	н
210	CI OH	н	н	н	Ме	н	н
211	CIOH	н	н	н	F	н	н
212	CIOH	н	н	н	ОН	н	н
213	CI OH	н	н	н	NO2	н	н

214	CIOH	н	н	н	F	F	н
215	CIOH	н	н	F	н	, Н	н
216	CIOH	н	н	Ме	н	н	н
217	CIOH	н	н	н	CN	н	н
218	CI OH	н	н	CI	н	н	н
219	CIOH	н	н	н	ОМе	H.	н
220	CI OH	н	н	н	COOMe	н	н
221	CIOH	н	н	н	н	CI	н
222	CIOH	н	н	н	н	COOMe	н
223	CI OH	н	н	н	н	н	CI
224	CIOH	н	н	н	OCF3	н	н
225	СІСОН	н	н	COOMe	н.	н	н
226	CI OH	н	н	н .	CF3	н	н

227	CI OH	н	н	н	Me	н .	<b>H</b>
228	CICH	н	н	н	F	н	н
229	Q.	н	н	CI	н	н	н
230	Q.	н	н	н	OMe	н	н
231	Q.,	н	н	н	COOMe	н	н
232		• Н .	Н	н	н	CI	н
233	Q.	н	н	н	н	COOMe	н
234	Q	н	н	н	н	н	CI
235	Q	н	н	н	OCF3	н	н
236	Q	н	н	COOMe	н	н	н
237	Q	н	н	н	CF3	н	н
238	Q.,	н	н	н	Ме	н	н
239		н	н	н	F	н	н

240	Q	н	<b>н</b>	CI	н	н	н	
241		Н	н	н	ОМе	н	н	
242	Q	Н	н	н	COOMe	н	н	
243	Q	н	н	н	н	CI	н	
244	Q	н	н	н	н	COOMe	н	
245	Q	н	н	н	н	н	CI	
246	Q	н	н	н	OCF3	н	н	
247	Q	Н	н	COOMe	н	н	<b>H</b> .	
248	Q	н	н	н	CF3	н	н	
249	Q	н	н	н	Ме	н	н	
250	Q	н	н	н	F	н	н	
251	CI CI OH	н	н	н	н	н	COOMe	•
252	CIOH	н	н	н	н	F	н	

253	CIOH	н	н	<b>н</b>	н	н	F
254	СІОН	н	н	н	н	Ме	н
255	CI OH	н	н	н	н	н	Me
256	СІОН	н	н	ОМе	н	н	н
257	СІОН	н	н	н	н	OMe	н
258	СІОН	н	н	н	н	н	ОМе
259	CIOH	н	н	CF3	н	н	н
260	СІОН	н	н	н	н	CF3	н
261	СІОН	н	н	н	н	н	CF3
262	CI OH	н	н	он	н	н	н
263	СІОН	н	н	н	н	ОН	н
264	CI OH	н	н	н	н	н	он
265	CIOH	н	н	OCF3	н	н	н

266	СІОН	н	н	н	Н	OCF3	н
267	СІОН	н.	н	н	н	н	OCF3
268	CIOH	н	н	NO2	н	н .	н
269	CIOH	н	н	н	н	NO2	н
270	СІОН	н	н	н	н	н	NO2
271	CI CI OH	н	н	CN	н	н	Н
272	CI OH	н	н	н	н	CN	н
273	CIOH	н	н	н	н	н	CN
274	CIOH	н	н	Br	н	н	н
275	CI OH	н	н	н	Br	Н	н
276	CI OH	н	н	н	н	Br	н
277	CI OH	н	н	н	н	н	Br
278	СІОН	н	н	соон	н	н	н

279	CIOH	н	н	Н	соон	н	н
280	СІОН	н	н	н	н	соон	н
281	СІСІОН	н	н	н	н	н	соон
282	CIOH	Н	н	NHCOMe	н	Н	н
283	CI OH	н	н	н	NHCOMe	н	н .
284	CI OH	н	н	н	н	NHCOMe	н
285	CI OH	н	н .	н	н	н	NHCOMe
286	CIOH	<b>H</b>	н	SO2NH2	н	н	н
287	CIOH	н	н	н	SO2NH2	н	н
288	CIOH	Н	н	н	н	SO2NH2	. н
289	CI OH	н	н	н	н	н	SO2NH2
290	CI CI OH	н	н	Me	Ме	н	н
291	СІ ОН	н	н	Ме	н	Ме	н

292	CIOH	н	н	H	Ме	Ме	н
293	CIOH	н	<b>H</b>	F	F	н	н
294	CIOH	н	н	F	Н	F	н
295	CIOH	н	н	н	F	F	н
296	CIOH	н	н	CI	CI	н	н
297	CIOH	н	н	CI	н	Cl	н
298	CIOH	н	н	н	CI	CI	н
299	CIOH	Н	н	Ме	F	н	н
300	CIOH	н	н	Ме	CI	н	н
301	CI CI OH	н	н	Ме	он	н	н
302	CIOH	н	н	Ме	OMe	н	н
303	CI OH	н	н	F	Ме	н	н
304	CI CI OH	н	н	F	CI	н	н

				•			
305	CIOH	н	Н	F	он	н	н
306	CIOH	н	н	F	OMe	н	н
307	СІОН	н	н	CI	Me	Н	н
308	СІОН	н	н	CI	F	н	н
309	CIOH	н	н	CI	ОН	н	н
310	CIOH	н	н	CI	ОМе	н	н
311	СІСІОН	н	н	н	н	н	COOMe
312	сі	н	н	F	н	н	н
313	CI OH	н	н	н	н	F	н
314	CI OH	н	н	н	н	<b>н</b>	F
315	CI OH	н	н	Ме	н	н	н
316	CI	н	н	н	н	Ме	н
317	CI OH	н	н	н	н	н	Ме

318	CI OH	н	н	ОМе	н	н	н
319	CI OH	н	н	н	н	OMe	н
320	СІ	н	н	н	н	Н	OMe
321	СІОН	н	н	CF3	н	н	н
322	сі	н	н	н	н	CF3	н
323	CI OH	н	н	н	н	н	CF3
324	СІОН	н	н	ОН	н	н	н
325	СІ	н	н	н	он	н	н
326	CIOH	н	<b>H</b> .	н	н	ОН	н
327	CICH	н	н	н	н	н	ОН
328	CICOH	н	н	OCF3	н	н	н
329	СІ	н	H	н	н	OCF3	н
330	CI OH	н	н	н	н	н	ocf3

331	СІ	Н	н	NO2	н	Н	н
332	CIOH	н	н	н	NO2	н	н
333	сі	н	н	н	н	NO2	н
334	СІ	н	н	н	н	н	NO2
335	СІ	н	н	CN	н	н	н
336	СІ	н	н	н	CN	н	н
337	СІ	н	н	н	н	CN	н
338	СІ	н	н	н	н	н	CN
339	СІ	н	н	Br	н	н	н
340	CICOH	н	н	н	Br	н	н
341	CI OH	н	н	н	н	Br	н
342	CI OH	н	н	н	н	н	Br
343	CI COH CI COH CI COH	н	н	соон	н	н	н

344	CIOH	н	н	н	соон	н	н
345	CI OH	н	н	<b>H</b>	н	соон	н
346	СІСІ	н	н	н	н	. н	соон
347	CI OH	н	н	NHCOMe	н	н	н
348	CI OH	н	н	н	NHCOMe	н	н
349	CI OH	н	н	Н	н	NHCOMe	н
350	сі	н	н	н	н	н	NHCOMe
351	CI OH	н	н	SO2NH2	н	· н	н
352	CI OH	н	н	н	SO2NH2	н	н
353	CI OH	H	н	н	н	SO2NH2	н
354	СІ	н	н	н	н	н	SO2NH2
355	СІСОН	н	н	Me	Ме	н	Н
356	CI OH	н	н	Me	н	Ме	н

357	CIOH	н	н	Н	Ме	Me	н
358	CIOH	н	<b>H</b> .	F	F	н	н
359	CICH	н .	н	F	н	F	н
360	СІ	н	н	н	F	F	н
361	CIOH	н	н	CI	CI	н	н
362	CI OH	н	н	CI	н	CI	н
363	CIOH	н	н	н	CI	CI	н
364	СІСОН	н	н	Ме	F	н	н
365	CI OH	н	н	Ме	CI	н	н
366	CI OH	н	н	Me	ОН	н	н
367	CIOH	н	н	Me	ОМе	Н	н
368	ſ <b>~</b> Un	н	н	F	Ме	н	н
369 ·	CIOH	н	н	F	CI	н	н.

370	СІСІ	н	Н	F	ОН	н	н
371	CICH	н	н	F	OMe	н	н
372	CICH	н	н	CI	Ме	н	н
373	СІ	н	н	CI	F	н	н
374	СІСОН	н	н	CI	ОН	н	н
375	CIOH	н	н	CI	OMe	н	н
376		н	н	н	Н	н	СООМе
377		н	н	F	н	<b>н</b>	н
378	Q.	н	н	н	н	F	н
379	Q.	н	н	н	н	н	F
380	Q.	н	н	Ме	н	н	н
381	Q.	н	н	н	н	Мө	н
382	Q.	н	н	н	н	н	Me

383	Q.	н	н	ОМе	н	н	Н
384	Q.	н	н	н	н	ОМе	н
385	Q.	н	н	H	н	н	OMe
386		н	н	CF3	н	н	н
387	Q.	н	н	н	н	CF3	н
388	Q.	н	н	н	н	н	CF3
389	Q.	н	н	он	н	н	н
390	Q.	н	н	н	ОН	н	н
391	Q.,	н	н	н	н	он	н
392	Q.	н	н	н	н	н	ОН
393	Q.	н	н	OCF3	н	н	н
394	Q.,	н	н	н	н	OCF3	н
395	Q.,	н	н	н	н	н	OCF3

396	Q.	н	н	NO2	н	н	Н
397	Q.	н	Н	H	NO2	Н	н
398	Q	Н	н	н	н	NO2	н
399	Q	н	н	н	н	н .	NO2
400	Q.,	н	н	CN	н	н	н
401	Q.,	н	н	н	CN	н	н
402	Q.	н	н	н	н ,	CN	н
403		н	н	н	н	н	CN
404	Q.,	н	н	Br	н	н	н
405	. Q.	н	н	н	Br	н	н
406	Q	н	н	н	н	Br	н
407	Q.	н	н	н	н	н	Br
408		н	н	соон	н	н	н

409	Q.	н	н	Н	соон	Н	н
410	Q	н.	н	н	н	соон	н
411	Q	н	н	н	н	н.	соон
412	Q	н	н	NHCOMe	н	н	н
413		н	Н	н	NHCOMe	н	н
414	Q.	н	н	н	н	NHCOMe	н
415	Q.	н	н	Н	н	н	NHCOMe
416	Q	н	н	SO2NH2	Н	н	н
417	Q.,	н	н	н	SO2NH2	н	н
418	Q	н	н	н	н	SO2NH2	н
419	Q.	Н	н	н	Н	н	SO2NH2
420	Q.,	н	н	Ме	Ме	н	н
421		н	н	Ме	н	Ме	н

422	Q.	н	н	н	Ме	Ме	н
423	Q	н	н	F	F	н	н
424		н	н	F .	н	F	н
425	Q.	<b>н</b>	н	н	F	F	н
426	Q.	<b>H</b>	н	CI	CI	н	н
427	Q.,	н	н	CI	н	CI	н
428	Q.	H	н	н	CI	CI	н
429	Q.,	н	Н	Ме	F	н	н
430	Q	н	н	Ме	CI	н	н
431	Q	н	н	Ме	он	н	н
432	Q	н	н	Ме	ОМе	н	н
433	Q.	н	н	F	Ме	н	н
434	Q.	н	н	F	CI	н	н

435	Q.,	н	н	F	ОН	н	н
436	Q	н	н	F	OMe	н	н
437	Q.,	н	н	CI	Ме	н	н
438	Q.,	н	н	CI	F	н	н
439	Q.	н	Н	CI	ОН	. н	н
440	Q.	н	н	CI	OMe	н	н
441	Вг	н	Н	CI	н	н	н
442	Br OH	н	, н	н	ОМе	н	н
443	Br	н	н	Н	СООМе	н	н
444	Вг	н	н	н	н	CI	н
445	В	н	н	н	н	COOMe	н
446	Вг	н	н	н	н	н	CI
447	Br	н	н	н	OCF3	н	н

448	Вг	н	н	COOMe	н	н	н
449	Вг	н	н	н	CF3	н	н
450	Вг	н	н	н	Me	н	н
451	Вг	н	н	н :	F	н	н
452	Вг	н	н	н	он	н	н
453	Вг	н	н	н	NO2	н	н
454	Вг	н	н	н	F	F	н
455	Вг	Н	н	F	н	н	н
456	Вг	н	Н	Ме	н	н	н
457	Вг	н	н	н	CN	н	н
458	M eN	н	н	CI	н	н	н
459	M eN	н	н		ОМе	н	н
460	MeN.	н	н	н	COOMe	н	Н

461	M eN	н	н	н	н	CI	н
462	M eN	Н	Н	н	Н	COOMe	н
463	M eN	н	н	н	н	н	CI
464	M eN	н	<b>H</b>	н	OCF3	н	н
465	M eN	Н	н	COOMe	н	н	н
466	M eN	н	н	н	CF3	н	н
467	M eN	н	Н	н	Ме	н	н
468	M eN	н	н	н	F	н	н
469	M eN	н	н	н	ОН	н	н
470	M eN	н	н	н	NO2	<b>H</b>	н
471	M eN	н	н	н	F	F	н
472	M eN	н	н	F	н	н	н
473	M eN	н	н	Ме	н	н	н

474	M eN	н	н	н	CN	н	н
475	S.J.	н	н	CI	н	н	н
476	S.J.	н	н	н	ОМе	н	н
477	S	н	н	н	СООМе	н	н
478	S	н	н	н	н	CI	н
479	S.	н	н	н	н	COOMe	н
480	\$	н	н	н	н	н	CI
481	\$	н	н	н	OCF3	н	н
482	S	н	н	COOMe	н	н	н
483	\$	н	н	н	CF3	н	н
484	\$	н	н	н	Me	н	н
485	\$	н	н	Н	F	Н	н
486	\$	н	н	н	он	н	н

487	\$	н	н	н	NO2	н	н
488	S.	н	н	н	F	F	H
489	\$	н	н	F	н	н	н
490	S.	н	Н	Me	н	н	н
491	S.	н	н	н	CN	н ,	н
492	CI OH	н	Ме	<b>H</b>	н	н	н
493	СІСІОН	н	Ме	H	н	н	н
494		н	Ме	н	н	н	н
495	Q	н	Ме	н	н	Н	н
496	СІ БОН	н	н	н	н	н	<b>H</b>
497	СІ	н	н	F	н	н	н
498	СІ	н	н	CI	н	Н	н
499	СІ БОН	н	н	Ме	н	н	н

500	СІ	Н	н	Et	н	н	н
501	СІ	н	н	ОМе	н	н	н
502	СІ	Н	н	OEt	н	н	. н
503	СІ	Н	· н	CF3	н	н	н
504	CI	н	н	OCF3	н	н	н
505	СІ	н	н	NO2	н	н	н
506	CI	н	н	NH2	н	н	н
507	СІСОН	н	н	ОН	н	н	н
508	СІ	н	н	CN	н	н	н
509	СІ	н	н	COMe	н	н	н
510	СІ	н	н	COOMe	н	н	н
511	СІ	н	н	н	F	н	н
512	СІ	н	н	н	Ci	н	н

513	СІСОН	н	Н	н	Me	н	н
514	СІ	н	н	н	Et	н	Н
515	СІ	н	Н	н	ОМе	н	н
516	СІ	н	. н	н	OEt	н	н
517	СІ	н	н	н	CF3	н	Н
518	СІ	н	н	н	OCF3	н	н
519	СІ	н	н	н	NO2	н	н
520	СІ	н	н	· н	NH2	н	н
521	СІ	н	Н	н	он	н	н
522	СІ	н	н	н	CN	н	н
523	СІ	н	н	н	СОМе	н	н
524	СІ	н	н	н	COOMe	н	н
525	СІ	н	н	F	F	н	н

526	СІ	н	н	F	CI	н	н
527	СІ БОН	Н	н	F	Me	н	н
528	СІ ОН	н	н	F	Et	н	н
529	СІ	H	н	F	ОМе	н	н
530	СІ	н	н	F	OEt	Н	н
531	СІ	н	н	F	CF3	н	Н
532	СІ	н	н	F	OCF3	н	н
533	СІ	н	н	Cl	F	H	н
534	СІ	н	н	CI	Cl	н	н
535	CI	н	н	CI	Ме	н	н
536	СІ ОН	н	н	CI	Et	н	н
537	СІ БОН	н	н	CI	ОМе	н	н
538	СІ	н	н	CI	OEt	н	н

539	СІ	н	н	CI	CF3	н	н
540	СІ	н	н	CI	OCF3	н	н
541	СІСІС	н	н	Ме	F	н	н
542	СІ	н	н	Ме	CI	н	н
543	СІ	н	н	Ме	Ме	н	н
544	СІ ОН	н	н	Ме	Et	н	н
<b>545</b>	СІ	н	н	Me	ОМе	н	н
546	СІ	н	н	Ме	OEt	н	н
547	СІ	н	н	Ме	CF3	н	н
548	CICHOH	н	н	Ме	OCF3	н	н
549	СІ БОН	н	н	OMe	F	н	н
550	СІСІС	н	н	ОМе	CI	н	н
551	СІ	н	н	ОМе	Me	н	н

	F	•					
552	CIOH	н	<b>H</b> .	OMe	Et	Н	н
553	СІ ОН	н	Н	ОМе	OMe	н	н
554	СІ	н	н	OMe	OEt	Н	н
555	СІ	н	н	ОМе	CF3	н	н
556	СІ	н	н	ОМе	OCF3	н	н
557	OMe	Н	н '	н	н	н	н
558	OMe	н	н	F	Н	н	н
559	OMe	н	Н	CI	н	н	н
560	OMe	н	н	Ме	н	н	н
561	OMe	н	н	Et	н	н	н
562	CIOMe	н	н	OMe	. н	н	н
563	OMe	н	н	Н	F	н	н
564	OMe	н	н	н	CI	н	н

	QMe						
565	CI	H	н	н	Ме	н	Н
566	OMe	н	н	н	Et	Н	н
567	OMe OH	н	н	н	OMe	н	н
568	OMe OH	н	н	F	F	н	н
569	OMe	Н	н	F	CI	н	н
570	OMe	н	н	F	Me	н	н
571	OMe	н	н	F	Et	н	н
572	OMe	н	н	F	ОМе	н	н
573	OMe	н	н	CI	F	н	н
574	OMeOH	н	н	CI	CI	н	н
575	OMe	н	н	CI	Ме	н	н
576	OMe OH CI	н	н	CI	Et	н	н
577	OMe OH	Н	н	CI	ОМе	н	н

578	OMe	н	н	Me	F	н	<b>H</b> .
579	OMe	н	н	Ме	CI	н	н
580	OMe	н	н	Ме	Ме	н	н
581	OMe	н	н	Ме	Et	н	н
582	OMe	н	н	Me	ОМе	н	н
583	OMe	н	н	Et	F	н	н
584	OMe	н	H	Et	CI	Н	н
585	OMe	н	н	Et	Me	<b>H</b> .	Н
586	OMe	н	н	Et	Et	н	н
587	OMe	н	н	Et	OMe	н	н
588	OMe	н	н	ОМе	F	Н	н
589	OMe	н	н	ОМе	CI	н	Н
590	OMe	н	н	ОМе	Ме	н	н

591	OMe OH	н	н	OMe	Et	н	н
592	OMe OH CI	н	н	ОМе	OMe	н	н
593	СІОН	н	н	Me	CN	н	н
594	CIOH	н	н	н	CN	Me	н
595	CIOH	н	н	H	CN	н	Ме
596	CIOH	н	н	Мө	Br	Н	н
<b>597</b>	CIOH	н	н	Н	Br	Ме	н
598	CIOH	н	н	н	Br	н	Ме
599	CIOH	н	н	Ме	н	F	н
600	CIOH	н	н	Ме	н	н	F
601	CIOH	н	н	F	н	Me	н
602	CIOH	н	н	F	н	н	Ме
603	СІ ОН	н	н	Me	н	н	. Me

604	CIOH	Н	н	н	OMe ·	Me	н
605	CIOH	н	н	н	ОН	Me	Н
606	CIOH	н	н	NH2	н	Н	н
607	CIOH	н	н	н	NH2	н	н
608	CIOH	н	н	н	н	NH2	н
609	CIOH	<b>H</b>	н	Et	н	н	н
610	СІОН	н	н	н	Et	н	н
611	CIOH	н	н	н	н	Et	н
612	CIOH	н	н	iPr	Н	н	н
613	CIOH	н	н	н	iPr	н	Н
614	CIOH	н	н	<sub>.</sub> н	н	iPr	н
615	CIOH	н	н	Ph	н	н	н
616	CIOH	н	н	н	Ph	н	н

617	CIOH	н	н	н	н	Ph	н
618	CIOH	н	н	OEt	н	н	н
619	CIOH	н	н	н	OEt	н	н
620	CIOH	н	н	н	н	OEt	н
621	CIOH	Н	н	OiPr	н	н	н
622	CIOH	н	н	н	OiPr	н	н
623	CIOH	н	н	н	н	OiPr	н
624	CIOH	н	н	OPh	H	н	н
625	CIOH	н	<b>H</b>	н	OPh	н	н
626	CIOH	н	н	н	н	OPh	н
627	CIOH	н	н	SO2Me	н	н	н
628	CIOH	н	н	н	SO2Me	н	н
629	CI CI OH	н	н	н	н	SO2Me	н

630	СІОН	• н	н	SO2Et	н	Н	н
631	CI CI OH	н	Н	н	SO2Et	н	н
632	CIOH	н	н	н	н	SO2Et	н
633	СІОН	н	н	SO2iPr	н	н	н
634	CI OH	н	н	н	SO2iPr	н	н
635	CIOH	н	н	н	н	SO2iPr	н
636	CIOH	н	н	SO2Ph	н	н	н
637	CIOH	н	н	н	SO2Ph	Н	Н
·638	CIOH	н	н	н	н	SO2Ph	Н
639	CIOH	н	н	SO2Me	Ме	н	н
640	CIOH	н	н	SO2Me	н	Me	н
641	CIOH	н	н	Ме	SO2Me	Н	н
642	CIOH	н	н	н	SO2Me	Me	н

643	CIOH	н	н	SO2Me	F	н	н
644	CI CI OH	н	Н	SO2Me	н	F	н
645	CIOH	Н	н	F	SO2Me	H	н
646	CIOH	н	Н	н	SO2Me	F	н
647	CIOH	н	н	SO2NMe2	н	н .	н
648	CIOH	н	н	н	SO2NMe2	н	н
649	CI OH	Н	н	<b>H</b>	н	SO2NMe2	н
650	CIOH	Н	н	SO2Et2	н	н	н
651	CIOH	Н	н	н	SO2Et2	н	н
652	CI CI OH	н	н	н	н	SO2Et2	н
653	CIOH	н	н	SO2NMe2	Me	н	н
654	CIOH	н	Н	SO2NMe2	н	Ме	н
655	CI OH	н	н	Ме	SO2NMe2	н	н

			,,,				
656	CIOH	н	н	н	SO2NMe2	Ме	н
657	CIOH	н	н	SO2NMe2	F	н	н
658	СІОН	н	н	SO2NMe2	н	F	н
659	CIOH	н	н	F	SO2NMe2	н	н
660	CIOH	н	н	н	SO2NMe2	F	н
661	CIOH	н	н	NHCOEt	н	н	н
662	CIOH	н	н	н	NHCOEt	н	н
663	CIOH	н .	н	н		NHCOEt	н
<b>664</b> .	CIOH	н	н	NHCOiPr	н	н	н
665	CI OH	н	н	н	NHCOiPr	н	н
666	CI OH	н	н	н	н	NHCOiPr	н
667	СІ	н	н	Ме	CN	н	н
668	СІ	н	н	н	CN	Me	н

			• • •				
669	СІ	н	н	н	CN	н	Me
670	СІ	н	н	Мө	Br	н	н
671	СІ	н	н	н	Br	Ме	н
672	СІ	н	Н	н	Br	н	Ме
673	СІ	н	н	Ме	н	F	н
674	СІ	н	н	Ме	н	н	F
675	СІ	н	н	F	н	Ме	н
676	СІ	н	н .	F	н	н	Ме
677	СІ	н	н	Me	н	н	Ме
678	CICHOH	н	н	н	ОМе	Ме	н
679	CI	н	н	н	ОН	Ме	н
680	СІ	н	н	NH2	н	н	н
681	CI	н	н	н	NH2	н	н

682	СІ	н	н	н	н	NH2	н
683	СІ	н	н	Et	н	н	н
684	СІ	Н	н	н	Et	н	н
685	СІ	н	н	Н	н	Et	Н
686	СІ	н	н	iPr	н	н .	н
687	СІСОН	н	н	н	iPr	н	н
688	СІ	н	н	н	н	iPr	н
689	СІ	н	н	Ph	н	н	н
690	СІ	н	н	н	Ph	н	H
691	СІ	н	н	н	н	Ph	н
692	СІ	н	н	OEt	н	н	н
693	СІ	н	н	н	OEt	н	н
694	СІ	н	н	н	н	OEt	н

695	СІ	н	н	OiPr	н .	н	н
696	СІ	н	н	н	OiPr	н	н
697	СІ	н	, н	н	н	OiPr	н
698	СІ	Н	н	OPh	н	Н	н
699	СІ	н	н	н	OPh ·	н	н
700	CI	Н	н	н	н	OPh	н
701	СІ	Н	н	SO2Me	н	н	Н
702	СІ	н	н	н	SO2Me	н	н
703	СІ	н	н	н	н	SO2Me	н
704	СІ	н	н	SO2Et	н	н	н
705	СІ	н	н	н	SO2Et	н	н
708	СІ	н	н	н	н	SO2Et	н
707	СІ	н	н	SO2iPr	н	н	н

708	СІ	,	н	н	SO2iPr	н	н
709	СІ	Н	н	н	н	S02iPr	н
710	CI	Н	н	SO2Ph	н	н	н
711	СІ	н	н	н .	SO2Ph	н	н
712	СІ	• н	н	н	н	SO2Ph	н
713	СІ	н	н	SO2Me	Ме	н	н
714	СІ	н	н	SO2Me	н	Ме	н
715	СІ	. н	н	Мө	SO2Me	н	н
716	СІ	н	н	н	SO2Me	Me	н
717	СІ	н	н	SO2Me	F	н	н
718	СІ	н	н	SO2Me	н	F	н
719	СІ	н	н	F	SO2Me	н	н
720	CI	<b>H</b> ,	н	н	SO2Me	F	н

721	СІ	н	н	SO2NMe2	н	н	н
722	СІ	н	н	н	SO2NMe2	н	н
723	CI	н	н	Н	н	SO2NMe2	н
724	CI	н	н	SO2Et2	н	н	н
725	CICOH	н	н	н	SO2Et2	н	н
726	СІ	н	н	н	н	SO2Et2	н
727	CICHOH	н	н	SO2NMe2	Me	Н	н
728	СІСІС	н	н	SO2NMe2	н	Me	н
729	СІ	н	н	Ме	SO2NMe2	н	н
730	СІ	н	н	н	SO2NMe2	Me	н
731	СІ	н	н	SO2NMe2	. F	н	н
732	СІ	н	н	SO2NMe2	? н	F	н
733	СІ	н	н	F	SO2NMe2	. н	н

734	СІ	н	н	н	SO2NMe2	F	н
735	СІСОН	<b>H</b> .	н	NHCOEt	н	н	н
736	СІ	H .	н	н	NHCOEt	н	н
737	СІ	н	н	Н	н	NHCOEt	н
738	СІ	н	н	NHCOiPr	н	н	н
739	СІ	н	н	н	NHCOiPr	н	н
740	СІ	н	н	н	н	NHCOiPr	н
741	CIOH	н	н	F	н	н .	F
742	F OH	н	н	F	н	н	F

$$X = -SO2-$$
,  $q = 0$ ,  $r = 0$ ,  $Y = -(R4)C=C(R5)-$ 

表 3

cmpnd NO.3—	R1-(CH2)p	R2	R3	R4	R5	R6	R7
1	CIOH	Н	н	Н	н	Н	н
2	Q.	н	н	н	н	н	н
3	сі Сі	н	н	н	н	н	н
4	Q	н	н	н	н	н	н
5	CIOH	н	н	н	Ме	н	н
6	СІ	н	н	н	Me	н	н
7	Q	н	н	н	Ме	н	н
8	СІОН	н	н	н	F	н	н
9	CI OH	н	Н	н	F	н	н
10	Q.,	н	н	н	F	н	н

11	CI	н	Н	Н	н	н	н
12	CI	н	н	н	CI	н	н
13	<b>Q</b>	н	Н	Н	CI	Н	н
14	Ç.	н	н	H	н	н	н
15	cl C.	н	н	н	н	Н	Н
16	CI	н	н	н	Н	н	н
17		н	н	н	н	н	Н
18	MeO	н	н	н	н	н	н
19	Вг	н	н	н	н	н	н
20	Br	н	н	н	н	н	н
21	Br F	н	н	н	н	н	н
22	Br	н	н	н	н	н	н

23	CI.	н	н	н	н	н	н
24	M eN	н	Н	н	Н	н	н
25	S	н	н	н	н	н	Н
26	МеО	н	н	н	н	н	н
27	O <sub>2</sub> N	н	н	н	н	, н	н
28	MeO	н	н	н	н	н	н
29		н	н	н	н	н	н
30	Q.,	н	н	н	н	н	н
31		н	н	н	н	н	н
32	CI OH	н	н	н	н	н	н
33	NC OH	н	н	н	н	н	н
34	F <sub>3</sub> C OH	н	н	н	н	н	н

35	CI CF3 OH	н	н	н	н	н	н
36	СІОН	н	Н	н	н	н	н
37		н	н	н	н	н	н
38	F	н	н	Н	н	н	н
39	Br	н	Н	н	н	<b>H</b>	н
40	F <sub>3</sub> C.	н	Н	н	н	н	н
41	но	н	н	н	н	н	Н
42	NC.	н	н	н	н	н	н
43	0 <sub>2</sub>	н	н	н	н	н	н
44	Месос	н	н	н	н	н	н
45	-N-C	н	н	н	н	Н	н
46	MeO C	н	н	н	н	н	н

47		н	н	. н	н	н	н
48	~°C.	н .	<b>н</b>	н	н	н	н
49	Y°C.	н	Н	н	н	н	н
50	LQ.	н	Н	н	н	н	н
51		н	Н	н	н	н	н
52	O°Q.	н	н	н	н	н	н
53	QQ.	н	н	н	н	н	н
54		н	н	н	н	н	н
55	<b>S</b>	н	н	н	н	н	н
56		н	н	н	н	н	н
57	Q	н	н	н	н	н	н
58	ÇN.	н	н	н	н	н	Н

59	CI	н	н	н	н	н	н
60		Н	Н	н	н	Н	н
61		н	н	н	н	н	н
62		н	н	н	Н	н	н
63	F <sub>3</sub> C	н	н	н	н	н	н
64	CI F	н	н	н	н	н	Н
65	CI	н	н	н	н	н	Н
66		н	н	н	н	н	н
67	F <sub>3</sub> C	н	н	н	н	н	н
68	F <sub>3</sub> CO	н	н	н	н	н	н
69	MeO F.	н	н	н	н	н	Н
70	MeO F	Н	н	н	н	н	н

71	02N	н	н	н	н	н	н
72	F √	н	н	Н	н	н	Н
73	F <sub>3</sub> CS	н	н	н	Н	Н	н
74	CI CI	н	Н	Н	Н	н	н
75	F <sub>2</sub> HC	н	Н	н	н	н	н
76	Ç,	н	н	н	н	н	н
77	NO <sub>2</sub>	н	н	н	Н	н	н
78	СООН	н	н	н	н	н	н
79	Br	н	н	н	н	н	н
80	<u></u>	н	Н	н	н	н	н
81	F.	н	н	н	н	н	н
82	· CI CI	н	н	н	Н	н	н

83	NC .	<b>H</b>	н	н	н	н	н
84	но	Н	н	н	н	н	н
85	EtO	Н	н	н	н	н	н
86	CI O₂N	н	н	н	н	н	н
87	CICI	н	Н	н	н	н	н
88	F F	н	Н	н	н	Ĥ	н
89	Br	н	Н	н	н	н	н
90	F <sub>3</sub> C	н	н	н	н	н	н
91	CI	н	Н	н	н	н	н
92	F F	н	Н	н	н	н	н
93	MeO Br	н	н	н	H	н	н
94	MeO OEt	н	н	н	н	н	Н

105	HO O₂N	н	н	н	н	н	н
106	OMe OMe	н	н	н	н	н	н
107	EtO OEt	н	н	Н	н	н	н
108	но	н	н	н	н	Н	н
109	MeO OMe	н	н	н	н	н	н
110	Q	н	н	н	н	н	н
111	МеОСООН	н	н	Н	н	<b>н</b> ,	н
112	CI NO <sub>2</sub>	н	н	н	н	н	н
113	но	н	н	н	н	н	н
114	MeO	н	н	н	н	н	н
115	Eto	н	н	н	н	н	н
116	ноос	н	н	н	н	н	н

117	но	н	н	. н	н	н	н
118	O <sub>2</sub> N HO	н	н	н	н	н	н
119	F <sub>3</sub> C	H	Н	н	н	н	н
120	OMe NO <sub>2</sub>	н	Н	н	Н	н	н
121	<b>Q</b>	н	Н	н	н	н	н
122	M eN	н	н	н	Н	н	н
123	OM e	н	н	н	н	н	н
124	Q.L.	н	н	н	н	н	н
125	M eN	Н	н	н	н	н	н
126	~	н	н	н	н	н	н
127	ОН	н	н	н	н	н	н .
128	OAc.	н	н	н	н	н	н

129	ОН	н	н	н	н	н	н
130	NH.	н	н	. н	н	н	н
131	<b>1</b>	н	н	н	н	н	н
132	M eN	н	н	н	н	н	Н
133	<b>\$</b>	н	н	н	н	н	н
134		н	н	н	Н	н	н
135	OEt.	н	н	н	н	н	н
136	HN	Н	н	н	н	н	н
137	M eN	н	н	н	н	н	н
138	MeN S	н	н	н	н	н	н
139 ·	M eN	н	н	н	н	н	Н
140	MeN	н	н	н	н	н	н

152	Br	н	н,	н	н	н	н
153	-N	н	н	н	н	н	н
154		н	н	н	н	н	н
155	<b>7°</b> 00	н	н	н	н	н	н
156	<b>CD</b>	Н	н	н	Н	н	н
157		н	н	н	н	н	н
158		н	н	н	н	Н	н
159		Н	н	н	н	н	н
160		н	н	н	н	н	н
161	Q	н	н	н	н	н	н
162		н	н	н	н	н	н
163	I OH	н	н	н	н	н	н

164	O <sub>2</sub> N OH	н	Н	н	н	н	н
165	СІ	н	н	н	Н	н	Н
166	ОН	н	Н	н	н	н	Н
167	<b>Р</b> ОН	н	н	н	н	н	н
168	ОН	н	н	н	н	H	н
169	CI NH <sub>2</sub>	н	н	н	н	н	н
170	ОН	н	н	н	н	н	н
171	NH <sub>2</sub>	н	н	н	н	н	н
172	→ OH	н	н	н	н	н	н
173	F <sub>3</sub> CO OH	н	н	н	н	н	н
174	ОМе	н	н	н	н	н	н
175	он он	н	н	н	н	н	н

176	OEt OH	н	н	н	н	н	н
177	СООН	н	н	н	н	<b>H</b> .	н
178	ОН	н	н	н	н	н	Н
179		н	н	Н	н	н	н
180	C.	н	н	н	н	н	н
181		н	н	н	н	н	Н
182	₹ <mark>N</mark>	н	н	н	н	н	н
183	HN. <sub>N</sub>	н	н	н	н	н	н
184		Н	н	н	н	н	н
185		н	н	н	н	н	н
186	ci Col	н	н	н	н	н	н
187	(s)	н	н	н	н	н	н

188	The second secon	н	Н	н ·	н	н	н
189	N.	н	н	н	н	н	н
190	(N)	н	н	н	н	н	н
191		н	н	н	н	н	н
192	СІ	н	н	н	CI	Н	н
193	O <sub>2</sub> N OH	н	н	н	CI	н	н
194	МеО	н	н	н	Cl	н	н
195	CI	н	н	н	CI	н	н
196	Br	н	н	н	CI	н	н
197	O₂N	н	н	н	CI	н	н
198	MeO	н	н	н	CI	н	н
199	CIOH	н	н	н	CI	н	н

200	M eN	н	н	н	CI	н	н
201	S	н	н	H	CI	н	н
202	Q.,	н	Н	н	Cl	н	н
203		н	н	н	CI	H	н
204	Вг	н	н	Н	CI	н	н
205	Q	н	Н	Н	CI	н	н
206		н	Н	н	CI	н	н
207	CIOH	н	н	CI	Н	н	н
208	CIOH	н	н	н	ОМе	н	н
209	CI OH	н	н	Н	COOMe	н	н
210	CIOH	н	н	н	н	CI	н
211	CI CI OH	н	н	н	н	COOMe	н

212	СІ СІ ОН	н	Н	н	н	н	CI
213	СІОН	н	н	н	OCF3	н	н
214	СІОН	н	н	COOMe	н	н	н
215	CI CI OH	н	н	н	CF3	н	н
216	СІОН	н	н	н	он	н	н
217	СІОН	н	н	н	NO2	н	н
218	СІОН	н	н	н	F	F	н
219	CIOH	н	н	F	н	н	н
220	CIOH	н	н	Ме	н	Н.	н
221	СІ СІ ОН	н	н	н	CN	Н	н
222	CI OH	н	н	CI	н	н	н
223	СІ	н	н	н	OMe	н	н

224	СІСОН	н	н	н	COOMe	н	н
225	СІ	н	н	н	н	CI	н
226	СІСІ	н	н	н	н	COOMe	н
227	СІСІ	Ĥ	н	н	н	н	CI
228	СІ	н	н	н	OCF3	н	н
229	СІСІ	н	н	СООМе	н	н	н
230	СІ	н	н	н	CF3	н	н
231	СІ	н	н	н	он	н	н
232	СІ	н	н	н	NO2	н	н
233	CICH	н	н	н	F	F	н
234	CICH	н	н	F	н	н	н
235	СІСОН	н	н	Ме	н	н	н

236	CICH	н	Н	н	CN	: H	н
237		н	н	CI	<b>H</b>	н	н
238		н	н	н	ОМе	н	н
239	Q.	• н	н	~ Н	COOMe	н	н
240	Q.	н	н	н	н	CI	н
241	Q.	н	н	н	н	СООМе	н
242	Q.	н	н	н	н	н	CI
243	Q	н	н	н	OCF3	н	н
244	Q.	н	н	COOMe	н	н	н
245	Q.	н	н	н	CF3	н	н
246	<u>Q</u>	Н	н	н	он	н .	н
247	Q	н	н	н	NO2	н	н

248	Q	н	н	н	F .	F	н
249	Q	н	н	F	н	н	н
250	Q	н	<b>Н</b>	Мв	н	н	н
251	Q.,	н	н	н	CN	н	н
252		н	н	CI	н	н	н
253	Q	н	н	н	OMe	н	н
254		н	н	н	COOMe	н	н
255	Q	н	н	н	н	CI	н
256	Q	н	н	Н	н	COOMe	н
257	Q	н	н	н	н	н	CI
<b>258</b>	Q	н	н	н	OCF3	н	н
259	Q	н	н	COOMe	н	н	н

260	Q	н	н	н	CF3	н	н
261	Q	н	н	н	Me	н	н
262	Q	н	н	н	F	н	н
263	Q	н	н	н	он	н	н
264	Q	н	Н	н	NO2	н	н
265	Q	н	н	н	, F	F	н
266	Q	н	н	F	н	н	н
267	Q	н	н	Me	н	н	н
268	Q	Н	н	н	CN	н	н
269	СІОН	н	н		н	н	COOMe
270	CI OH CI OH	н	н	Н	н	F	н
271	СІОН	н	н	н	н	н	F

272	СІОН	Н	н	н	н	Me	• Н
273	CIOH	н	н	н	н	н	Me
274	CIOH	н	н	ОМе	н	н	н
275	CIOH	н	н	н	Н	OMe	н
276	CI CI OH	н	н	н	н	н	ОМе
277	СІОН	н	н	CF3	н	н	н
278	CI OH	н	н	н	н	CF3	н
279	СІОН	н	н	н	н	н	CF3
280	CIOH	н	Н	ОН	н	н	н
281	СІОН	н	н	н	н	он	Н
282	CI OH CI OH CI OH CI OH	н	н	н	н	н	ОН
283	CIOH	н	н	OCF3	н	н	н

284	CIOH	н	н	н	н	OCF3	н
285	CIOH	н	н .	н	н	н	OCF3
286	CIOH	н	н	NO2	н	н	Н
287	CIOH	н	Н	н	н	NO2	н
288	CIOH	н	н	н	н	Н	NO2
289	СІОН	н	н	CN	н	н	Н
290	СІ ОН	н	н	н	Н	CN	н
291	CI OH	н	н	н	н	н	CN
292	CIOH	н	н	Br	н	н	н
293	СІОН	н	Н	н	Br	н	н
294	СІ ОН	н	н	н	н	Br	н
295	CI CI OH	н	н	н	н	н	Br

296	СІСІОН	н	Н	соон	н	н	н
297	СІОН	н	н	н	соон	Н	н
298	СІОН	H.	н	н	н	СООН	н
299	CIOH	н	н	н	н	H	соон
300	CIOH	н	Н	NHCOMe	н	Н	н
301	СІОН	н	н	н	NHCOMe	н	н
302	СІОН	н	н	н	,	NHCOMe	н
303	СІОН	н	н	н	н	н	NHCOMe
304	СІОН	н	н	SO2NH2	н	н	н
305	CI CI OH	н	н	н	SO2NH2	н	н
306	CIOH	н	н	н	н	SO2NH2	: н
307	СІ СІ ОН	н	н	н	н	н	SO2NH2

308	СІ ОН	н	н	Me	Ме	н	н
309	СІСІОН	н	н	Ме	н	Ме	н
310	CIOH	Н	н	н	Me	Ме	н
311	CIOH	Н	н	F	F	н	н
312	CIOH	н	н	F	н	F	н
313	СІОН	н	н	н	F	F	н
314	CIOH	н	н	CI	CI	н	н
315	CIOH	н	н	CI	н	CI	н
316	CIOH	н	н	н	CI	CI	н
317	CIOH	н	н	Ме	F	н	н
318	CI	н	н	Me	CI	н	н
319	CIOH	н	н	Me	он	н	н

320	CICIOH	н	н	Ме	ОМе	Н	н
321	СІСІОН	н	н	F	Me	н	н
322	СІОН	н	Н	F	CI	н	н
323	СІОН	Н	н	F	ОН	н	н
324	CIOH	н	н	F	ОМе	н	н
325	CIOH	н	н	CI	Ме	н	н
326	CIOH	н	н	CI	F	н	Н
327	CIOH	н	н	CI	он	н	н
328	CI OH	н	Н	CI	ОМе	н	н
329	СІ	н	н	н	н	н	COOMe
330	CI OH	н	н	н	н	F	н
331	СІ	н	н	н	н	н	F

332	CI OH	н	Н	н	н	Me	н
333	СІОН	н	Н	н	н	н	Me
334	СІОН	н	н	ОМе	н	н	н
335	СІ	н	н	н	н	OMe	н
336	CIOH	н	н	н	н	н	OMe
337	CIOH	н	н	CF3	н	н	Н
338	CIOH	н	н	н	н	CF3	н
339	CIOH	н	н	н	н	н	CF3
340	CIOH	н	н	ОН	н	н	н
341	СІ	н	н	. н	н	он	Н
342	СІСТОН	н	н	н	н	н	ОН
343	CI OH	н	н	OCF3	н	Н	н

344	CIOH	н	Н	н	н	OCF3	н
345	СІ	Н	н	н	н	н	OCF3
346	CIOH	н	н	NO2	н	н	н
347	CI OH	н	н	н	н	NO2	н
348	СІСІОН	н	н	н	н	н	NO2
349	СІ	н	н	CN	н	н	н
350	СІ	н	н	н	н	CN	н
351	СІСІ	н	н	н	н	н	CN
352	CI OH	н	н	Br	н	н	н
353	CI OH	н	н	Н	Br	н	Н
354	CIOH	н	н	н	н	Br	н
355	CIOH	н	н	н	н	н	Br

356	CI OH	н	Н	СООН	н	н	н
357	CIOH	н	Н	н	соон	н	н
358	СІОН	н	н	н	н	соон	н
359	CIOH	н	н	н	н	н	СООН
360	СІ	н	н	NHCOMe	н	н	н
361	CIOH	н	н	н	NHCOMe	Н	н
362	CI OH	н	н	н	н	NHCOMe	н
363	CIOH	н	н	н	н	н	NHCOMe
364	CIOH	н	н	SO2NH2	н	н	н
365	CI OH	н	н	н	SO2NH2	н	н
366	CI OH	н	н	н	н	SO2NH2	: н
367	CI	н	н	н	н	н	SO2NH2

368	CIOH	н	н	Ме	Ме	Н	Н
369	СІ	н	н	Me	н	Ме	н
370	СІСІ	н	н	н	Мө	Me	н
371	сі Он	Н .	Н	F	F	н	н
372	СІОН	н	н	F	н	F	н
373	CIOH	н	н	н	F	F	н
374	СІ	н	н	CI	CI	н	. н
375	CI OH	н	н	CI	н	CI	н
376	CICH	н	н	н	CI	CI	н
377	CIOH	н	н	Ме	F	н	н
378	CIOH	н	н	Me	CI	н	н
379	CI OH	н	н	Ме	он	н	н

380	CIOH	н	н	Ме	OMe	н	н
381	CI OH	н	н	F	Me	н	н
382	CI OH	н	н	F	CI	н	н
383	CI OH	Н	н	F	он	н	н
384	СІ	н	н	F	OMe	н	Н
385	СІ	н	н	CI	Ме	н	н
386	СІ	н	н	CI	F	н	н
387	СІСОН	н	н	CI	он	н	н
388	CIOH	н	н	CI	OMe	н	Н
389	Q.,	Н	Н	н	н	н	COOMe
390	Q	н	н	н	н	F	Н
391	Q	н	н	н	н	н	F

392	Q.	Н	н	н	н	Me	н
393	Q.	н	н	н	н	н	Мө
394	Q	н	н	ОМе	н	н	н
395	Q.	н	Н	н	н	OMe	н
396	Q	н	н	н	н	Н	ОМе
397	Q	н	н	CF3	н	н	н
398	Q	н	н	н	н	CF3	. н
399	Q.	н	н	н	н	н	CF3
400	Q.	н	н	ОН	н	н	н
401	Q	н	н	н	н	ОН	н
402	<b>Q</b>	H .	н	н .	н	н	он
403	Q.	н	н	OCF3	н	н	н

404	Q.,	Ĥ	н	<b>H</b> .	н	OCF3	Н
405	Q	н	н	н	н	н	OCF3
406		н	н	NO2	н	н	н
407	<b>Q</b>	н	н	н	н	NO2	н
408	Q.	н	н	н	н	н	NO2
409		н	н	CN	н	н	н
410	Q.	н	н	н	н	CN	Н
411	Q.,	н	Н	н	н	н	CN
412	Q	н	н	Br	н	н	н
413	Q	Н	н	н	Br	н	н
414	Q	н	Н	н	н	Br	н
415	Q	н	н	н	н	н	Br

416		н	н	соон	н	н	н
417	<b>Q</b>	н	Н	н	соон	н	н
418	Q	н	н	н	н	соон	н
419		н	н	н	н	н	соон
420	Q	н	Н	NHCOMe	н	н	н
421		н	н	н	NHCOMe	н	н
422		н	н	н	н	NHCOMe	н
423	Q.	Н	н	н	н	н	NHCOMe
424	Q.	н	н	SO2NH2	: н	н	н
425	Q	н	н	н	SO2NH2	н	н
426	Q	н	н	н	н	SO2NH2	н
427	Q	н	н	н	н	н	SO2NH2

	<b>◇</b> .						
428	C.	н	н	Me	Me	н	н
429	Q.	н	н	Me	н	Ме	н
430	Q	н	н	н	Ме	Ме	н
431	Q.,	н	н	F	F	н	н
432	Q	н	н	F	н	F	н
433	Q.	н	н	н	F	F	н
434	Q	н	н	CI	CI	н	н
435	Q	н	н	CI	н	CI	н
436	Q	н	н	н	CI	CI	н
437	Q	н	н	Ме	F	н	н
438	Q.	н	н	Me	CI	н	н
439	Q.	н	н	Мө	он	н	н

440	Q	Н	н	Ме	ОМе	н	н
441	Q	н	н	F	Ме	н	н
442	Q	н	Н	F	CI	н	н
443	Q	н	н	F	ОН	н	н
444	Q	н	н	F	ОМе	н	н
445	Q.	н	н	CI	Ме	н	н
446		н	н	CI	F	н	н
447	Q	н	н	CI	он	. <b>H</b>	н
448	Q	н	н	CI	ОМе	н	н
449	Вг	н	н	CI	н	Н	н
450	Вг	н	н	н	OMe	н	Н
451	Вг	н	н	Н	COOMe	н	н

452	Вг	н	н	н	н	CI	н
453	Вг	н	н	н	н	COOMe	н
454	Вг	н	н	н	н	н	Cl
455	Вг	н	н	н	OCF3	н	н
456	Вг	н	н	COOMe	н	н	н
457	Вг	н .	н	н	CF3	н	н <sub>.</sub>
458	Вг	н	н	н	Ме	н	н
<b>4</b> 59	Вг	н	н	н	F	н	н
460	Вг	н	н	н	он	н	н
461	Вг	н	н	н	NO2	н	н
462	Вг	н	н	н	F	F	н
463	Вг	н	н	F	н	н	н

						-	
464	Br OH	н	н	Me	н	н	н
465	Вг	<b>H</b>	н	н	CN	н	н
466	M eN	н	н	CI	н	н	н
467	M eN	н	н	н	ОМе	н	н
488	M eN	н	н	н	COOMe	н	н
469	M eN	н	н	н	н	CI	н
470	M eN	н	н	н	н	COOMe	н
471	M eN	н	Н	н	н	н	CI
472	M eN	н	н	н	OCF3	н	н
473	M eN	н	н	COOMe	н	н	н
474	M eN	н	н	н	CF3	н	н
475	M eN	н	н	н	Мв	н	н

476	M eN	н	н	н	F	н	н
477	M eN	н	н	н	ОН	н	н
478	M eN	н	н	н	NO2	н	н
479	M eN	н	н	н	F	F	н
480	M eN	н	н	F	н	н	н
481	M eN	н	н	Ме	н	н	н
482	M eN	н	н	н	CN	н	н
483	\$	н	н	CI	н	н	н
484	\$	н	н	Н	OMe	н	н
485	\$	н	н	н	COOMe	н	н
486	s	н	Н	н	н	CI	н
487	\$	н	н	н	н	COOMe	н

488	\$	н	н	н	н	н	CI
489	\$	н	н	Н	OCF3	н	н
490	\$	н	н	COOMe	н	н	н
491	5	н	н	н	CF3	н	Н
492	5	н	н	н	Ме	н	н
493	5	н	н	н	F	н	н
494	S.	н	н	н	он	н	н
495	S.	н	н	н	NO2	н	н
496	S.	н	Н	н	F	F	н
497	S.	н	н	F	н	н	н
498	S.	н	н	Ме	н	н	н
499	\$	н	н	н	CN	н	н

500	СІСІОН	н	Me	н	н	н	н
501	CI	н	Me	н	н	н	н
502	Q	н	Me	н	н	н	н
503		н	Me	н	н	н	н
504	СІОН	н	н	н	Et	н	н
505	CIOH	н	н	н	Et	н	н
506	Q	н	н	н	Et	н	н
507	Q	н	н	н	Et	, н	н
508	СІ	н	Н	н	н	<b>H</b> .	н
509	СІ	н	н	F	н	н	н
510	СІ	н	н	CI	н	н	Н
511	СІ	н	н	Мө	Н	н	н

512	CI	н	н	Et	н	н	н
513	CICHOH	н	н	ОМе	н	н	н
514	СІ	H	н	OEt	н	н	Н
515	CI	н	Н	CF3	н	н	н
516	CI	н	н	OCF3	н	н	н
517	CI	н	н	NO2	н	н	н
518	СІ	<b>H</b>	н	NH2	н	н	Н
519	СІ БОН	н	н	ОН	н	н	н
520	СІ	н	Н	CN	н	н	н
521	СІ	н	н	COMe	н	н	H
522	СІ	н	н	COOMe	н	н	н
523	СІ БОН	н	н	Н	F	н	н

524	СІСОН	н	н	н	CI	н	н
525	CICHOH	н	н	н	Me	н	н
526	СІСОН	н	н	н	Et	н	н
527	СІ	н	н	н .	OMe	н	н
528	СІ	н	Н	н	OEt	н	н
529	СІ	н	н	н	CF3	н	н
530	CI	Н	н	н	OCF3	н	н
531	CI	н	н	н	NO2	Н	н
532	СІ	н	н	н	NH2	н	н
533	CI	н	Н	н	ОН	н	н
534	CI CH	н	н	н	CN	н	н
535	СІ	н	н	н	COMe	н	н

	_						
536	CICHOH	н	н	Н	COOMe	н	н
537	СІ	н	н	F	F	н	н
538	СІ	н	н	F	Cl	н	н
539	CI	н	н	F	Ме	н	<b>H</b> .
540	СІ	н	н	F	Et	н	н
541	СІ	н	н	F	ОМе	н	н
542	CI	Н	н	F	OEt	н	н
543	СІ	н	н	F	CF3	Н	н
544	CI	н	н	F	OCF3	н	н
545	СІ	н	н	CI	F	н	н
546	CI	н	н	CI	CI	н	н
547	СІ	н	н	CI	Ме	н	Н

560	СІ	н	н	Ме	OCF3	H	н
561	СІ	н	н	ОМе	F	<b>H</b>	. Н
562	СІ	н	н	OMe	CI	н	н
563	СІ	н	Н	OMe	Ме	н	н
564	СІ	н	н	ОМе	Et	Ή	Н
565	СІ	н	н	ОМе	ОМе	н	н
566	СІ	н	н	ОМе	OEt	Н	н
567	СІ	н	н	ОМе	CF3	н	н
568	СІ	н	н	OMe	OCF3	н	н
569	OMe	н	н	н	н	н	н
570	OMe	н	н	F	н	н	н
571	OMe	Н	н	CI	н	н	н

572	OMe	н	Н	Me	н	н	Н
573	OMe OH	н	н	Et	н	н	н
574	OMe	н	н	OMe	н	н	н
575	OMe	н	н	н	F	н	н
576	OMe OH	н	н	н	CI	Н	н
577	OMe	н	н	н	Me	н	н
578	OMe	н	н	н	Et	н	н
579	OMe	н	н	н	ОМе	н	н
580	OMeOH	н	н	F	F	н	н
581	OMeOH	н	н	F.	CI	Н	н
582	OMe OH CI	н	н	F	Me	н	н
583	OMe OH	н	н	F	Et	н	н

584	OMe	н	н	F	OMe	н	н
585	OMe	н	н	CI	F	н	н
586	OMe	<b>H</b> .	н	CI	CI	н	н
587	OMe	н	н	CI	Me	н	н
588	OMe	н	Н	CI	Et	н	н
589	OMe	н	н	CI	ОМе	н	н
590	OMe	н	н	Me	F	н	н
591	OMe	н	н	Me	CI	Н	н
592	OMe	н	н	Ме	Me	Н	н
593	OMeOH	н	н	Ме	Et	Н	н
594	OMe	н	н	Ме	OMe	н	н
595	OMe	. н	. Н	Et	F	н	н

596	OMe OH	н	н	Et	CI	н	н
597	OMe OH CI	н	н	Et	Ме	Н	н
598	OMe OH CI	н	н	Et	Et	н	н
599	OMe OH	н	н	Et	ОМе	н	н
600	OMe	н	н	OMe	F	н	н
601	OMe	н	н	ОМе	CI	н	н
602	OMe OH	н	н	ÒMe	Мө	н	н
603	OMe	н	н	ОМе	Et	н	н
604	OMe	н	н	ОМе	ОМе	н	н
605	CIOH	н	н	Ме	CN	н	н
606	CIOH	н	н	н	CN	Me	н
607	CIOH	н	н	н	CN	н	Ме

608	CIOH	н	н	Ме	Br	н	н
609	CIOH	н	· н	н	Br	Me	н
610	CIOH	н	н	н	Br	н	Me
611	CIOH	н	н	Me	<b>H</b> ·	F	н
612	CIOH	н	н	Me	н	н	F
613	CIOH	н	н	F	н	Ме	н
614	CIOH	н	н	F	н	н	Ме
615	CIOH	н	н	Ме	н	н	Ме
616	CIOH	н	н	н	ОМе	Ме	н
617	CI CI OH	н	Н	<b>H</b>	он	Ме	н
618	CIOH	Н	Н	NH2	н	н	н
619	CIOH	н	н	н	NH2	н	н

620	CI OH	н	Н	н	Н	NH2	Н
621	CIOH	н	н	Et	н	н	н
622	CIOH	н	н	н	Et	н	н
623	CI CI OH	н	<b>H</b>	н	н	Et	н
624	CI CI OH	н	н	iPr	н	н	Н
625	CIOH	н	н	н	iPr	н	н
626	CIOH	н	н	н	н	iPr	н
627	CIOH	н	н	Ph	н	н	н
628	CIOH	н	н	н	Ph	н	Н
629	CIOH	н	н	н	н	Ph	н
630	CIOH	н	н	OEt	н	н	н
631	CIOH	н	н	н	OEt	н	н

632	CIOH	н	н	н	, н	OEt	н
633	CIOH	н	н	OiPr	н	н	н
634	CIOH	н	н	н	OiPr	н	н
635	СІ ОН	н	н	н	Н	OiPr	н
636	CIOH	н	н	OPh	н	н	н
637	CIOH	н	н	н	OPh	н	н
638	CI OH	н	н	н	н	OPh	н
639	CI OH	н	н	SO2Me	Н	н	н
640	СІОН	н	н	н	SO2Me	Н	н
641	CI CI OH	н	н	н	н	SO2Me	н
642	CIOH	н	н	SO2Et	н	н	н
643	CIOH	н	н	н	SO2Et	н	н

644	CIOH	н	н	н	н	SO2Et	н
645	CIOH	н	н	SO2iPr	н	н	н
646	CI OH .	н	н	н	SO2iPr	н	н
647	CIOH	н	н	<b>н</b>	н	S02iPr	<b>H</b>
648	CIOH	н	н	SO2Ph	н	н	н
649	CI CI OH	н	н	н	SO2Ph	н 、	н
650	CI OH.	н	н	н	н	SO2Ph	н
651	CIOH	н	н	SO2Me	Me	н	н
652	CI CI OH	н	н	SO2Me	н	Мө	н
653	CIOH	н	н	Ме	SO2Me	ь Н	н
654	CIOH	н	н	н	SO2Me	э Ме	н
655	CIOH	н	н	SO2Me	e F	н	н

656	CIOH	н	н	SO2Me	н	F	н
657	CIOH	н	н	F	SO2Me	н .	н
658	CIOH	н	н	н	SO2Me	F	н
659	CI CI OH	н	н	SO2NMe2	н	н	н
660	CIOH	н	н	н	SO2NMe2	н	н
661	CIOH	н	н	н	н	SO2NMe2	н
662	CIOH	<b>н</b>	н	SO2Et2	н	н	н
663	CIOH	н	н	н	SO2Et2	н	н
664	CIOH	н	н	н	н	SO2Et2	н
665	CIOH	н	н	SO2NMe	2 Me	н	н
666	CI CI OH	н	н	SO2NMe	2 H	Ме	н
667	CIOH	н	н	Ме	SO2NMe	o2 H	н

692	СІ	н	Н	NH2	н	н	н
693	СІ	н	Н	н	NH2	н	н
694	СІ	н	н	н	<b>H</b>	NH2	н
695	СІСОН	Н	н	Et	н	н	н
696	СІСОН	н	н	н	Et	н	н
697	СІСОН	н	н	н	н	Et	н
698	СІ	н	н	iPr	н	н	н
699	СІ	н	н	н	iPr	н	н
700	CI FOH	Н	н	н	н	iPr	н
701	СІ	н	н	Ph	н	н	н
702	СІ	н	н	н	Ph	н	н
703	СІСОН	н	н	н	н	Ph	н

704	СІ	н	Н	OEt	н	н	н
705	СІ	н	н	н	OEt	н	н
706	СІ	н	н	<b>H</b>	Н	OEt	н
707	СІ	н	н	OiPr	н	н	Н.
708	СІ	н	н	н	OiPr	н	н
709	СІ	н	н	н	н	OiPr	н
710	СІ	н	н	OPh	н	н	н
711	СІ	н	н	н	OPh	н	н
712	СІ	н	н	н	н	OPh	н
713	СІ	н .	н	SO2Me	н	н	н
714	СІ	н	н	н	SO2Me	н	н
715	СІ	н	н	н	н	SO2Me	н

716	СІ	н	н	SO2Et	н	н .	н
717	СІ	н	н	Н	SO2Et	н	н
718	СІ	н	н	н	н	SO2Et	н
719	CICHOH	н	н	SO2iPr	Н	. н	н
720	СІ	н	н	н	S02iPr	н	н
721	СІ	н	н	н	н	S02iPr	н
722	СІ	н	н	SO2Ph	н	н	н
723	СІ	н	н	н	SO2Ph	н	н
724	СІ	н	н	н	н	SO2Ph	н
725	СІ	н	н	SO2Me	Me	н	н
726	СІ	н	н	SO2Me	н	Мө	н
727	СІСОН	н	н	Ме	SO2Me	н	н

740	СІ БОН	н	Н	SO2NMe2 H Me	н
741	СІ	н	н	Me SO2NMe2 H	н
742	СІСІСОН	н	н .	H SO2NMe2 Me	н
743	СІ	н	н	SO2NMe2 F H	н
744	СІ	н	н	SO2NMe2 H F	н
745	СІ	н	н	F SO2NMe2 H	н
746	СІ	н	н	H SO2NMe2 F	н
747	СІ	н	н	NHCOEt H H	н
748	СІ	н	н	H NHCOEt H	н
749	СІ	н	н	H H NHCOEt	н
750	СІ	н	н	NHCOiPr H H	н
751	СІ	н	н	H NHCOiPr H	н

244 X = -CH2-, q = 0, r = 0, Y = -(R4)C=C(R5)-

表 4

cmpnd NO.4—	R1-(CH2)p	R2	R3	R4	R5	R6	R7
1	CI CI	н	н	н	н	н	Н
2	CIOH	н	н	н	н	Н	н
3	CI OH	н	н	н	н	Н	н
4		н	н	н	н	н	н
5	Q	н	н	н	н	Н	н
6	CIOH	н	н	Н	OCF3	н	н
7	СІОН	н	н	н	CI	н	н
8	CIOH	н	Н	н	Ме	н	н
9	<b>.</b>	н	Н	н	F	н	н
10	СІОН	н	Н	Ме	н	н	н
11	CI CI OH	н	н	н	ОН	н	н

246

24	M eN	н	н	н	<b>H</b> .	н	н
25	S	н	н	н .	н	н	н
26	MeO	н	н	н	н	н	н
27	O <sub>2</sub> N	н	H	н	н	н	н
28	МеО	н	н	н	н	н	н
29		н	н	н	н	Н	н
30	Q.	н	н	н	н	н	н
31		н	н	н	н	н	н
32	CIOH	н	н	н	н -	н	н
33	CI OH	н	н	н	н	н	н
34	F <sub>3</sub> C CF <sub>3</sub> OH	н	н	н	н	н	н
35	CF <sub>3</sub> OH	н	н	н	н	н	н

36	СІ	Н	н	н	н	н	н
37	Q.	н	н	н	н	н	н
38		н	Н	Н	н	н	н
39	Br	н	н	н	н	н	н
40	F <sub>3</sub> C	н	н	н	н	н	н
41	но С	н	н	н	н	н	н
42	NC .	н	н	н	н	н	н
43	0 <sub>2</sub>	н	н	н	н	н	н
44	MeOOC	н	н	н	н	н	н
45	, N	н	н	н	н	н	н
46	MeO	н	н	н	н	н	н
47	~°Q	н	н	н	н	н	н

48	~°C.	н	- H	н	н	H	н
49	Y°C.	н	н	н	н	н	н
50	10.	Н	н	н	н	н	н
51	0.00.	Н	Н	Н	н	н	н
52	O°Q.	н	н	н	Н	н	н
53	QQ.	н	н	н	н	н	н
54	J. N. C.	н	н	н	н	н	н
55	<u>S.</u> .	н	н	н	н	н	н
56		н	Н	н	н	н	н
57	Q	н	н	н	н	н	н
58	CN.	н	Н	н	н	н	н
59	CI.	н	н	н	н	н	н

60	<u>.</u>	н	<b>H</b> .	н	н	н	н
61		н	Н	н	н	н	н
62	<b>Q.</b> .	н	н	н	н	. <b>H</b>	н
63	F <sub>3</sub> C	н	н	н	н	н	н
64	CI F	н	н	Н	н	н	н
65	CI	н	н	н	н	н	н
66	<u>.</u>	н	н	н	н	н	н
67	F <sub>3</sub> C	н	н	н	н	н	н
68	F <sub>3</sub> CO	н	н	н	н	н	н
69	MeO F		н	н	н	н	н
70	MeO F  O <sub>2</sub> N  O <sub>2</sub> N	н	н	н	н	н	н
71	0 <sub>2</sub> N	н	н	н	н	н	н

250

72	F	н	н	н	н	н	н
73	F <sub>3</sub> CS	н	Н	н	н	н	н
74	CI CI	н	н	н	н	н	,
75	F <sub>2</sub> HC	н	н	н	Н	н	н
76	Ç,	н	н	н	н	н	н
77	NO <sub>2</sub>	н	H	н	н	н	н
78	Соон	н	н	н	н	н	н
79	Br	н	н	н	н	н	н
80	<u></u>	н	н	Н	н	н	н
81	F	Н	н	н	н	н	н
82	CI CI.	н	н	н	н	н	н
83	NC.	н	н	н	н	н	н

84	но	н	н	н	н	н	н
85	EIO	н	н	н	н	н	н
86	O <sub>2</sub> N	н	Н	н	н	н	н
87	CICI	н	н	н	н	н	н
88	F F	н	н	Н	н	н	н
89	Br	н	н	н	н	н	Н
90:	F <sub>3</sub> C F	н	н	н	н	н	н
91	CI	н	н	н	н	н	н
92	F	н	н	н	н	н	н
93	MeO Br	н	н	н	н	н	н
94	MeO OEt	н	н	н	н	н	н
95	MeO	н	н	н	н	н	н

106	OM e OM e	н	н	н	H.	н	н
107	EtO OEt	н	н	н	н	н	н
108	но	н	н	н	н	н	н
109	MeO OMe	н	н	н	Н	Н	н
110		н	н	н	н	н	н
111	MeO COOH	н	н	н ,	н	Н	н
112	CI NO2	н	н	н	н	н	н
113	но	н	н	н	н	н	н
114	MeO	н	н	н	н	н	н
115	EtO	н	н	н	н	н	Н
116	ноос	н	н	н	н	н	н
117	но	Н	н	н	н	н	н

118	O <sub>2</sub> N HO	н	н	н	H ,	н	н
119	F <sub>3</sub> C CF <sub>3</sub>	н	н	н	Н	н	н
120	OMe NO <sub>2</sub>	н	н	н	н	н	н
121	Q.	н	н	н	н	н	н
122	M eN	н	н	н	н	н	Н
123	OM e	н	Н	н	н	н	н
124	Q.L.	н	Н	н	н	н	н
125	M eN	н	н	н	н	н	н
126	Ç.	н	н	н	н	н	н
127	ОН	н	н	н	н	н	н
128	OAc	н	н	н	н	н	. н
129	Он	н	н	н	н	н	н

142	S.	Н	н	н	н	н .	н .
143	N N Me	н	н	н	н	н	н
144	M eN	н	н	Н	н	н	н
145	N.	н	н	н	Н	н	н
146		н	н	н	н	Н	н
147	MeQ MeN	н	Н	<b>H</b> .	н	н	н
148	O.L.	н	н	н	н	н	н
149	MeO	н	н	н	н	н	н
150		н	н	н	н	н	н
151	MeO.	н	н	н	н	н	н
152	Br	н,	н	н	н	н	н

153	-N-C	н	н	<b>H</b>	н	н	н
154		н	H	Н	н	н	н
155	200.	н	н	н	н	н	Н
156	CI.	н	н	н	н	н	Н
157		н	Н	н	Н	н	н
158		н	н	н	н	<b>H</b>	н
159		н	н	н	н	н	н
160	<u> </u>	н	н	· н	н	н	н
161	Q	н	н	н	н	н	н
162	Q.,	н	н	н	н	н	н
163	) OH	н	н	н	н	н	н
164	O <sub>2</sub> N OH	н	н	Н	н	н	Н

165	СІ	н	н	н	н	н	н
166	ОН	н	н	н	н	н	н
167	F	н	Н	<b>H</b>	н	н	н
168	ОН	н	Н	н	н	н	н
169	CI NH <sub>2</sub>	н	н	н	н	н	н
170	ОН	н	н	н	н	н	н
171	NH <sub>2</sub>	н	н	н	н	н	н
172	<b>→</b> OH	н	н	Ĥ	н	н	н
173	F <sub>3</sub> CO OH	н	н	н	н	н	н
174	ОМе	н	н	н	н	н	н
175	ОН	н	н	н	н	н	н
176	OEt	Н	н	Н	н	н	н

177	Соон	н	н	н	н	н	н
178	ОН	н	н	н	н	н	н
179		н	н	н	н	н	н
180	Con.	н	н	н	н	, н	н
181	EN.	н	н	н	н	н	н
182	C <sub>s</sub>	н	н	н	н	Н	н
183	HN.N	н	н	н	н	н	Н
184	ON T.	н	н	н	н	н	н
185		н	н	н	н	н	н
186	CI COL.	н	н	H	н	н	н
187	$\sqrt{s}$	н	Н	н	н	н	н
188	En.	н	Н	н	н	н	н

189	CN.	' <b>H</b>	н	н	н	н	н
190	CN.	н	Н	н	н	н	н
191		н	н	н	н	н	н
192	СІ	н	Н	н	CI	н	н
193	O <sub>2</sub> N OH	н	н	н	CI	Н	н
194	MeO	н	н	н	CI	н	н
195	cı C	н	н	н	CI	н	н
196	Br	н	н	н	CI	н	н
197	O <sub>2</sub> N	н	н	н	CI	н	н
198	MeO	н	н	н	Cl	н	н
199	M eN	н	н	н	Cl	н	н
200	S.	н	н	н	CI	н	Н

201	Q.,	н	н	н	CI <sub>,</sub>	Н	н
202	Q	н	н	н	CI	н	н
203	Вг	н	н	н	CI	н	н
204		н	н	н	CI	н	н
205		н	н	н	CI	н .	н
206	CIOH	н	н	CI	н	н	н
207	СІОН	н	Н	н	OMe	н	н
208	CI CI OH	н	Н	н	COOMe	н	н
209	CI CI OH	н	н	н	н	CI	н
210	СІ	н	н	н	н	COOMe	н
211	CI CI OH	н	н	н	н	н	CI
212	CIOH	н	н	COOMe	н	Н	н

		•			-		
213	CIOH	н	н	н	CF3	н	н
214	CI OH	н	Н	н	NO2	н	н
215	СІСІОН	н	Н	н	F	F	н
216	СІОН	н	Н	F	Н	н	н
217	CIOH	н	н	н	CN-	н	н
218	СІ	н	Н	CI	н	н	н
219	СІСОН	н	н	н	ОМе	н	н
220	CIOH	н	н	н	COOMe	н	н
221	СІ	н	н	н	н	CI	н
222	CI CH	н	н	н	н	СООМе	н
223	СІ	н	н	н	н	н	CI
224	CICH	н	н	н	OCF3	н	н

225	СІСІОН	н	н	СООМе	н	н	н
226	CIOH	н	н	н	CF3	н	н
227	СІОН	н	н	н	Me	н	н
228	СІ	Н	н	н	F	н	н
229	CIOH	н	н	н	он	н	н
230	СІ	н	н	н	NO2	н	н
231	CIOH	н	н	н	F	F	н
232	CIOH	н	н	F	н	н	н
233	CIOH	н	н	Ме	н	Н	н
234	CIOH	н	н	. <b>н</b>	CN	Н	н
235	Q.,	н	н	CI	н	Н	н
236		н	н	н	OMe	Н	н

237		н	н	<b>.</b>	СООМе	н	н
238	Q	Н	н	н	н	CI	н
239		Н	н	н	н	COOMe	н
240	Q.	н	н	н	н	н	CI
241		н	н	н	OCF3	н	н
242	<b>Q</b>	н	н	COOMe	н	н	н
243	Q.,	н	Н	н	CF3	н	н
244	Q.,	н	н	н	Me	н	н
245	Q	н	н	н	F	н	н
246	Q.,	н	Н	н	он	н	н
247	Q	н	Н	н	NO2	н	н
248	Q	н	н	н	F	F	н

249	Q	• н	н	F	н	н	н
250	Q.,	н	н	Ме	н	н	н
251	Q.,	н	н	н	CN	н	н
252	Q	н	н	CI	н	н	н
253	Q	Н	н	н	ОМе	н	н
254	Q	н	н	н	COOMe	н	н
255		н	н	н	н	CI	н
256	Q	н	н	н	н	COOMe	н
257	Q	н	Н	н	н	н	CI
258	Q	н	н	н	OCF3	н	н
259	Q	н	н	COOMe	н	н	н
260	Q	н	н	н	CF3	н	н

261	Q	н	Н	н	<b>Me</b>	н	н
262	Q	н	н	н	F	н	Н
263	Q	н	н	н	он	н	н
264		н	Н	н	NO2	н	н
265		н	н	н	F	F	н
266	Q	н	Н	F	н	н	Н
267	Q	н	н	Me	н	н	н
268	Q	н	н	н	CN	н	н
269 ·	CI CI OH	н	н	н	н	н	COOMe
270	CIOH	н	н	Н	н	F	н
271	CI CI OH	н	н	н	н	н	F
272	CI CI OH	Н	н	н	н	Me	н

273	СІОН	н	н	н	Н	н	Me
274	CIOH	н	H	ОМе	н	н	н
275	CIOH	н	н	н	н	ОМе	н
276	CIOH	н	н	н	н	н	ОМе
277	CIOH	н	н	CF3	н	Н	н
278	CI OH	н	н	н	н	CF3	<b>н</b>
279	CIOH	н	н	н	н	н	CF3
280	CIOH	н	н	ОН	н	н	н
281	CIOH	н	н	н	н	ОН	н
282	CI CI OH  CI CI OH	н	Н	н	н	н	он
283	CI CI OH	н	н	OCF3	н	н	н
284	CICIOH	н	н	н	н	OCF3	н

268

285	CIOH	н	н	н	н	н	OCF3
286	CI OH	н	н	NO2	н	н	н
287	СІОН	Н	н	н	н	NO2	н
288	CIOH	н	н	н	н	н	NO2
289	СІСІОН	н	н	CN	н	н	н
290	CI CI OH	н	н	н	н	CN	н
291	СІ ОН	н	н	н .	н	н	CN
292	СІОН	н	н	Br	н	н	н
293	СІОН	н	н	н	Br	н	н
294	CI CI OH CI CI OH	н	Н	н	н	Br	н
295	СІОН	н	н	н	н	н	Br
296	СІОН	н	н	соон	н	н	н

269

297	CIOH	н	н	н	соон	н	H
298	CIOH	н	н	н	<b>.</b>	соон	н
299	CI OH	н	н	Н	H .	н	соон
300	СІОН	н	н	NHCOMe	н	н	н
301	CIOH	н	н	н	NHCOMe	н	н
302	CIOH	н	н	н	н	NHCOMe	э H
303	CIOH	н	н	н	н	Н	NHCOMe
304	CIOH	н	н	SO2NH2	н	н	н
305	CIOH	н	н	н	SO2NH2	н	н
306	СІОН	н	н	н	н	SO2NH2	: н
307	CI CI OH CI CI OH	н	н	н	н	н	SO2NH2
308	СІОН	н	н	Me	Me	н	н

309	СІОН	н	н	Me	н	Ме	н
310	CIOH	н	н	н	Ме	Me	н
311	CIOH	н	Н	F	F	н	н
312	CIOH	н	н	F	н	F	н
313	CIOH	н	н	н	F	F	н
314	СІ СІ ОН	н	н	CI	CI	Н	н
315	CIOH	н	н	CI	н	CI	н
316	CI OH	н	н	н	CI	CI	н
317	СІОН	н	н	Ме	F	н	н
318	СІ СІ ОН	н	н	Ме	CI	н	н
319	CIOH	н	н	Me	он	н	н
320	СІОН	н	н	Ме	OMe	н	н

321	CI CI OH	н	н	F	Me	н	н
322	CI CI OH	н	н	F	CI	н	н
323	СІСІОН	н	н	F	он	н	н
324	CIOH	н	н	F	ОМе	н	н
325	СІОН	н	н	CI	Ме	н	н
326	СІОН	н	н	CI	F	н	н
327	СІОН	н	Н	CI	он	н	н
328	СІОН	н	н	Cl	ОМе	н	н
329	СІ	н	н	н	н	н	COOMe
330	CI OH	н	н	н	н	F	н
331	CICH	н	н	н	н	н	F
332	CI OH	н	н	н	н	Ме	н

333	CI OH	н	н	н	Н	н	Me
334	CIOH	н	н	OMe	н	н	н
335	CI OH	н	н	н	н	OMe	н
336	CI OH	н	н	н	н	н	ОМе
<b>337</b>	CIOH	н	н	CF3	н	н	н
338	CIOH	н	н	н	н	CF3	н
339	CIOH	н	н	н	н	н	CF3
340	СІ	н	н	ОН	н	н	н
341	CIOH	н	н	н	н	ОН	н
342	СІ	н	н	н	н	н	ОН
343	CIOH	н	н	OCF3	н	н	н
344	CI OH	н	н	н	н	OCF3	н

345	СІ	н	н	<b>.</b> H	н	н	OCF3
346	CIOH	н	н	NO2	н	н	н
347	CIOH	н	н	н	н	NO2	н
348	CIOH	н	н	н	н	н	NO2
349	CI OH	н	н	CN	н	н	Н
350	CIOH	н	н	н	н	CN	Н
351	СІ	н	н	н	н	н	CN
352	CIOH	н	н	Br	н	н	н ′
353	CIOH	н	н	н	Br	н	н
354	СІДОН	н	н	н	н	Br	н
355	CIOH	н	н	н	н	н	Br
356	СІСОН	н	н	соон	н	н	н

357	CIOH	н	н	Н	соон	н	н
358	СІОН	н	н	н	Н	соон	н
359	СІ	н	н	н	н	<b>H</b> .	соон
360	СІ	н	н	NHCOMe	н	н	н
361	CIOH	н	н	н	NНСОМе	н	н
362	CIOH	н	н	н	н	NHCOM	э Н
363	CI	н	н	, H	н	н	NHCOMe
364	CIOH	н	н	SO2NH2	н	н	н
365	СІ	н	н	н	SO2NH2	н	н
366	СІ	н	н	н	н	SO2NH2	2 н
367	CI CH	н	н	н	н	н	SO2NH2
368	CI OH	н	н	Me	Ме	н	н

369	СІ	н	н	Ме	н	Me	н
370	CIOH	н	н	н	Ме	Ме	Н
371	CI OH	н	н	F	F	н	н
372	СІОН	н	н	F	н	F	н
373	CIOH	н	н	н	F	F	н
374	CIOH	н	н	CI	CI	н	н
375	СІОН	н	н	Cl	н	CI	н
376	СІСОН	н	н	н	CI	CI	<b>H</b> .
377	СІСОН	н	н	Me	F	н	н
378	СІСОН	н	н	Ме	CI	н	н
379	CICH	. н	н	Ме	ОН	н	н
380	CI OH	н	н	Ме	OMe	н	Н

381	CIOH	н	н	F	Me	Н	н
382	CIOH	н	н	F	CI	н	н
383	СІСОН	Н	н	F	он	н	н
384	CIOH	н	н	F	ОМе	н	н
385	CIOH	н	н	CI	Me	н	н
386	СІ	н	Н	CI	F	н	Н
387	СІ	н	Н	CI	он	н	Н
388	СІ	н	н	CI	ОМе	н	н
389	Q.	н	н	н	н	н	COOMe
390	Q.	н	н	н	н	F	н
391	Q.	н	н	н	н	н	F
392		н	н	н	н	Me	н

393	Q	<b>H</b>	н	н	н	Н	Me
394	Q	н	н	ОМе	н	н	<b>H</b>
395		Н	н	н	н	ОМе	н
396	Q.	н	н	н	н	н	OMe
397		Н	н	CF3	н	н	н
398	Q.	н	н	Н	н	CF3	н
399		н	н	н	н	н	CF3
400	Q.	н	н	ОН	Н	н	н
401	Q.	н	н	н	н	ОН	н
402	Q.	н	Н	н	н	н	ОН
403	<u>Q</u>	н	н	OCF3	н	н	н
404	Q	н	н	н	н	OCF3	н

278

405	Q.,	н	н	н	н	н	OCF3
406	Q	н	н	NO2	н	н	н
407	Q	н	н	Н	н	NO2	н
408	<u>Q</u>	н	н	н	н	н	NO2
409	Q	н	н	CN	н	н	Н
410	Q	н	н	н	н	CN	н
411	Q.,	н	н	н	н	н	CN
412	Q	н	н	Br	н	н	н
413	Q	н	н	н	Br	н	н
414	Q	н	Н	н	н	Br	н
415		н	н	н	н	н	Br
416	Q.,	н	н	соон	н	н	н

417	Q.,	н	н	н ,	СООН	н	н
418	Q	н	н	н	н	СООН	н
<b>419</b>	Q.	н	н	н	<b>H</b> .	н	соон
420	Q.	н	н	NHCOMe	н	н	н
421	Q.	н	н	н	NHCOMe	н	н
422	Q.	н	н	н	н	NHCOM	э Н
423	Q.	н	н	н	н	н	NHCOMe
424	Q.	н	н	SO2NH2	н	н	н
425	Q	н	н	н	SO2NH2	н	н
426	Q	н	н	н	н	SO2NH2	? н
427	Q	н	н	н	н	н	SO2NH2
428		н	н	Ме	Ме	н	н

429		н	Н	<sub>.</sub> Me	н	Me	н
430	Q.,	н	н	н	Me	Me	н
431	<b>Q</b>	н	н	F	F	н	н
432	<b>Q</b>	н	н	F	н	F	н
433	Q	н	н	н	F	F	н
434	Q.,	н	н	CI	CI	Н	н
435	Q.	н	н	CI	н	Ci	н
436	Q.	н	н	н	CI	CI	н
<b>437</b>	Q.	н	н	Ме	F	н	н
438	Q.	н	н	Me	CI	н	н
439	Q.	н	н	Ме	он	н	н
440	Q	н	Н	Ме	OMe	н	н

441	Q.,	н	н	F	Ме	н	н
442	Q.,	н	н	F	CI	н	н
443	<b>Q</b>	н	н	F	он	н	н
444		н	Н	F	ОМе	н	н
445	Q.,	н	Н	CI	Ме	н	н
446	Q.,	• Н	н	CI	F	н	Н
447	Q.	н	н	CI	он	н	н
448	Q.	н	н	CI	ОМе	н	н
449	Вг	н	н	CI	н	н	н
450	Вг	н	н	н	ОМе	н	н
451	Br OH	н	н	н	COOMe	н	н
452	Вг	н	н	н	н	CI	н

453	Br OH	н	н	н	н	СООМе	н
454	Вг	н	н	н .	н	н	CI
455	Вг	н	н	н	OCF3	н	н
456	Вг	н	н	COOMe	н	н	н
457	Вг	н	н	н	CF3	н	н
458	Вг	н	н	н	Ме	Н	н
459	Вг	н	н	н	F	н	н
460	Вг	н	н	н	он	н	н
461	Вг	н	н	н	NO2	н	н
462	Br OH	н	н	н	F	F	н
463	Вг	н	Н	F	н	н	н
464	Br OH	н	н	Me	н	н	н

465	Вг	н	н	н	CN	н	н
466	M eN	н	н	CI	н	н	н
467	M eN	н	н	н	ОМе	н	н
468	M eN	н	н	н	COOMe	н	н
469	M eN	н	н	н	н	CI	н
470	M eN	н	н	н	н	СООМе	н
471	M eN	н	н	н	н	н	CI
472	M eN	н	н	Н	OCF3	н	н
473	M CIV	н	н	СООМе	н	н	н
474		н	н	н	CF3	н	н
475	M eN	н	н	н	Me	н	н
478	M eN	н	н	н	F	н	н

477	M eN	н	·н	н	он	н	н
478	M eN	н	н	н	NO2	н	н
479	M eN	Н	н	н	F	F	н
480	M eN	н	н	F	н	н	н
481	M eN	н	н	Ме	н	н	н
482	M eN	н	н	Н	CN	н	н
483	\$	н	н	CI	н	н	н
484	\$	н	н	н	ОМе	н	н
485	\$	н	н	н	COOMe	н	н
486	\$	н	н	н	н	CI	н
487	\$	н	н	н	н	COOMe	н
488	\$	н	н	н	н	н	CI

489	\$	н	н	н	OCF3	н	н
490	\$	н	н	COOMe	н	н	н
491	\$	н	н	н	CF3	н	н
492	\$	Н	н	н	Me	н	н
493	5	Н	н	н	F	н	н
494	\$	н	н	н	он	н	н
495	S.	н	н	н	NO2	Н	н
496	S.	н	н	н	F	F	н
497	S	н	н	F	н	Н	н
498	S.	н	Н	Ме	н	н	Н
499	S	н	н	н	CN	н	н
500	CI OH	н	Me	н	н	н	н

501	CIOH	н	Me	н	н	н .	н
502	Q	н	Me	н	н	н	н
503	Q	н	Ме	н	н	н	н
504	СІ	н	н	н	н	н	н
505	СІ	н	н	F	н	н	н
506	СІ	н	н	Cl	н	н	н
507	СІ	н	н	Ме	н	н	н
508	СІ	н	н	Et	н	н	н
509	СІ	н	н	ОМе	н	н	н
510	СІ	н	н	OEt	н	н	н
511	СІ	Н	Н	CF3	н	н	н
512	СІ	н	н	OCF3	н	н	н

513	CI	н	н	NO2	<b>H</b>	н	н
514	CI FOH	н	н	NH2	Н	н	н
515	CI	н	н	он	н	н	н
516	СІ	н	н	CN	н	н	н
517	СІ	н	н	COMe	н	н	н
518	СІ	н	н	COOMe	н	н	н
519	СІ	н	н	н	F	н	н
520	СІ	н	н	н	CI	н	н
521	СІ	н	н	H	Ме	н	н
522	СІ	н	н	н	Et	н	н
523	СІ	н	Н	н	ОМе	н	н
524	СІ	н	Н	н	OEt	н	н

525	CI	н	н	н	CF3	н	н
526	CI CH	н	н	н	OCF3	н	н
527	CI	н	н	н	NO2	н	н
528	СІСІОН	н	н	н	NH2	н	н
529	СІ	н	н	н	ОН	н	н
530	СІ	. н	н	н	CN	н	н
531	СІ	н	Н	н	СОМе	н	н
532	СІ	н	н	н	COOMe	н	н
533	СІ	н	н	F	F	н	н
534	СІ	н	н	F	CI	н	н
535	СІ	н	н	F	Ме	н	н
536	СІ	Н	н	F	Et	н	н

537	CICHOH	н	н	F	ОМе	н	н
538	СІ	н	н	F	OEt	н	н
539	CI	н	н	F	CF3	н	н
540	СІ	н	н	F	OCF3	н	н
541	СІ	н	н	CI	F	н	н
542	СІ	н	н	CI	CI	н	н
543	СІ	н	н	CI	Ме	н	н
544	СІ	н	н	CI	Et	н	н
545	СІ	н	н	Cl	ОМе	н	н
548	СІ	н	Н	Cl	OEt	н	н
547	CITTOH	н	н	Cl	CF3	н	н
548	СІ БОН	н	н	CI	OCF3	н	н

549	СІ ОН	н	Н	Ме	F	н	Н
550	СІ	н	н	Ме	CI	н	н
551	СІ	н	н	Me	Me	н	н
552	СІ	н	н	Me	Et	Н	н
553	СІ	н	н	Ме	OMe	н	н
554	СІ	н	н	Ме	OEt	н	н
555	СІ	н	н	Ме	CF3	н	н
556	СІ	н	н	Ме	OCF3	н	н
557	СІ	н	н	ОМе	F	н	н
558	СІ	н	н	ОМе	CI	н	н
559	СІ	н	н	ОМе	Me	н	н
560	СІ	н	н	ОМе	Et	н	н

291

292 X = -CO-, q = 0, r = 0, Y = -S-

表 5

<u> </u>					
cmpnd NO.5—	R1-(CH2)p	R2	R3	R6	R7
1	CIOH	н	н	Н	н
2	CI	н	н	н	н
3	CI CI	, н	н	н	н
4	<b>Q</b>	Н	н	н	н
5 .	Q.,	н	н	н	н
6	Ç.	н	н	н	н
7	CI	н	н	н	н
8	CI .	н	н	н	н
9		н	н	н	н
10	MeO	н	н	н	н
11	Q	н	н	н	н

12	СІ	н	н	н	н
13	Вг	<b>н</b>	н	н	н
14	Br	н	н	н	н
15	Br F.	н	н	н	н
16	Br	н	н	н	н
17	r CI	н	Н	Н	н
18	M eN	н	н	Н	Н
19	S	н	н	н	н
20	МеО	н	н	н	н
21	O <sub>2</sub> N	н	н	н	н
22	MeO	н	н	н	Н
23		н	Н	н	н

WO 03/087089

24	Q.,	н	н	Н	н
25		н	н	н	н
26	CIOH	н	н	н	н
27	NC OH	н	н	н	н
28	F <sub>3</sub> C OH	н	Н	н	н
29	CF <sub>3</sub> OH	. н	Н	н	н
30	СІОН	н	Н	н	н
31	Q.	н	н	H	н
32	FQ.,	н	н	Н	н
33	Br.C.	н	н	н	н
34	F <sub>3</sub> C	н	н	н	н
35	но	н	н	н	н

36	NC.	н	н	н	н
37	, S ,	н	Н	<b>.H</b>	<b>H</b> .
38	MeOOC	н.	н	н	н
39		н	н	н	Н
40	MeO	н	н	н	Н
41	~°Q	н	н	н	Н
42	~°Q	. <b>н</b>	н	н	н
43	Y°Q	н	н	н	н
44	LQ.	н	н	н	н
45		н	н	Н	н
46	0°Q.	н	н	н	н
47		Н	н	н	н

48	The state of the s	н	н	н	н
49	<b>S</b> .	н	н	н	н
50		н	н	н	н
51	Q	н	н	н	н
52	CN.	н	н	н	н
53	CI.	н	н	н	н
54		н	н	Н	н
55		н	н	н	н
56		н	н	н	н
57	F <sub>3</sub> C	н	н	н	н
58	CI F	н	<b>H</b> .	н	н
59	CI	н	н	н	н

60	Ω.	н	н	н	н
61	F <sub>3</sub> C	н	н	н	н
62	F <sub>3</sub> CO	н	н	н	н
63	MeO F.	н	н	н	н
64	O <sub>2</sub> N F	н	н	н	н
65	0 <sub>2</sub> N	н	н	н	н
66	F	н	н	Н	н
67	F <sub>3</sub> CS	н	н	н	н
68	CI CI	н	н	н	н
69	F <sub>2</sub> HC	н	н	н	н
70	CY <sup>F</sup> .	н	н	н	Н
71	NO <sub>2</sub>	н	н	н	н

142	C.	н	Н	н	н
143	MeO.	н	н	н	н
144		н	н	н	н
145	MeO	н	н	н	н
146	Br	н	н	н	н
147	-N	н	н	н	н
148		н	н	н	н
149	2°12	н	н	н	н
150	CI.	н	н	н	н
151		н	н	н	н
152		н	н	н	н
153		н	н	н	н

154	O~~.	Н	. <b>H</b>	н	н
155		н	н	н	н
158	Q.,	н	н	н	н
157	OH.	н	н	н	н
158	O <sub>2</sub> N OH	н	н	н	н
159	СІ	н	н	н	н
160	ОН.	н	н	н	н
161	F OH	н	н	н	н
162	ОН	н	н	н	н
163	CI NH <sub>2</sub>	н	н	н	н
164	ОН	н	н	н	н
165	NH₂ 	н	н	н	н

178		н	н	н	н
179		н	н	н	н
180	CI-CO-CI-	н	<b>H</b>	н	н
181	$\sqrt{s}$	н	Н	н	н
182	The state of the s	н	н	н	н
183	CN.	. н	н	н	н
184	CN.	н	н	Н	н
185		Н	н	Н	н
186	СІ	н	н	н	н
187	O <sub>2</sub> N OH	н	н	н	н
188	МеОООН	н	н	н	н
189	CI	н	н	н	н

		_			
202	CIOH	н	н	COOMe	н
203	CIOH	н	н	ОМе	н
204	CIOH	н	н	OCF3	н
205	CIOH	н	н	CF3	н
206	CICIOH	н	н	Ме	н
207	CIOH	н	н	F	Н
208	CI CI OH	н	н	NO2	н
209	CIOH	н	н	CN	н
210	СІОН	н	н	он	н
211	CI OH	н	н	н	н
212	CIOH	н	н	CI	н
213	СІСОН	н	н	COOMe	н

		•			
214	СІСІ	н	н	ОМе	н
215	CIOH	н	н	OCF3	н
216	СІ	н	н	CF3	н
217	CIOH	н	н	Ме	н
218	CI OH	н	н	F	н
219	СІ	н	н	NO2	н
220	СІ	н	н	CN	н
221	CIOH	н	н	он	н
222	Q	н	н	н	н
223	Q	н	<b>H</b>	CI	н
224	Q	н	н	COOMe	н
225	Q	н	н	OMe	н

226	Q	н	н	OCF3	н
227	Q.,	н	н	CF3	н
228	Q.,	н	н	Ме	н
229	Q	н	н	F	н
230		н	н	NO2	н
231	Q.,	н	н	CN	Н
232	Q.,	н	н	он	н
233	Q	н	н	н	н
234	Q	н	н	CI	н
235	Q	н	н	СООМе	н
236	Q	н	н	OMe	н
237	Q	н	н	OCF3	н

238	Q	н	н	CF3	н
239	Q	н	н	Me	н
240	Q	н	н	F	н <sub>.</sub>
241	Q	н	н	NO2	н
242	Q	н	н	CN	н
243		н	н	ОН	н
244	Вг	н	н	н .	н
245	Вг	н	н	CI	н
246	Вг	н	. н	COOMe	н
247	Вг	н	н	ОМе	н
248	Вг	н	н	OCF3	н
249	Вг	н	н	CF3	н

250	Вг	н	н	Me	н
251	Вг	Н	н	F	н
252	Вг	н	н	NO2	н
253	Вг	н	н	CN	н
254	Вг	н	н	он	н
255	M eN	н	н	н	н
256	M eN	н	н	CI	н
257	M eN	н	н	COOMe	н
258	M eN	н	н	OMe	н
259	M eN	н	н	OCF3	н
260	M eN	н	н	CF3	н
261	M eN	н	н	Ме	н

262	M eN	н	н	F	н
263	M eN	н	н	NO2	н
264	M eN	н	н	CN	н
265	M eN	н	н	ОН	н
266	\$	н	н	н	н
267	\$	Н	н	CI	н
268	\$	н	н	COOMe	Н
269	\$	н	н	ОМе	Н
270	\$	н	н	OCF3	н
271	\$	н	н	CF3	н
272	\$	н	н	Ме	н
273	\$	н	н	F	Н

274	5	н .	н	NO2	н
275	S	н	н	CN	н
276		н	н	ОН	u

316

X = -CO-, q = 0, r = 0, Y = -N(R8)-

===	c
~~	n

cmpnd NO.6—	R1-(CH2) <sub>p</sub>	R2	R3	R6	R7	R8
1	CIOH	н	Н	н	н	Ме
2	CI CI	н	н	н	Ή	Me .
3	CI	н	н	н	н	Ме
4		н	н	н	н	Ме
5		н	н	н	н	Мө
6	Ç,	н	н	н	н	Ме
7	cı	н	н	н	н	Ме
8	CI	н	н	н	Н	Ме
9	Q.,	н	н	н	н	Ме
10	MeO.	н	н	н	н	Me

11 ,		н	н	н	Н	Me
12	CIOH	н	н	Н	Н	Ме
13	Вг	н	н	н	н	Ме
14	Br	н	н	н	н	Ме
15	Br F	н	н	н	н	Мө
16	Br	н	н	н	н	Ме
17	c <sub>i</sub>	н	н	н	н	Ме
18	M eN	н	н	н	н	Мө
19	\$	н	н	н	Н	Me
20	МеО	н	н	н	н	Ме
21	0 <sub>2</sub> N	н	н	н	н	Ме
22	MeO	н	н	н	н	Ме

23	Q.	н	н	н	н	Ме
24	Q.,	н	н	н	• н	Me
25	<b>.</b>	н	н	н	Н	Ме
26	CIOH	н	н	Н	Н	Me
27	NC OH	н	Н	н	н	Ме
28	F <sub>3</sub> C OH	н	н	н	н	Ме
29	CF <sub>3</sub> OH	н	н	н	н	Ме
30	CIOH	н	н	н	н	Ме
31	Q.	н	н	н	н	Ме
32	FQ	н	н	н	н	Ме
33	Br.	н	н	н	н	Мө
34	F <sub>3</sub> C	н	н	н	н	Me

35	но	н	н	н	н	Me
36	NC.	н	н	н	Н	Ме
37	0 <sub>2</sub>	н	н	н	н	Ме
38	MeOOC	н	н	н	н	Ме
39	N.C.	н	<b>H</b> .	н	н	Ме
40	MeO	н	н	н	н	Ме
41	~0~~	н	н	н	н	Ме
42	~°Q.	н	н	н	н	Ме
43	Y° ()	Н	н	н	н	Ме
44	1Q	н	н	н	н	Ме
45	0.00.	н	н	н	н	Ме
46	O°Q.	н	н	н	н	Ме

WO 03/087089

. 320

47	OQ.	Н	н	н	н	Ме
48	J. H.	н	н	н	н	Ме
49	<b>S</b>	н	н	H	Н	Ме
50		н	н	Н	н	Ме
51	Q	н	н	н	н	Ме
52	ÇN .	н	н	н	н	Ме
53	CI.	н	н	н	н	Ме
54		н	н	н	н	Мө
55		н	Н	н	н	Me
56		н	н	н	н	Мө
<b>57</b> .	F <sub>3</sub> C	н	<b>Н</b>	н	н	Me

58	CI F	н	н	н	н	Me
59	CI CI	н	н	н	н	Ме
60		н	Н	н	н	Ме
61	F <sub>3</sub> C	н	н	н	Н	Ме
62	F <sub>3</sub> CO	н	н	н	н	Мө
63	Me O F	н	н	н	н	Ме
64	0 <sub>2</sub> N F.	н	н	Н	н	Ме
65	0 <sub>2</sub> N	н	н	н	н	Ме
66	F	н	н	н	н	Ме
67	F <sub>3</sub> CS	н	н	н	н	Ме
68	CI CI.	н	н	н	н	Me
69	F <sub>2</sub> HC	н	н	н	н	Me

70	CT.	Н	н	н	н	Ме
71	NO <sub>2</sub>	н	н	н	н	Ме
72	СООН	н	н	н	н	Ме
73	Br	н	н	н	н	Ме
74	<u></u>	н	н	н	Н	Мө
75	Ę.	н	н	н	н	Ме
76	CICI	н	н	н	н	Мө
77	NC.	н	н	н	н	Ме
78	но	н	н	н	н	Мө
79	Eto	н	н	н	н	Ме
80	CI O₂N	н	н	н	н	Ме
81	CI CI	н	н	н	н	Мв

82	F	н	н	н	н	Ме
83	Br	H	Н	н	н	Мө
84	F <sub>3</sub> C F	н	H	н	Н	Me
85	HO CI	н	н	н	н	Ме
86	F F	н	н	н	н	Ме
87	MeO Br	н	н	н	н	Ме
88	MeO OEt	Н	н	н	н	Ме
89	MeO,	н	н	н	н	Ме
90	MeO	н	н	н	н	Ме
91	O <sub>2</sub> N CI	н	н	н	н	Мө
92	MeO	н	н	н	н	Ме

93		н	н	н	н	Ме
94	CI CI	н	н	н	н	Ме
95	Co.C.	н	н	н	н	Ме
96	$Q_{0}Q_{}$	н	н	н	н	Ме
97	MeO HO	н	н	н	Н	Me
98	CF <sub>3</sub>	н	н	н	н	Me
99	O <sub>2</sub> N	н	н	н	н	Ме
100	OMe OMe	н	н	н	н	Ме
101	EtO OEt	н	н	н	н	Ме
102	но	Н	н	н	н	Ме
103	OMe MeO OMe	н.	н	н	н	Ме

104	O. C.	н	н	н	н	Me
105	МеОСООН	н	н	н	н	Ме
106	CI NO <sub>2</sub>	н	H	н	Н	Me
107	но	н	н	н	н	Ме
108	MeO	н	н	н	н	Ме
109	EtO	Ĥ	н	Н	н	Ме
110	ноос	н	н	н	н .	Ме
111	но	н	н	н	н	Ме
112	O <sub>2</sub> N HO	н	н	н	н	Ме
113	F <sub>3</sub> C CF <sub>3</sub>	н	н	н	н	Me
114	OMe NO <sub>2</sub>	н	н	<b>.</b>	н	Ме
115		н	н	н	н	Ме

127	<u> </u>	н	н	H	<b>H</b>	Ме
128	Q	н	н	н	н	Ме
129	OE1	н	н	Н	Н	Ме
130	HN	н	н	н	Н	Me
131	M eN	н	н	н	н	Ме
132	N <sub>Ne</sub> .	н	н	· н	н	Me
133	M eN	н	н	н	н	Ме
134	MeN	н	Н	н	н	Ме
135	O M e M eN	н	Н	н	н	Me
136	S.	н	Н	н	н	Мө
137	N <sub>N</sub> e.	н	Н	н	н	Мө

138	MeN	н	н	н	н	Ме
139		н	н	н	н	Ме
140		н	н	н	н	Ме
141	MeQ MeN	н	н	н	н	Мө
142	$Q_{s}$ $\angle$	н	н	н	н	Ме
143	MeO	н	н	н	н	Ме
144		н	н	н	н	Ме
145	MeO	н	н	н	н	Me
146	Br	н	н	н	н	Me
147	-N-Q	н	<b>H</b> .	н	н	Ме
148	(°)).	н	н	н	н	Me

149	<b>10</b> 10	н	н	н	н	Ме
150	CQ.	н	н	н	н	Me
151		н	н	н	. н	Ме
152		н	н	Н	н	Ме
153		н	н	н	н	Ме
154	O~~.	н	н	н	н	Ме
155	, 0,	Н	н	н	H	Ме
156	Q.,	н	н	н	н	Ме
157	I OH	н	н	н	н	Ме
158	O <sub>2</sub> N OH	н	н	н	н	Ме
159	СІ	н	н	н	н	Ме
160	ОН	н	н	н	н	Me

161	<b>Б</b> ОН	Н	н	н	, н	Me
162	ОН	н	н	н	н	Ме
163	CI NH₂	н	н	н	н	Ме
164	Он	н	н	н	н	Ме
165	NH <sub>2</sub>	Н	н	н	н	Me
166	→ OH	н	н	н	н	Ме
167	F <sub>3</sub> CO OH	н	н	н	н	Ме
168	ОМе	н	н	н	н	Ме
169	ОН	н	н	н	н	Ме
170	OEt	н	н	н	н	Me
171	СООН	н	н	н	н	Ме
172	ОН	н	н .	н	н	Ме

173		н	н	н	н	Ме
174	Con.	н	н	н	н	Ме
175	Ch.	н	Н	н	н	Ме
176	C <sub>s</sub> .	н	н	Н	н	Me
177	HN. <sub>N</sub>	н	н	н	н	Ме
178		н	н	н	н	Me
179		н	н	н	н	Мө
180	ci-Co-Co-Co-Co-Co-Co-Co-Co-Co-Co-Co-Co-Co-	н	н	н	н	Ме
181	$\sqrt{s}$ .	н	н	н	н	Мө
182	The state of the s	н	н	н	н	Ме
183		н	н	н	н	Me
184	(N)	н	н	н	н	Me

	N .					
185	<b>~</b> .,	Н	н	н	н	Мө
186	CI OH	н	н	н	н	Ме
187	O <sub>2</sub> N OH	н	Н	н	Н	Ме
188	мео	н	н	н	н	Ме
189	CI C.	н	н	н	н	Ме
190	Br	Н	н	н	н	Ме
191	0 <sub>2</sub> N	н	н	н	н	Ме
192	MeO	н	н	н	н	Ме
193	CIOH	н	н	н	н	Ме
194	M eN	н	н	н	н	Ме
195	S S	н	н	н	н	Ме
196	Q	н	н	н	н	Ме

197	Q	Н	н	н	н	Ме
198	Вг	н	н	н	н	Ме
199		н	н	н	н	Ме
200		н	н	н	н	Ме
201	CIOH	н	н	CI	н	Мө
202	CI CI OH	н	н	COOMe	н	Ме
203	CIOH	н	н	ОМе	н	Ме
204	СІОН	н	н	OCF3	н	Ме
205	СІОН	Н	н	CF3	н	Ме
206	CI CI OH	н	н	Ме	н	Ме
207	СІОН	н	н	F	н	Ме
208	CIOH	н	н	NO2	н	Ме

209	СІСІОН	н	н	CN	н	Ме
210	СІСІОН	н	н	он	н	Me
211	CIOH	н	н	н	н	Me
212	CI OH	н	н	CI	н	Ме
213	CIOH	н	н	СООМе	н	Ме
214	CI OH	н	н	ОМе	н	Ме
215	CI OH	н	н	OCF3	н	Me
216	CI OH	н	н	CF3	н	Ме
217	СІ	н	н	Ме	Н	Ме
218	CI OH	н	Н	F	н	Me
219	CI	н	н	NO2	н	Me ·
220	СІСТОН	н	н	CN	н	Ме

221	CI OH	<b>н</b>	н	<b>он</b>	н	Ме
222	Q	н	н	н	н	Ме
223	Q	н	н	CI	н	Ме
224	Q.,	н	н	СООМе	н	Ме
225	Q.,	н	н	OMe	н	Ме
226	Q.	н	н	OCF3	н	Me
227	Q.,	н	н	CF3	н	Me
228	Q.	н	н	Me	н	Ме
229	Q.	н	н	F	н	Ме
230	Q.	н	Н	NO2	н	Ме
231	Q	н	н	CN	н	Me
232		н	н	он	н	Ме

233	Q	н	н	н	н	Ме
234	Q	н	н	CI	н	Ме
235	Q	н	н	СООМе	н	Ме
236	Q	н	н	ОМе	н	Ме
237	Q	н	н	OCF3	н	Ме
238	Q	н	н	CF3	н	Ме
239		н	н	Me	н	Ме
240	Q	н	н	F	н	Ме
241	Q	н	н	NO2	н	Me
242	Q	н	н	CN	н	Ме
243	Q	н	н	он	н	Ме
244	Вг	н	н	н	н	Ме

245	Вг	н	н	CI	н	Ме
246	Вг	н	н	COOMe	н	Ме
247	Вг	н	н	OMe	н	Ме
248	Вг	н	н	OCF3	н	Ме
249	Вг	н	Н	CF3	н	Ме
250	Вг	н	н	Ме	н	Мө
251	Вг	. н	н	F	н	Мө
252	Вг	Н	н	NO2	н	Мө
253	Вг	н	н	CN	н	Ме
254	Вг	н	н	он	н	Ме
255	M eN	н	н	н	н	Ме
256	M eN	н	н	CI	н	Ме

257	M eN	н	н	COOMe	н	Me
258	M eN	н	н	ОМе	н	Ме
259	M eN	н	н	OCF3	н	Ме
260	M eN	н	н	CF3	н	Ме
261	M eN	н	н	Me	н	Ме
262	M eN	н	н	F	н	Ме
263	M eN	н	н	NO2	н	Ме
264	M eN	н	н	CN	н	Ме
265	M eN	н	н	он	н	Ме
266	S.	н	Н	н	н	Ме
267	S	н	н	CI	н	Ме
268	\$	н	н	COOMe	н	Ме

269	\$	н	н	ОМе	н	Ме
270	\$	Н	н	OCF3	н	Ме
271	\$	н	н	CF3	н	Ме
272	S	н	н	Ме	н	Ме
273	\$	н	н	F	н	<b>Me</b>
274	\$	н	н	NO2	н	Ме
275	\$	н	н	CN	н	Ме
276	\$	н	н	он	н	Ме

340

 $X = -CO_{-1}q = 1$ , r = 0, Y = -(R4)C = C(R5)-

表 7							
cmpnd NO.7-	R1-(CH2)p	R2	R3	R4	R5	R6	R7
1	CI CI	н	н	Н	н	Н	н
2	CI	<b>H</b>	н	н	CI	н	н
3		н	н	<b>H</b>	н	н	н
4		н	н	н	CI	н	н
5	CI	н	н	н	н	н	н
6	CI	н	Н	Н	н	н	н
7	CI.	н	н	н	н	н	н
8 .		н	н	н	н	н	н
9	MeO.	н	н	н	н	н	н
10	Q	н	н	н	н	н	н

11	CI	Н	Н	Н	Н	Н	Н
12	Вг	H	н	н	н	н	н
13	Br	н	н	н	н	н	н
14	Br F.	<b>H</b>	н	н	н	н	н
15	Br	н	н	н	н	н	н
16	CIOH	н	н	Н	н	н	н
17	CI	н	н	н	н	н	н
18	M eN	н	н	н	н	н	н
19	S.	н	н	н	н	н	н
20	мео	н	н	н	н	н	н
21	O <sub>2</sub> N	н	н	н	н	н	н
22	MeO	н	н	н	н	н	н

35	но	н	н	н	Н	н	н
36	NC	н	н	н	н	н	H
37	0 <sub>2</sub>	н	н	н	Н	н	н
38	MeOOC.	н	н	ŀН	н	н	н
39	-N-Cl	н	Н	н -	н	н	н
40	MeO	н	н	н	н	н	н
41	~°C.	н	н	н	н	н	н
42 ′	~•Q	н	н	н	н	н	н
43	Y° ()	н	н	н	н	н	н
44	<del>\</del> Q	н	н	н	н	<b>H</b>	н
45		н	н	н	н	н	н
46	O°Q	н	н	н	н	н	н

47		Н	Н	н	н	н	н
48	THU.	н	н	н	н	н	н
49	<b>S</b> .	н	Н	н	<b>H</b> .	н	н
50		н	н	н	н	н	н
51	Q	н	н	Н	н	н	Н
52	CN CN	н	н	н	н	н	н
<b>53</b>	CI.	н	н	н	н	н	н
54	Q	н	н	н	н	н	н
55		н	н	н	н	н	н
56		н	н	н	н	н	н
57	F <sub>3</sub> C	н	н	н	н	н	н
58	CI F	н	н	н	н	н	н

59	CI CI	н	н	н	н	н	н
60	<u> </u>	н	н	н	н	н	н
61	F <sub>3</sub> C	н	Н	н	Н	н	н
62	F <sub>3</sub> CO	н	н	н	Н	н	н
63	MeO F	н	н	н	Н	н	н
64	O <sub>2</sub> N F	Н	н	н	н	н	н
65	02N	н	н	н	н	н	н
66	F	н	н	н	н	н	н
67	F <sub>3</sub> CS	н	н	н	н	н	н
68	cı Cı	н	н	н.	н	н	н
69	F <sub>2</sub> HC F.	н	н	н	н	н	н
70	<b>C</b>	н	н	н	н	н	н

71	NO <sub>2</sub>	н	Н	н	н	н	н
72	COOH	н	Н	н	н	н	н
73	Br	н	н	Н	н	н	н
74	<u></u>	н	н	н	Н	н	н
75	F.	н	н	Н	н	н	н
76	CI CI	н	н	н	н	н	н`
77	NC	н	н	н	н	н	н
78	но	н	н	н	н	н	н
79	EtO	н	н	н	н	н	н
80	O <sub>2</sub> N	н	н	н	н	Н	н
81	CICI	н	н	н	н	н	н
82	F F	н	н	н	н	н	н

83	Br	н	н	н	н	н	н
84	F <sub>3</sub> C	н	Н	н	н	н	н
85	CI	н	н	Н	н	н	н
86	F	н	Н	н	н	н	н
87	MeO Br	н	н	н	н	н	н
88	MeO OEt	н	н	н	н	н	Н
89	MeO	н	н	н	н	н	н
90	MeO	н	н	н	н	н	н
91	O <sub>2</sub> N CI	н	н	н	н	н	н
92	MeO	н	н	н	н	н	н
93		н	н	н	н	н	н

94	CI	н	н	н	Н	н	н
95		н	н	н	н	н	н
96	$Q_{0}Q_{-}$	н	н	н	н	н	н
97	MeO HO	н	н	н	н	н	н
98	CF <sub>3</sub> CI	н	н	н	н	н	н
99	O <sub>2</sub> N	н	н	н	Н	н	н
100	OMe OMe	н	н	н	н	н	н
101	Et0 OEt	н	н	н	н	н	н
102	но	н	н	н	н	н	н
103	MeO OMe	н	н	н	Н	н	н
104	0.11.	н	н	н	н	Н	н

105	MeO COOH	н	н	н	н	н	н
106	CI NO <sub>2</sub>	н	н	н	н	н	н
107	но	н	н	н	н	н	н
108	MeO	н	н	н	н	н	н
109	EtO	н	н	н	н	н	н
110	ноос	<b>н</b>	н	н	Н	н	н
111	но	н	н	н	н	н	н
112	O <sub>2</sub> N HO	н	н	н	Н	н	н
113	F <sub>3</sub> C CF <sub>3</sub>	н	н	н	н	н	н
114	OMe NO <sub>2</sub>	н	н	н	н	н	н
115	Q	н	н	н	н	н	н
116	M eN	н	н	н	н	н	н

117

Н

Н

•••	OM e	••	••	••		••	.,
118	Q.L.	н	н	Н	н	н	Н
119	M eN	н	н	н	н	н	н
120	\(\int_{\text{N}}\).	Н	н	н	н	Н	, <b>H</b>
121	OH.	Н	н	н	н	н	н
122	OAc .	Н	н	н	Н	н	н
123	Он	н	н	н	н	н	н
124	₩H.	н	н	н	н	н	н
125	<b>N</b> Q	н	н	н	н	н	н
126	M eN	н	. н	<b>H</b>	н	н	н
127	<b>.</b>	н	н	н	н	н	н
128	Q.	н	н	н	н	н	<b>H</b>

129	OEt	н	' <b>H</b>	<b>H</b>	н	н	н
130	HN	н	н	н	н	н	н
131	M eN.	н	н	н	н	н	н
132	N <sub>e</sub>	н	н	н	н	н	Н
133	M eN	Н	н	н	н	н	н
134	M eN	н	н	н	Н	н	н
135	O Me MeN	н	н	н	н	н	н
136	S	н	н	н	н	н	н
137	N <sub>N</sub> e	н	н	н	н	н	н
138	M eN	н	н	н	. н	н	н
139	N	н	н	н	н	н	н

140		н	н	н	н	н	н
141	MeQ MeN	н	н	н	н	н	н
142	C <sub>s</sub> (	н	н	н	н	н	н
143	MeO	н	н	н	Н	н	н
144		н	н	н	н	н	н
145	MeO	н	н	н	н	н	н
146	Br.	н	н	н	н	н	н
147	-N	H	н	н	н	н	н
148		н	н	н	н	н	н
149	<b>200</b>	н	н	н	н	н	н
150	CI.	н	н	н	н	н	н

151		н	н	н	н	н	н
152		н	н	н	н	н	н
153		н	н	н	н	н	н
154	O~~.	н	н	н	н	Н	н
155		н	н	н	н	н	н
158	Q.,	н	н	н	н	н	н
157	OH.	н	н	н	н	н	Н
158	O <sub>2</sub> N OH	н	н	н	н	н	н
159	СІ	н	н	н	н	н	н
160	ОН.	н	н	н	н	н	н
161	F OH	н	н	н	н	н	н
162	ОН	н	Н	н	н	н	н

163	CI NH <sub>2</sub>	н	н	н	н	н	н
164	СТ.	н	н	н	н	н	н
165	NH <sub>2</sub>	н	н	н	н	н	н
166	→ OH	н	Н	н	н	н	н
167	F₃CO COH	н	н	н	н	н	н
168	ОМе	Н	н	н	н	н	н
169	он	н	н	н	н	н	н
170	OEt	н	н	н	н	н	н
171	СООН	н	н	н	н	н	н
172	ОН	н	н	н	н	н	н
173		н	Н	н	н	н	н
174	CN	н	н	н	н	н	н

175	LN.	н	Н	н	н	н	н
176	Cs.	н	Н	н	н	н	н
177	HN. <sub>N</sub>	н	н	н	н	н	н
178	N. T.	н	н	н	н	н	н
179		н	н	н	н	н	н
180	CI COL.	н	н	н	н	Н	н
181	<b>₹</b> \$	н	н	н	н	н	н
182	N.	н	н	н	н	н	н
183	CN.	н	н	н	н	н	н
184	N	н	н	н	н	н	н
185		н	н	н	н	н	н
186	СІОН	н	н	н	CI	н	н

187	O <sub>2</sub> N OH	н	н	н	CI	н	н
188	МеО	. <b>H</b>	н	н	CI	Н	н
189	CI CI	н	Н	н	CI	н	н
190	Br	н	н	. н	CI	н	н
191	O <sub>2</sub> N	н	н	н	CI	н	н
192	MeO	н	н	Ĥ	CI	н	н
193	CI CI OH	н	н	н	CI	н	н
194	M eN	н	н	н	CI	н	н
195	S	н	н	н	CI	н.	н
196	Q.,	н	н	н	CI	н	н
197	Q	<b>H</b> .	н	н	CI	н	н
198	Вг	н	н	н	CI	н	н

199	Q.,	н	н	н	CI	н	н
200	O~	н	н	н	CI	н	н
201	CIOH	н	н	CI	н	н	н
202	CIOH	н	н	н	ОМе	н	н
203	СІОН	н	н	Н	COOMe	н	н
204	CI OH	н	н	н	н	CI	н
205	CIOH	н	н	<b>H</b>	н	COOMe	н
206	CIOH	н	Н	н	н	н	CI
207	CI OH	н	н	н	OCF3	н	н
208	СІ ОН	н	н	COOMe	н	н	н
209	СІСІОН	н	н	н	CF3	н	н
210	СІСІОН	н	н	н	Me	н	н

211	CIOH	н	н	н	F	н	н
212	CIOH	н	н	н	он	н	н
213	CI OH	н	н	н	NO2	н	н
214	CI CI OH	н	н	н	F	F	н
215	CI CI OH	н	н	F	н	н	н
216	СІОН	н	н	Ме	н	н	н
217	СІОН	н	н	н	CN	н	н
218	CIOH	н	н	CI	н	н	н
219	CIOH	н	н	н	ОМе	н	н
220	CIOH	н	н	н	COOMe	н	н
221	СІ	н	н	н	н	CI	н
222	CI OH	н	н	н	н	COOMe	н

223	СІ	н	н	н	н	н	CI
224	СІ	н	н	н	OCF3	н	н
225	СІ	н	н	COOMe	н	н	н
226	СІСІ	н	Н	н	CF3	н	н
227	CIOH	н	н	н	Me	н	н
228	CIOH	н	н	н	F	н	н
229	CIOH	н	н	н	он	н	н
230	CIOH	н	н	н	NO2	н	н
231	CIOH	н	н	н	F	F	н
232	CIOH	н	н	F	н	н	н
233	CIOH	н	н	Me	н	н	н
234	CIOH	н	н	н	CN	н	Н

235	Q.	н	н	CI	н	н	н
236	<u>Q</u> .	Н	н	н	OMe	н	н
237	<b>Q</b>	н	н	н	COOMe	н	н
238	Q	н	н	н	н	CI	н
239	Q	н	н	н	н	COOMe	н
240	Q.,	н	н	H	н	н	CI
241		н	н	н	OCF3	н	н
242	Q.,	н	Н	COOMe	н	Н	н
243	Q.,	н	н	н	CF3	н	н
<b>244</b>	Q.,	н	' Н	н	Ме	н	н
245	<b>Q</b>	н	н	н	F	н	н
246		н	н	н	ОН	н	н

247	Q.,	Н	н	Н	NO2	н	н
248		н	н	н	F	F	н
249	Q.	н	н	F	н	н	н
250		н	н	Ме	н	н	н
251	Q.	н	н	н	CN	н	н
252	Q	н	н	CI	н	н	н
253	Q	н	н	н	ОМе	н	н
254	Q	н	н	н	COOMe	н	н
255 -	Q	н	н	н	н	CI	н
256	Q	н	н	н	н	COOMe	н
257	Q	н	н	н	н	н	CI
258	Q	н	н	н	OCF3	н	н

<b>259</b>	Q	н	н	СООМе	н	н	н
260	Q	н	н	н	CF3	н	н
261	Q	н	н	н	Ме	н	н
262	Q	н	н	н	F	н	н
263		н	н	н	он	н	н .
264	Q	н	н	н	NO2	н	н
265	Q	н	н	н	F	F	н
266	Q	н	н	F	н	н	н
267	Q	н	н	Ме	н	н	н
268	Q	н	н	н	CN	н	н
269	СІОН	н	н	н	н	н	COOMe
270	CIOH	<b>н</b>	н	Н	н	F	н

283	CIOH	н	Н	OCF3	н	н	н
284	CIOH	н	н	н	н	OCF3	н
285	CI OH	н	н	н	н	н	OCF3
286	CIOH	н	н	NO2	н	н	н
287	СІ ОН	н	. н	н	н	NO2	н
288	CI OH	н	н	н	н	н	NO2
289	CI OH	н	н	CN	н	н	н
290	СІОН	н	н	н	н	CN	н
291	СІОН	н	н	н	н	н	CN
292	CIOH	н	н	Br	н	н	н
293	CI OH CI OH	н	н	н	Br	н	Н
294	СІОН	н	н	н	н	Br	н

295	CIOH	н	н	н	н	н	Br
296	СІОН	н	н	соон	н	н	н
297	СІОН	н	н	н	соон	н	н
298	CIOH	н	н	н	н	соон	н
299	CIOH	н	н	н	н	н	соон
300	CIOH	н	н	NHCOMe	н	н	н
301	CIOH	н	н	Н	NHCOMe	н	н
302	CIOH	н	н	Н	н	NHCOMe	н
303	CIOH	н	н	н	н	н	NHCOMe
304	CIOH	н	н	SO2NH2	н	н	н
305	CIOH	н	н	н	SO2NH2	н	н
306	CIOH	н	н	н	н	SO2NH2	н

319	СІОН	- н	Н	Ме	ОН	н	Ĥ
320	CI CI OH	<b>H</b>	н	Ме	OMe	н	н
321	СІОН	н	н	F	Ме	Н	н
322	CIOH	н	H	F	CI	н	н
323	CI OH	н	н	F	он	н	н
324	CIOH	н	н	F	ОМе	н	н
325	CIOH	н	н	CI	Мө	Н	н
326	CIOH	н	н	CI	F	н	н
327	CIOH	н	н	CI	он	н	н
328	CI OH	н	н	CI	OMe	н	н
329	СІ	н	н	н	н	н	COOMe
330	CI OH	н	н	Н	н	F	н

331	СІСОН	н	н	н	н	н	F
332	сі Сі	н	н	н	н	Ме	н
333	CIOH	н	н	н	Н	н	Me
334	CIOH	н	н	OMe	н	н	н
335	CIOH	н	н	н	н	OMe	н
336	CIOH	н	н	н	н	н	ОМе
337	CIOH	н	н	CF3	н	н	н
338	СІОН	н	н	н	н	CF3	н
339	СІ	н	н	н	н	н	CF3
340	СІ	н	н	ОН	н	н	н
341	СІ	н	н	н	н	ОН	н
342	СІСОН	н	н	н	н	н	ОН

343	CIOH	н	н	OCF3	н	н	н
344	CIOH	Н	н	н	н	OCF3	н
345	CIOH	н	н	н	н	н	OCF3
346	CIOH	н	н	NO2	н	н	н
347	CIOH	н	н	н	н	NO2	н .
348	CIOH	н	н	н	н	н	NO2
349	СІ	н	н	CN	н	Н	н
350	СІ	н	н	н	н	CN	н
351	СІ	н	н	н	н	н	CN
352	CI OH	н	н	Br	н	н	н
353	CI OH	н	н	н	Br	н	Н
354	CIOH	н	н	н	н	Br	н

355	CI OH	н	н	н	н	Ħ.	Br
356	СІ	н	н	соон	Н	н	н
357	СІ	н	н	н	соон	н	н
358	СІ	н	н	н	н	соон	н
359	СІ	н	н	н	н	н	соон
360	СІ	н	н	NHCOMe	н	н	н
361	СІ	н	н	н	NHCOMe	ь н	н
362	СІ	н	н	н	н	NHCOMe	н
363	СІ	н	н	н	н	н	NHCOMe
364	CI	н	н	SO2NH2	н	н	н
365	СІ	н	н	н	SO2NH2	: н	н
366	CI OH	н	н	н	н	SO2NH2	н

<sub>.</sub> 367	СІОН	Н	н	н	н	н	SO2NH2
368	сі	Н	н	Ме	Me	Н	н
369	CIOH	н	н	Me	н	Ме	н
370	CI OH	н	н	н	Ме	Ме	н .
371	СІ	н	н	F	F	н	Н
372	СІ	н	н	F	н	<b>F</b>	н
373	CI OH	н	н	н	F	F	н
374	CI OH	н	н	CI	CI	н	н
375	сі Сі	н	н	CI	н	CI	н
376	СІ	н	н	н	CI	CI	н
377	CI OH	н	н	Мв	F	н	н
378	CI OH	н	н	Ме	CI	н	н

<b>379</b>	СІ	н	н	Ме	он	н	н
380	СІ	н	н	Ме	OMe	н	н
381	CICH	н	н	F	Me	н	н
382	СІ	н	н	F	Cl	н	н
383	СІ	н	н	F	он	н	н
384	CIOH	н	н	F	ОМе	н	н
385	CIOH	н	н	CI	Ме	н	н
386	CIOH	н	н	CI	F	н	н
387	CIOH	н	н	CI	он	н	н
388	CI OH	н	н	CI	OMe	н	н
389	Q	н	н	н	н	н	COOMe
390	Q	н	н	н	н	F	н

391	Q.,	н	н	н	н	н	F
392	<b>Q</b>	Н	н	н	н	Ме	н
393		н	н	н	н	н	Ме
394	Q.,	н	н	ОМе	н	н	н
395	Q.	н	н	н	н	OMe	н
396	Q.	н	н	н	н	н	OMe
397	Q.	н	н	CF3	н	н	н
398	Q.	н	н	н	н	CF3	H
399	Q.	н	н	н	н	н	CF3
400		н	н	ОН	н	н	н
401	Q.	н	н	н	н	он	н
402		н	н	н	н	н	он

403	Q	н	н	OCF3	н	н	н
404	Q	н	н	н	Н	OCF3	н
405	Q	н	н	н	н	н	OCF3
406		н	н	NO2	н	н	н
407		н	н	н	н	NO2	н
408	Q	н	н	н	н	н	NO2
409	Q.	н	н	CN	н	н	н
410	Q.	н	н	н	н	CN	н
411	Q.	н	н	н	н	н	CN
412	Q.	н	н	Br	н	<b>H</b> .	н
413	2.	н	н	н	Br	н	н
414	Q.	н	н	н	н	Br	н

415		н	н	н	н	н	Br
416	Q.	н	н	соон	н	Н	н
417	Q.,	н	Н	н	соон	н	н
418	Q.,	н	н	н	н	соон	<b>H</b>
419	Q.	н	н	н	н	н	соон
420	Q	н	н	NHCOMe	н	н	н
421	Q	н	н	Н	NHCOMe	н	Н
422	Q	н	н	Н	н	NHCOMe	н
423	Q	н	н	н	н	н	NHCOMe
424	Q	н	н	SO2NH2	н	н	н
425	Q	н	н	н	SO2NH2	н	н
426	Q	н	н	н	н	SO2NH2	н

427	Q.	н	н	н	н	н	SO2NH2
428	Q	н	н	Me	Ме	н	н
429	Q	н	н	Me	н	Ме	н
430		н	Н	н	Ме	Me	Н
431	Q.	н	Н	F	F	н	н
432	Q.	н	н	F	н	F	н
433	Q	н	н	н	F	F	н
434	Q	н	н	CI	CI	н	н
435	Q	н	Н	CI	н	CI	н
436	Q	н	н	Н	CI	CI	н
437	Q.	н	н	Me	F	H	н
438	Q.,	н	н	Me	CI	н	н

439		н	н	Ме	ОН	н	н
440	Q.,	н	Н	Me	ОМе	н	н
441	Q.,	н	н	F	Me	н	н
442		н	н	F	CI	н	н
443		н	н	F	он	н	н
444	Q.	н	н	F	OMe	н	н
445	Q.	н	н	CI	Me	н	н
446	Q.	н	н	CI	F	н	н
447	Q.	н	н	CI	ОН	н	н
448	Q.	н	н	CI	OMe	н	н
449	Br OH	н	н	CI	н	н	н
450	Br OH	н	н	н	OMe	н	н

	ОН						
451	Br V	н	Н	Н	COOMe	Н	Н
452	Вг	н	н	н	н	CI	н
453	Вг	Н	н	н	н	COOMe	. Н
454	Вг	н	н	н	н	н	CI
455	Br OH	Н	н	н	OCF3	н	н
456	Br OH	н ·	н	COOMe	н	н	Н
457	вг ОН	н	н	н	CF3	н	н
458	Br OH	н	н	н	Me	н	н
459	Вг	н	н	н	F	н	н
460	D Br OH	н	н	н	он	н	н
461	Br OH	н	н	н	NO2	н	н
462	2 Br OH	н	н	н	F	F	н

463	Br	н	н	F	н	н	н
464	Вг	н	н	Ме	н	н	н
465	Br	H	н	н	CN	н	н
466	M eN	н	н	CI	н	н	н
467	M eN	н	н	н	ОМв	н	н
468	M eN	н	н	н	COOMe	н	н
469	M eN	н	н	н	н	CI	н
470	M eN	н	н	н	н	COOMe	н
471	M eN	н	<b>.</b> Н	н	н	н	CI
472	M eN	н	Н	н	OCF3	н	н
473	M eN	н	н	COOMe	н	н	н
474	M eN	Н	н	н	CF3	н	н

380

475	M eN	н	н	н	Ме	н	н
476	M eN	н	Н	н	F	н	н
477	M eN	н	Н	н	он	н	н
478	M eN	н	н	н	NO2	н	н
479	M eN	н	н	н	F	F	н
480	M eN	н	н	F	н	н	н
481	M eN	н	н	Me	н	н	н
482	M eN	н	н	Н	CN	н	н
483	S.	Н	н	CI	н	н	н
484	S.	н	н	н	ОМе	н	н
485	S.	н	н	н	COOMe	н	н
486	S.	н	н	н	н	CI	н

487	S.	н	н	н	н	COOMe	н
488	S.	н	н	н	н	н	CI
489	\$	н	н	н	OCF3	н	н
490	S.	н	н	COOMe	Н	н	н
491	S.J.	н	н	н	CF3	н	н
492	S.	н	н	н	Me	н	н
493	S	н	н	н	F	н	н
494	\$	н	н	н	ОН	н	н
495	\$	н	н	н	NO2	н	н
496	\$	н	н	н	F	F	н
497	5	н	н	F	н	н	н
498	\$	н	н	Мв	н	н	н

499	s.	н	н	н	CN	н	Н
500	CIOH	н	Me	н	н	н	н
501	CIOH	н	Me	н	н	н	н
502	Q.	н	Ме	н	н	н	н
503		н	Ме	н	н	н	н
504	СІ	н	н	н	н	н	н
505	СІ	н	н	F	н	Н	н
506	СІ	н	н	CI	н	н	н
507	СІ	н	н	Ме	н	н	н
508	СІ	н	н	Et	н	н	н
509	СІ	н	н	ОМе	н	н	н
510	СІ	н	н	OEt	н	н	н

523	СІ	н	н	н	ОМе	н	н
524	CICHOH	н	н	н	OEt	н	н
525	СІ	н	н	н	CF3	Н	н
526	СІ	н	Н	н	OCF3	<b>H</b> .	н
527	СІ	н	Н	н	NO2	н	н
528	СІ	н	н	н	NH2	н	н
529	СІ	н	н	Н	ОН	н	н
530	СІ	н	н	н.	CN	н	Н
531	CI	н	н	н	COMe	н	н
532	СІ	н	н	н	COOMe	н	н
533	СІ	н	н	F	F	н	н
534	СІ ОН	н	н	F	CI	н	н

547	CI FOH	н	н	CI	CF3	н	н
548	CI FOH	н	н	CI	OCF3	н	н
549	CICHOH	н	н	 <b>Me</b>	F	н	Н
550	CICHOH	н	н	Ме	CI	н	н
551	CI	н	н	Ме	Ме	н	н
552	СІ	н	н	Ме	Et	н	н
553	СІ	н	н	Ме	ОМе	н	н
554	СІ	н	н	Ме	OEt	н	н
555	СІ	н	н	Ме	CF3	н	н
556	СІ	н	н	Ме	OCF3	н	н
557	СІ	н	н	ОМе	F	н	н
558	СІ	н	н	ОМе	CI	н	н

559	СІ ОН	н	н	OMe	Ме	н	н
560	СІСІОН	н	Н	OMe	Et	н	н
561	CICHOH	н	Н	OMe	OMe	н	н
562	CI	н	Н	OMe	OEt	н	н
563	CI	н	н	ОМе	CF3	н	н
564	СІ	н	н	OMe	OCF3	н	н

X = -CS-, q = 0, r = 0, Y = -(R4)C=C(R5)-

衣	Ö
_	_

cmpnd NO.8-	R1-(CH2)p	R2	R3	R4	R5	R6	R7
1	CI	Н	н	н	н	н	н
2	CI CI	н	н	н	CI	н	н
3		н	н	Н	н	н	н
4		н	н	Н	CI	н	н
5	CI.	н	н	Н	н	н	Н
6	cı C.	н <sub>.</sub>	н	н	н	н	н
7	CI	н	н	н	н	н	Н
8	Q	н	н	н	н	н	н
9	MeO	н	н	н	н	н	н
10	Q	н	н	н	Н	Н	Н

11	CI CH	н	н	н	н	н	н
12	Вг	н	Н	н	н	н	н
13	Br OMe	н	Н	н	н	н	н
14	Br F.	н	н	н	н	н	н
15	Br	н	н	н	Н	н	н
16	CIOH	н	н	н	Н	н	н
17	CI	н	н	н	н	н	н
18	M eN	н	н	н	н	н	н
19	\$	н	н	н	н	н	н
20	MeO OH	н	н	н	н	н	н
21	0 <sub>2</sub> N	н	н	н	н	н	н
22	MeO	н	н	н	н	н	н

HO\_

35	"Q.,	н	н	н	н	н	н
36	NC C	Н	н	н	н	н	н
37	O <sub>2</sub>	н	Н	н	н	н	н
38	MeOOC.	н	н	н	Н	н	н
39	-N	н	н	н	н	н	н
40	MeO	н	н	н	н	н	н
41	~°C.	н	н	н	н	н	н
42	~°	н	н	н	н	н	н
43	Y° ()	н	н	н	н	н	н
44	<del>-</del> Q	н	н	н	н	н	н
45		н	н	н	н	н	н
46	O°Q.	н	н	н	н	н	н

47	OQ.	н	н	н	н	н	н
48	THE STATE OF THE S	н	н	н	н	н	н
49	<b>S</b>	н	н	н	н	н	н
50		н	Н	н	н	н	н
51	Q	н	н	н	н	н	н
52	CN.	н	н	н	Н	Н	н
53	CI	н	н	н	н	н	н
54		Н	н	н	н	н	н
55		н	н	н	н	н	н
56	<b>G.</b> .	н	н	н	н	н	н
57	F <sub>3</sub> C	н	н	н	н	н	н

58	CI F	н	н	н	н	н	н
59	CI CI	н	н	н	н	н	н
60	<u> </u>	н	Н	н	н	н	н
61	F <sub>3</sub> C	н	Н	Н	н.	н	н
62	F <sub>3</sub> CO	н	н	Н	н	н	н
63	MeO	н	н	н	Н	н	н
64	O <sub>2</sub> N F.	н	н	н	Н	н	н
65	0 <sub>2</sub> N	н	н	н	н	н	н
66	F	н	н	н	н	н	н
67	F <sub>3</sub> CS CI	н	н	н	н	н	н
68	CI CI.	н	н	н	н	н	н
69	F₂HC	н	н	н	н	н	н

70	C.	н	н	н	н	н	н
71	NO <sub>2</sub>	н	н	н	н	н	н
72	COOH	н	н	н	н	н	н
73	Br	н	н	н	н	н	н
74		н	н	н	н	н	н
75	F.	н	н	н	Н	н	н
76	CI	н	н	н	н	н	н
77	NC	н	н	н	н	н	н
78	но	н	н	н	н	н	н
79	EtO	н	н	н	н	н	н
80	CI O <sub>2</sub> N	н	. н	н	н	н	н
81	CI CI	н	н	н	н	н	н

82	F F	н	н	н	н	н	н
83	Br	н	н	н	н	н	н
84	F <sub>3</sub> C F	Н	н	н	н	н	н
85	HO CI	н	н	н	н	н	н
86	F F	н	н	н	Н	н	н
87	MeO Br	н	н	н	н	н	н
88	MeO OEt	н	н	н	н	н	н
89	MeO	н	н	н	н	н	н
90	MeO	н	н	н	н	н	н
91	O <sub>2</sub> N CI	н	н	н	н	н	н
92	MeO.	н	н	н	н	н	н

93		н	Н	н	н	Н	н
94	CI CO.	н	н	н	н	н	н
95	O, O.	н	н	н,	н	н	н
96	0.0.	н	н	н	н	н	н
97	МеО НО	н	н	н	. н	н	н
98	CF <sub>3</sub> CI	Н	н	н	Н	н	Н
99	HO O <sub>2</sub> N	н	н	н	н	н	H
100	OMe OMe	н	н	н	Н	н	н
101	EtOOEt	н	н	н	Н	н	н
102	но	н	н	н	н	н	н
103	MeO OMe	н	н	н	н	н	н

104		н	н	н	н	н	н
105	MeO COOH	н	н	н	н	н	н
106	CI NO <sub>2</sub>	н	н	н	н	н	н
107	но Он	н	н	н	н	н	н
108	MeO	н	<b>H</b>	н	н	н	н
109	EtO	н	н	н	н	н	н
110	ноос	н	н	н	н	н	н
111	но	н	н	н	н	н	н
112	O <sub>2</sub> N HO	н	н	н	н	н	н
113	F <sub>3</sub> C	н	н	н	н	н	н
114	OMe NO <sub>2</sub>	н	н	н	н	н	н
115	<b>Q</b>	н	н	н	н	н	н

116	M eN	н	Н	н	н	н	н
117	OM e	н	н	Н	н	н	н
118	Col.	н	н	Н	н	н	н
119	M eN	н	н	н	н	н	н
120	₽N.	н	н	н	н	н	н
121	ОН	н	н	н	н	н	н
122	OAC.	н	н	н	н	н	н
123	ОН	н	н	н	н	н	н
124	NH 	н	н	н	н	н	н
125		н	н	н	н	н	н
126	M eN	н	н	н	н	н	н

127	<b>.</b>	<b>H</b>	Н	н	н	н	н
128	<b>Q</b> .	н	н	н	н	н	н
129	OEI	Н	Н	н	Н	н	Н
130	HN.J.	Н	н	н	н	н	н
131	M eN	н	н	Н	н	Н	н
132	N <sub>Me</sub>	н	н	н	<b>H</b>	н	н
133	M eN	н	Н	н	н	н	н
134	MeN	н	н	н	н	н	н
135	O Me MeN	н	н	н	н	н	н
136	s	н	н	н	н	н	н
137	N <sub>N</sub> e	н	н	н	н	н	н

138	MeN	Н	Н	н	н	н	н
139		н	н	н	. н'	н	н
140		н	н	н	н	н	н
141	M e O	н	н	н	н	н	н
142	$Q_{s}$ $L$ .	н	н	н	н	н	н
143	MeO.	н	н	н	Н	н	н
144		н	н	н	н	н	н
145	MeO	н	н	н	н	н	н
146	Br.	н	н	н	Н	н	н
147	-N-Q	н	н	н	н	н	н
148	(°)	н	н	н	н	н	н

149	<b>Y</b> ° <b>\</b> \	н	н	Н	н	н	н
150	<b>O</b> D	н	н	н	н	н	н
151		н	н	н	н	н	н
152		н	н	н	н	н	н
153		н	<b>H</b>	н	н	н	н
154	O~~.	н	н	н	н	н	н
155		н	н	н	н	н	н
156		н	н	н	н	н	н
157	I OH	н	н	н	н	н	н
158	O <sub>2</sub> N OH	н	н	н	н	н	н
159	СІ	н	н	н	н	н	н
160	ОН	н	н	н	н	н	н

161	F OH	н	н	н	н	н	Н
162	ОН	н	Н	Н	н	Н	н
163	CI NH <sub>2</sub>	н	н	н	н	н	н
164	ОН	н	н	н	н	н	н
165	NH <sub>2</sub>	н	н	н	н	н	н
166	→ OH	н	н	н	H	н	н
167	F₃CO OH	Н	н	н	н	н	<b>H</b>
168	ОМе	н	н	н	н	н	н
169	он	н	н	н	н	н	н
170	OEt OH	н	н	н	н	н	н
171	СООН	н	н	н	н	н	н
172	ОН	н	н	н	н	н	н

173	<b>L</b>	Н	Н	Н	Н	Н	н
174	~~.	н	н	Н	н	н	н
175		н	н	Н	Н	н	н
176	(s)	н	н	н	н	н	н
177	HN. <sub>N</sub>	н	н	н	н	н	н
178		н	н	н	н	н	н
179		н	н	н	н	н	н
180	CI-CO	н	н	н	н	н	н
181	<b>₹</b> \$	н	н	н	н	н	н
182	NH	н	н	н	н	н	н
183		н	н	н	н	н	н
184	(N)	н	н	н	н	н	н

185	N)	н	н	н	н	н	н
186	СІ	н	н	н	CI	н	н
187	O <sub>2</sub> N OH	н	н	Н	Cl	н	н
188	МеО	Н	н	н	CI	н	н
189	cı Cı	н	н	н	CI	н	. н
190	Br	н	н	н	CI	н	н
191	O <sub>2</sub> N	Н	н	н	CI	н	н
192	MeO	н	н	н	CI	н	н
193	CIOH	н	н	н	CI	н	н
194	M eN	н	н	н	CI	н	н
195		н	н	н	CI	н	н
196	Q	н	н	н	CI	н	н

197		н	н	Н	CI	н	н
198	Br	н	н	н	CI	н	н
199		н	н	н	CI	н	н
200	<b>O</b> ^	н	н	н	CI	н	н
201	CIOH	н	н	CI	н	н	н
202	CIOH	н	н	н	OMe	н	н
203	CIOH	н	н	н	COOMe	н	н
204	CIOH	н	н	н	н	CI	н
205	CIOH	н	н	н	н	COOMe	н
206	CI OH	н	н	н	н	н	CI
207	CIOH	н	н	н	OCF3	н	н
208	CIOH	н	н	COOMe	н	н	н

209	CIOH	H	н	Н	CF3	н	н
210	CI OH	н	н	н	Ме	н	н
211	СІСІОН	н	н	н	F	н	н
212	СІСІОН	н	н	н	он	н	н
213	СІОН	н	н	н	NO2	н	н
214	СІСІОН	н	н	н	F	F	н
215	СІОН	н	н	F	н	н	н
216	СІОН	н	н	Ме	н	н	н
217	CIOH	н	н	Н	CN	н	н
218	СІ	н	н	CI	н	н	н
219	CI OH	н	н	н	OMe	н	н
220	CI	н	н	н	COOMe	н	н

221	CI OH	н	н	н	н	CI	н
222	СІОН	н	н	н	н	COOMe	н
223	CI OH	н	н	н	н	н	CI
224	СІ	н	н	н	OCF3	н	н
225	СІСОН	н	н	COOMe	н	н	н
226	CIOH	н	н	н	CF3	н	н
227	СІ	н	н	н	Ме	н	н
228	СІ	н	н	н	F	Н	н
229	СІ	н	н	н	он	н	н
230	CIOH	н	н	н	NO2	Н	н
231	CIOH	н	н	н	F	F	н
232	СІСОН	Н	н	F	н	н	н

233	CIOH	н	н	· Me	н	н	н
234	СІСОН	н	н	н	CN	н	н
235	<b>Q</b>	н	н	CI	н	н	н
236	<b>Q</b>	н	н	н	OMe	н	н
237	Q	н	н	н	COOMe	н	н
238	Q.,	н	н	н	н	CI	н
239	Q	н	н	н	н	COOMe	н
240	Q	Н	н	н	н	н	CI
241	Q.,	н	н	н	OCF3	н	н
242	Q.,	н	н	COOMe	н	н	н
243	Q.,	н	н	н	CF3	н	н
244	Q	н	н	н	Ме	н	н

245	Q.	н	н	н	F	н	н
246	Q	н	Н	н	он	н	H
247	Q	н	н	Н	NO2	н	н
248	Q	н	н	н	F	F	н
249	Q	н	н	F	н	н	н
250	<b>Q</b>	н	н	Ме	н	н	н
251	Q	н	н	Н	ĊŅ	н	н
252	Q	н	н	CI	н	н	н
253	Q	н	н	н	OMe	н	н
254	Q	н	н	н	COOMe	н	н
255	Q	н	н	Н	н	CI	н
256	Q	н	н	н	н	COOMe	н

257		н	н	н	н	н	CI
258		н	н	н	OCF3	н	н
259	Q	н	н	COOMe	н	н	н
260	Q	н	н	н	CF3	н	н
261	Q	н	н	н	Ме	н	н
262	Q	н	н	н	F	н	н
263	Q	Н	н	н	ОН	Н.	н
264	Q	Н	н	н	NO2	н	н
265	Q	н	н	н	F	F	н.
266	Q	н	н	F	н	Н	н
267	Q	н	н	Me	н	н	н
268	Q	н	н	н	CN	н	н

269	СІОН	н	Н	н	н	н	COOMe
270	СІОН	н	н	н	н	F	н
271	СІОН	н	Н	н	н	н	F
272	СІОН	н	н	н	н	Ме	н
273	CIOH	н	Н	н	н	н	Ме
274	CIOH	н	н	ОМе	н	н	н
275	CIOH	н	н	н	Н	OMe	н
276	CIOH	н	н	н	н	Н	OMe
277	CIOH	н	н	CF3	н	н	н
278	CI OH	Н	н	н	н	CF3	н
279	CI OH	Н	н	н	н	н	CF3
280	CI OH	н	н	он	н	н	н

281	CIOH	н	н	н	н	ОН	н
282	CIOH	н	н	н	н	н	он
283	CIOH	н	н	OCF3	н	н	н
284	CIOH	н	н	н	н	OCF3	н
285	CIOH	н	н	н	н	· н	OCF3
286	СІОН	н	н	NO2	Н	н	н
287	CIOH	н	н	н	н	NO2	н
288	CI OH	н	н	н	н	н	NO2
289	CIOH	н	Н	CN	н	н	н
290	CIOH	Н	н	н	н	CN	н
291	CI CI OH	н	н	н	н	н	CN
292	CIOH	н	н	Br	н	н	н

293	CIOH	н	н	н	Br	н	н
294	СІОН	н	н	н	н	Br	н
295	СІОН	н	н	н	<b>H</b> .	н	Br
296	СІ	н	н	соон	н	н	н
297	СІОН	н	н	н .	СООН	н	н
298	CIOH	н	н	н	н	соон	н
299	CIOH	н	н	н	н	н	соон
300	CIOH	н	н	NHCOMe	н	н	н
301	CIOH	н	н	н	NHCOM	э Н	н
302	CI CI OH CI CI OH CI OH	н	н	н	н	NHCOMe	ь Н
303	CIOH	н	н	<b>H</b>	н	н	NHCOMe
304	СІОН	н	н	SO2NH2	н	н	н

305	CIOH	н	н	н	SO2NH2	н	н
306	CIOH	н	н	н	н	SO2NH2	н
307	CIOH	н	н	н	H	н	SO2NH2
308	CIOH	н	н	Ме	Ме	н	н
309	CIOH	н	н	Ме	н	Ме	н
310	CIOH	н	н	н	Ме	Me	н
311	СІОН	н	н	F	F	н	н
312	СІСІОН	н	н	F	н	F	н
313	СІСІОН	н	н	н	F	F	н
314	CI OH	н	н	CI	CI	н	. н
315	СІСІОН	н	н	CI	н	CI	н
316	СІОН	н	н	н	CI	CI	н

317	СІОН	н	н	Ме	F	н	н
318	CIOH	н	н	Me	CI	н	н
319	CIOH	н	н	Me	он	н	н
320	СІОН	н	н	Me	ОМе	н	н
321	СІОН	н	н	F	Мө	н	н
322	СІОН	<b>H</b> .	н	F	CI	н	н
323	CIOH	н	н	F	он	н	н
324	СІСІОН	н	н	F	ОМе	н	н
325	СІСІОН	н	н	CI	Me	н	н
326	CI OH	н	н	CI	F	н	н
327	СІСІОН	н	н	CI	он	н	н
328	СІОН	н	н	CI	OMe	н	н

329	CI OH	н	н	н	н	н	COOMe
330	СІСІ	н	н	н	н	F	н
331	CICOH	н	'Н	н	н	н	F
332	CICOH	н	н	н	н	Ме	н
333	СІСОН	н	н	н	н	н	Ме
334	СІСОН	н	н	OMe	н	Н	н
335	СІСОН	Н	н	н	н	OMe	н
336	CIOH	н	н	н	н	н	OMe
337	CIOH	н	н	CF3	н	н	н
338	СІСІОН	н	н	н	н	CF3	н
339	СІСІ	н	н	н	н	н	CF3
340	CIOH	н	н	он	н	н	н

341	CI OH	н	н	н	н	он	н
342	CI OH	н	Н	н	н	н	ОН
343	СІ	н	н	OCF3	н	н	н
344	СІ	н	н	н	н	OCF3	н
345	СІ	н	н	н	н	н	OCF3
346	СІ	н	н	NO2	н	н	н
347	СІСОН	н	н	н	н	NO2	н
348	СІСОН	н	н	н	н	н	NO2
349	CIOH	н	н	CN	н	н	Н
350	CI OH	н	н	н	н	CN	н
351	CIOH	н	, н	н	н	н	CN
352	CI OH	н	н	Br	н	н	н

353	СІ	н	н	н	Br	н	н
354	СІСІОН	н	н	н	н	Br	н
355	CIOH	н	н	н	н	Н	Br
356	СІОН	н	н	соон	н	н	н
357	CIOH	н	н	н	соон	н	н
358	СІОН	н	н	н	н	соон	н
359	CIOH	н	н	н	н	н	соон
360	СІОН	, н	н	NHCOMe	н	н	н
361	CI OH	н	н	н	NHCOMe	н	н
362	СІСІОН	н	н	н	н	NHCOMe	н
363	CI OH	н	<b>H</b>	н	н	н	NHCOMe
364	CI OH	н	н	SO2NH2	н	н	н

365	CIOH	н	н	н	SO2NH2	н	н
366	CI OH	н	н	н	н	SO2NH2	н
367	CI	н	н	н	н	н	SO2NH2
368	CI	н	н	Ме	Me	н	н
369	CI CH	н	н	Ме	н	Мө	н
370	СІ	н	н	н	Мө	Ме	н
371	CICH	н	н	F	F	н	н
372	CI OH	н	н	F	н	F	н
373	CI OH	н	н	н	F	F	н
374	CI OH	н	н	CI	CI	н	н
375	сі	н	н	CI	н	CI	н
376	CI OH	н	н	н	CI	CI	н

377	CIOH	н	н	Ме	F	н	н
378	CI OH	н	н	Ме	CI	н	н
379	CIOH	н	н	Me	он	н	н
380	CIOH	н	н	Ме	OMe	н	н
381	CIOH	н	н	F	Me	н	н
382	CI OH	н	н	F	CI	н	н
383	CI OH	Н	н	F	он	н	н
384	СІ	н	н	F	ОМе	н	н
385	СІ	н	н	CI	Ме	н	н
386	CI OH	н	н	CI	F	н	н
387	СІ	н	н	CI	он	н	н
388	сі Он	н	н	CI	OMe	н	н

389	Q.	н	н	н	н	н	COOMe
390	<b>Q</b>	н	н	н	н	F	н
391	Q	н	Н	н	н	н	F
392	Q	н	н	н	н	Ме	н
393	Q	н	н	н	н	н	Me
394	Q	н	н	ОМе	н	<b>H</b>	н
395	Q.,	н	н	н	н	ОМе	н
396	Q	н	н	н	н	н	ОМе
397	Q	Н	н	CF3	н	н	н
398	Q	н	н	н	н	CF3	н
399	Q.,	н	н	н	н	н	CF3
400	Q	н	н	он	н	н	н

401	Q.	н	н	Н	н	он	н
402	Q.	н	н	н	н	н	он
403	Q.	н	. <b>H</b>	OCF3	н	н	н
404	Q	Н	н	н	н	OCF3	н
405	Q	н	н	н	н	н	OCF3
406	Q	н	н	NO2	н	н	н
407	Q	н	н	н	н	NO2	н
408	Q.	н	н	н	н	н	NO2
409	Q.	н	н	CN	н	н	н
410	Q.	н	н	н	н	CN	н
411	<b>Q</b>	н	н	н	н	н	CN
412	Q	н	Н	Br	н	н	н

413	Q.	н	н	н	Br	н	н
414	Q	н	н	н	н	Br	н
415	Q.	н .	н	н	н	н	Br
416		н	н	соон	н	н	н
417	Q.	н	н	н	соон	н	н
418	Q	н	н	н	Н	соон	н
419	Q.	н	н	н	Н	н	соон
420		н	н	NHCOMe	н	н	н
421	Q	н	н	Н	NHCOMe	ь Н	н
422	Q	н	н	н	н	NHCOM	э H
423	Q.,	н	н	н	н	н	NHCOMe
424		н	н	SO2NH2	н	н	H

425		н	н	н	SO2NH2	н	н
426	Q	н	H	н	Н	SO2NH2	н
427		н	н	н	н	н	SO2NH2
428		н	н	Ме	Ме	н	н
429	<b>Q</b>	н	н	Ме	н	Ме	н
430	Q.	н	н	н	Ме	Мө	н
431	Q.	н	н	F	F	н	н
432	Q.,	н	н	F	н	F	н
433	Q.	<b>н</b>	н	н	F	F	н
434	Q.	н	н	Cl	CI	н	н
435	<b>Q</b>	н	н	CI	н	CI	н
436	Q.	н	н	н	CI	CI	н

437	Q	н	н	Ме	F	н	н
438	Q.,	н	н	Ме	CI	н	н
439	Q	н	н	Me	он	н	н
440	Q.	н	н	Ме	ОМе	н	н
441	Q.,	H	н	F	Ме	н	н
442	Q.,	н	н	F	CI	н	н
443	Q	н	н	F	он	Н	н
444	Q.,	Н	н	F	ОМе	Н	н
445	Q.	н	н	CI	Ме	н	н
448	Q.	н	н	CI	F	н	н
447	<b>Q</b>	н	н	CI	он	н	н
448		н	н	CI	OMe	н	н

449	Br OH	н	н	CI	н	н	н
450	Вг	н	н	Н	OMe	н.	н
451	Вг	н	н	н	COOMe	н	н
452	Вг	н	н	н	н	CI	н
453	Вг	н	н	н	н	COOMe	н
454	Вг	н	н	н	н	н	CI
455	Вг	<b>н</b>	н	н	OCF3	н	н
456	Вг	н	н	COOMe	н	н	н
457	Вг	н	н	н	CF3	н	н
458	Вг	н	н	н	Ме	н	н
459	Вг	н	н	н	F	н	н
460	Вг ОН	н	н	н	он	н	н

461	Br OH	н	Н	н	NO2	Н —	н
462	Вг ОН	н	Н	н	F	F	н
463	Вг	н	н	F	н	н	н
464	Вг	Н	н	Мө	н	н	н
465	Вг ОН	н	н	• н	CN	н	н
466	M eN	н	н	CI	н	н	н
467	M eN	н	н	н	ОМе	н	н
468	M eN	н	н	н	COOMe	н	н
469	M eN	н	н	Н	Н	CI	н
470	M eN	н	Н	н	н	COOMe	н
471	M eN	н	н	Н	н	н	CI
472	M eN	н	н	н	OCF3	н	н

473	M eN	н	н	COOMe	Н	н	н
474	M eN	н	н	н	CF3	н	. н
475	M eN	н	Н	н	Me	н	н
476	M eN	н	н	н	F	н	н
477	M eN	н	Н	н	он	н	н
478	M eN	н	н	н	NO2	н	н
479	M eN	н	н	н	F	F	н
480	M eN	н	н	F	н	н	н
481	M eN	н	н	Ме	н	н	н
482	M eN	н	н	Н	CN	Н	н
483	\$	н	н	CI	Н	Н	н
484	\$	н	н	н	OMe	н	н

485	S	н	н	н	COOMe	н	Н
486	\$	н	н	н	н	CI	н
487	\$	н	н	н	н	COOMe	н
488	\$	н	н	н	н	н	CI
489	\$	н	н	н	OCF3	н	н
490	\$	н	н	COOMe	н	н	н
491	5	н	н	н	CF3	н	н
492	5	н	н	н	Ме	н	н
493	\$	н	н	н	F	н	н
494	\$	Н	н	н	он	н	н
495	S	н	н	н	NO2	н	н
498	\$	н	н	н	F	F	н

497	S.	н	н	F	н	н	н
498	\$	н	н	Ме	н	н	н
499	\$	н	н	н	CN	н	н
500	CIOH	н	Me	н	н	н	н
501	CI OH	н	Me	н	Н	H	н
502	Q.,	н	Me	н	н	н	н
503	Q	н	Me	н	н	н	н
504	СІ	н	н	н	н	н	н
505	СІСІОН	н	н	F	н	н	н
506	СІСІСОН	н	н	CI	н	н	н
507	СІСІСОН	н	н	Me	н	н	н
508	СІ	н	н	Et	н	н	н

509	СІ	н	н	OMe	н	н	н
510	СІСОН	н	, н	OEt	н	н	н
511	СІСОН	н	н	CF3	н	н	н
512	СІ	н	н	OCF3	н	н	н
513	СІ	н	н	NO2	н	н	н
514	СІ	н	н	NH2	н	н	н
515	СІ	н	н	ОН	н	н	н
516	СІ	н	н	CN	н	н	н
517	СІ	н	н	COMe	н	н	н
518	СІ	н	н	COOMe	н	н	н
519	СІ	н	Н	н	F	н	н
520	СІ	н	н	н	CI	н	н

533	СІ	н	н	F	F	Н	н
534	СІ	н	н	F	CI	н	н
535	СІ	н	Н	F	Ме	н	н
536	СІ	н	Н	F	Et	н	Н
537	СІ	<b>н</b>	Н	F	OMe	н	н
538	СІ	н	Н	F	OEt	н	Н
539	СІ	н	н	F	CF3	н	Н
540	СІ	н	Н	F	OCF3	н	н
541	СІ	н	н	CI	F	н	н
542	СІ	н	н	CI	CI	н	н
543	СІ	н	н	CI	Ме	н	н
544	СІ	н	н	CI	Et	н	н

557	CI	н	Н	OMe	F	н	н
558	СІ	н	н	ОМе	CI	н	н
559	CI	н	н	OMe	Me	н	н
560	CI	н	н	OMe	Et	н	н
561	CI	н	н	OMe	OMe	н	н
562	CI	н	н	ОМе	OEt	н	н
563	CICHOH	н	н	ОМе	CF3	н	н
564	CI	н	н	ОМе	OCF3	н	н

本発明は、ピペリジン化合物の薬学的に許容される酸付加体も含まれる。かかる酸として、例えば、塩酸、臭化水素酸、硫酸、リン酸、及び炭酸等の無機酸、又はマレイン酸、クエン酸、リンゴ酸、酒石酸、フマル酸、メタンスルホン酸、トリフルオロ酢酸、及び蟻酸等の有機酸が挙げられる。

さらに、本発明においては、例えばヨウ化 $1-(4-\rho \Box \Box \wedge \nabla \partial \nu)$ ) -1-メチル $-4-[\{2-$ ベンズイミダゾリル\} アミノメチル] ピペリジニウム等の、環状アミン化合物の $C_1\sim C_6$  アルキル付加体も含まれる。 $C_1\sim C_6$  アルキル付加体のアルキル基としては、例えば、メチル、エチル、n-プロピル、n-プチル、n-ペンチル、

本発明の、式(I)で表わされる化合物は、光学活性炭素を含むことができるため、ラセミ体及び可能なすべての光学活性体も含まれる。

式(I)で表される化合物の $R^3$ が水素の場合、式(I)で表される構造は、下記式(II)で表される構造と区別することはできず、同の化合物である。従って本発明は、 $R^3$ が水素の場合には、式(I)と式(II)の両方の構造を含む。

式(I)で表される化合物は、以下に示す一般的製造法のいずれかにより製造可能である。

#### 〈製造法1〉

下記式(III)

$$\begin{array}{c|c}
R^3N \cdot X^{-(CH_2)_q} & Y \\
N & N^{-(CH_2)_r} & R^7
\end{array}$$
(III)

 $(R^2, R^3, X, q, r, Y, R^6, 及びR^7 は、式(I) においてそれぞれ定義されたものと同様である。)$ 

で表される化合物 1 当量を、0. 1-10 当量の下記式(IV)  $R^1$ -( $CH_2$ ) $_n$ -Z (IV)

 $(R^1$ 及びpは、式(I)においてそれぞれ定義されたものと同様である。 Zはハロゲン原子、アルキルスルホニルオキシ基又はアリールスルホニルオキシ基を表す。)

で表されるアルキル化試薬で、溶媒の非存在下又は存在下で処理することによって式(I)で表される化合物を製造する。

この製造法1の反応は、炭酸カリウム、炭酸カルシウム、又は炭酸水素ナトリウム等のような無機塩を含む塩基、トリエチルアミン、ジイソプロピルエチルアミン、又はピリジン等のようなアミン類、或いは(ピペリジノメチル)ポリスチレン、(モルホリノメチル)ポリスチレン、

(ジエチルアミノメチル)ポリスチレン、又はポリ(4-ビニルピリジン)等のような高分子支持塩基を用いることによって、円滑に実行することができる。

この製造法1の反応は、ヨウ化カリウム又はヨウ化ナトリウム等のようなヨウ化物を添加することによって促進される場合がある。

式(III)の化合物は文献等による既知の方法で合成することが可能である。

〈製造法2〉

下記式(V)

 $R^{1}$ -(CH<sub>2</sub>)<sub>0-1</sub>-CHO (V)

 $(R^{1}$ 及びpは、式(I)においてそれぞれ定義されたものと同様である。)

で表されるアルデヒドの1当量を、式(III)で表される化合物の0. 1-10当量で、溶媒の非存在下又は存在下に処理することによって、式(I)で表される化合物を製造する。

この製造法2の反応は、一般に還元的アミノ化反応と呼ばれるが、この反応条件はパラジウム、白金、ニッケル、又はロジウム等の金属を含む触媒、水素化リチウムアルミニウム、水素化ホウ素ナトリウム、水素化シアノホウ素ナトリウム、又は水素化トリアセトキシホウ素ナトリウム等の水素化物複合体、ボランによる接触水素化、或いは電解還元等によって反応させてもよい。

〈製造法3〉

下記式(VI)

$$\begin{array}{c|c}
R^{3}N \cdot X - (CH_{2})_{q} & & NH_{2} \\
N \cdot N - (CH_{2})_{r} & & NH_{2}
\end{array}$$
(VI)

 $(R^1, p, R^2, R^3, X, q, 及びrは、式(I) において定義されたものと同様である。)$ 

で表される化合物の1等量を、0.1-10当量のカルボン酸又はその 反応活性誘導体と溶媒の非存在下又は存在下に処理することによって、 式(I)で表される化合物を製造する。

カルボン酸の反応活性誘導体には、有機合成化学で通常使用される反応性の高いカルボン酸誘導体、例えば、酸ハロゲン化物、酸無水物、又

は混合無水物が含まれる。

製造法3の反応は、適当量のモレキュラーシープのような脱水剤、ジ シクロヘキシルカルボジイミド(DCC)、N-エチル-N'-(3-ジメチルアミノプロピル)カルボジイミド(EDCI又はWSC)、カ ルボジイミダゾール(CDI)、N-ヒドロキシスクシンイミド(HO Su)、N-ヒドロキシペンゾトリアゾール(HOBT)、ペンゾトリ アゾール-1-イルオキシトリス(ピロリジノ)ホスホニウム、ヘキサ フルオロホスフェート(PyBOP)、2-(1H-ベンゾトリアゾー N-1-1 (ルーカー) N-1 (ルーカー) ルオロホスフェート(HBTU)、2-(1H-ペンゾトリアゾール-1-イル)-1,1,3,3-テロラメチルウロニウム テトラフルオ ロボレート(TBTU)、2-(5-ノルボルネン-2,3-ジカルボ キシイミド) -1, 1, 3, 3-テトラメチルウロニウム テトラフル オロボレート (TNTU)、〇一 (N-スクシンイミジル) -1, 1, 3, 3ーテトラメチルウロニウム テトラフルオロボレート (TSTU )、又はプロモトリス(ピロリジノ)ホスホニウム ヘキサフルオロホ スフェート(PyBrop)等の縮合剤を用いることによって、円滑に 実行できる。

製造法3の反応は、製造法1に示す塩基を用いることによって円滑に 実行できる。

式(VI)の化合物は文献等による既知の方法で合成することが可能である。

〈製造法4〉

下記式(VII)

$$R^3N^{\cdot X-(CH_2)_q}$$
 COOH  $N-(CH_2)_r$  COOH (VII)

 $(R^1, p, R^2, R^3, X, q$ 及びrは、式(I) において定義されたものと同様である。)

で表せる化合物の1等量を、0.1-10当量のアミンと溶媒の非存在下又は存在下に処理することによって、式(I) で表される化合物を製造する。

製造法4の反応は、製造法3で使用したものと同じ脱水剤、縮合剤、 又は塩基の適当量を用いることによって、円滑に進行させることができる。

式(VII)の化合物は文献等による既知の方法で合成することが可能である。

<製造法5>

下記式(VIII)

$$R^{1}$$
 (CH<sub>2</sub>)<sub>0</sub>  $N$   $N^{2}$  NH (VIII)

 $(R^1, R^2, p t , 式 (I))$  においてそれぞれ定義されたものと同様である。)

で表される化合物1当量を、0.1-10当量の下記式(IX)

$$O^{X-(CH_2)_q}$$

$$O^{N-(CH_2)_r}$$

$$R^3$$
(IX)

 $(R^3, q, r)$ は、式 (I) においてそれぞれ定義されたものと同様で

ある。XはCOを表す。)

で表される酸無水物で、溶媒の非存在下または存在下で処理することに よって式(I)で表される化合物を製造する。

この製造法5の反応は、製造法1に示す塩基を用いることによって 円滑に実行できる。

式(VIII)及び(IX)の化合物は文献等による既知の方法で合成することが可能である。

<製造法6>

下記式(X)

$$R^1 \sim (CH_2)_n \sim N$$
 NHR<sup>2</sup> (X)

 $(R^1, R^2, pは、式(I))$ においてそれぞれ定義されたものと同様である。)

で表される化合物1当量を、0.1-10当量の下記式(XI)

$$\begin{array}{c|c}
R^3N \cdot X^{-(CH_2)_q} \\
S & N^{-(CH_2)_r}
\end{array}$$
(XI)

 $(R^3, X, q, r \dot{u}, 式(I))$  においてそれぞれ定義されたものと同様である。  $s \dot{u} 0 \nabla \dot{u} 1$  を表す。)

で表されるスルファニル及びスルフィニル化合物で、溶媒の非存在下又は存在下で処理することによって式(I)で表される化合物を製造する。

この製造法6の反応は、製造法1に示す塩基や、適当な酸(塩酸、硫酸、酢酸、安息香酸、トルエンスルホン酸、又はメタンスルホン酸等)を用いることによって円滑に実行できる。

式(X)及び(XI)の化合物は文献等による既知の方法で合成す

ることが可能である。

もし、製造法1~6のそれぞれの化合物において、各反応条件において使用される基質と反応する官能基又は有機合成化学において一般に反応に悪影響を与えると考えられる官能基を含んでいる場合には、その官能基を既知の適当な保護基で保護し、その後、各製造法の反応と、既知の工程を用いて脱保護を行い、式(I)で表す化合物を得てもよい。

さらに本発明の化合物は、アルキル化、アシル化、又は還元等のような有機合成化学において通常使用される既知の反応を用いて、製造法1~6によって製造される化合物の置換基(単数又は複数)をさらに変換することによって製造してもよい。

製造法1~6のそれぞれにおいて、ジクロロメタン又はクロロホルム等のハロゲン化炭素、ベンゼン又はトルエン等の芳香族炭化水素、ジエチルエーテル又はテトラヒドロフラン等のエーテル類、酢酸エチル等のエステル類、ジメチルホルムアミド、ジメチルスルホキシド、又はアセトニトリル等の非プロトン性極性溶媒、メタノール、エタノール、又はイソプロピルアルコール等のアルコール類を、反応のために用いてもよい。

製造法  $1\sim 6$  のいずれにおいても、反応温度は-78  $\mathbb{C}\sim +150$   $\mathbb{C}$  の範囲にあり、好ましくは0  $\mathbb{C}\sim 100$   $\mathbb{C}$  である。反応完了後、濃縮、 ろ過、抽出、固相抽出、再結晶、又はクロマトグラフィー等の通常の分離又は精製操作を用いて、式(I)で表されるピペリジン誘導体を単離することができる。これらは、通常の方法によって、薬学的に許容される酸付加体又は $\mathbb{C}_1-\mathbb{C}_6$  アルキル付加体に変換することができる。

式(I)で表わされる化合物、その薬学的に許容される酸付加体、又は、その薬学的に許容される $C_1 \sim C_6$ アルキル付加体は、その治療有効量を製薬学的に許容される担体及び/又は希釈剤とともに医薬組成物

とすることによって、本発明のエオタキシン等のCCR3のリガンドが標的細胞上のCCR3に結合することを阻害する医薬、あるいはエオタキシン等のCCR3のリガンドの標的細胞への生理的作用を阻害する作用をもつ医薬、さらには、CCR3が関与すると考えられる疾患の治療薬及び/又は予防薬とすることができる。すなわち、式(I)で表わされる4、4-二置換ピペリジン誘導体、その薬学的に許容される酸付加塩体、又はその薬学的に許容される $C_1\sim C_6$ アルキル付加体は、経口的に、あるいは、静脈内、皮下、筋肉内、経皮、又は直腸内等非経口的に投与することができる。

経口投与の剤形としては、例えば錠剤、丸剤、顆粒剤、散剤、液剤、 懸濁剤、カプセル剤等が挙げられる。

錠剤の形態にするには、例えば乳糖、デンプン、又は結晶セルロース等の賦形剤、カルボキシメチルセルロース、メチルセルロース、又はポリビニルピロリドン等の結合剤、及びアルギン酸ナトリウム、炭酸水素ナトリウム、又はラウリル硫酸ナトリウム等の崩壊剤等を用いて、通常の方法により成形することができる。

丸剤、散剤、又は顆粒剤も同様に上記の賦形剤等を用いて、通常の方法によって成形することができる。液剤又は懸濁剤は、例えばトリカプリリン又はトリアセチン等のグリセリンエステル類、及び/又はエタノール等のアルコール類等を用いて、通常の方法によって成形される。カプセル剤は、顆粒剤、散剤、及び/又は液剤等をゼラチン等のカプセルに充填することによって成形される。

皮下、筋肉内、又は静脈内投与の剤型としては、水性又は非水性溶液 剤等の形態にある注射剤がある。水性溶液剤は、例えば生理食塩水等が 用いられる。非水性溶液剤は、例えばプロピレングリコール、ポリエチ レングリコール、オリーブ油、又はオレイン酸エチル等が用いられ、こ れらに必要に応じて防腐剤及び/又は安定剤等が添加される。注射剤は、バクテリア保留フィルターを通す濾過又は殺菌剤の配合の処置等を適宜行うことによって無菌化される。

経皮投与の剤型としては、例えば軟膏剤又はクリーム剤等が挙げられ、 軟膏剤は、ヒマシ油若しくはオリーブ油等の油脂類、又はワセリン等を 用いて、クリーム剤は、脂肪油又はジエチレングリコール若しくはソル ビタンモノ脂肪酸エステル等の乳化剤を用いて、通常の方法によって成 形される。

直腸内投与のためには、ゼラチンソフトカプセル等の通常の座剤が用いられる。

本発明のピペリジン誘導体、その薬学的に許容される酸付加体、又はその薬学的に許容される $C_1 \sim C_6$ アルキル付加体の投与量は、疾患の種類、投与経路、患者の年齢と性別、及び疾患の程度等によって異なるが、通常成人一人当たり  $1 \sim 500$  mg/日である。

#### 実施例

本発明を以下の実施例に基づいて具体的に説明する。しかしながら、本発明はこれら実施例によって限定されるものではない。この実施例における化合物番号は、表に好適な具体例として挙げた化合物に付けられたものを表す。実施例番号とその実施例で製造される化合物の化合物番号は同一である。

[参考例1-1-1]

C-[1-(3,4-ジクロローペンジル)ーピペリジン-4-イル]-メチルアミンの合成

4-アミノメチルーピペリジン(10g)をアセトニトリル(250 ml)に溶かし、室温で3, <math>4-ジクロローベンジルクロリド(5.8

g)と炭酸カリウム(5g)を加えた後、60℃で終夜攪拌した。反応 、溶液を濾過し、溶媒を減圧下に除去し、得られた残渣を、薄層シリカゲ ルクロマトグラフィー(ジクロロメタン/メタノール/トリエチルアミ ン=85/7/7)により精製し、C-[1-(3,4-ジクロロ-ベンジル)-ピペリジン-4-イル]-メチルアミンを得た。LC-MSにより同定した。

収量6g、収率75%、純度100%、実測値ESI/MS m/e 273.2。

[参考例1-1-2]

1-(2-アミノーフェニル-3-[1-(3,4-ジクロローベンジル)-ピペリジン-4-イルメチル]-チオウレアの合成

収量 7 5 mg、収率 6 1 %、純度 1 0 0 %、実測値 E S I / M S m/ e 4 2 3. 1。

[実施例1-1-1]

(1H-ベンゾイミダゾール-2-イル) - [1-(3,4-ジクロロ

ーベンジル)ーピペリジンー4ーイルメチル]ーアミンの合成
1ー(2ーアミノーフェニルー3ー [1ー(3,4ージクロローベンジル)ーピペリジンー4ーイルメチル]ーチオウレア(11mg、0.025mmol)にエタノール(1ml)を加えた後、酸化水銀(II) 赤色(16mg、0.074mmol)と硫黄(0.3mg、0.0094mmol)を、室温で加え、7時間還流した。水銀をセライト濾過し、溶媒を減圧下に除去した。残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー(ヘキサン/ジクロロメタン/メタノール/トリエチルルアミン=40/25/20/10/5)により精製し、(1Hーベンゾイミダゾールー2ーイル)ー [1ー(3,4ージクロローベンジル)ーピペリジンー4ーイルメチル]ーアミンを得た。LCーMSにより同定した。収量8mg、収率83%、純度100%、実測値ESI/MSm/e389.1。

[実施例1-1-2から実施例1-1-1]

化合物番号1-1-2から化合物番号1-1-11は、参考例1-1-1、参考例1-1-2、実施例1-1-1に従い、対応する原料より合成した。結果を表 9に示す。

表9

化合物 No.1-1-	収量(mg)	収率(%)	MW	M+1
1	8	83	389.3	389.1
2	30	68	434.3	434.2
3	13	32	403.4	403.2
4	5	12	423.8	423.1
5	7	16	407.3	407.1
6	13	28	457.3	457.2
7	4	9	433.3	433.2
8	23	50	458.2	458.9
9	4	10	403.4	403.1

10	13	32	419.4	419.0
11	9	21	434.3	434.1

[参考例1-2-1]

4-アミノメチルーピペリジン-1-カルボン酸 t e r t ープチルエス テルの合成

4-アミノメチルピペリジン(5.00g、43.8mmol)をトルエン(90mL)に溶解し、ベンズアルデヒド(4.45mL、43.8mmol)を加え、Dean-Starkトラップを取り付け、2時間加熱還流した。反応液を室温まで冷却し、二炭酸ージーtープチル(11.5mL、43.8mmol)を5回に分けて加え、室温で4時間攪拌した。反応液を減圧濃縮した後に、氷浴下、硫酸水素カリウム水溶液(1.0M、70mL、70mmol)を加え、1時間激しく攪拌した。これをジエチルエーテル(30mL×2回)で洗浄し、水層に2規定水酸化ナトリウム水溶液を加えて、pH約7に調製した。このpH約7に調製した水溶液を酢酸エチルエステル(30mL×3回)で洗浄し、水層に2規定水酸化ナトリウムを加えて、pH約12に調製した。このpH約12に調製した水溶液を酢酸エチルエステル(50mL×4回)で抽出し、得られた有機層を無水硫酸マグネシウムで乾燥させた。これを減圧濃縮して4-アミノメチルーピペリジン-1-カルボン酸 tertープチルエステルを得た。

収量6.49g、収率70%。

[参考例1-2-2]

4-[(1H-ベンズイミダゾール-2-イルアミノ)-メチル]-ピペリジン-1-カルボン酸 <math>tert-プチルエステルの合成

4-アミノメチルーピペリジン-1-カルボン酸 tert-ブチルエステル(3.18g、14.8mmol)をアセトニトリル(20mL

448

)に溶解し、氷浴下でチオカルボニルジイミダゾール(3.17g、17.8mmol)、及びイミダゾール(302mg、4.45mmol)のアセトニトリル懸濁液(30mL)を滴下した。室温まで昇温させ90分間攪拌し、これにo-7ェニレンジアミン(1.93g、17.8mmol)を加え、50℃で2時間攪拌した。さらにジイソプロピルカルボジイミド(3.4mL、22.2mmol)を加え、80℃で3時間攪拌した。反応液を冷却後、減圧濃縮した後に、酢酸エチルエステル(200mL)に溶解し、水(100mL×2回)及び飽和食塩水(100mL)で洗浄した。これを無水硫酸マグネシウムで乾燥させ、減圧濃縮した。濃縮残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー(ジクロロメタン/メタノール=19/1→ジクロロメタン/メタノール/トリエチルアミン=10/1/1)で精製し、4-[(1H-ベンズイミダゾール-2-イルアミノ)-メチル]-ピベリジン-1-カルボン酸 tert-ブチルエステルを得た。

収量4. 33g、収率89%。

[参考例1-2-3]

(1H-ベンズイミダゾール-2-イル)ーピペリジン-4-イルメチルーアミンの合成

4-[(1H-ベンズイミダゾールー2ーイルアミノ)ーメチル]ーピペリジンー1ーカルボン酸 tertープチルエステル(4.33g、13.1mmol)をメタノール(10mL)に溶解し、氷浴下で4規定塩化水素-1,4-ジオキサン溶液(33mL、131mmol)を少しずつ加え、室温で3時間攪拌した。反応液を氷冷し、2規定水酸化ナトリウム水溶液を加えて、pH約11とした。この水溶液に食塩を加えて飽和させ、1ープタノール(100mL×3回)で抽出して得られた有機層を、飽和食塩水で洗浄し、無水硫酸ナトリウムで乾燥させた。

乾燥された1-ブタノールを減圧濃縮し、(1H-ベンズイミダゾール -2-イル)-ピペリジン-4-イルメチルーアミンを得た。 収量3.0g、収率100%。

[実施例1-2-1]

(1 H - ベンズイミダゾール - 2 - イル) - [1 - (1 - メチル - 1 H - インドール - 2 - イルメチル) - ピペリジン - 4 - イルメチル] - アミンの合成

(1Hーベンズイミダゾールー2ーイル)ーピペリジンー4ーイルメチルーアミン(20.0mg、0.09mmol)のジメチルホルムアミドー酢酸(10:1)溶液(1.0ml)に、1ーメチルー1Hーインドールー2ーカルボアルデヒド(0.26mmol)とナトリウムトリアセトキシボロヒドリド(0.26mmol)を加え、室温で終夜攪拌した。反応溶液にメタノール(1.0ml)を加え、反応を停止し、1時間攪拌後、溶液をSCX(ボンドエルートSCX500MG:カチオン性イオン交換樹脂、パリアン製)に付した。メタノール、続いてクロロホルム/メタノール(1/1)混合溶液で、SCXを洗浄後、2規定アンモニアメタノール溶液で溶出した。溶媒を減圧下に留去し(1Hーベンズイミダゾールー2ーイル)ー[1ー(1ーメチルー1Hーインドールー2ーイルメチル)ーピペリジンー4ーイルメチル]ーアミンを得た。LC-MSにより同定した。

収量18mg、収率54%、純度86%、実測値ESI/MS m/e 374.2 (M+1)。

[実施例1-2-2から実施例1-2-169]

化合物番号1-2-2から1-2-169の化合物は、実施例1-2-1に従い、対応する原料より合成した。結果を表10に示す。

[参考例1-2-4]

4-フェニルプチルアルデヒドの合成

ニクロム酸ピリジニウム(451.5mg、1.20mmol)のジクロロメタン溶液(3.3ml)に、モレキュラーシープスMS4A(商品名、乾燥剤、和光純薬製)(451.5mg)を加え、1時間攪拌した。懸濁溶液に、 $4-フェニルプタノール(<math>154\mul$ 、1.00mmol)を加え、室温で1.5時間攪拌した。反応懸濁溶液をシリカゲルろ過し、濾液を減圧下に濃縮し、4-フェニルプチルアルデヒドを得た。収量<math>38.45mg、収率26%。

[実施例1-2-170]

(1H-ベンズイミダゾールー2-イル)-[1-(4-フェニループチル)-ピペリジンー4-イルメチル]-アミンの合成

(1H-ベンズイミダゾールー2ーイル)ーピペリジンー4ーイルメチルーアミン(30.32mg、0.10mmo1)と、得られた4ーフェニルブチルアルデヒド(38.45mg)のジクロロエタン(1.0ml)とジメチルホルムアミド(0.5ml)混合溶液に、酢酸(28.6 $\mu$ l)とナトリウムトリアセトキシボロヒドリド(52.99mg、0.25mmol)を加え、室温で終夜攪拌した。反応懸濁溶液をSCX(ボンドエルートSCX500MG)に付し、SCXをクロロホルムーメタノール(1:1)混合溶液で洗浄した。次いで、2規定アンモニアメタノール溶液で溶出し、溶媒を減圧下に留去し、残渣を得た。残渣を、HPLC分取により精製し、(1Hーベンズイミダゾールー2ーイル)ー [1-(4-フェニループチル)ーピペリジンー4ーイルメチル]ーアミンを得た。LC-MSにより同定した。

収量19.44mg、収率54%、純度89.8%、実測値ESI/M S m/e 363.2 (M+1)。

[実施例1-2-171]

化合物番号1-2-171の化合物は、参考例1-2-4に従い合成した原料アルデヒドを用いて、実施例1-2-170に従い合成した。結果を表10に示す。

[実施例1-2-172]

(1H-ベンズイミダゾール-2-イル) - [1-(6-メトキシ-1-メチル-1H-インドール-3-イルメチル) - ピペリジン-4-イルメチル] - アミンの合成

(1 H - ペンズイミダゾールー2 - イル) - ピペリジンー4 - イルメチルーアミン(20 mg、0.09 mm o 1)、(6 - メトキシー1 - メチルー1 H - インドールー3 - イルメチル) - トリメチルアンモニウムヨウ化物(0.1 mm o 1)、及び無水炭酸カリウム(5 mg、0.1 mm o 1)に、無水アセトニトリル(2 m 1)を加え、50℃で12時間攪拌した。室温に冷却し、シリカゲルショートカラムに付した後、分取 H P L C により精製し、(1 H - ベンズイミダゾールー2 - イルメチル) - [1 - (6 - メトキシー1 - メチルー1 H - インドールー3 - イルメチル) - ピペリジンー4 - イルメチル] - アミンを得た。L C - M S により同定した。

収量 5. 6 6 m g、収率 1 3 %、純度 9 6. 3 %、実測値 E S I / M S m / e 4 0 4. 4 (M+1)。

[実施例1-2-173から実施例1-2-180]

化合物番号1-2-173から化合物番号1-2-180までの化合物は、実施例1-2-172に従い、対応する各種ハロゲン化物、又は4級アンモニウムハロゲン化物より合成した。結果を表10に示す。

表10

化合物 No.1-2-	収量(mg)	収率(%)	MW	M+1
1	18	54	373.5	374.2

	_	ถ
4	ล	1

2	29	54	370.5	371.2
3	11	41	320.4	321.2
4	23	76	354.9	355.2
5	9	29	334.5	335.2
6	28	82	388.4	389.2
7	23	74	362.5	363.2
8	21	71	345.4	346.2
9	33	96	398.5	399.2
10	16	48	378.5	379.2
11	21	68	350.5	351.2
12	16	82	326.5	327.2
13	. 8	40	334.5	335.2
14	19	91	348.5	349.3
15	25	78	359.5	360.2
16	18	54	373.5	374.2
17	12	42	310.4	311.2
18	21	70	326.5	327.1
19	22	62	390.6	391.2
20	14	48	321.4	322.2
21	15	53	321.4	322.2
22	15	46	371.5	372.2
23	14	41	371.5	372.2
24	17	57	327.5	328.1
25	21	75	310.4	311.2
26	22	79	310.4	311.2
27	24	65	414.6	415.2
28	6	17	413.6	414.2
29	23	69	374.5	375.2
30	20	70	334.5	335.6
31	15	50	345.4	346.5
32	. 22	63	396.5	397.2
33	21	68	350.5	351.2
34	18	58	354.9	355.3

1	l 1	1	1	
35	15	43	389.3	389.4
36	21	68	354.9	355.3
37	16	51	365.4	, 366.3
38	15	45	388.4	389.4
39	15	43	399.3	399.1
40	16	54	334.5	335.4
41	15	53	336.4	337.2
42	22	74	336.4	337.2
43	13	41	363.5	364.2
44	18	54	377.5	378.2
45	21	68	364.5	365.2
46	11	33	378.5	379.2
47	15	46	378.5	379.2
48	17	45	426.6	427.2
49	23	63	426.6	427.2
50	22	69	370.5	371.4
51	21	66	364.5	365.3
52	18	57	360.5	361.2
53	21	57	420.9	421.5
54	· 21	55	396.5	397.4
55	7	20	388.5	389.3
56	10	41	403.5	404.2
57	3	13	387.5	388.2
58	22	100	338.4	339.2
59	22	67	321.4	322.2
60	19	56	338.4	339.1
61	24	68	350.5	351.2
62	23	100	378.5	379.2
63	30	100	412.5	413.2
64	17	70	404.4	405.1
65	28	100	389.3	389.1
66	14	57	406.4	407.1
67	30	83	364.4	365.1

	1	1	1	
68	20	43	456.4	457.1
69	28	78	352.4	353.2
70	29	69	412.5	413.2
71	33	78	426.6	427.2
72	34	86	399.3	400.1
73	28	82	345.4	346.2
74	24	54	442.6	443.2
75	25	68	365.4	366.2
76	35	81	426.6	427.2
77	26	57	447.0	447.2
78	28	72	380.5	381.2
79	22	58	380.5	381.2
80	17	78	362.5	363.2
81	20	90	370.9	371.1
82	20	90	372.9	373.1
83	19	69	456.6	457.2
84	8	32	417.3	417.1
85	12	47	429.4	429.2
86	17	69	408.5	409.3
87	18	79	381.4	382.2
88	20	87	381.4	382.2
89	11	46	399.9	400.1
90	20	88	378.5	379.2
91	16	73	364.4	365.2
92	15	58	430.5	431.3
93	16	67	400.5	401.3
94	20	81	413.6	414.3
95	12	50	400.5	401.3
96	13	52	414.6	415.3
97	19	78	408.5	409.3
98	22	62	350.5	351.5
99	10	27	380.4	381.2
100	29	80	366.5	367.1

101	3	6	456.6	457.3
102	13	37	352.4	353.2
103	15	40	366.5	367.2
104	15	56	449.4	450.2
105	15	61	410.5	411.3
106	16	69	389.3	389.2
107	11	51	356.4	357.2
108	10	39	422.9	423.2
109	10	41	406.4	407.2
110	2	8	392.5	393.7
111	4	15	395.5	396.3
112	6	27	359.5	360.3
113	16	47	376.5	377.3
114	19	50	420.6	421.4
115	4	11	420.6	421.4
116	14	40	401.5	402.4
117	17	54	370.9	371.2
118	14	39	415.3	417.1 (Br)
119	8	25	381.4	382.2
120	7	21	383.4	384.2
121	10	32	354.4	355.2
122	6	17	392.5	393.3
123	18	56	368.5	369.2
124	22	61	417.3	419.1 (Br)
125	26	69	429.4	429.2
126	21	67	366.5	367.3
127	27	85	443.4	445.2 (Br)
128	23	66	399.9	400.2
129	31	91	394.5	395.3
130	20	61	370.4	371.2
131	30	91	372.9	373.2
132	22	60	422.6	423.2
133	22	70	364.5	365.2

	1		1	
134	22	72	352.5	353.2
135	19	57	399.9	400.1
136	24	74	378.5	379.2
137	3	91	420.4	421.3
138	11	35	348.5	349.3
139	10	28	424.5	425.3
140	8	25	380.5	381.2
141	20	51	455.6	456.3
142	13	37	404.6	405.3
143	13	38	389.3	389.1
144	17	43	450.5	451.3
145	20	58	400.5	401.3
146	24	63	437.6	438.3
147	21	61	390.6	391.2
148	5	17	336.4	337.1
149	11	33	364.4	365.1
150	7	19	405.3	405.1
151	2	6	386.5	387.1
152	5	14	386.5	387.1
153	1	4	428.5	429.2
154	8	8	369.9	370.1
155	. 6	20	365.4	366.1
156	5	16	365.4	366.1
157	6	20	338.4	366.1
158	10	12	335.5	336.1
159	11	29	420.5	421.1
160	9	23	462.3	463.1
161	17	53	364.4	365.1
162	10	26	449.8	451.0 (Br)
163	23	23	371.5	372.1
164	17	17	386.4	387.1
165	7	20	384.9	385.1
166	5	10	588.2	589.0

		•		
167	14	38	438.9	439.2
168	9	23	438.9	439.1
169	15	46	370.9	371.1
170	19	54	362.5	363.2
171	31	. 82	376.5	377.3
172	6	13	403.5	404.4
173	3	8	387.5	388.3
174	6	18	387.5	388.2
175	23	70	384.5	385.2
176	9	27	384.5	385.2
177	8	22	401.6	402.3
178	5	13	387.5	388.2
179	7	20	387.5	388.4

### [参考例1-3-1]

2

180

4-[(4-h) - 1 + h - n - 2 +

5

449.6

450.5

4-Pミノメチルーピペリジンー1-カルボン酸 t e r

。LC-MSにより同定した。

収量3.5g、収率100%、純度95%、実測値ESI/MS m/e 376.4(M+1)。

[参考例1-3-2]

(4-二トロー1H-ベンズイミダゾール-2-イル)ーピペリジンー4-イルメチルーアミンの合成

[参考例1-3-3]

(1ーナフタレンー1ーイルメチルーピペリジンー4ーイルメチル)ー (4ーニトロー1 Hーベンズイミダゾールー2ーイル)ーアミンの合成 (4ーニトロー1 Hーベンズイミダゾールー2ーイル)ーピペリジンー4ーイルメチルーアミン(450mg、1mmol)のジメチルホルムアミドー酢酸(10:1)溶液(7mL)に、1ーナフトアルデヒド(3mmol)とナトリウムトリアセトキシボロヒドリド(3mmol)を加え、室温で終夜攪拌した。水とジクロロメタンを加え、ジクロロメタンで抽出を行った。溶媒を減圧下に留去した後、シリカゲルカラムクロマトグラフィー(酢酸エチルエステル/トリエチルルアミン=10

 $0/0 \rightarrow 98/2$ )により精製し、(1-ナフタレン-1-イルメチル-ピペリジン-4-イルメチル)-(4-ニトロ-1H-ベンズイミダゾール-2-イル)-アミンを得た。LC-MSにより同定した。

収量 5 0 0 m g、収率 1 0 0 %、純度 1 0 0 %、実測値 E S I / M S m/e 3 9 4. 0 (M+1)。

[参考例1-3-4]

4-アミノー2-[(1-ナフタレン-1-イルメチルーピペリジンー4-イルメチル)-アミノ]-ベンズイミダゾールー<math>1-カルボン酸tert-ブチルエステルの合成

収量200mg、収率39%、純度100%、実測値ESI/MS m /e 464.3 (M+1)。

[実施例1-3-1]

3-アセチルアミノ-N-  $\{2-$ [(1-ナフタレン-1-イルメチル-ピペリジン-4-イルメチル)-アミノ]-1H-ベンズイミダゾール-4-イル $\}-$ プロピオンアミドの合成

4-アミノー2- [(1-ナフタレン-1-イルメチルーピペリジン-4-イルメチル)-アミノ]-ベンズイミダゾール-1-カルボン酸tertープチルエステル(0.02mmol)をテトラヒドロフラン(1ml)に溶かし、ジイソプロピルカルボジイミド(0.05mmol)と1-ヒドロキシベンゾトリアゾールー水和物(0.05mmol)を加え、2aで終夜攪拌した。反応液に、4規定塩化水素-1,4-ジオキサン溶液(1ml)を加え、50℃で1時間攪拌後、溶媒を減圧下に除去し、得られた残渣にジクロロメタンと5規定水酸化ナトリウム水溶液を加え攪拌した。有機層をSCX(ボンドエルートSCX500MG)に付し、メタノールでSCXを洗浄後、2規定アンモニアメタノール溶液で溶出した。溶媒を減圧下に留去し、3-アセチルアミノーN-{2-[(1-ナフタレン-1-イルメチルーピペリジン-4-イルメチル)-アミノ]-1H-ベンズイミダゾール-4-イル}-プロピオンアミドを得た。LC-MSにより同定した。

収量 0. 4 m g、収率 4 %、純度 1 0 0 %、実測値 E S I / M S m/e 4 9 9. 3 (M+1)。

[実施例1-3-2から実施例1-3-8]

化合物番号1-3-2から1-3-8の化合物は、参考例1-3-1 から参考例1-3-4、及び実施例1-3-1に従い、対応する原料よ り合成した。結果を表11に示す。

[実施例1-3-9]

 $N-(2-\{[1-(3,4-ジクロロベンジル)-ピペリジン-4- \cdot$  $イルメチル]-アミノ}-1H-ベンズイミダゾール<math>4-$ イル)-ブチルアミドの合成

4-アミノー2-{[1-(3, 4-ジクロロベンジル)-ピペリジ

ンー4ーイルメチル] ーアミノ} ーベンズイミダゾールー1ーカルボン酸 tertープチルエステル(10mg、0.02mmol)を、テトラヒドロフラン(1ml)に溶かし、トリエチルアミン(5.6μl、0.04mmol)とプチリルクロリド(8.3μl、0.08mmol)を加え、室温で1時間30分攪拌した。反応液に4規定塩化水素ー1,4ージオキサン溶液(1ml)を加え、50℃で2時間攪拌した。溶媒を減圧下に除去し、得られた残渣にジクロロメタンと5規定水酸化ナトリウム水溶液を加え、攪拌後、有機層をSCX(ボンドエルートSCX500MG)に付した。メタノールでSCXを洗浄後、2規定アンモニアメタノール溶液で溶出した。溶媒を減圧下に留去し、Nー(2ー{[1-(3,4-ジクロロベンジル)ーピペリジンー4ーイルメチル]ーアミノ}ー1Hーベンズイミダゾール4ーイル)ープチルアミドを得た。LC-MSにより同定した。

収量 4. 9 m g、収率 5 2 %、純度 1 0 0 %、実測値 E S I / M S m / e 4 7 4. 0 (M+1)。

[実施例1-3-10から実施例1-3-56]

化合物番号1-3-10から1-3-56の化合物は、実施例1-3-9に従い、対応する原料より合成した。結果を表11に示す。

[実施例1-3-57]

プロパン-1-スルホン酸( $2-\{[1-(3,4-ジクロローベンジル)-ピペリジン<math>-4$ -イルメチル]-アミノ $\}-1$ H-ベンズイミダゾール-4-イル)-アミドの合成

 $4-アミノ-2-\{[1-(3,4-ジクロローベンジル)-ピペリジン-4-イルメチル]-アミノ\}-ベンズイミダゾールー1ーカルボン酸 <math>t e r t -$  t - t

収量 0.8 mg、収率 8%、純度 100%、実測値 ESI/MS m/e 510.1 (M+1)。

[実施例1-3-58]

化合物番号1-3-58の化合物は、実施例1-3-57に従い、対応する原料より合成した。結果を表11に示す。

[実施例1-3-59]

 $1-(2-\{[1-(3,4-ジクロローベンジル)-ピペリジン-4-イルメチル]-アミノ}-1H-ベンズイミダゾールー4-イル)-3-エチルーウレアの合成$ 

 $4-アミノ-2-\{[1-(3,4-ジクロローベンジル)-ピペリジン-4-イルメチル]-アミノ}-ベンズイミダゾール1-カルボン酸 <math>tert-プチルエステル(10mg,0.02mmol)$ をアセト

収量1.6 mg、収率17%、純度96%、実測値ESI/MS m/ e 475.1 (M+1)。

[実施例1-3-60]

化合物番号1-3-60の化合物は、実施例1-3-59に従い、対応する原料より合成した。結果を表11に示す。

[実施例1-3-61]

N2-[1-(3,4-ジクロロベンジル)-ピペリジン-4-イルメチル]-1H-ベンズイミダゾール-2,4-ジアミンの合成

 $4-アミノ-2-\{[1-(3,4-ジクロローベンジル)-ピペリジン-4-イルメチル]-アミノ\}-ベンズイミダゾール1-カルボン酸 <math>t e r t - プチルエステル (10 mg、0.02 mmo1)$ を、メタノール (1 m1) に溶かし、4規定塩化水素-1,4-ジオキサン溶液 <math>(1 m1) を加え、50で1時間攪拌した。反応液をSCX (ボンドエルートSCX500MG) に付し、メタノールでSCXを洗浄後、2規定アンモニアメタノール溶液で溶出した。溶媒を減圧下に留去し、N2-[1-(3,4-ジクロロベンジル)-ピペリジン-4-イルメチル]-1H-ベンズイミダゾール-2,4-ジアミンを得た。<math>LC-M

Sにより同定した。

収量 6.5 mg、収率 80%、純度 100%、実測値 ESI/MS m /e 404.1 (M+1)。

[実施例1-3-62]

化合物番号1-3-62の化合物は、実施例1-3-61に従い、対応する原料より合成した。結果を表11に示す。

表11

化合物 No.1-3-	収量(mg)	収率(%)	MW	M+1
1	0.4	4	498.6	499.3
2	2	24	490.4	489.9
. 3	4	39	462.6	463.3
4	5	50	476.6	477.1
5	1	12	484.6	485.4
6	2	23	499.0	499.1
7	3	29	490.4	490.1
8	3	30	475.4	475.1
9	5	52	474.4	474.0
10	4	16	488.5	488.4
11	4	12	565.5	565.4
12	4	14	557.5	557.5
13	24	92	520.5	520.4
14	1	3	551.5	551.5
15	39	100	514.5	514.4
16	2	8	499.4	499.4
17	28	100	509.4	509.5
18	30	100	506.5	506.4
19	3	11	488.5	488.4
20	1	4	546.5	546.4
21	30	100	509.4	509.5
22	31	100	509.4	509.5
23	. 29	100	552.5	552.4

PCT/JP03/04841

24	1	4	553.4	553.4
25	14	53	528.5	528.4
26	17	67	514.5	514.4
27	2	8	498.4	498.4
28	19	73	514.5	514.4
29	15	57_	528.5	528.4
30	17	68	500.5	500.5
31	4	15	486.4	486.4
32	21	89	472.4	472.4
33	20	86	460.4	460.4
34	40	100	458.4	458.4
35	16	66	476.4	476.3
36	19	69	552.5	538.4
37	19	80	474.4	474.2
38	19	76	488.5	488.3
39	19	71	522.5	522.5
40	1	4	538.5	538.4
41	3	11	542.9	542.4
42	17	65	508.5	508.4
43	5	22	446.4	446.1
44	7	68	518.4	518.0
45	8	76	522.5	522.0
46	9	88	536.5	536.3
47	2	6	504.4	504.0
48	2	7	503.4	503.3
49	3	10	476.4	476.0
50	2	6	475.4	475.2
51	5	19	517.5	517.1
52	6	67	446.4	446.1
53	6	55	536.5	536.3
54	5	47	474.4	474.0
55	2	23	522.5	522.0
56	1	10	504.4	503.9

57	1	8	510.5	510.1
58	4	37	510.5	510.2
59	2	17	475.4	475.1
60	2	17	475.4	475.0
61	7	80	404.3	404.1
62	9	72	404.3	404.1

## [参考例1-4-1]

## 3-二トローフタル酸の合成

収量12.3g、収率56%。

 $^{1}$ H-NMR (270mHz, CD<sub>3</sub>OD) :  $\delta$ 8. 28 (1H, dd, J=7. 6, 1. 2Hz), 8. 25 (1H, dd, J=7. 8, 1 . 2Hz), 7. 72 (1H, dd, J=7. 8, 7. 6Hz) ppm

### [参考例1-4-2]

# 2-アミノー3-二トロー安息香酸の合成

水酸化カリウム (4.27g、76.2mmol) を水 (22ml) に溶解し、氷冷しながら、臭素 (0.463ml、9.50mmol) を滴下した。これに3-二トローフタル酸 (2.00g、9.52mmol) を加え、すべて溶解した後に、60℃で3時間攪拌し、さらに室

温で終夜攪拌を続けた。反応液を氷冷し、橙色の析出物を濾取した。これを水20mlに溶解し、濃塩酸を滴下して、pH4に調製した。氷冷後、黄色の析出物を濾取して乾燥し、2-アミノ-3-ニトロー安息香酸を得た。NMRにより同定した。

収量1.03g、収率59%。

 $^{1}$ H-NMR (270mHz, CD<sub>3</sub>OD) :  $\delta$ 8. 33 (1H, dd, J=8. 4, 1.7Hz), 8. 27 (1H, dd, J=7. 6, 1.7Hz), 6. 67 (1H, dd, J=8. 7, 7. 6 Hz) ppm.

[参考例1-4-3]

2-アミノ-3-ニトロー安息香酸メチルエステルの合成

2-アミノー3-二トロー安息香酸(1.00g、5.49mmo1)をメタノール(40m1)に溶解し、硫酸(0.50m1)を加えて、2日間加熱還流した。反応液を室温に冷却後、飽和炭酸水素ナトリウム水溶液で、pH約9に調製して、約10m1に減圧濃縮した。水(20m1)を加えてから、酢酸エチルエステル(10m1×3回)で抽出し、得られた有機層を無水硫酸マグネシウムで乾燥させた。これを減圧濃縮して生じた結晶を乾燥し、2-アミノー3-二トロー安息香酸メチルエステルを得た。NMRにより同定した。

収量661.4mg、収率61%。

<sup>1</sup>H-NMR (270mHz, CDCl, 3): δ8. 50 (br), 8. 37 (1H, dd, J=8. 6, 1. 4 Hz), 8. 23 (1H, dd, J=7. 6, 1. 4 Hz), 6. 65 (1H, dd, J=8. 6, 7. 6Hz), 3. 92 (3H, s) ppm.

[参考例1-4-4]

2,3-ジアミノー安息香酸メチルエステルの合成

2-アミノー3-二トロー安息香酸メチルエステル(661mg、3.3 mmol)をメタノール(30ml)に溶解し、窒素気流下で、10%パラジウムーカーボン粉末(5mol%)を加え、水素雰囲気下で1時間攪拌した。反応液をセライトを通じて濾過し、得られた濾液を減圧濃縮した。残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー(nーヘキサン/酢酸エチルエステル=2/1)で精製して、2,3-ジアミノー安息香酸メチルエステルを得た。NMRにより同定した。

収率517.2mg、収量92%。

 $^{1}H-NMR$  (270mHz, CDC1, 3):  $\delta$ 7. 46 (1H, dd, J=8. 2Hz, 1.5Hz), 6.85 (1H, dd, J=8. 2Hz, 1.5Hz), 6.60 (1H, t, J=8.2Hz), 5.53 (br), 3.87 (3H, s), 3.35 (br) ppm.

[参考例1-4-5]

2- [(1-tert-ブトキシカルボニルーピペリジン-4-イルメ チル)-アミノ]-1H-ベンズイミダゾール-4-カルボン酸メチル エステルの合成

4-Pミノメチルーピペリジン-1ーカルボン酸 t e r t -ブチルエステル(3.29g、15.4 mmol)をアセトニトリル(40m1)に溶解し、氷浴で冷却した。これに1、1-チオカルボニルジイミダゾール(3.28g、18.4 mmol)及びイミダゾール(314mg、4.6 mmol)のアセトニトリル溶液(30m1)を滴下し、室温まで昇温しながら 2 時間攪拌した。反応液に 2、3-ジアミノー安息香酸メチルエステル(<math>3.07g、18.5mmol)を加え、50 で終夜攪拌した。その後に、ジイソプロピルカルボジイミド(2.84ml、18.5mmol)を加えて80 でで2 時間攪拌した。反応液を減圧濃縮して得られた残渣を、シリカゲルカラムクロマトグラフィー(

 $n-\Lambda$ キサン/酢酸エチルエステル=3/2→酢酸エチルエステル/メタノール/トリエチルアミン=10/1/0. 1)で精製して、2-[(1-tert-プトキシカルボニルーピペリジン-4-イルメチル)-アミノ]-1H-ベンズイミダゾール-4-カルボン酸メチルエステルを得た。<math>LC-MSにより同定した。

収量5.47g、収率91.4%、[M+1]=389.2。

[参考例1-4-6]

2-[(ピペリジン-4-イルメチル)ーアミノ]ー1Hーベンズイミ ダゾール-4-カルボン酸メチルエステルの合成

2-[(1-tert-ブトキシカルボニルーピペリジン-4-イルメチル)-アミノ]-1H-ベンズイミダゾールー4-カルボン酸メチルエステル(2.28g、5.87mmol)をメタノール(3ml)に溶解し、4規定塩化水素-1,4-ジオキサン溶液(10ml、40mmol)を加え、室温で終夜攪拌した。析出した結晶を濾取し、酢酸エチルエステルで洗浄後に乾燥して、2-[(ピペリジン-4-イルメチル)-アミノ]-1H-ベンズイミダゾールー4-カルボン酸メチルエステルを得た。LC-MSにより同定した。

収量1.19g、収率56.1%、[M+1] = 289.2。

[実施例1-4-1]

2-{[1-(3,5-ジクロロ-2-ヒドロキシーベンジル)-ピペリジン-4-イルメチル]-アミノ}-1H-ベンズイミダゾール-4-カルボン酸メチルエステルの合成

 $6.6 \, \mathrm{mmo} \, 1$ )及びナトリウムトリアセトキシボロヒドリド( $3.5.0 \, \mathrm{mg}$ 、 $0.16.6 \, \mathrm{mg}$ )を加え、 $5.0 \, \mathrm{C}$ で2日間攪拌した。反応液にメタノール( $1 \, \mathrm{m} \, 1$ )を加えて、 $1 \, \mathrm{分間攪拌}$ した後に、S.C.X. 固相抽出(ボンドエルートS.C.X.  $5.0.0 \, \mathrm{MG}$ )にて精製した。これをさらに分取HPLCで精製して、 $2-\{[1-(3,5-ジクロロ-2-ヒドロキシーベンジル)-ピペリジン-4-イルメチル]-アミノ}-1 H-ベンズイミダゾールー4ーカルボン酸メチルエステルを得た。<math>L.C.M.S.C.X.$ により同定した。

収量10.1mg、収率39.3%、純度94.0%、[M+1]=463.1

[実施例1-4-2から実施例1-4-9]

化合物番号1-4-2から1-4-9までの化合物は、実施例1-4-1に従い、対応する原料より合成した。結果を表 12に示す。

「参考例1-4-7]

2-[(1-tert-ブトキシカルボニルーピペリジン-4-イルメチル)-アミノ]-1H-ベンズイミダゾール-4-カルボン酸の合成2-[(1-tert-ブトキシカルボニルーピペリジン-4-イルメチル)-アミノ]-1H-ベンズイミダゾール-4-カルボン酸メチルエステル(5.47g、14.1mmol)をメタノール(60ml)に溶解し、水酸化リチウム水溶液(4mol/L、20ml、80mmol)を加え、50℃で終夜攪拌した。反応液を氷浴で冷却し、6規定塩酸(5ml)を滴下した。さらに1規定塩酸を徐々に加えながら、pH約7.5に調製し、氷浴中1時間攪拌を続けた。析出物を濾取して、酢酸エチルエステル及び水で洗浄した。これを減圧乾燥して2-[(1-tert-ブトキシカルボニルーピペリジン-4-イルメチル)-アミノ]-1H-ベンズイミダゾール-4-カルボン酸を得た。LCーアミノ]-1H-ベンズイミダゾール-4-カルボン酸を得た。LCー

MSにより同定した。

収量3.68g、収率69.7%、[M+1]=375.2。

「参考例1-4-8]

2-「(1-tert-ブトキシカルボニルーピペリジン-4-イル メチル)ーアミノ]-1H-ベンズイミダゾール-4-カルボン酸(1 . 20g、3. 20mmol) を、ジメチルホルムアミドとテトラヒド ロフランの混合溶媒(1:1、20ml)に懸濁させ、1-ヒドロキシ ベンゾトリアゾールー水和物 (737mg、4.81mmol) 及び2 ーメトキシーエチルアミン(0.42ml、4.8mmol)を加えた 。さらに1-エチル-3-(3-ジメチルアミノプロピル)カルボジイ ミド塩酸塩 (1.90g、6.40mmol) を加えた後、室温で4時 間攪拌した。反応液に水(100ml)を加え、酢酸エチルエステル( 150m1×3回)で抽出し、有機層を飽和食塩水(100ml)で洗 浄後、無水硫酸マグネシウムで乾燥させた。これを減圧濃縮して得られ た残渣を、シリカゲルカラムクロマトグラフィー(酢酸エチルエステル /メタノール=30/1)で精製して、4-{「4-(2-メトキシー エチルカルバモイル) -1H-ベンズイミダゾール-2-イルアミノ] -メチル} -ピペリジン-1-カルボン酸tert-ブチルエステルを 得た。LC-MSにより同定した。

収量1. 30g、収率94. 1%、純度: [M+1] = 432. 2。

[参考例1-4-9]

2-[(ピペリジン-4-イルメチル)-アミノ]-1H-ベンズイミ ダゾール-4-カルボン酸 (2-メトキシーエチル)-アミドの合成  $4-\{[4-(2-メトキシーエチルカルバモイル)-1 H-ベンズイミダゾール-2-イルアミノ]-メチル}-ピペリジン-1-カルボン酸 <math>t e r t - プチルエステル (1.30 g 3.01 mmol)$ をメタノール (1 m 1) に溶解し、4規定塩化水素-1,4-ジオキサン溶液 (7.0 m 1、28.0 mmol)を加え、50で1時間攪拌した。反応液を減圧濃縮、真空乾燥して、2-[(ピペリジン-4-イルメチル)-アミノ]-1 H-ベンズイミダゾール-4-カルボン酸 (2-メトキシーエチル)-アミドを得た。LC-MSにより同定した。

収量1. 23g、収率100%、純度: [M+1] = 332. 2。

[実施例1-4-10]

2-{[1-(5-クロロ-2-ヒドロキシーベンジル)-ピペリジン -4-イルメチル]-アミノ}-1H-ベンズイミダゾール-4-カル ボン酸 (2-メトキシーエチル)-アミドの合成

2-[( ピペリジン-4- ( ハメチル) - アミノ] - 1 H - ベンズ ( イミダゾール - 4 - カルボン酸 ( 2 - メトキシーエチル) - アミド ( 2 0 mg、 0 . 0 4 9 mm o 1 ) を、ジメチルスルホキシドー酢酸 ( 1 0 : 1、 0 . 5 0 m1 ) に溶解し、 <math>2-ヒドロキシ-5-クロロベンズアルデヒド ( 2 3 mg、 0 . 1 5 mm o 1 ) 、及びナトリウムトリアセトキシボロヒドリド ( 3 1 mg、 0 . 1 5 mg ) を加え、 5 0 で 2 日間機件した。反応液にメタノール ( 1 m 1 ) を加えて、 1 分間機件した後に、 1 公園相抽出(ボンドエルート 1 とこれをさらに分取 1 にて精製して、 1 にて精製した。これをさらに分取 1 にて精製して、 1 により 1 により同定した。 1 に 1

収量 9. 4 m g、収率 4 0. 6 %、純度 9 4. 0 %、 [M+1] = 4 7

2.2.

[実施例1-4-11から実施例1-4-17]

化合物番号1-4-11から1-4-17の化合物の合成は、実施例 1-4-10に従い、対応する原料より合成した。結果を表12に示す

[参考例1-4-9]

 $2-\{[1-(3,5-ジクロロ-2-ヒドロキシーベンジル)-ピペリジン-4-イルメチル]-アミノ}-1H-ベンズイミダゾール-4-カルボン酸の合成$ 

 $2-\{[1-(3,5-ジクロロ-2-ヒドロキシーペンジル)-ピペリジン-4-イルメチル]-アミノ\}-1H-ペンズイミダゾールー4-カルボン酸メチルエステル(993mg、2.14mmol)をメタノール(10ml)に懸濁し、水酸化リチウム水溶液(4M、5.4ml、21.4mmol)を加えた。反応液を<math>50$ ℃で2時間攪拌した後に、室温に冷却した。これに1規定塩酸を滴下して、pH約6.0に調製した。酢酸エチルエステル(1ml)を加えて3時間攪拌した後に、析出物を濾取し、 $2-\{[1-(3,5-ジクロロ-2-ヒドロキシーペンジル)-ピペリジン-4-イルメチル]-アミノ}-1H-ベンズイミダゾール-4-カルボン酸を得た。LC-MSにより同定した。収量<math>802.6mg$ 、収率83.5%、[M+1]=449.1。

[実施例1-4-18]

 $2-\{[1-(3,5-ジクロロ-2-ヒドロキシーベンジル)-ピペリジン-4-イルメチル]-アミノ}-1H-ベンズイミダゾール-4-カルボン酸イソプロピルアミドの合成$ 

2-{[1-(3,5-ジクロロ-2-ヒドロキシーベンジル)-ピペリジン-4-イルメチル]-アミノ}-1H-ベンズイミダゾール-

収量 2 5. 6 m g、収率 7 8. 1%、純度 9 7. 3%、 [M+1] = 4 9 0. 1

[実施例1-4-19から実施例1-4-30]

化合物番号1-4-19から1-4-30の化合物は、実施例1-4-18に従い、対応する原料より合成した。結果を表12に示す。

表12

化合物 No.1-4-	収量(mg)	収率(%)	MW	M+1
1	10	39	463.4	463.1
2	19	80	428.9	429.1
3	28	100	473.4	473.1
4	18	74	439.5	440.1
5	26	100	428.5	429.2
6	28	100	431.5	432.2
7	28	100	434.6	435.1
8	24	98	406.5	407.2

9	294	44	447.4	447.1
10	9	41	472.0	472.2
11	11	42	516.4	518.1(Br)
12	17	74	482.5	483.2
13	12	49	506.4	506.1
14	6	27	471.6	472.2
15	10	43	474.6	475.2
16	14	59	477.6	478.2
17	22	96	449.6	450.2
18	26	78	490.4	490.1
19	18	56	476.4	476.1
20	24	68	520.5	520.2
21	23	66	518.4	518.1
22	4	22	517.5	517.3
23	9	51	503.5	503.3
24	13	67	575.5	575.3
25	2	12	518.4	518.3
26	21	116	518.4	518.3
27	11	62	490.4	490.2
28	11	61	522.5	522.3
29	13	69	536.5	536.3
30	7	84	475.4	475.2

## [参考例1-5-1]

## 3, 4-ジアミノ安息香酸エチルエステルの合成

3,4-ジアミノ安息香酸(2.003g、13.17mmol)及びトリフェニルホスフィン(4.248g、16.20mmol)をトルエン(20ml)とテトラヒドロフラン(10ml)に懸濁させた。エタノール(2ml)を加えて得られた茶褐色懸濁液に、アゾジカルボン酸ジイソプロピル(2.5ml、9.96mmol)を滴下し、室温で3.5時間撹拌した。さらにアゾジカルボン酸ジイソプロピル(1.

5 m 1、5.98 m m o 1)を滴下して、室温で1時間撹拌し、得られた反応混合物から1規定塩酸(100 m 1×2回)により抽出し、水層を酢酸エチルエステル50 m 1で洗浄した。水層へ2規定水酸化ナトリウム水溶液を加えて、pH11以上とした後、析出物を酢酸エチルエステル(100 m 1×2回)抽出した。有機層を飽和食塩水(50 m 1)で洗浄し、無水硫酸ナトリウム上で終夜乾燥させた。乾燥剤の濾別、濾液の濃縮の後、3,4-ジアミノ安息香酸エチルエステルを薄黄色固体として得た。LC-MSにより同定した。

収量1.547g、収率65%、実測値ESI/MS m/e 181.1 (M+1)。

下記の化合物についても、参考例1-5-1と同様に、対応する原料 を使用して合成した。

- 3, 4-ジアミノ安息香酸イソプロピルエステル:収量1.302g、 収率49%
- 3, 4-ジアミノ安息香酸イソブチルエステル:収量2.014g、収率72%
- 3, 4-ジアミノ安息香酸ベンジルエステル:収量0.331g、収率10%
- 3, 4-ジアミノ安息香酸シクロヘキシルエステル:収量 0. 2 4 5 g 、収率 8 %

[参考例1-5-2]

2- [(1-tert-プトキシカルボニルーピペリジン-4-イルメチル)-アミノ]-1H-ベンズイミダゾール-5-カルボン酸エチルエステル合成

4-アミノメチルーピペリジンー1-カルボン酸 t e r t -プチルエステル(0.394g、1.84mmol)を、アセトニトリル(3m

収量 0.838g、収率%、実測値ESI/MS m/e 403.2 (M+1)。

[参考例1-5-3]

2 - [(ピペリジン-4-イルメチル)-アミノ]-1H-ベンズイミ ダゾール-5-カルボン酸エチルエステルの合成

2-[(1-tert-ブトキシカルボニルーピペリジン-4-イルメチル)-アミノ]-1H-ベンズイミダゾール-5-カルボン酸エチルエステルをテトラヒドロフラン(2ml)に溶解し、4規定塩化水素/1,4-ジオキサン溶液(3ml)を加えた。不溶物が析出したため、エタノール(5ml)を加えて溶解し、室温で終夜撹拌した。反応液を濃縮して、赤色アモルファス状固体の2-[(ピペリジン-4-イルメチル)-アミノ]-1H-ベンズイミダゾール-5-カルボン酸エチル

エステルを得た。LC-MSにより同定した。

収量 0. 9 4 2 g、収率 1 0 0 %、実測値 E S I / M S m / e 3 0 3. 1 (M+1)。

[実施例1-5-1]

 $2-\{[1-(3,5-ジクロロ-2-ヒドロキシベンジル)-ピペリジン-4-イルメチル]-アミノ}-1H-ベンズイミダゾール-5-カルボン酸エチルエステルの合成$ 

2-[(ピペリジン-4-イルメチル)-アミノ]-1H-ベンズイミダゾール-5-カルボン酸エチルエステル(0.1mmol)のジメチルホルムアミドー酢酸(10:1)溶液(1.0ml)に、3,5-ジクロロ-2-ヒドロキシベンズアルデヒド(0.3mmol)とナトリウムトリアセトキシボロヒドリド(0.3mmol)を加え、室温で終夜攪拌した。反応溶液にメタノール(1.0ml)を加え反応を停止し、1時間攪拌後、溶液を<math>SCX(ボンドエルートSCX500MG)に付した。メタノール、続いてクロロホルム/メタノール(1/1)混合溶液で、SCXを洗浄後、0.5規定アンモニアジオキサン溶液で溶出した。溶媒を減圧下に留去し、得られた残渣を分取HPLCに付し、 $2-\{[1-(3,5-ジクロロ-2-ヒドロキシベンジル)-ピペリジン-4-イルメチル]-アミノ}-1H-ベンズイミダゾール-5-カルボン酸エチルエステル得た。LC-MSにより同定した。$ 

収量1.6 mg、収率3.4%、純度98%、実測値ESI/MS m /e 477.1 (M+1)。

[実施例1-5-2から実施例1-5-8]

化合物番号1-5-2から1-5-8の化合物は、参考例1-5-1 から参考例1-5-3、及び実施例1-5-1に従い、対応する原料よ り合成した。結果を表13に示す。 [参考例1-5-4]

3, 4-ジアミノ安息香酸メチルエステルの合成

3,  $4-\Im r$ ミノ安息香酸(25.0g、164mmol)のメタノール溶液(164ml)に、0℃でゆっくりと塩化チオニル(13.0 ml、180mmol)を滴下した。室温で終夜攪拌後、更に80℃で終夜攪拌した。反応溶液を室温まで冷却し、析出した固体を濾別しメタノールで洗浄した。濾液は減圧下に濃縮して得られた固体を濾別し、メタノールで洗浄した。得られた固体全てを減圧下60℃で乾燥させ、3,4ー $\Im$ アミノ安息香酸メチルエステルを得た。NMRにより同定した。

収量31.16g、収率79%。

 $^{1}$ H-NMR (270MHz, CDCl<sub>3</sub>): 3. 76 (s, 3H), 6. 85 (d, 1H, J=8. 6Hz), 7. 63 (dd, 1H, J= 1. 9, 8. 6Hz), 7. 78 (d, 1H, J=1. 9Hz).

[実施例1-5-9から実施例1-5-13]

化合物番号1-5-9から1-5-13の化合物は、参考例1-5-4、参考例1-5-2、参考例1-5-3、及び実施例1-5-1に従い対応する原料より合成した。結果を表13に示す。

[参考例1-5-5]

4-メチルアミノ-3-二トロー安息香酸メチルエステルの合成

4-フルオロー3-ニトロー安息香酸メチルエステル(507.3mg、2.55mmol)をテトラヒドロフラン(1ml)に溶解し、氷浴中でメチルアミン(2.0Mテトラヒドロフラン溶液、2.55ml、5.09mmol)を加え、室温で終夜攪拌した。反応液を減圧濃縮して、酢酸エチルエステル(20ml)に溶解し、飽和炭酸水素ナトリウム水溶液及び飽和食塩水で洗浄した後に、無水硫酸マグネシウムで乾

4-アミノ-3-ニトロー安息香酸メチルエステル(1.03g、5.25mmol)をテトラヒドロフラン(50ml)に溶解し、ナトリウムピス(トリメチルシリル)アミド(1.0Mテトラヒドロフラン溶液、10.5ml、10.5mmol)を加え、室温で15分間攪拌した。これに二炭酸ジプチル(1.44ml、6.30mmol)のテトラヒドロフラン溶液(10ml)を滴下して、室温で1時間攪拌した。反応液を減圧濃縮し、残渣に1規定塩酸を加えて、pH約6に調製した。これを酢酸エチルエステル(100ml×3回)で抽出し、得られた有機層を飽和食塩水で洗浄した後に、無水硫酸マグネシウムで乾燥させた。減圧濃縮後の残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー(nーへキサン/酢酸エチルエステル=9/1)で精製して、4-tertープトキシカルボニルアミノー3-ニトロー安息香酸メチルエステルを得た。LC-MSにより同定した。

収量1.11g、収率71.4%、[M+1] = 297.1。

[参考例1-5-8]

3-アミノ-4-tert-プトキシカルボニルアミノ-安息香酸メチルエステルの合成

4-tertープトキシカルボニルアミノー3-ニトロー安息香酸メチルエステル(1.11g、3.75mmol)を、酢酸エチルエステルメタノール(1:1)(30ml)に溶解した。この水溶液に窒素雰囲気下で10%パラジウムーカーボン粉末(200mg、5mol%)を加え、水素雰囲気下で終夜攪拌した。反応液をセライト濾過し、濾液を減圧濃縮して3-アミノー4-tertープトキシカルボニルアミノー安息香酸メチルエステルを得た。LC-MSにより同定した。

収量924.1mg、収率92.3%、[M+1] = 267.3。

[参考例1-5-9]

4-tertープトキシカルボニルアミノー3-(2-ニトローベンゼ ンスルホニルアミノ)-安息香酸メチルエステルの合成

3-アミノー4-tertープトキシカルボニルアミノー安息香酸メチルエステル(817.3mg、3.07mmol)をジクロロメタン(10ml)に溶解し、氷浴下でピリジン(0.373ml、4.60mmol)及び2-ニトロベンゼンスルホニルクロリド(815mg、3.68mmol)を加え、室温で4時間攪拌した。ピリジン(0.050ml)及び2-ニトロベンゼンスルホニルクロリド(135mg)を加え、さらに2時間攪拌した。反応液を減圧濃縮して、水(30ml)を加えた後に、酢酸エチルエステル(20ml×3回)で抽出した。得られた有機層を飽和食塩水で洗浄後、無水硫酸マグネシウムで乾燥させた。減圧濃縮後に結晶化した残渣を、nーヘキサン-酢酸エチルエステル(4:1)に懸濁した後に、濾取、乾燥させて4-tertープトキシカルボニルアミノー3-(2-ニトローベンゼンスルホニルアミノ)-安息香酸メチルエステルを得た。LC-MSにより同定した。収量1.23g、収率88.7%。

[参考例1-5-10]

4-tertープトキシカルボニルアミノ-3-[メチルー(2-ニトローベンゼンスルホニル)ーアミノ]ー安息香酸メチルエステルの合成4-tertープトキシカルボニルアミノ-3-(2-ニトローベンゼンスルホニルアミノ)ー安息香酸メチルエステル(1.23g、2.73mmol)をジメチルホルムアミド(10ml)に溶解し、氷浴中で炭酸カリウム(1.13g、8.16mmol)とヨウ化メチル(0.254ml、4.09mmol)を加え、室温で2時間攪拌した。反応液に水(100ml)を加え、これを酢酸エチルエステル(40ml×4回)で抽出した。得られた有機層を飽和食塩水で洗浄し、無水硫酸

燥させた。これを減圧濃縮して得られた残渣を、メチルアミンーテトラヒドロフラン溶液(2.0M、3ml)に溶解し、密封して50℃で5時間攪拌した。反応液を減圧濃縮して酢酸エチルエステル(30ml)に溶解し、飽和炭酸水素ナトリウム水溶液、飽和食塩水で洗浄した後に、無水硫酸マグネシウムで乾燥させた。これを減圧濃縮して、4-メチルアミノ-3-ニトロー安息香酸メチルエステルを得た。LC-MSにより同定した。

収量540mg、収率100%、[M+1] = 211.1。

[参考例1-5-6]

3-アミノー4-メチルアミノ-安息香酸メチルエステルの合成

4ーメチルアミノー3ーニトロー安息香酸メチルエステル(540mg、2.5mmol)を酢酸エチルエステルエステルメタノール(2:1)(20ml)に溶解し、窒素雰囲気下で10%パラジウムーカーボン粉末(5mol%)を加えた。水素雰囲気下で4時間攪拌した後、反応液をセライトを通じて濾過した。濾液を減圧濃縮して、3ーアミノー4ーメチルアミノー安息香酸メチルエステルを得た。LC-MSにより同定した。

収量441mg、収率100%、[M+1] = 181.1。

[実施例1-5-14から実施例1-5-16]

化合物番号1-5-14から1-5-16の化合物は、参考例1-5-5、参考例1-5-6、参考例1-5-2、参考例1-5-3、及び 実施例1-5-1に従い、対応する原料より合成した。結果を表13に 示す。

[参考例1-5-7]

4-tertープトキシカルボニルアミノ-3-ニトロー安息香酸メチルエステルの合成

マグネシウムで乾燥させた。減圧濃縮後に結晶化した残渣を乾燥させて 4-tert-ブトキシカルボニルアミノ-3-[メチル-(2-二トローベンゼンスルホニル)-アミノ]-安息香酸メチルエステルを得た。LC-MSにより同定した。

収率1.41g、収率100%。

[参考例1-5-11]

4-tert-プトキシカルポニルアミノ-3-メチルアミノ-安息香酸メチルエステルの合成

4-tertープトキシカルボニルアミノ-3-[メチルー(2-ニトローベンゼンスルホニル)ーアミノ]ー安息香酸メチルエステル(1.41g、2.73mmol)をジメチルホルムアミド(10ml)に溶解し、氷浴中で炭酸カリウム(1.13g、8.16mmol)及びチオフェノール(0.307ml、2.99mmol)を加え、室温で1時間攪拌した。反応液に水(100ml)を加え、これを酢酸エチルエステル(40ml×3回)で抽出した。得られた有機層を飽和食塩水で洗浄し、無水硫酸マグネシウムで乾燥させた。減圧濃縮後の残渣を、シリカゲルカラムクロマトグラフィー(nーヘキサン/酢酸エチルエステル=85/15)で精製して、4-tertープトキシカルボニルアミノー3ーメチルアミノー安息香酸メチルエステルを得た。LCーMSにより同定した。収量794.3mg、収率62.7%、[M+1]=281.1。

[参考例1-5-12]

4-アミノ-3-メチルアミノ-安息香酸メチルエステルの合成

4-tert-プトキシカルポニルアミノ-3-メチルアミノー安息香酸メチルエステル(794.3mg.2.83mmol)をメタノール(7.0ml)に溶解し、氷浴中で4規定塩化水素-1, 4-ジオキ

サン溶液(3.54ml、14.3mmol)を加え、室温で30分間 攪拌した。さらに同量の4規定塩化水素-1,4-ジオキサン溶液を加 え、40 $^{\circ}$ で3 $_{\circ}$ 0分間攪拌した。反応液を、氷冷した飽和炭酸水素ナト リウム水溶液に注ぎ、これを酢酸エチルエステル(30ml×3)で抽 出した。得られた有機層を飽和食塩水で洗浄し、無水硫酸マグネシウム で乾燥させた。減圧濃縮後の残渣を、シリカゲルカラムクロマトグラフ ィー(n-ヘキサン/酢酸エチルエステル=4 $_{\circ}$ 1 $_{\circ}$ 3 $_{\circ}$ 2 $_{\circ}$ 1 $_{\circ}$ 1) で精製して、4 $_{\circ}$ 7 $_{\circ}$ 2 $_{\circ}$ 1、まの同定した。

収量342.7mg、収率67.2%、[M+1]=181.1。

[実施例1-5-17から実施例1-5-19]

化合物番号1-5-17から1-5-19の化合物は、参考例1-5-7から参考例1-5-12、参考例1-5-2、参考例1-5-3、及び実施例1-5-1に従い、対応する原料より合成した。結果を表13に示す。

[実施例1-5-20]

2-{[1-(3-フェニループロピル)ーピペリジン-4-イルメチル]ーアミノ}ー1Hーベンズイミダゾールー5ーカルボン酸の合成2-{[1-(3-フェニループロピル)ーピペリジン-4-イルメチル]ーアミノ}ー1Hーベンズイミダゾールー5ーカルボン酸メチルエステル(3.2mmol)をメタノール(10ml)に懸濁し、4規定水酸化リチウム水溶液(5.4ml、21.4mmol)を加えた。反応液を50℃で2時間攪拌した後に、室温に冷却した。これに1規定塩酸を滴下して、pH約6.0に調製した。この水溶液に酢酸エチルエステル(1ml)を加えて3時間攪拌した後に、析出物を濾取し、2-{[1-(3-フェニループロピル)ーピペリジン-4-イルメチル]

- アミノ ) - 1 H - ベンズイミダゾール - 5 - カルボン酸を得た。 L C - M S により同定した。

収量1.01g、収率79.9%、純度98.5%、[M+1]=39 3.1。

[実施例1-5-21から実施例1-5-22]

化合物番号1-5-21から1-5-22の化合物は、実施例1-5-20に従い、対応する原料より合成した。結果を表13に示す。

[実施例1-5-23]

2- [(1-ナフタレン-1-イルメチルーピペリジン-4-イルメチル)-アミノ]-1H-ベンズイミダゾール-5-カルボン酸(2-ジメチル)-アミドの合成

2-[(1-ナフタレン-1-イルメチルーピペリジン-4-イルメチル)-アミノ]-1H-ベンズイミダゾール-5-カルボン酸(20.0mg、0.0480mmol)及び1-ヒドロキシベンゾトリアゾールー水和物(22.0mg、0.145mmol)をテトラヒドロフランージメチルホルムアミド(1:1,0.500ml)に溶解した。これに、N,N-ジメチルエチレンジアミン(0.0160ml、0.145mmol)及びN,N-ジイソプロピルカルボジイミド(0.0220ml、0.145mmol)を加え、室温で終夜攪拌した。反応液に水(2ml)を加えて、10分間攪拌し、酢酸エチルエステル(1ml×3回)で抽出した。得られた酢酸エチルエステル層を、SCX固相抽出で精製した後に、HPLC分取で精製して、2-[(1-ナフタレン-1-イルメチルーピペリジン-4-イルメチル)-アミノ]-1H-ベンズイミダゾール-5-カルボン酸(2-ジメチル)-アミドを得た。LC-MSにより同定した。

収量10.5mg、収率45.1%、純度100%、[M+1] = 48

5.4

[実施例1-5-24から実施例1-5-190]

化合物番号1-5-24から1-5-190までの化合物は、実施例1-5-23に従い、対応する原料より合成した。結果を表13に示す。

[参考例1-5-13]

2-[(1-t)7タレン-1-t)ルンデー 2-[(1-t)79) 2-[(1-t)79] 2-

収量1.1g、収率96%、LCMS(529.2m/z M+1)。

[実施例1-5-191]

{2-[(1-ナフタレン-1-イルメチルーピペリジン-4-イルメチル)-アミノ]-1H-ベンズイミダゾール-5-イル}-メタノールの合成

窒素気流下で、2-[(1-ナフタレン-1-イルメチル-ピペリジン-4-イルメチル)-アミノ]-ベンズイミダゾール-1,5-ジカ

ルボン酸 1-t e r t - プチルエステル 5- メチルエステル (940 mg, 1.78 mm o 1) を、乾燥テトラヒドロフラン (18m1) に溶解し、0 ℃でリチウム水素化アルミニウム(135 mg、3.56 m m o 1)加え、3 時間攪拌した。飽和硫酸ナトリウム水溶液を加えた後、溶媒を減圧下に留去した。水が残っていたため、残渣を酢酸エチルエステルに溶解し、飽和食塩水で洗浄後、溶媒を減圧下に留去し、残渣を得た。残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー(ジクロロメタン/メタノール/TEA=90/5/5)により精製し、 $\{2-[(1-t)29)(1-t)20)(1-t)20$  によりオ製し、 $\{2-[(1-t)20)(1-t)20$  によりオリンー  $\{2-[(1-t)20)(1-t)20$  によりオリンー  $\{2-[(1-t)20)(1-t)20$  によりオリント  $\{2-[(1-t)20)(1-t)20$  によりオリント  $\{2-[(1-t)20)(1-t)20$  によりオリント  $\{2-[(1-t)20)(1-t)20$  により  $\{2-[(1-t)20)(1-t)20$  により  $\{2-[(1-t)20)(1-t)20$  により  $\{2-[(1-t)20](1-t)20$  により

[実施例1-5-192]

2-[(1-ナフタレン-1-イルメチルーピペリジン-4-イルメチル)-アミノ]-1H-ベンズイミダゾール-5-カルポアルデヒドの合成

1ーヒドロキシー1ーオキソー1 H-1  $\lambda^5$ ーベンゾ [d] [1, 2] ヨードキソールー3ーオン(846 mg、3.02 mm o 1)のジメチルスルホキシド溶液(10 m 1)を、{2-[(1-ナフタレン-1-イルメチルーピペリジン-4-イルメチル)-アミノ]-1 H-ベンズイミダゾールー5ーイル}ーメタノール(807 mg、2.01 mm o 1)のジメチルスルホキシド溶液(10 m 1)に加え、室温で9時間攪拌した。氷水(200 m 1)に反応溶液を流し込み、室温で30分攪拌した。氷水(200 m 1)に反応溶液を流し込み、室温で30分攪拌後、酢酸エチルエステルを加え、10分間激しく攪拌し抽出を行った。飽和炭酸水素ナトリウム水溶液、飽和食塩水で洗浄後、無水硫酸ナトリウムで乾燥した後、溶媒を減圧下に留去し、得られた残渣をシリカゲ

PCT/JP03/04841

ルカラムクロマトグラフィー(酢酸エチルエステル/メタノール=9/1)により精製した。さらに分取HPLCで精製し、2-[(1-ナフタレン-1-イルメチルーピペリジン-4-イルメチル)-アミノ]-1H-ベンズイミダゾール-5-カルボアルデヒドを得た。

収量 3 4 m g、収率 4 %、純度 1 0 0 %、L C M S (3 9 9. 2 m/z M+1)。

[実施例1-5-193]

2-[(1-ナフタレン-1-イルメチルーピペリジン-4-イルメチル)-アミノ]-1H-ベンズイミダゾール-5-カルボニトリルの合成

窒素気流下で、2-[(1-ナフタレン-1-イルメチルーピペリジン-4-イルメチル)-アミノ]-1H-ベンズイミダゾールー5-カルボアルデヒド(2.7mg、0.0570mmol)を無水ジメチルホルムアミド(1ml)に溶解し、ヒドロキシルアミン塩酸塩(8mg、0.115mmol)と6規定塩酸一滴を加えた後、80℃で2時間30分攪拌した。5規定水酸化ナトリウム水溶液2滴を加え、酢酸エチルで抽出後、ジクロロメタンで抽出した。有機層を飽和食塩水で洗浄後、無水硫酸ナトリウムで乾燥し、溶媒を減圧下に留去し、残渣を得た。残渣に、無水ジメチルホルムアミド(1ml)と4規定塩化水素/1,4-ジオキサン溶液を9滴加え、100℃で12時間攪拌した。5規定水酸化ナトリウム水溶液で中和後、同様の抽出処理を行い、得られた残渣を薄層シリカゲルクロマトグラフィー(ジクロロメタン/メタノール/トリエチルアミン=85/10/5)で精製し、2-[(1-ナフタレン-1-イルメチルーピペリジン-4-イルメチル)-アミノ]-1H-ベンズイミダゾール-5-カルボニトリルを得た。

収率29%、純度99.3%、収量6.6mgで得た。LCMS (39

6. 3 m/z M+1).

[参考例1-5-14]

2-[(1-ナフタレン-1-イルメチルーピペリジン-4-イルメチル)-(2-トリメチルシラニルーエトキシメチル)-アミノ]-1-(2-トリメチルシラニルーエトキシメチル)-1H-ベンズイミダゾール-5-カルボン酸メチルエステルの合成

2- [ (1-ナフタレン-1-イルメチル-ピペリジン-4-イルメ チル)-アミノ]-1H-ベンズイミダゾール-5-カルボン酸メチル エステル(1g、2.33mmol)を、窒素気流下で、無水テトラヒ ドロフラン (30 m l) に溶解し、0℃に冷却した。60%水素化ナト リウム(187mg、4.89mmol)を加え、0℃で72分間攪拌 した。2-(トリメチルシリル)エトキシメチルクロリド(815.8 mg、4.89mmol)を加え、0℃で30分攪拌後水を加えた。こ の溶液を、酢酸エチル続いてジクロロメタンで抽出し、それぞれを飽和 食塩水で洗浄後、合わせて無水硫酸ナトリウムで乾燥した。溶媒を減圧 下に留去し、得られた残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー(酢 酸エチルエステル/ヘキサン= 2 / 3 → 3 / 2 → 1 / 0 )により精製し 、2-[(1-ナフタレン-1-イルメチル-ピペリジン-4-イルメ チル) - (2-トリメチルシラニル-エトキシメチル) - アミノ1 - 1 - (2-トリメチルシラニルーエトキシメチル) - 1 H - ベンズイミダ ゾール-5-カルボン酸メチルエステルを得た。LC-MSにより同定 した。

収量 6 2 4 m g、収率 3 9 %、純度 9 5. 1 %、LCMS (6 8 9. 3 m/z M+1)。

[参考例1-5-15]

[2-[(1-ナフタレン-1-イルメチルーピペリジン-4-イルメ

チル) - (2-トリメチルシラニル-エトキシメチル) - アミノ] - 1 - (2-トリメチルシラニル-エトキシメチル) - 1 H - ベンズイミダ ゾール-5-イル] - メタノールの合成

窒素気流下で、2-[(1-ナフタレン-1-イルメチルーピペリジン-4-イルメチル)-(2-トリメチルシラニルーエトキシメチル)-アミノ]-1-(2-トリメチルシラニルーエトキシメチル)-1H-ベンズイミダゾール-5-カルボン酸メチルエステル(624mg、0.91mmo1)を無水テトラヒドロフラン(10ml)に溶解し、0.℃でリチウム水素化アルミニウム(72.4mg、1.82mmol)を加え、そのまま2時間攪拌した。飽和硫酸ナトリウム水溶液を加えた後、酢酸エチル続いてジクロロメタンで抽出した。それぞれを飽和食塩水で洗浄後、合わせて、無水硫酸ナトリウムで乾燥した。溶媒を減圧下に留去し、[2-[(1-ナフタレン-1-イルメチルーピペリジン-4-イルメチル)-(2-トリメチルシラニルーエトキシメチル)-アミノ]-1-(2-トリメチルシラニルーエトキシメチル)ーアミノ]-1-(2-トリメチルシラニルーエトキシメチル)ー1Hーベンズイミダゾール-5-イル]-メタノールを得た。LC-MSにより同定した。

収量 5 6 8 mg、収率 9 5 %、純度 8 9. 4 %、LCMS (6 6 1. 4 m/z M+1)。

[参考例1-5-16]

2-[(1-ナフタレン-1-イルメチルーピペリジン-4-イルメチル)-(2-トリメチルシラニルーエトキシメチル)-アミノ]-1-(2-トリメチルシラニルーエトキシメチル)-1H-ベンズイミダゾール-5-カルボアルデヒドの合成

[2-[(1-ナフタレン-1-イルメチルーピペリジン-4-イル メチル)-(2-トリメチルシラニル-エトキシメチル)-アミノ]- 1-(2-トリメチルシラニルーエトキシメチル)-1H-ベンズイミダゾール-5-イル]-メタノール(467mg、0.71mmol)のジメチルスルホキシド溶液(5ml)を、1-ヒドロキシ-1-オキソー1H-1入<sup>5</sup>-ベンゾ[d][1,2]ヨードキソール-3-オン297mg(1.06mmol)のジメチルスルホキシド溶液(5ml)に加え、室温で18時間攪拌した。氷水(200ml)に反応溶液を流し込み、室温で30分攪拌後、酢酸エチルエステルを加え10分間激しく攪拌し、抽出を行った。飽和炭酸水素ナトリウム水溶液、続いて飽和食塩水で洗浄後、無水硫酸ナトリウムで乾燥した後、溶媒を減圧下に留去し、2-[(1-ナフタレン-1-イルメチルーピペリジン-4-イルメチル)-(2-トリメチルシラニルーエトキシメチル)-アミノ]-1-(2-トリメチルシラニルーエトキシメチル)-1H-ベンズイミダゾール-5-カルボアルデヒドを得た。

収量475mg、収率100%、純度83.2%、LCMS(659.3m/zM+1)。

[参考例1-5-17]

1-[2-[(1-ナフタレン-1-イルメチルーピペリジン-4-イルメチル)-(2-トリメチルシラニルーエトキシメチル)-アミノ]-1-(2-トリメチルシラニルーエトキシメチル)-1H-ベンズイミダゾール-5-イル]-プロパン-1-オルの合成

窒素気流下に、2-[(1-ナフタレン-1-イルメチルーピペリジン-4-イルメチル)-(2-トリメチルシラニルーエトキシメチル)-アミノ]-1-(2-トリメチルシラニルーエトキシメチル)-1H-ペンズイミダゾールー5-カルボアルデヒド(<math>86mg、0.131mmol)を無水テトラヒドロフラン(1.2ml)に溶解し、0ででエチルマグネシウムプロミド(0.26ml、1Mテトラヒドロフラン

溶液)を加え、添加後室温で13分間攪拌した。飽和塩化アンモニウム水溶液を加えた後、酢酸エチルエステルで抽出を行った。有機層を飽和食塩水で洗浄した後、硫酸ナトリウムで乾燥し、次に溶媒を減圧下に留去し、1-[2-[(1-ナフタレン-1-イルメチルーピペリジンー4-イルメチル)-(2-トリメチルシラニルーエトキシメチル)-アミノ]-1-(2-トリメチルシラニルーエトキシメチル)-1H-ベンズイミダゾール-5-イル]-プロパン-1-オルを得た。

収量92.5mg、収率100%、純度88%、LCMS(689.3 m/z M+1)。

[実施例1-5-194]

 $1-\{2-[(1-ナフタレン-1-イルメチルーピペリジン-4-イルメチル)-アミノ]-1H-ベンズイミダゾール-5-イル}-プロパン-1-オルの合成$ 

1-[2-[(1-ナフタレン-1-イルメチルーピペリジン-4-イルメチル)-(2-トリメチルシラニルーエトキシメチル)-アミノ]-1-(2-トリメチルシラニルーエトキシメチル)-1H-ベンズイミダゾール-5-イル]ープロパン-1-オル(50mg、0.073mmol)を無水ジメチルホルムアミド(2ml)に溶解し、フッ化テトラブチルアンモニウム(0.5ml、1.0Mテトラヒドロフラン溶液)を加え、100℃で13時間攪拌した。酢酸エチルエステル、水を加えた後、水層をpH11にして、酢酸エチルエステルで抽出した。有機層を飽和食塩水で洗浄し、次に無水硫酸ナトリウムによる乾燥を行い、溶媒を減圧下に留去し、得られた残渣を薄層シリカゲルクロマトグラフィー(酢酸エチルエステル/メタノール=4/1)で精製した。さらにHPLC分取により精製し、1-{2-[(1-ナフタレン-1-イルメチルーピペリジン-4-イルメチル)-アミノ]-1H-ベンズ

イミダゾール-5-イル}-プロパン-1-オルを得た。

収量1.08mg、収率3%、純度100%、LCMS(429.2m /z M+1)。

[参考例1-5-18]

1-[2-[(1-ナフタレン-1-イルメチルーピペリジン-4-イルメチル)-(2-トリメチルシラニルーエトキシメチル)ーアミノ]
 -1-(2-トリメチルシラニルーエトキシメチル)ー1Hーベンズイミダゾール-5-イル]ープロパン-1-オンの合成

1- [2- [(1-ナフタレン-1-イルメチルーピペリジン-4-イルメチル) - (2-トリメチルシラニル-エトキシメチル) -アミノ ] -1-(2-トリメチルシラニル-エトキシメチル) -1H-ペンズ イミダゾールー5ーイル]ープロパンー1ーオル(72mg、0.10mmol) のジメチルスルホキシド溶液 (1ml) を、1-ヒドロキシ  $-1-オキソー1H-1\lambda^5-ベンゾ [d] [1, 2] ヨードキソール$ - 3 - オン(44 mg、0.157 mmol) のジメチルスルホキシド 溶液(1ml)に加え、室温で18時間攪拌した。氷水(50ml)に 反応溶液を流し込み、室温で30分攪拌後、酢酸エチルエステルを加え 、10分間激しく攪拌し抽出を行った。飽和炭酸水素ナトリウム水溶液 、続いて飽和食塩水で洗浄後、無水硫酸ナトリウムで乾燥した後、溶媒 を減圧下に留去し、1-[2-[(1-ナフタレン-1-イルメチルー ピペリジン-4-イルメチル) - (2-トリメチルシラニル-エトキシ メチル) -アミノ] -1-(2-トリメチルシラニル-エトキシメチル ) -1H-ベンズイミダゾール-5-イル]ープロパン-1-オンを得 た。

収量 6 4 m g、収率 8 9 %、純度 9 2. 8 %、L C M S (6 8 7. 4 m / z M + 1)。

[実施例1-5-195]

 $1-\{2-[(1-ナフタレン-1-イルメチルーピペリジン-4-イルメチル)-アミノ]-1H-ベンズイミダゾール-5-イル}-プロパン-1-オンの合成$ 

1-[2-[(1-ナフタレン-1-イルメチル-ピペリジン-4-イルメチル) - (2 - トリメチルシラニル - エトキシメチル) - アミノ ] -1-(2-トリメチルシラニル-エトキシメチル)-1H-ベンズ イミダゾールー5ーイル]ープロパンー1ーオン(32mg、0.04 7 mmo1)を、無水ジメチルホルムアミド(1 ml)に溶解し、フッ 化テトラプチルアンモニウム (0.8ml、1.0Mテトラヒドロフラ ン溶液)と水(5μ1)を加え、100℃で2時間30分間攪拌した。 水と酢酸エチルエステルを加え、酢酸エチルエステル抽出を行った。有 機層を飽和食塩水で洗浄し、次に無水硫酸ナトリウムによる乾燥を行い 、溶媒を減圧下に留去し得られた残渣を、薄層シリカゲルクロマトグラ フィー(ジクロロメタン/メタノール/TEA = 85/10/1) によ り精製した。さらにHPLC分取と薄層シリカゲルクロマトグラフィー (ジクロロメタン/メタノール=8/2)により精製し、1-{2-「 (1-ナフタレン-1-イルメチル-ピペリジン-4-イルメチル)-アミノ] -1H-ベンズイミダゾール-5-イル} -プロパン-1-オ ンを得た。

収量 2. 0 4 m g、収率 1 0 %、純度 1 0 0 %、LCMS (4 2 7. 2 m/z M+1)。

[実施例1~5~196と実施例1~5~197]

化合物番号1-5-196と1-5-197の化合物は、実施例1-5-195に従い、対応する原料より合成した。結果を表13に示す。

表13

化合物 No.1-5-	収量(mg)	収率(%)	MW	M+1
1	2	3	477.4	477.1
2	14	31	442.9	443.1
3	15	35	442.6	443.2
4	12	29	420.6	421.2
5	1	2	491.4	491.2
6	4	9	457.0	457.2
7	11	26	456.6	457.2
8	21	52	434.6	435.2
9	48	92	428.5	429.1
10	51	100	406.5	407.2
11	8	20	463.4	463.1
12	13	36	439.5	440.1
13	500	58	434.6	435.1
14	19	28	477.4	477.1
15	41	100	442.6	443.2
16	45	100	420.6	421.2
17	6	24	477.4	477.1
18	23	99	442.6	443.2
19	24	100	420.6	421.2
20	1010	80	392.5	393.1
21	994	93	417.5	418.1
22	458	67	459.3	459.4
23	11	45	484.6	485.4
24	10	43	498.6	499.4
25	39	100	556.7	557.5
26	13	53	499.6	500.3
27	13	57	471.6	472.3
28	12	51	503.6	504.4
29	4	16	517.7	518.4
30	17	51	455.6	456.4
31	12	35	469.6	470.3
32	8	23	483.7	484.4

33	3	10	469.6	470.4
34	7	18	499.6	500.4
35	17	52	457.6	458.4
36	15	43	471.6	472.3
37	6	19	456.6	457.4
38	25	100	433.6	434.2
39	10	43	462.6	463.2
40	4	16	476.6	477.2
41	7	27	534.7	535.3
42	9	36	477.6	478.2
43	8	36	435.6	436.2
44	29	100	477.6	478.2
45	27	100	449.6	450.2
46	29	100	481.6	482.3
47	29	100	495.7	496.3
48	14	61	458.6	459.2
49	9	39	487.7	488.3
50	11	47	502.6	503.3
51	10	42	474.6	475.2
52	9	39	506.7	507.2
53	10	38	520.7	521.3
54	11	24	456.0	456.2
55	13	27	485.0	485.2
56	8	16	499.0	499.2
57	9	16	557.1	557.2
58	16	32	500.0	500.1
59	10	20	500.0	500.2
60	15	32	472.0	472.2
61	17	34	504.0	504.1
62	19	37	518.1	518.2
63	21	48	440.0	440.2
64	8	17	469.0	469.1
65	23	48	483.0	483.2

66	19	35	541.1	541.2
67	9	19	484.0	484.2
68	2	5	442.0	442.1
69	11	23	484.0	484.1
70	26	53	488.0	488.2
71	29	58	502.1	502.2
72	21	46	456.0	456.1
73	14	31	457.6	458.2
74	15	34	435.6	436.2
75	5	11	460.6	461.2
76	14	31	458.0	458.1
77 `	11	25	442.0	442.1
78	14	32	441.6	442.2
79	12	29	419.6	420.2
80	10	22	444.6	445.2
81	15	34	442.0	442.2
82	10	23	426.0	426.1
83	9	21	427.5	428.2
84	10	25	405.5	406.2
85	2	5	430.6	431.2
86	10	23	427.9	428.1
87	23	56	411.9	412.2
88	12	45	522.5	522.0
89	13	52	518.4	518.1
90	6	29	474.4	474.0
91	11	47	503.5	503.1
92	10	41	517.5	517.1
93	6	26	518.4	518.1
94	5	20	490.4	490.0
95	11	42	575.5	575.1
96	9	37	536.5	536.0
97	18	60	475.4	475.2
98	24	92	490.4	490.0

99	12	28	476.4	476.0
100	8	15	557.5	557.3
101	5	10	543.5	543.3
102	5	9	526.5	526.3
103	5	8	538.5	538.1
104	5	10	516.5	516.3
105	5	10	542.6	542.3
106	8	16	514.4	514.2
107	2	5	486.4	486.2
108	4	9	478.4	484.3
109	4	7	544.5	544.2
110	11	20	546.5	546.3
111	3	5	560.5	560.3
112	10	20	517.5	517.2
113	12	22	530.5	531.3
114	10	21	471.4	471.1
115	3	5	532.5	532.3
116	7	14	472.4	473.3
117	10	18	516.5	516.3
118	9	18	502.5	502.0
119	7	14	543.5	543.3
120	3	6	486.4	486.3
121	4	8	502.5	502.3
122	10	19	528.5	528.2
123	7	14	502.5	502.0
124	9	18	488.5	488.2
125	7	13	570.6	570.2
126	33	70	472.4	473.3
127	20	38	542.6	543.3
128	33	60	545.6	545.3
129	24	47	516.5	517.3
130	31	56	545.6	545.4
131	28	55	502.5	503.3

. 1	1	ı	ı	ı
132	32	70	460.4	461.2
133	23	45	518.5	519.3
134	25	48	530.5	531.3
135	23	45	502.5	503.3
136	23	44	518.5	519.3
137	19	37	520.5	521.3
138	16	30	528.5	529.3
139	19	36	528.5	529.3
140	33	70	470.4	471.3
141	19	34	556.6	557.4
142	15	30	517.5	517.3
143	17	34	488.5	489.3
144	20	41	488.5	489.3
145	20	41	488.5	489.3
146	7	14	516.5	517.3
147	22	41	531.5	529.3
148	17	30	559.5	559.3
149	16	34	474.4	475.2
150	21	41	500.5	501.3
151	15	29	514.5	515.3
152	9	18	504.5	505.3
153	34	58	573.6	573.4
154	28	56	504.5	504.3
155	35	61	571.6	571.4
156	31	59	529.5	529.3
157	28	48	587.6	587.4
158	20	36	546.5	547.3
159	3	6	500.5	500.2
160	2	3	502.4	502.3
161	2	4	528.5	528.2
162	1	2	516.5	516.3
163	1	2	532.5	532.3
164	2	4	517.5	517.3

165	36	71	503.4	503.3
166	19	38	489.4	489.2
167	6	10	550.5	550.3
168	3	6	503.4	503.3
169	2	4	485.4	485.2
170	1	2	502.5	502.1
171	2	3	508.9	508.1
172	4	6	559.6	559.3
173	3	6	502.5	502.0
174	22	37	589.6	589.4
175	21	35	603.6	603.3
176	5	10	523.5	523.2
177	6	12	523.5	523.2
178	5	10	523.5	523.2
179	5	11	504.5	504.3
180	7	14	508.5	508.2
181	2	3	520.9	520.2
182	2	3	488.5	488.2
183	4	7	538.5	538.1
184	821	100	400.5	401.2
185	34	4	398.5	399.2
186	7	29	395.5	396.3
187	1	3	428.6	429.2
188	2	9	426.6	427.2
189	4	1	412.5	413.2
190	3	1	440.6	441.2
191	822	91	400.5	401.2
192	34	4	398.6	399.2
193	7	29	395.6	396.3
194	1	3	428.5	429.2
195	2	10	426.6	427.2
196	7	18	499.0	500.4
197	871	41	428.0	429.2

[実施例1-6-1]

[1-(3,4-ジクロローベンジル)-ピペリジン-4-イルメチル ]-(1-エチル-1H-ベンズイミダゾール-2-イル)-アミンの合成

(1 Hーベンズイミダゾールー2ーイル)ー [1ー(3, 4ージクロローベンジル)ーピペリジンー4ーイルメチル]ーアミン(20mg、0.05mmol)をジメチルホルムアミド(1ml)に溶かし、臭素化エチル(0.075mmol)と水素化ナトリウム(0.1mmol)を加え、室温で3時間30分攪拌した。反応溶液に氷、希塩酸を加え反応を停止し、溶液をSCX(ボンドエルートSCX500MG)に付した。SCXをメタノールで洗浄後、2規定アンモニアメタノール溶液で溶出し、得られた溶出液を減圧下に留去した。残渣を薄層シリカゲルクロマトグラフィー(ヘキサン/酢酸エチルエステル/ジクロロメタン/メタノール=60/25/10/5)により精製し、[1ー(3, 4ージクロローベンジル)ーピペリジンー4ーイルメチル]ー(1ーエチルー1Hーベンズイミダゾールー2ーイル)ーアミンと[1ー(3, 4ージクロローベンジル)ーピペリジンー4ーイルメチル]ーエチルー(1ーエチルー1Hーベンズイミダゾールー2ーイル)ーアミンを得た。LCーMSにより同定した。

収量 5.8 mg、収率 2.8%、純度 1.00%、実測値 E.S.I/MS m/e 4.17.0 (M+1)。

[実施例1-6-2]

化合物番号1-6-2の化合物、[1-(3,4-ジクロローベンジル)ーピペリジン-4-イルメチル]ーエチル-(1-エチル-1H-ベンズイミダゾール-2-イル)ーアミンは、実施例1-6-1に従い

、対応する原料より合成した。

収量7.7mg、収率35%、純度100%、実測値ESI/MS m /e 445.1 (M+1)。

[実施例1-6-3から実施例1-6-15]

化合物番号1-6-3から1-6-15の化合物は、実施例1-6-11に従い、対応する原料より合成した。結果を表14に示す。

表	1	4

化合物 No.1-6-	収量(mg)	収率(%)	MW	M+1
1	6	28	417.4	417.0
2	8	35	445.4	445.1
3	15	52	569.6	569.3
4	6	23	479.5	479.3
5	6	20	557.6	557.2
6	6	26	473.5	473.1
7	1	3	625.7	625.4
8	9	34	507.5	507.3
9	2	7	461.4	461.2
10	6	24	517.5	517.2
11	3	13	446.4	446.2
12	3	15	460.4	460.1
13	8	33	461.4	461.2
14	4	20	442.4	443.1
15	6	24	489.4	489.2

《キナゾリノン誘導体の合成 その1》

[参考例2-1]

{1-[(3,4-ジクロロフェニル)メチル]-4-ピペリジル}メ チルアミンの合成

4-アミノメチルピペリジン(13.7g、120mmol)をアセ

トニトリル(200m1)に溶解し、炭酸カリウム(11.057g、80mmol)と3,4ージクロロベンジルクロリド(7.818g、40mmol)を加えて、60℃で終夜撹拌した。反応終了後、ろ別を行い、溶媒を留去した。シリカゲルカラムクロマトグラフィー(ジクロロメタン/メタノール/トリエチルアミン=90/5/5)により精製し、 $\{1-[(3,4-ジクロロフェニル)メチル]-4-ピペリジル}メチルアミンを得た。LC-MS測定により同定した。$ 

収量10.8g、収率定量的、M+1=273.1。

[参考例2-2]

N-{[({1-[(3,4-ジクロロフェニル)メチル](4-ピペリジル)}メチル)アミノ]チオキソメチル}(フルオレン-9-イルメトキシ)カルボキシアミドの合成

収量2624mg、収率98%、M+1=554.1。

[参考例2-3]

アミノ [(1-[(3,4-ジクロロフェニル) メチル](4-ピペリジル)] メチル) アミノ] メタン-1-チオンの合成

N-{[({1-[(3,4-ジクロロフェニル)メチル](4-ピペリジル)}メチル)アミノ]チオキソメチル}(フルオレン-9ーイルメトキシ)カルボキシアミド(553mg、1mmol)をDMF(4ml)に溶解し、ピペリジン(0.989ml、10mmol)を加えて、室温で終夜撹拌した。反応終了後、水(20ml)を加えて、酢酸エチル(20ml×3回)で抽出した。抽出した有機層を水(100ml×2回)、続いて飽和食塩水で洗浄し、無水硫酸ナトリウムで乾燥後、ろ別し濃縮した。シリカゲルカラムクロマトグラフィー(酢酸エチル/メタノール=1/0→4/1)により精製し、アミノ[({1-[(3,4-ジクロロフェニル)メチル](4-ピペリジル)}メチル)アミノ]メタン-1-チオンを得た。LC-MS測定により同定した。収量284mg、収率86%、M+1=332.0。

[参考例2-4]

({1-[(3,4-ジクロロフェニル)メチル](4-ピペリジル)メチル)(イミノメチルチオメチル)アミンの合成

アミノ [({1-[(3,4-ジクロロフェニル)メチル](4-ピペリジル)} メチル)アミノ]メタン-1-チオン(148mg、0.46mmol)をテトラヒドロフラン(5ml)に溶解し、ヨウ化メチル(71mg、0.491mmol)を加えて、室温で終夜撹拌した。反応終了後、濃縮し、デシケーター中で減圧乾燥し、({1-[(3,4-ジクロロフェニル)メチル](4-ピペリジル)}メチル)(イミノメチルチオメチル)アミンを得た。LC-MS測定により同定した

収量211mg、収率定量的、M+1=346.1。

[実施例2-1]

2-[({1-[(3, 4-ジクロロフェニル)メチル]-4-ピペリ

ジル}メチル)アミノ]ヒドロキナゾリン-4-オンの合成

( $\{1-[(3,4-ジクロロフェニル)メチル](4-ピペリジル)\}$ メチル)(イミノメチルチオメチル)アミン( $70\,\mathrm{mg}$ 、 $0.14\,8\,\mathrm{mm}\,\mathrm{o}\,1$ )とイサト酸無水物( $27\,\mathrm{mg}$ 、 $0.163\,\mathrm{mm}\,\mathrm{o}\,1$ )をDMF( $1.5\,\mathrm{m}\,1$ )に溶解し、 $80\,\mathrm{C}\,\mathrm{c}\,\mathrm{c}\,\mathrm{c}\,\mathrm{e}\,\mathrm{ll}\,\mathrm{ll}$  に溶解し、 $80\,\mathrm{C}\,\mathrm{c}\,\mathrm{c}\,\mathrm{e}\,\mathrm{ll}\,\mathrm{ll}$  した。水( $15\,\mathrm{m}\,\mathrm{l}$ )を加え、溶液( $1\,\mathrm{m}\,\mathrm{l}$ )を加えて、反応を停止した。水( $15\,\mathrm{m}\,\mathrm{l}$ )を加え、酢酸エチル( $15\,\mathrm{m}\,\mathrm{l}\times3\,\mathrm{ll}$ )で抽出した。抽出した有機層を水( $50\,\mathrm{m}\,\mathrm{l}\times2\,\mathrm{ll}$ )、続いて飽和食塩水で洗浄し、無水硫酸ナトリウムで乾燥後、ろ別し濃縮した。シリカゲルカラムクロマトグラフィー(酢酸エチル/メタノール= $1/0\rightarrow4/1$ )により精製し、 $2-[(\{1-[(3,4-ジクロロフェニル)メチル]-4-l'ペリジル})メチル)アミノ]ヒドロキナゾリン-4-オンを得た。<math>10\,\mathrm{lm}\,\mathrm$ 

収量27mg、収率44%、M+1=417.1。

[実施例2-2~2-3]

化合物番号2-2から2-3の化合物は、それぞれ対応する反応物を 用いて、実施例2-1の方法に従い合成した。結果を表15に示す。 《キナゾリノン誘導体の合成 その2》

[参考例2-5]

2-メチルチオヒドロキナゾリン-4オンの合成

2-メルカプト-4(3H)キナゾリノン(25mmol, 4.45g)を水(100ml)と2N-NaOH(1.1eq, 14ml)の混合水溶液に溶解し、MeI(1.1eq, 1.72ml)を加えて、室温で2時間30分撹拌した。反応終了後、ろ別し、水180mlを加えて洗浄し、減圧下、デシケーター中で4時間乾燥した。LC-MSにより同定した。

収率定量的、収量5.5g、M+1=192.9。

[実施例2-4]

2-({[1-(ナフチルメチル)-4-ピペリジル]メチル}アミノ )ヒドロキナゾリン-4-オンの合成

[1-(ナフチルメチル)-4-ピペリジル] メチルアミン(4.4 mmol, 1122mg)をDMA(15ml)に溶解し、NEt3(1.5eq,  $920\mu$ L)、2-メチルチオヒドロキナゾリン-4オン(2eq, 1690mg)を加えた。100℃で終夜撹拌し、反応終了後、酢酸エチル(50ml×3回)で抽出し、水(150ml×2回)で洗浄後、硫酸ナトリウムで乾燥した。濃縮後、カラムクロマトグラフィー(1ex/AcOEt=1/9, AcOEt×22)により精製した。LC-MSにより同定した。

収率10%、収量159mg、M+1=399.3。

《キナゾリノン誘導体の合成 その3》

[2-[(4-ピペリジルメチル)アミノ]ヒドロキナゾリン-4-オン塩酸塩の合成

[参考例2-6]

1-Boc-4-アミノメチルピペリジンの調整

4-アミノメチルピペリジン(10.0g,87.6mmol)をトルエン(175 mL)に溶解し、ベンズアルデヒド(8.90mL,87.6mmol)を加え、Dean-Starkトラップを備えて、1時間加熱還流した。反応液を室温に冷却後、二炭酸ジーtープチル(20.1mL,87.6mmol)を4回に分けて1時間で加え、一晩攪拌した。反応液を減圧濃縮した残渣に、氷浴中で硫酸水素カリウム水溶液(1.0M,140mL,140mmol)を加えて、2時間攪拌した。この水溶液をジエチルエーテル(100mL)で洗浄後、1規定

水酸化ナトリウム水溶液を加えて、pH約7に調製した。この水溶液を酢酸エチル(200mL)で洗浄した後に、1規定水酸化ナトリウム水溶液を加えて、pH約12に調整し、酢酸エチル(100mL×3回)で抽出した。得られた有機層を飽和食塩水で洗浄し、無水硫酸ナトリウムで乾燥させた。これを減圧濃縮、真空乾燥した。LC-MS測定により同定した。

収量16.04g、収率85%、M+23=237.1。

[参考例 2 - 7]

[({[フルオレン-9-イルメトキシ]カルボニルアミノ}チオキソメチル)アミノ]メチル]ピペリジンカルボン酸tertーブチルエステルの合成

 $1-B \circ c - 4- 7$ ミノメチルピペリジン(2 1 4 0 mg、1 0 mm o 1)をテトラヒドロフラン(2 5 m 1)に溶解し、F m o c N C S (3 0 9 1 mg、1 1 mm o 1)を加えて、室温で終夜撹拌した。反応終了後、濃縮し、シリカゲルカラムクロマトグラフィー(ヘキサン/酢酸エチル=85/15→4/1)により精製し、[({[フルオレン-9-イルメトキシ]カルボニルアミノ}チオキソメチル)アミノ]メチル]ピペリジンカルボン酸 t e r t - ブチルエステルを得た。L C - M S 測定により同定した。

収量4445mg、収率90%、M+1=496.2。

[参考例2-8]

 $4-\{[(アミノチオキソメチル)アミノ]メチル}ピペリジンカルボン酸 <math>tert-$ ブチルエステルの合成

({[フルオレン-9-イルメトキシ] カルボニルアミノ} チオキソメチル) アミノ] メチル] ピペリジンカルボン酸 t e r t - プチルエステル (2000mg、4.04mmol) をDMF (20ml) に溶解

し、ピペリジン(7.99ml、80.8mmol)を加えて、室温で終夜撹拌した。反応終了後、水(100ml)を加えて、酢酸エチル(100ml×3回)で抽出した。抽出した有機層を水(300ml×2回)、飽和食塩水で洗浄し、無水硫酸ナトリウムで乾燥後、ろ別し濃縮した。シリカゲルカラムクロマトグラフィー(ヘキサン/酢酸エチル=1/1→酢酸エチル)により精製し、 $4-\{[(アミノチオキソメチル)アミノ]メチル}ピペリジンカルボン酸 <math>tert-プチルエステルを$ 得た。LC-MS測定により同定した。

508

収量1075mg、収率98%、M+1=274.1。

[参考例 2 - 9]

4- { [ (イミノメチルチオメチル) アミノ] メチル} ピペリジンカルボン酸 t e r t - プチルエステルヨウ化水素塩の合成

4-{[(アミノチオキソメチル)アミノ]メチル}ピペリジンカルボン酸tertーブチルエステル(1075mg、3.94mmol)をテトラヒドロフラン(30ml)に溶解し、ヨウ化メチル(616mg、4.33mmol)を加えて、室温で終夜撹拌した。反応終了後、濃縮し、デシケーター中で減圧乾燥し、4-{[(イミノメチルチオメチル)アミノ]メチル}ピペリジンカルボン酸tertーブチルエステルヨウ化水素塩を得た。LC-MS測定により同定した。

収量1597mg、収率98%、M+1=288.1。

[参考例2-10]

 $4-\{[(4-オキソヒドロキナゾリン-2-イル) アミノ] メチル\}$ ピペリジンカルボン酸 t e r t - プチルエステルの合成

 $4-\{[(イミノメチルチオメチル) アミノ] メチル } ピペリジンカルボン酸 <math>t e r t - プチルエステルヨウ化水素塩 (1722mg、4.15mmol) をDMF (20ml) に溶解し、トリエチルアミン (0$ 

. 868ml、6.23mmol)とイサト酸無水物(2029mg、12.45mmol)を加えて、80℃で2時間撹拌した。2N水酸化ナトリウム水溶液(10ml)を加えて反応を停止した。水(100ml)を加え、酢酸エチル(100ml×3回)で抽出した。抽出した有機層を水(100ml×2回)、続いて飽和食塩水で洗浄し、無水硫酸ナトリウムで乾燥後、ろ別し濃縮した。シリカゲルカラムクロマトグラフィー(ヘキサン/酢酸エチル=1/1→1/2)により精製し、4ー{[(4-オキソヒドロキナゾリン-2-イル)アミノ]メチル}ピペリジンカルボン酸 tert-ブチルエステルを得た。LC-MS測定により同定した。

収量685mg、収率46%、M+1=359.1。

[参考例2-11]

2- [(4-ピペリジルメチル)アミノ] ヒドロキナゾリン-4-オン 塩酸塩の合成

4-{[(4-オキソヒドロキナゾリン-2-イル)アミノ]メチル}ピペリジンカルボン酸 tert-ブチルエステル(685mg、1.91mmol)をメタノール(5ml)に溶解し、4N-塩酸ジオキサン溶液(5ml)に加えて、室温で終夜撹拌した。反応終了後、濃縮し、デシケーター中で減圧乾燥し、2-[(4-ピペリジルメチル)アミノ]ヒドロキナゾリン-4-オン塩酸塩を得た。LC-MS測定により同定した。

収量 5 8 1 m g、収率定量的、M+1=259.1。

<u>[2-[(4-ピペリジルメチル)アミノ]ヒドロキナゾリン-4-オ</u>ンの合成

[参考例2-12]

(1-ベンジル-4-ピペリジル) メチルアミンの合成

4-Pミノメチルピペリジン(5.754ml、50mmol)をアセトニトリル(200ml)に溶解し、炭酸カリウム(13.82g、100mmol)とベンジルクロリド(17.13g、150mmol)を加えて、60℃で終夜撹拌した。反応終了後、ろ別を行い、溶媒を留去した。展開溶媒(CH2Cl2/MeOH/NEt3=90/5/5)を用いて、シリカゲルカラムクロマトグラフィーにより精製し、(1-ベンジル-4-ピペリジル)メチルアミンを得た。LC-MS測定により同定した。

収率91%、収量9.277g、M+1=205.2。

[参考例2-13]

2-({[1-ベンジル-4-ピペリジル]メチル}アミノ)ヒドロキ ナゾリン-4-オンの合成

(1-ベンジル-4-ピペリジル)メチルアミンを、参考例2-7(収率84%)、2-8(収率73%)、2-9(収率定量的)、及び2-10(収率73%)に従い、2-({[1-ベンジル-4-ピペリジル]メチル}アミノ)ヒドロキナゾリン-4-オンを合成した。

[参考例2-14]

2-[(4-ピペリジルメチル)アミノ]ヒドロキナゾリン-4-オンの合成

 $2-(\{[1-ベンジル-4-ピペリジル] メチル\} アミノ) ヒドロキナゾリン-4-オン(880mg, 2.53mmol)をメタノール(80mL)に溶解し、窒素置換した。これに水酸化パラジウム(100mg)を加え、水素雰囲気下、<math>60$ で4時間攪拌した。反応液を室温に冷却して窒素置換し、セライトを通じて濾過した。濾液を減圧濃縮して、2-[(4-ピペリジルメチル) アミノ] ヒドロキナゾリン-4ーオンを得た。LC-MSにより同定した。

収量 5 8 8 mg, 収率 8 6 %、M+1=2 5 9.1。

[実施例2-5]

2- [({1-[(2-クロロフェニル)メチル]-4-ピペリジル} メチル)アミノ] ヒドロキナゾリン-4-オンの合成

2- [(4-ピペリジルメチル) アミノ] ヒドロキナゾリン-4-オン塩酸塩(0.1mmol,33mg、参考例2-11) 又は2- [(4-ピペリジルメチル) アミノ] ヒドロキナゾリン-4-オン(0.1mmol)をDMF/酢酸(10/1,1ml)に溶解し、2-クロロペンズアルデヒド(0.3mmol,0.034ml)とNaBH(OAc)3(0.3mmol,64mg)を加えて、室温で終夜撹拌した。MeOH1mlを加えて反応を停止した。反応溶液をSCX(ボンドエルートSCX500MG)に注入した。CHCl3/MeOH(=1/1、5ml×2回)で洗浄した後、2N-NH3/MeOH溶液5mlで溶離した。遠心濃縮器を用いて溶媒を留去し、2- [({1- [(2-クロロフェニル)メチル]-4-ピペリジル}メチル)アミノ] ヒドロキナゾリン-4-オンを得た。

収量 1 5 m g、収率 3 9 %、純度 9 2 ~ 9 6 % M + 1 = 3 8 3. 1

[実施例2-6~2-30、実施例2-186~2-200]

化合物番号2-6~2-30、化合物番号2-186~2-200の 化合物は、それぞれ対応する反応物を用いて、実施例2-5の方法に従 い、合成した。結果を表15に示す。

[2-[(4-ピペリジルメチル)アミノ]ヒドロキナゾリン-4-オン塩酸塩類緑体の合成

[参考例2-15]

2-アミノ-5-(メトキシカルボニル)安息香酸の合成

PCT/JP03/04841

2-アミノ-5-ヨード安息香酸(4 mmol, 1052 mg)をDMF(10 ml)とMeOH(5 ml)に溶解し、NEt3(3 eq, 1.67 ml)を加えた。続いて、酢酸パラジウム(0.1 eq, 90 mg)、dppp(0.1 eq, 165 mg)を加えて、一酸化炭素に置換し、80℃で5時間撹拌した。反応終了後、酢酸(2.5 ml)を加えて反応を停止した。水(50 ml)を加えて、酢酸エチル(50 ml×3 回)で抽出した。有機層を、水(100 ml×2 回)で洗浄後、硫酸ナトリウムで乾燥した。濃縮後、展開溶媒(Hex/AcOEt=4/1→1/1)を用いて、シリカゲルクロマトグラフィーにより精製し、<math>2-アミノ-5-(メトキシカルボニル)安息香酸を得た。LC-MS測定により同定した。

収率79%、収量618mg、M+1=196.0。

《置換イサト酸無水物の合成 その1》

[参考例2-16]

2-(Boc)アミノー6-クロロ安息香酸の合成

2-アミノー6-クロロ安息香酸(1.13g, 6.59mmol)をテトラヒドロフラン(5.0mL)に溶解し、ナトリウムピストリメチルシリルアミド/1.0M in THF(19.8mL, 19.8 mmol)を滴下した。これを15分間攪拌した後に、(Boc)2O(1.82mL, 7.91mmol)のテトラヒドロフラン溶液(2.0mL)を滴下し、3時間攪拌した。反応液に水(20mL)及び1規定塩酸(約25mL)を加えて、pH約4に調製した。これを酢酸エチル(40mL×3回)で抽出し、得られた有機層を水(50mL×2回)、飽和食塩水(50mL)で洗浄し、無水硫酸マグネシウムで乾燥させた。これを減圧濃縮して得られた濃縮残渣を、シリカゲルカラムクロマトグラフィー(塩化メチレン:メタノール:酢酸=95:5:1)で

精製して、2-(Boc)アミノ-6-クロロ安息香酸を得た。LC-MSとNMRにより同定した。

収量1.62g,収率90%、M+23=294.0。

 $^{1}H-NMR$  (270MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$ 8. 40 (1H, s), 8. 04 (1H, d, J=8. 2Hz), 7. 35 (1H, t, J=8. 2 Hz), 7. 13 (1H, d, J=8. 2 Hz), 1. 52 (9H, s) ppm.

以下の中間体を、それぞれ対応する反応物を用いて、参考例2-16 の方法に従い合成した。

2-(Boc)アミノ-3-クロロ安息香酸:収量3.58g,収率70%,M+23=294.0。

2-(Boc) アミノ-5-メトキシカルボニル安息香酸:収量988 mg, 収率49%, M+1=296.1。

[参考例2-17]

5-クロロイサト酸無水物の合成

2-(Boc)アミノー6-クロロ安息香酸(1.51g,5.56 mmol)を、トルエン(20mL)に懸濁し、加熱還流させた。ここに、オキザリルクロリド(0.572 mL,6.67mmol)を滴下し、10分間激しく攪拌した。反応液を氷冷した後に、析出した結晶を濾取して、n-ヘキサンで洗浄し、デシケーター中で乾燥し、5-クロロイサト酸無水物を得た。

収量769mg, 収率70%、M+1=198.0。

 $^{1}H-NMR$  (270MHz, DMSO-d6):  $\delta$  11.8 (1H, s), 7.65 (1H, t, J=8.2Hz), 7.30 (1H, d, J=8.2Hz), 7.10 (1H, d, J=8.2Hz) ppm.

以下の中間体をそれぞれ対応する反応物を用いて、参考例2-17の

方法に従い合成した。

- 8-クロロイサト酸無水物:収量1.42g,収率55%,M+1=197.9
- 6- メトキシカルボニルイサト酸無水物:収量397mg,収率57%,M+1=222.0。
- 6-トリフルオロメチルイサト酸無水物:収量 1. 5 2 g, 収率 5 0 %, M+1=2 3 2. 0。

《置換イサト酸無水物の合成 その2》

[参考例2-18]

- 6-(トリフルオロメトキシ)イサト酸無水物の合成
  - 5-(トリフルオロメトキシ)アントラニル酸(2.221g、10
- . 04mmol)をTHF(25mL)に溶解し、トリホスゲン(1.
- 08g)を加えて、室温で終夜撹拌した。反応終了後、溶媒を除去し、 残渣を減圧乾燥した。アセトン及びヘキサンで洗浄し、デシケーター中 で減圧乾燥し、6-(トリフルオロメトキシ)イサト酸無水物を得た。
- LC-MSにより同定した。

収量1.516g、収率61%、M+1=248.0。

以下の中間体をそれぞれ対応する反応物を用いて、参考例 2 - 1 8 の 方法に従い合成した。

- 6-二トロイサト酸無水物:収量0.889g、収率43%、M+1=208.9。
- 6-メチルイサト酸無水物:収量1.251g、収率70%、M+1=178.0。
- 5 カルボキシルイサト酸無水物:収量1.352g、収率65%、M+1=208.0。
- 6-フルオロイサト酸無水物:M+1=182.0。

6 - ヒドロキシイサト酸無水物: M + 1 = 180.0。

6-メトキシイサト酸無水物:M+1=194.0。

5-メチルイサト酸無水物:M+1=178.0。

6-アセトアミドイサト酸無水物:収量 0. 4g、収率 9%、 1H-NMR(200MHz, DMSO): δ2. 05(s, 3H), 7. 05(d, 1H), 7. 85(dd, 1H), 8. 25(d, 1H), 10. 15(s, 1H).

《置換イサト酸無水物の合成 その3》

[参考例2-19]

N-(3,4-ジメチルフェニル)-2-ヒドロキシイミノ-アセトア ミドの合成

クロラール (73.8g、0.41mol)、硫酸ナトリウム (1066g)の水 (2.5ml)溶液、3,4ージメチルアミン (50g、0.41mol)及び濃塩酸 (35.4ml)の水溶液 (600ml)の混合溶液にヒドロキシルアミン (90g、0.41mmol)の水溶液 (500ml)を添加し、過熱還流下1時間攪拌する。得られた熱溶液を濾過し、得られた沈殿を水及びジクロロメタンにて洗浄し、Nー(3,4ージメチルフェニル)-2-ヒドロキシイミノーアセトアミドを得た。

収量63g、収率80%

「参考例2-20]

4, 5-ジメチル-1H-インドール-2, 3-ジオンの合成

濃硫酸 (85 m 1) の水溶液 (17 m 1) に、N-(3, 4-ジメチルフェニル) - 2-ヒドロキシイミノーアセトアミド (30 g、0.1 56 m m o 1) をゆっくり添加し、85℃にて2時間攪拌する。得られた溶液を氷冷水に注ぎ、析出した橙色固体を濾取する。得られた固体を

10%水酸化ナトリウム水溶液に溶解させ、活性炭を添加し攪拌する。 得られた溶液を濾過し酢酸を用いて酸性にして4,5-ジメチル-1H -インドール-2,3-ジオンを結晶として得た。

収量 9. 8 g、収率 3 0 %

<sup>1</sup>H-NMR (200Mhz, DMSO-d6): 2. 25 (s, 3 H), 2. 55 (s, 3H), 6. 95 (d, 2H), 7. 50 (d, 2H), 10. 55 (bs, 1H)

[参考例2-21]

6-アミノー2,3-ジメチル安息香酸の合成

4,5-ジメチル-1H-インドール-2,3-ジオン(9.8g、0.056mmol)及び水酸化ナトリウム(8.1g、0.2mol)の水(80ml)溶液を85℃に加熱し、10%過酸化水素水溶液(43ml)をゆっくり加える。得られた溶液を85℃にて2時間攪拌した後、室温まで冷却し、濾過する。濾液に硫酸を用いて酸性にして6-アミノ-2,3-ジメチル安息香酸を結晶として得た。

収量3.6g、収率38%

<sup>1</sup>H-NMR (200Mhz, DMSO-d6): 2. 05 (s, 3 H), 2. 15 (s, 3H), 6. 50 (d, 2H), 6. 92 (d, 2H)

[参考例2-22]

5.6-ジメチルイサト酸無水物の合成

6-アミノ-2, 3-ジメチル安息香酸(<math>1g、6mmo1)を用いて参考例2-18の方法に従い、5, 6-ジメチルイサト酸無水物を合成した。

収量500mg、収率92%

 $^{1}H-NMR$  (200, DMSO) : 2. 25 (s, 3H), 2. 55

(s, 3H), 6. 92 (d, 2H), 7. 50 (d, 2H), 10. 65 (bs, 1H)

以下のイサト酸無水物をそれぞれ対応する反応物を用いて、参考例2-19~22の方法に従い合成した。

5-メチルー6-フルオローイサト酸無水物:

<sup>1</sup>H-NMR (200Mhz, DMSO-d6): 2. 45 (s, 3 H), 6. 75 (dd, 1H), 7. 45 (dd, 1H), 11. 0 (bs, 1H).

5-メチルー6-プロモーイサト酸無水物:

<sup>1</sup>H-NMR (200, DMSO): 2. 75 (s, 3H), 6. 85 (d, 1H), 7. 95 (d, 1H), 10. 75 (bs, 1H)

6-(N, N-ジメチルアミノ-スルホニル)-イサト酸無水物:

<sup>1</sup>H-NMR (200Mhz, DMSO-d6): 2.65 (s, 6 H), 7.35 (d, 1H), 8.05 (s, 1H), 8.15 (d, 1H), 11.2 (bs, 1H)

6-メトキシー7-メチルーイサト酸無水物:

M+1=208.0

5-メチルー6-メトキシーイサト酸無水物:

M+1=208.0

6, 7-ジメチルーイサト酸無水物:

<sup>1</sup>H-NMR (200, DMSO): 2. 24 (s, 3H), 2. 29 (s, 3H), 6. 91 (s, 1H), 7. 66 (s, 1H), 10. 60 (bs, 1H).

5, 7-ジメチルーイサト酸無水物:

<sup>1</sup>H-NMR (200Mhz, DMSO-d6): 6.91 (s, 1 H); 6.79 (s, 1H); 2.56 (s, 3H); 2.32 (s. 3 H)

6-エチルーイサト酸無水物:

<sup>1</sup>H-NMR (200, DMSO): 7. 73 (s, 1H); 7. 65 (d, 1H); 7. 09 (d, 1H); 2. 64 (q, 2H); 1. 18 (t, 3H).

6-エトキシーイサト酸無水物:

<sup>1</sup>H-NMR (200Mhz, DMSO-d6): 1. 35 (t, 3 H), 4. 05 (q, 2H), 7. 05 (d, 1H), 7. 35 (d, 1H), 7. 45 (dd, 1H), 10. 5 (bs, 1H)

5-メチル-8-フルオローイサト酸無水物:

<sup>1</sup>H-NMR (200Mhz, DMSO-d6): 2.56 (s, 3)
H), 7.05 (dd, 1H), 7.55 (dd, 1H)

5、8-ジメチル-イサト酸無水物:

<sup>1</sup>H-NMR (200Mhz, DMSO-d6): 2. 27 (s, 3 H), 2. 56 (s, 3H), 7. 00 (d, 1H), 7. 45 (d, 1H)

6-イソプロピル-イサト酸無水物:

'H-NMR (200, DMSO): 7. 73 (s, 1H); 7. 65 (d, 1H); 7. 10 (d, 1H); 2. 95 (h, 1H); 1. 2 0 (d, 6H).

6-スルフォニルフェニル-イサト酸無水物:

<sup>1</sup>H-NMR (200Mhz, DMSO-d6): 7. 35 (d, 1 H), 7. 65 (m, 3H); 8. 00 (m, 2H); 8. 25 (dd, 1H), 8. 35 (d, 1H), 11. 30 (s, 1H)

《置換イサト酸無水物の合成 その4》

[参考例2-23]

2-アミノー5-メチルスルファニル安息香酸の合成

5-Dロロー2-二トロ安息香酸(5 0 g、0. 2 5 mm o 1)の水溶液(5 0 0 m 1)に 4 規定水酸化ナトリウム水溶液(4 2 m)を添加する。得られた溶液にNa $_2$ S(6 6 g、0. 8 m o 1)の水溶液(1 5 0 m 1)を加え、5 5  $\mathbb C$ にて 2. 5 時間攪拌する。得られた溶液に 2 0%水酸化ナトリウム水溶液(5 0 m 1)及びジメチル硫酸(6 3 m 1、0. 6 6 mm o 1)を加え、8 0  $\mathbb C$ にて 1 時間攪拌する。得られた溶液に塩酸を加え、析出した沈殿を濾取、エーテルにて洗浄し、2-アミノー5-メチルスルファニル安息香酸を得た。

収量14g、収率26%

[参考例2-24]

2-アミノー5-メチルスルホニル安息香酸の合成

2-アミノー5ーメチルスルファニル安息香酸(12g、0.055 mol)のジクロロメタン及びアセトン溶液に、mークロロー過安息香酸(42.7g、0.165mmol)を添加し、室温にて3時間攪拌した。析出した固体を濾取、エーテル及びジクロロメタンにて洗浄し、2-アミノー5ーメチルスルホニル安息香酸を得た。

収量4g、収率30%

<sup>1</sup>H-NMR (200Mhz, DMSO-d6): 3. 15 (s, 3 H), 6. 95 (dd, 1H), 7. 55 (bs, 2H), 7. 77 (dd, 1H), 8. 25 (d, 1H).

[参考例2-25]

6-メタンスルホニルーイサト酸無水物の合成

2-アミノー5-メチルスルホニル安息香酸(2g、9.6mmol)を用いて、参考例11の方法に従い、6-メタンスルホニルーイサト酸無水物を合成した。

収量1500mg、収率66%

<sup>1</sup>H-NMR (200Mhz, DMSO-d6): 3. 35 (s, 3 H), 7. 35 (d, 1H), 8. 25 (dd, 1H), 8. 35 (d, 1H), 9. 90 (s, 1H)

[参考例2-26]

2-[(4-ピペリジルメチル)アミノ]ヒドロキナゾリン-4-オン 塩酸塩類縁体の合成

参考例2-17又は2-18を用いて合成したイサト酸無水物に対して、参考例2-10及び参考例2-11に従って、以下に示す中間体を合成した。

- 5-クロロ-2-[(4-ピペリジルメチル)アミノ]ヒドロキナゾリン-4-オン塩酸塩。
- 8-クロロ-2-[(4-ピペリジルメチル)アミノ]ヒドロキナゾリン-4-オン塩酸塩。
- 6 メトキシカルボニルー2 [(4 ピペリジルメチル)アミノ] ヒドロキナゾリン-4-オン塩酸塩。
- 6ートリフルオロメチルー2ー[(4ーピペリジルメチル)アミノ]ヒ ドロキナゾリンー4ーオン塩酸塩。
- 6-トリフルオロメトキシ-2-[(4-ピペリジルメチル)アミノ]ヒドロキナゾリン-4-オン塩酸塩。
- 6-二トロー2- [(4-ピペリジルメチル)アミノ] ヒドロキナゾリ ン-4-オン塩酸塩。
- 6-メチル-2-[(4-ピペリジルメチル)アミノ]ヒドロキナゾリ ン-4-オン塩酸塩。
- 5-メトキシカルボニル-2-[(4-ピペリジルメチル)アミノ]ヒ ドロキナゾリン-4-オン塩酸塩。

6-フルオロー2-[(4-ピペリジルメチル)アミノ]ヒドロキナゾリン-4-オン塩酸塩。

6-ヒドロキシ-2-[(4-ピペリジルメチル)アミノ]ヒドロキナ ゾリン-4-オン塩酸塩。

6-メトキシー2-[(4-ピペリジルメチル)アミノ]ヒドロキナゾ リン-4-オン塩酸塩。

5-メチル-2-[(4-ピペリジルメチル)アミノ]ヒドロキナゾリン-4-オン塩酸塩。

[実施例2-201~2-250、499、511, 513, 56 5]

化合物番号2-201~2-250、499、511、513、及び565の化合物を、参考例2-15~2-19によって合成した、それぞれ対応する2-[(4-ピペリジルメチル)アミノ]ヒドロキナゾリン-4-オン塩酸塩類縁体と反応物を用いて、実施例2-5の方法に従い、合成した。結果を表15に示す。

## 3-Nアルキルキナゾリノン誘導体の合成法

[参考例2-27]

 $4-({[(メチルアミノ) チオキソメチル] アミノ} メチル) ピペリジンカルボン酸 <math>t e r t$  プチルエステルの合成

1-Boc-4-アミノメチルピペリジン(642mg、3mmol) をTHF(8ml) に溶解し、メチルイソチオシアネート(241mg、3.3mmol) を加えて、終夜室温で撹拌した。反応終了後、シリカゲルカラムクロマトグラフィー(Hex/AcOEt=1/4)により精製し、 $4-(\{[(メチルアミノ)チオキソメチル]アミノ\}メチル)ピペリジンカルボン酸 <math>tert$ ですルエステルを得た。LC-MS測定により同定した。

収量839mg、収率98%、M+1=288.1。

[参考例2-28]

3-メチル-2-[(4-ピペリジルメチル)アミノ]-3-ヒドロキナゾリン-4-オン塩酸塩の合成

参考例2-9 (収率94%、収量1171mg)、参考例2-10 (収率33%、収量331mg)、参考例2-11 (収率定量的、収量116mg)に従い、3-メチル-2-[(4-ピペリジルメチル)アミノ]-3-ヒドロキナゾリン-4-オン塩酸塩を合成した。

収率定量的、収量116mg、M+1=273.1。

[実施例2-492~2-495]

化合物番号2-492~2-495の化合物を、参考例2-20、2-21によって合成した化合物に対し、それぞれ対応する反応物を用いて、実施例2-5の方法に従い合成した。結果を表15に示す。

表 15

化合物 No.2-	収量(mg)	収率(%)	MW	M+1
1	27.0	44	416.1	417.1
2	25.0	38	450.1	453.2 (CI × 3)
3	4.1	6	432.2	433.2
4	159.0	10	398.2	399.3
5	15.0	39	382.1	383.1
6	21.0	55	382.1	383.1
7	25.0	65	382.1	383.1
8	23.3	92	378.2	379.1
9	36.0	100	378.2	379.1
10	22.6	97	376.2	377.2
11	23.2	97	398.2	399.1
12	25.3	95	442.1	443.0
13	27.7	100	456.1	458.1 (Br)
14	19.3	72	444.1	445.0

WO 03/087089

_	ถ	n
~	7	- 5
.,	u	u

15	24.8	97	426.1	427.1
16	23.3	90	432.1	433.1
17	23.3	97	400.1	401.1
18	24.3	90	401.2	402.2
19	29.1	100	404.2	405.2
20	11.9	50	394.2	395.2
21	13.1	55	393.2	394.2
22	12.1	53	378.2	379.2
23	17.0	71	398.2	399.2
24	12.5	60	348.2	349.2
25	7.6	35	362.2	363.2
26	1.6	3	476.0	479.0 (Br)
27	6.0	15	389.2	390.2
28	12.0	30	466.1	467.2
29	12.0	28	466.1	467.1
30	14.0	40	398.2	399.1
186	15.0	57	432.1	433.0
187	25.8	95	443.1	444.1
188	25.0	96	428.2	429.1
189	21.6	85	416.1	417.1
190	22.6	80	460.1	463.0 (Br,Cl)
191	24.4	93	427.1	428.1
192	26.6	96	412.2	413.1
193	21.3	75	466.1	467.1
194	17.2	65	435.2	436.2
195	24.2	90	438.1	439.1
196	21.4	92	382.2	383.1
197	22.5	90	410.2	411.1
198	16.5	57	476.1	479 (Br,Cl)
199	7.8	30	432.2	433.1
200	6.3	26	396.2	397.1
201	1.0	5	466.1	469.1 (CI × 3)

202	4.7	34	462.1	463.0
203	4.0	21	490.1	491.1
204	4.8	34	466.1	469.0 (CI×3)
205	2.0	41	490.1	491.0
206	2.5	14	466.1	467.0
207	2.8	14	516.1	517.1
208	2.9	15	490.1	491.1
209	3.9	19	500.1	501.1
210	2.4	, 12	446.1	447.1
211	5.0	26	450.1	451.1
212	2.5	13	448.1	449.0
213	4.0	9	477.1	478.0
214	20.0	37	468.1	469.1
215	7.0	13	450.1	451.0
216	2.8	6	446.1	447.1
217	3.0	8	457.1	458.1
218	2.2	13	432.1	433.0
219	9.5	74	428.2	429.3
220	5.5	31	456.2	457.1
221	5.2	40	432.1	433.1
222	3.1	68	456.2	457.2
223	6.7	40	432.1	433.1
224	5.0	27	482.1	483.1
225	3.5	20	456.2	457.2
226	3.4	18	466.1	467.1
227	3.0	17	412.2	413.1
228	5.9	33	416.1	417.0
229	4.0	23	432.2	433.1
230	2.0	23	428.2	429.2
231	1.0	6	456.2	457.2
232	1.6	9	432.2	433.2
233	1.7	9	456.2	457.3

WO 03/087089 PCT/JP03/04841 525

234	7.2	43	432.2	433.1
235				700.1
	8.5	46	482.2	483.1
236	2.6	· 15	456.2	457.2
237	2.0	11	466.2	467.2
238	3.7	21	412.2	413.2
239	5.3	30	416.2	417.1
240	6.3	38	410.2	411.2
241	2.9	36	406.2	407.3
242	9.2	55	434.2	435.2
243	10.2	62	410.2	411.2
244	21.1	121	434.2	435.2
245	10.0	63	410.2	411.1
246	15.7	89	460.2	461.2
247	2.1	13	434.2	435.2
248	5.8	33	444.2	445.2
249	4.4	26	390.2	391.2
250	7.6	45	394.2	395.1
492	5.0	17	446.1	447.1
493	9.0	31	412.2	413.2
494	16.0	55	412.2	413.2
495	15.0	52	390.2	391.2
499	12.0	38	430.9	431.1
511	10.0	32	434.9	435.1
513	6.0	16	430.9	431.1
565	9.2	26	442.9	443.1

## ベンゾチアジアジン誘導体の合成法

[参考例3-1]

7-フルオロ-2H, 4H-ベンゾ[e] 1, 2, 4-チアジアジン-1, 1, 3-トリオンの合成

クロロスルホニルイソシアナート(3.29mL, 37.8mmol

)をニトロエタン( $45\,\mathrm{mL}$ )に溶解し、 $-80\,\mathrm{C}$ に冷却した。これに、4-7ルオロアニリン( $3.50\,\mathrm{g}$ ,  $31.5\,\mathrm{mmol}$ )のニトロメタン溶液( $5\,\mathrm{mL}$ )を、 $10\,\mathrm{O}$ 間で滴下した。反応液を $0\,\mathrm{C}$ まで昇温し、塩化アルミニウム( $5.33\,\mathrm{g}$ ,  $40.0\,\mathrm{mmol}$ )を加えた。 $30\,\mathrm{O}$  付間加熱還流した後に、室温まで冷却してから、反応液を氷水( $120\,\mathrm{mL}$ )に注いだ。析出した結晶を濾取、乾燥して、7-7ルオロ $-2\,\mathrm{H}$  ,  $4\,\mathrm{H}$ -ベンゾ [e] 1, 2, 4-4アジアジン-1, 1, 3-1 トリオンを得た。

収量 3. 7 2 g、収率 5 5 %、M+1=217.0。

参考例3-1に従い、7-メチル-2H,4H-ベンゾ[e]1,2,4-チアジアジン-1,1,3-トリオン(4.24g、67%)、7-エチル-2H,4H-ベンゾ[e]1,2,4-チアジアジン-1,1,3-トリオン(2.6g、37%)、及び7-メトキシ-2H,4H-ベンゾ[e]1,2,4-チアジアジン-1,1,3-トリオン(1.09g、16%)を合成した。

「参考例3-2]

2-アミノ-5-フルオロベンゼンスルホンアミドの合成

7-7ルオロ-2 H, 4 H-ベンゾ [e] 1, 2, 4-チアジアジン-1, 1, 3-トリオン(3. 0 Og, 1 3. 9 mm o 1)を、5 0% 硫酸(9 0 m L)に懸濁し、1 3 0  $\mathbb C$  で 1 時間攪拌した。反応液を氷浴で冷却しながら、4 0 % 水酸化ナトリウム水溶液を加えて中和した。この水溶液を2 0 0 m L まで減圧濃縮し、析出物を濾取した。これを酢酸エチル(1 0 0 m L)に懸濁させて、不溶物を濾別した。濾液を減圧濃縮、乾燥して2-アミノ-5-7ルオロベンゼンスルホンアミドを得た

収量2. 27g、収率86%、M+1=191. 0。

参考例 3-2 に従い、2-アミノ-5-メチルベンゼンスルホンアミド (収量 <math>958 m g、収率 55%)、2-アミノ-5-エチルベンゼンスルホンアミド (収量 <math>1.4 g、収率 64%)、及び 2-アミノ-5-メトキシベンゼンスルホンアミド (収量 <math>696 m g、収率 72%)を合成した。

[参考例3-3]

2-プロモー4.5-ジメチルニトロベンゼンの合成

磁気撹拌子を備えた300mLなすフラスコに、4,5-ジメチル-2-ニトロアニリン10.02g(60.3mmol)を量り取り、48%臭化水素酸水溶液30mLと水30mLを加えて激しく撹拌した。 懸濁液は、橙色となった。橙色サスペンジョンのまま、氷水-食塩浴上で冷却し、液温が5℃を上回らないように亜硝酸ナトリウム4.422g(64.1mmol)を24mLの水に溶解した水溶液を、橙色サスペンジョンに滴下した。滴下が完了したとき、反応液は茶褐色溶液になった。氷水浴上でそのまま茶褐色溶液を撹拌した。

磁気撹拌子を備えた1L三角フラスコへ、48%臭化水素酸水溶液30mL、臭化銅(I)11.85g(82.6mmol)を入れて氷水浴上で冷却し、撹拌しながら、上で得られた茶褐色溶液を5分間かけて滴下した。滴下終了後、氷水浴上で20分間撹拌した後、80℃の油浴上で激しく撹拌しながら加熱した。

1時間後に加熱を止め、室温で終夜撹拌した反応混合物を、酢酸エチル300mL×2回で抽出し、有機層を合わせて5規定塩酸、飽和重曹水、飽和食塩水の順で洗浄した。有機層を無水硫酸ナトリウム上で乾燥させた後、乾燥剤を減圧濾過により除去して濾液を濃縮し、黄褐色固体を得た。この黄褐色固体をシリカゲルカラムクロマトグラフィー(Hex:EtOAc=10:1)で精製し、茶褐色針状晶を得た。この茶

褐色針状晶をヘキサンから再結晶し、黄色針状晶として2-プロモ-4, 5-ジメチルニトロベンゼンを得ることができた。

収量 6. 6 3 7 g, 収率 4 7. 9%

 $^{1}$ H NMR (270MHz, CDC1<sub>3</sub>)

 $\delta$  2. 29 (3H, s), 2. 31 (3H, s), 7. 49 (1H,

s), 7.69(1H, s)

「参考例3-4]

2-プロモー4, 5-ジメチルアニリンの合成

磁気撹拌子を備えた100mLなすフラスコに2-プロモ-4,5
-ジメチルニトロベンゼン1.006g(4.375mmol)を量り取り、2-メトキシエタノール10mLと水10mLを加えて撹拌し、懸濁させた。ここへハイドロサルファイトナトリウム2.799g(10.07mmol)を加えて100℃の油浴上で激しく撹拌しながら加熱した。2.5時間後、得られた薄黄色サスペンジョンを加熱撹拌したまま水10mLを加えると不溶物が消失し、薄黄色溶液となった。この薄黄色溶液に、濃塩酸10mLを5分間かけて滴下し、滴下後20分間 還流させた。

つづいて室温まで反応液の温度を下げ、炭酸ナトリウムを粉末で加えて反応液を中和すると、pH7~8付近で薄茶色~白色の沈殿物が析出した。集めた沈殿物を乾燥させ白色固体として2-プロモ-4,5-ジメチルアニリンを得た。

収量 0. 8 3 2 g、収率 9 5. 0%。

 $^{1}H$  NMR (270MHz, CDCl<sub>3</sub>)

δ 2.13 (6H, s), 6.59 (1H, s), 7.16 (1H, s)

[参考例3-5]

5 - ブロモー 7、8 - ジメチルー 2 H、4 H - ベンゾ [e] 1、2、4- チアジアジンー 1、1、3 - トリオンの合成参考例 3 - 1 に従い、表題化合物を得た。

収量 5. 27g、収率 83%、M+1=304.9。

 $^{1}H-NMR$  (270MHz, CD<sub>3</sub>OD)

δ 7.69 (1H, s), 2.55 (3H, s), 2.31 (3H, s)

[参考例3-6]

7, 8-ジメチル-2H, 4H-ベンゾ [e] 1, 2, 4-チアジアジン-1, 1, 3-トリオンの合成

5 - プロモー 7 , 8 - ジメチルー 2 H , 4 H - ベンゾ [e] 1 , 2 , 4 - チアジアジンー 1 , 1 , 3 - トリオン (5 . 2 7 g , 1 7 . 3 mm o 1 ) をメタノール (6 0 m L ) に懸濁し、ギ酸アンモニウム (5 . 4 5 g , 8 6 . 5 mm o 1 , 5 e q ) を加えて窒素置換した。これに 1 0 % パラジウムーカーボン粉末 (1 . 8 4 g , 1 . 7 3 mm o l , 1 0 m o l % ) を加えて、4 時間加熱還流した。反応液を室温まで冷却し、セライトを通じて濾過した。濾液を氷冷して、析出した結晶を濾取、乾燥して、7 , 8 - ジメチルー 2 H , 4 H - ベンゾ [e] 1 , 2 , 4 - チアジアジンー 1 , 1 , 3 - トリオンを得た。

収量3.66g、収率94%、M+1=227.0。

 $^{1}H-NMR$  (270MHz, CD<sub>3</sub>OD)

δ 7. 19 (1H, d, J=8.3Hz), 6.78 (1H, d, J=8.3 Hz), 2.57 (3H, s), 2.26 (3H, s)
[参考例3-7]

2-アミノー5、6-ジメチルペンゼンスルホンアミドの合成 参考例3-2に従い、表題化合物を得た。 WO 03/087089

収量1. 98 g、収率61%、M+1=201. 1。  $^{1}H-NMR$  (270MHz, DMSO-d6)

δ 7. 20 (2H, s), 6. 98 (1H, d, J=8. 4 Hz), 6. 55 (1H, d, J=8. 4Hz), 5. 98 (2H, s), 2. 39 (3H, s), 2. 10 (3H, s)

参考例 $3-3\sim3-7$ に従い、4-メチルー2-ニトロアニリンを原料にして、2-アミノー6-メチルベンゼンスルホンアミドを合成した。収量555mg、収率45%。

 $^{1}H-NMR$  (270MHz, DMSO)

δ 2. 48 (3 H, s), 6. 12 (2 H, s), 6. 40 (1 H, d, J=7. 0 Hz), 6. 62 (1 H, d, J=8. 1 Hz), 6. 99-7. 04 (1 H, dd, J=8. 1 Hz, J=7. 0 Hz), 7. 19 (2 H, s)

[参考例3-8]

4-{[(7-フルオロ-1, 1-ジオキソー4H-ベンゾ[e] 1,2, 4-チアジアジン-3-イル)アミノ]メチル}ピペリジンカルボン酸tertプチルエステルの合成

 $1-N-B \circ c - 4-P = J$ メチルピペリジン( $1.08g,5.04mm \circ 1$ )をアセトニトリル(8.0mL)に溶解し、0℃に冷却した。これに1,1'-Fオカルボニルジイミダゾール( $988mg,5.54mm \circ 1$ )及びイミダゾール( $103mg,1.51mm \circ 1$ )のアセトニトリル溶液(10mL)を滴下して、室温で2時間攪拌した。反応液に2-P = J-5-Jルオロベンゼンスルホンアミド( $1.25g,6.55mm \circ 1$ )及びジメチルアミノピリジン( $739mg,6.05mm \circ 1$ )を加え、80℃で1 晩攪拌した。これにジイソプロピルカルボジイミド( $0.233mL,1.51mm \circ 1$ )を加

収量1.66g、収率80%、M-Boc+2H=313.1。 参考例3-8に従い、

 $4-\{[(1, 1-ジオキソ-4H-ベンゾ [e] 1, 2, 4-チアジアジン-3-イル) アミノ] メチル <math>\}$  ピペリジンカルボン酸 tert t f チルエステル:収量 132mg、収率 67%

 $4-\{[(7-メチル-1, 1-ジオキソー4H-ベンゾ[e]1, 2$ ,  $4-チアジアジン-3-イル)アミノ]メチル}ピペリジンカルボン酸 <math>tert$ プチルエステル:収量681mg、収率49%

4-{[(7-メトキシ-1, 1-ジオキソー4H-ベンゾ[e] 1,2, 4-チアジアジン-3-イル)アミノ]メチル}ピペリジンカルボン酸tertプチルエステル:収量766mg、収率63%

4-{[(7-エチル-1, 1-ジオキソー4H-ベンゾ [e] 1, 2, 4-チアジアジン-3-イル)アミノ]メチル}ピペリジンカルボン酸tertブチルエステル:収量525mg、収率36%

 $4-\{[(8-メチル-1, 1-ジオキソー4H-ベンゾ [e] 1, 2$ , 4-チアジアジン-3-イル) アミノ] メチル $\}$  ピペリジンカルボン酸 tert プチルエステル:収量203mg、収率44%

4-{[(7,8-ジメチル-1,1-ジオキソ-4H-ベンゾ[e]

1, 2, 4ーチアジアジンー 3ーイル)アミノ] メチル} ピペリジンカルポン酸 t e r t プチルエステル: 収量 175 m g、収率 30%を合成した。

[参考例3-9]

7-フルオロ-3-[(4-ピペリジルメチル)アミノ]-4H-ベンゾ[e]1、2、4-チアジアジン-1、1-ジオン塩酸塩の合成

参考例2-11に従い、7-フルオロ-3-[(4-ピペリジルメチル)アミノ]-4H-ベンゾ[e]1,2,4-チアジアジン-1,1-ジオンを得た。収量497mg、収率90%、M+1=313.1。参考例3-9に従い、以下の化合物を合成した。

7-メチルー3- [ (4-ピペリジルメチル) アミノ] -4 H-ベンゾ [e] 1, 2, 4-チアジアジンー1, 1-ジオン塩酸塩: 収量691 mg、収率定量的。

3-[(4-ピペリジルメチル) アミノ] - 4 H - ベンゾ [e] 1, 2, 4-チアジアジン-1, 1-ジオン塩酸塩:収率定量的、収量 <math>1 1 6 mg、M+1=295. 1 .

7- メトキシー 3- [ (4- ピペリジルメチル) アミノ] -4 H - ペン ゾ [e] 1, 2, 4- チアジアジン- 1, 1- ジオン塩酸塩: 収量 5 0 5 m g、収率 7 9%、M+1=3 2 5 . 0。

8-メチル-3- [ (4-ピペリジルメチル) アミノ] -4 H-ベンゾ [e] 1, 2, 4-チアジアジン-1, 1-ジオン塩酸塩:収量 9.7 m g、収率 6.3%、M+1=3.0.9. 1。

7,8-ジメチル-3-[(4-ピペリジルメチル)アミノ]-4H-

ベンゾ [e] 1, 2, 4-チアジアジン-1, 1-ジオン塩酸塩:収量 44mg、収率89%、M+1=323.1。

[実施例 3 - 1 ~ 3 - 1 0、 3 - 2 0 8、 2 2 0、 2 2 3、 2 3 5 、 2 3 8、 3 6 8、 5 0 4、 5 0 5、 5 1 1、 5 2 3、 5 2 5 ~ 5 2 7 、 5 5 5、 5 7 7]

化合物番号 3-1~3-10及び 3-208、220、223、23 5、238、368、504、505、511、523、525~52 7、555、577の化合物を、参考例 3-1~3-9によって合成した化合物に対し、それぞれ対応する反応物を用いて、実施例 2-5の方法に従い、合成した。結果を表16に示す。

表16

化合物 No.3-	収量(mg)	収率(%)	MW	M+1
1	10.0	35	468.0	469.0
2	7.0	26	434.1	435.1
3	9.0	34	434.1	435.0
4	13.0	52	412.1	413.1
5	25.2	66.2	482.1	483.0
6	20.8	58.9	448.1	449.1
7	25.4	71.9	448.2	449.2
8	9.9	26.1	486.1	487.0
9	20.5	58.1	452.1	453.1
10	38.3	100	452.2	453.1
208	20.4	54	499.4	499.0
220	4.7	11	483.4	483.0
223	28.7	81	465.0	465.1
235	8.1	21	449.0	449.1
238	34.1	97	464.6	465.2
368	4.5	12	463.0	463.1
504	4.0	13	497.4	497.1

505	10.0	35	463.0	463.1
511	9.8	24	467.0	467.0
523	15.0	50	470.9	471.1
525	5.4	13	467.0	467.1
526	8.0	27	481.0	481.1
527	18.0	60	483.0	483.1
555	17.2	37	481.0	481.1
577	9.4	25	479.1	479.0

## ジヒドロキナゾリン誘導体の合成法

[参考例4-1]

4- (ジヒドロキナゾリン-2-アミノメチル) ピペリジン塩酸塩の合成

1-Boc-4-(アミノメチル) ピペリジン(350mg、1.6mmol)を $CH_3CN$ (15ml)に溶解し、チオカルボニルジイミダゾール(350mg、1.9mmol)を加え、室温で1時間攪拌した。反応液に、2-アミノベンジルアミン(<math>240mg、1.9mmol)を加え、室温で1時間攪拌した。溶媒を減圧留去し、1-Boc-4-(2-アミノベンジルチオウレアメチル)ピペリジンを得た。LC-MSにより同定した。

M+1=379.2.

 $1-B \circ c - 4-(2-T \circ J)$  ではいますが、  $2-T \circ J$  ではいますが、  $2-T \circ J$  では、酸化水銀( $2-T \circ J$  では、酸化水銀( $2-T \circ J$  では、酸化水銀( $2-T \circ J$  では、  $2-T \circ$ 

M+1=345.2

 $1-B\circ c-4-$ (ジヒドロキナゾリン-2-アミノメチル)ピペリジンをメタノール(10m1)に溶かし、4規定塩化水素/1, 4-ジオキサン溶液(16m1)を加え、50℃で90分攪拌した。溶媒を減圧留去し、4-(ジヒドロキナゾリン-2-アミノメチル)ピペリジン塩酸塩を得た。LC-MSにより同定した。

収量449mg、89%、M+1=245.1。

[実施例4-1~4-5]

化合物番号4-1~4-5の化合物を、それぞれ対応する反応物を用いて、実施例2-5の方法に従い合成した。結果を表17に示す。

[実施例4-7]

2, 4-ジクロロー6-[(4-{[(6-クロロ(1, 4-ジヒドロキナゾリン-2-イル))アミノ]メチル}ピペリジル)メチル]フェノールの合成

化合物番号 2-193(2.5 mg、0.028 mmol)をTHF(0.5 mL)に溶解し、 $1N-BH_3$ ・THF溶液(0.56 ml、0.56 mmol)を加え、80 Cにて24 時間攪拌した。得られた溶液に、5N-NaOH水溶液(0.5 mL)を加え、80 Cにて5 時間攪拌した。得られた溶液を酢酸エチルにて抽出(2 mL×2 回)、5 ep-Pak-Dry(商品名、バリアン製、硫酸ナトリウムのカートリッジ)に移して乾燥し、さらにSCX(ボンドエルートSCX 500 MG)に移した。SCXをCHCl $_3$ /MeOH(1/1)混合溶液(5 mL)で洗浄し、 $2N-NH_3$ /MeOH(1/1)混合溶液(5 mL)で洗浄し、 $2N-NH_3$ /MeOH溶液(5 mL)で溶出した。溶出液を濃縮し、HPLC分取システムにより精製を行ない、2,4 ージクロロー $6-[(4-\{[(6-クロロ(1,4-ジヒドロキナゾリン-2-イル))アミノ]メチル}ピペリジル)メチル】フェノールを得た。$ 

収量2. 3mg、収率19%、M+1=453.0。

[実施例4-6、4-8~4-11]

化合物番号 4-6、  $4-8\sim 4-11$  の化合物を、それぞれ対応する 反応物を用いて、実施例 4-2 の方法に従い合成した。結果を表 1 7 に示す。

表17

化合物 No.4-	収量(mg)	収率(%)	MW	M+1
1	3.6	10	402.2	403.2
2	2.7	16	418.1	419.0
3	7.7	50	384.1	385.1
4	1.0	7	384.1	385.1
5	6.6	61	362.2	363.2
6	2.6	25	502.1	503.1
7	2.3	19	452.1	453.0
8	1.4	3	432.2	433.1
9	6.3	12	436.1	437.1
10	2.1	4	432.2	433.1
11	2.8	6	434.1	435.1

## 2 - [(4 - """ - "" - """ -

[参考例 5 - 1]

- 3-{[(フェニルカルポニルアミノ)チオキソメチル]アミノ}チオフェン-2-カルポン酸メチルエステルの合成
- 3-アミノチオフェン-2-カルボン酸メチルエステル(500mg、3.18mmol)のアセトン(3mL)溶液に、ペンゾイルイソチオシアネート(1038mg、6.36mmol)のアセトン(3mL)溶液を添加した。室温にて10時間攪拌、その後濃縮し、残渣をシリ

カゲルクロマトグラフィー (Hex/EtOAc=10/1) により精製し、 $3-\{[(フェニルカルボニルアミノ) チオキソメチル] アミノ } チオフェン-2-カルボン酸メチルエステルを得た。$ 

収量866mg、収率85%、M+1=321.0。

[参考例 5 - 2]

カリウムヒドロチオフェノ[3,2,d]ピリミジン-4-オン-2-チオレートの合成

KOH(303mg、5.4mmol)のEtOH(10mL)溶液に、 $3-\{[(7x-1)($ 

収量476mg、収率79%。

NMR (DMSO- $d_6$ ):  $\delta$  H 6. 85 (m, 1H), 7. 22 (m, 1H), 10. 41 (br, 1H)

[参考例5-3]

2-メチルチオヒドロチオフェノ[3, 2, d] ピリミジン-4-オン の合成

カリウムヒドロチオフェノ [3, 2, d] ピリミジン-4-オン-2  $-チオレート(476 mg、2.14 mmol)の水溶液(10 mL)に、<math>MeI(133 \mu L, 2.14 mmol)$  を添加した。室温にて3時間攪拌、析出した白色沈殿を濾取した。水( $5mL \times 2$  回)で洗浄し、減圧下乾燥して、2-メチルチオヒドロチオフェノ[3, 2, d] ピリミジン-4-オンを得た。

収量337mg、収率79%。

NMR (DMSO- $d_6$ ):  $\delta$  H 2. 49 (s, 1H), 7. 26 (d, J=5. 4, 1H), 8. 08 (d, J=5. 4, 1H)

[参考例5-4]

2-[(1-Boc-4-ピペリジニルメチル) アミノ] ヒドロチオフェノ <math>[3, 2, d] ピリミジン-4-オンの合成

2-メチルチオヒドロチオフェノ [3, 2, d] ピリミジンー4-オン200 mg(1.0 mmo 1)のクロロホルム(5 mL)溶液に、60%の3-クロロ過安息香酸 287 mg(1.0 mmo 1)を氷冷下加え、室温にて2 時間攪拌する。得られた溶液を濃縮し、化合物1-Boch 2 の 2 mg(2 mg)、上り、大手ルピペリジン2 3 2 mg(2 mg)、上り、大手ルアミン2 mg)、大切は 2 mg)、大切は 2 mg)、大り、大手ルアミン2 mg)、2 mg)、大切は 2 mg)のでは 2 mg)ので

収量160mg、収率44%。

LC/MS(LC/MSD): (M+H)+=365.1 (実測値) M=364.16 (理論値)。

[参考例5-5]

2-[(4-ピペリジニルメチル)アミノ]ヒドロチオフェノ[3, 2, d] ピリミジン-4-オンの合成参考例2-11に従い、合成した。

収量135mg、収率90%、M+1=265.1。

[実施例5-1]

化合物番号5-1の化合物を、参考例5-1~5-5によって合成した化合物を用いて、実施例2-5の方法に従い合成した。結果を表18に示す。

表 18

化合物 No.5-	収量(mg)	収率(%)	MW	M+1
1	17.0	. 42	438.0	439.0

### 5-メチル-2-[(4-ピペリジニルメチル)アミノ]ヒドロピロロ[3, 2, d] ピリミジン-4-オン誘導体の合成

[参考例6-1]

5-メチル-2-[(4-ピペリジニルメチル)アミノ]ヒドロピロロ[3, 2, d] ピリミジン-4-オンの合成

参考例  $5-1\sim5-5$  に従い、3-Pミノー1-メチルピロロー2-カルボン酸エチルエステルを原料に用いて合成し、表題化合物を得た。 収量 245 mg、収率 92%、M+1=262.1(実測値) M=261.1(理論値)。

「実施例6-1]

化合物番号6-1の化合物を、参考例6-1によって合成した化合物 を用いて、実施例2-5の方法に従い合成した。結果を表19に示す。

表19

化合物 No.6-	収量(mg)	収率(%)	MW	M+1
1	4.0	11	436.3	436.1

# 2-[(4-ピペリジニルメチル) アミノ] -1H, 5H-ベンゾ [f] 1, 3-ジアゼピン-4-オン誘導体の合成

#### [参考例7-1]

 $4-\{[(\{[2-(カルバモイルメチル)フェニル]アミノ}チオキソメチル)アミノ]メチル}ピペリジンカルボン酸<math>tert$ 

1-N-Boc-4-アミノメチルピペリジン(869mg, 4.06mmol)をアセトニトリル(<math>10mL)に溶解し、氷浴下でチオカルボニルジイミダゾール(794mg, 4.46mmol)及びイミダゾール(82.9mg, 1.22mmol)のアセトニトリル溶液(15mL)を滴下して、室温で4時間攪拌した。これに2-(2-アミノフェニル)-アセトアミド(<math>670mg, 4.46mmol)を加え、60で一晩攪拌した。反応液を減圧濃縮した残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー(塩化メチレン/メタノール= $65:1\rightarrow 49:1$ )で精製して表題化合物を得た。

収量1. 41g、収率85%、M+1=407. 2 (実測値) M=406. 2 (理論値)。

#### [参考例7-2]

 $4-\{[(4-オキソ-1H、5H-ベンゾ[f]1,3-ジアゼピン -2-イル)アミノ]メチル <math>\}$  ピペリジンカルボン酸 tert tert プチルエステルの合成

 $4-\{[(\{[2-(カルバモイルメチル) フェニル] アミノ\} チオキソメチル) アミノ] メチル<math>\}$  ピペリジンカルボン酸 tert ピステル (410 mg, 1.01mmol) をテトラヒドロフラン (15mL) に溶解し、N,N'-ジシクロヘキシルカルボジイミド (208mg, 1.01mmol) を加え、室温で6時間攪拌した。不溶物を濾別して得られた濾液を減圧濃縮後、n-(n+1) : 酢酸エチル =1:20 溶液 (3mL) に懸濁した。再度不溶物を濾別し、濾液を減

圧濃縮した残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー(n-ヘキサン /酢酸エチル= 2 / 3  $\rightarrow$  1 / 2 ) で精製して表題化合物を得た。収量 1 9 3 m g、収率 5 1 %。

 $^{13}$ C-NMR (100MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta = 156.6$ , 155. 0, 136.1, 129.6, 129.2, 126.6, 126.2, 117.9, 79.7, 45.6, 36.7, 29.7, 28.5, 20.5

 $^{1}$ H-NMR (400MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta = 7$ . 38 (1H, d, J=7.3Hz), 7. 18-7. 32 (3H, m), 7. 14 (1H, s), 5. 43 (1H, s), 4. 07 (2H, s), 3. 71 (2H, s), 3. 06 (1H, s), 2. 65 (2H, m), 1. 61 (3H, m), 1. 48 (9H, s), 1. 05 (2H, m)

[参考例7-3]

2-[(4-ピペリジニルメチル)アミノ]-1H,5H-ベンゾ [f]1、3-ジアゼピン-4-オン合成

参考例 2-11 に従い、 $4-\{[(4-オキソー1H、5H-ベンゾ [f]1,3-ジアゼピン-2-イル)アミノ]メチル}ピペリジンカルボン酸 <math>tert$  で t で t で t が t を t で t が t を t で t が t を t で t が t を t で t が t を t で t が t を t で t が t を t で t が t を t で t が t を t で t が t を t で t が t を t で t が t を t で t が t を t で t が t を t で t が t を t で t が t で t が t で t

収量 2 1 8 m g、収率定量的、M+1=273.1 (実測値) M=27 2.2 (理論値)。

[実施例7-1]

化合物番号7-16および7-504の化合物を、参考例7-1~7-3によって合成した化合物に対して、対応する反応物を用いて、実施例2-5の方法に従い合成した。結果を表20に示す。

表 20

化合物 No.7-	収量(mg)	収率(%)	MW	M+1
16	4.0	10	447.4	447.1
504	6.0	16	430.9	431.1

## [2-[(4-ピペリジルメチル)アミノ]ヒドロキナゾリン-4-オンの誘導体の合成

[実施例8-16]

 $2-[({1-[(3,5-ジクロロ-2-ヒドロキシーフェニル)メチル]-4-ピペリジル}メチル)アミノ]ヒドロキナゾリン-4-チオンの合成$ 

磁気撹拌子を備えた $15 \,\mathrm{mL}$ なすフラスコに化合物番号2-16を $5.7 \,\mathrm{mg}$  ( $0.0132 \,\mathrm{mmo}$  1)を入れ、オキシ塩化リン $1 \,\mathrm{g}$ に溶解してバス温 $120 \,\mathrm{CL}$ で1時間撹拌した。減圧濃縮によりオキシ塩化リンを留去したのち、チオ尿素 $84.2 \,\mathrm{mg}$  ( $1.106 \,\mathrm{mmo}$  1)と1,4-ジオキサン $4 \,\mathrm{mL}$ を加えて1時間還流させた。一旦溶媒を留去した後、残渣をメタノールに懸濁させ、SCXカラムにて固相抽出処理をおこない、 $2 \,\mathrm{M}$ アンモニア/メタノール溶液で溶出させた溶出液を濃縮し、分取HPLCで精製した。目的物を含むフラクションを濃縮し、無色粉末状の $2-[({1-[(3,5-$ ジクロロ-2-ヒドロキシーフェニル)メチル]-4-ピペリジル $\}$ メチル)アミノ]ヒドロキナゾリン-4-チオンを得た。結果を表21に示す。

表21

化合物 No.8-	収量(mg)	収率(%)	MW	M+1
16	0.6	10	449.4	449.1

#### [実施例9]

エオタキシンにより惹起されるCCR3発現細胞の細胞内カルシウム濃

度上昇に対する被験化合物の阻害能の測定

CCR3を安定して発現するK562細胞を用いて、細胞内カルシウム濃度上昇に対する本発明による化合物の阻害能を次の方法にて測定した。

CCR3発現K562細胞を、10mMHEPES(N-[2-hydroxyethyl] piperazine-N'-[2-ethanesulfonic acid]、ギプコBRL社製)含有HBSS溶液(Hanks' Balanced Salt Solution、ギプコBRL社製)に懸濁したものに、最終濃度が $1\mu$ Mとなるように1mM Fura2アセトキシメチルエステル(同仁化学社製)を加え、37℃にて30分間インキュベートした。細胞を洗浄後、被検化合物と同時に96穴ホワイトプレート(ファルコン製)に添加し、5分後にアゴニストを添加し、これを340nmと380nmで励起し、340/380比をモニターすることにより、細胞内カルシウム濃度を測定した。アゴニストとしてヒトエオタキシン(ゼンザイム・テクネ社製)(0.5 $\mu$ g/ml)を用いた。被験化合物の阻害能は、エオタキシンで刺激する5分前に、CCR3発現K562細胞を被験化合物で処理した時の、細胞内カルシウム濃度を測定し、下記の式により抑制率(%)を算出した。

抑制率  $(%) = \{1 - (A - B) / (C - B)\} \times 100$ 

(A:被験化合物で処理した後エオタキシンで刺激したときの細胞内カルシウム濃度、B:無刺激のときの細胞内カルシウム濃度、C:被験化合物で処理せずにエオタキシンで刺激したときの細胞内カルシウム濃度)

本発明のピペリジン誘導体の阻害能を測定したところ、例えば、下記 の化合物番号で表す化合物は、10 μ M又は2 μ Mの下記化合物の濃 度において、それぞれ $20\sim50\%$ 、 $50\%\sim80\%$ 、又は80%以上の阻害能を示した。

10μMの濃度で20%~50%の阻害能を示した化合物:

化合物番号No1-:1-7、1-9、2-5、2-6、2-8、2-12、2-13、2-15、2-16、2-18、2-21、2-22、2-24、2-29、2-31、2-35、2-43、2-45、2-48、2-56、2-70、2-71、2-77、2-85、2-96、2-100~2-103、2-107、2-108、2-116、2-128、2-129、2-136、2-141、2-146、2-147、2-176~2-180、3-8、3-55、3-56、3-58、5-37、5-98、5-104、5-113、5-118、5-122、5-125、5-127、5-141、6-4~6-6、6-8

化合物番号No1-:1-3~1-6、1-10、1-11、2-2~2~2-4、2-23、2-30、2-33、2-34、2-39、2-41、2-42、2-47、2-49、2-51、2-54、2-57、2-60、2-61、2-64~2-66、2-73、2-80~2-82、2-84、2-89~2-91、2-95、2-106、2-109、2-112、2-115、2-120、2-122、2-123、2-127、2-130、2-133、2-134、2-137、2-138、2-142、2-142、2-170、2-1

 $73 \sim 2 - 175$ , 3 - 7, 3 - 9, 4 - 29, 5 - 20, 5 - 21,

5-30, 5-36, 5-39, 5-40,  $5-42 \sim 5-45$ , 5-

49, 5-65, 5-72, 5-96, 5-97, 5-99, 5-10

 $1 \sim 5 - 103$ , 5 - 108, 5 - 109, 5 - 111, 5 - 115,

10μMの濃度において50%~80%の阻害能を示した化合物:

WO 03/087089 PCT/JP03/04841 545

5-117, 5-119, 5-121,  $5-128 \sim 5-130$ ,  $5-128 \sim 5-130$ 134, 5-135,  $5-137\sim5-139$ , 5-142, 5-147, 5-148,  $5-154\sim5-158$ , 5-167, 5-168, 5-174, 5-175, 5-180, 5-181, 5-183

化合物番号No2-:2~4

10 u Mの濃度で80%以上の阻害能を示した化合物:

化合物番号No1-:1-1、1-8、2-1、2-14、2-36~ 2-38, 2-40, 2-50, 2-52, 2-72, 2-75, 2-98,  $2-117\sim2-119$ , 2-121,  $2-124\sim2-126$ 2-131,  $2-149\sim2-151$ , 2-153, 2-154, 3 -2, 3-13, 3-15, 3-17, 3-18,  $3-21 \sim 3-23$ 3-25, 3-26,  $3-28 \sim 3-30$ ,  $3-32 \sim 3-38$ , 3  $-42 \sim 3 - 52$ , 3 - 59, 3 - 61, 3 - 62,  $5 - 22 \sim 5 - 2$  $9.5 - 31 \sim 5 - 35$ , 5 - 38, 5 - 41,  $5 - 46 \sim 5 - 48$ ,  $5-50\sim5-64$ ,  $5-66\sim5-71$ ,  $5-88\sim5-93$ , 5-95, 5-107, 5-110, 5-114, 5-116, 5-1205-123, 5-124, 5-126,  $5-131 \sim 5-133$ , 5 -136, 5-140,  $5-143\sim5-146$ ,  $5-149\sim5-1$  $53, 5-159\sim5-166, 5-169\sim5-173, 5-176$  $\sim 5 - 179$ , 5 - 182, 6 - 7, 6 - 9,  $6 - 11 \sim 6 - 13$ ,  $6 \sim 5 \sim 100$ -15

化合物番号No2-:1

化合物番号No4-:1

2 μ M の 濃度 で 2 0 % ~ 5 0 % の 阻害能を示した 化合物:

化合物番号No1-:2-156~2-159、2-163、2-16  $4 \cdot 3 - 14 \cdot 3 - 24 \cdot 3 - 27 \cdot 3 - 40 \cdot 4 - 1 \cdot 4 - 3 \cdot 4 -$  546

4, 4-6, 5-15, 5-16, 5-74, 5-75, 5-77, 5 -79, 5-82, 5-84, 5-85

化合物番号No2-: 5、7、8、13、22、24、200、232 、243、245、247、

2 u M の 濃度で 5 0 % ~ 8 0 % の 阻害能を示した化合物:

化合物番号No1-:2-166、2-168、2-169、3-4、

3-11, 3-16, 3-31, 4-12,  $4-15 \sim 4-17$ , 5-

7, 5-8, 5-14, 5-19, 5-73, 5-76, 5-78, 5

-80, 5-81, 5-83, 5-86, 5-188

化合物番号No2-:6、10、14、16、17、20、21、23

, 29, 196, 205, 221, 223, 224, 234, 237,

244, 495

化合物番号No4-:5

化合物番号No7-:504

2 u M の 濃度で 8 0 %以上の阻害能を示した化合物:

化合物番号No1-:2-160、2-162、2-165、2-16

7, 3-1, 3-3, 3-5, 3-6, 4-10, 4-11, 4-13

4-14,  $4-18\sim4-21$ ,  $5-1\sim5-6$ ,  $5-9\sim5-13$ 

, 5-17, 5-18,  $5-184 \sim 5-187$ , 5-189, 5-1

9 0

化合物番号No2-:11、12、15、18、19、26~28、3

 $0, 186 \sim 195, 197 \sim 199, 201 \sim 204, 206 \sim 22$ 

 $0, 225 \sim 231, 235, 236, 238 \sim 242, 246, 24$ 

 $8 \sim 250$ , 499, 511, 513, 565

化合物番号No3-:1~10、208、220、223、235、2

38, 368, 504, 505, 511, 523, 525, 526, 5

PCT/JP03/04841

27, 555, 577

化合物番号No4-:2~4、6~11

化合物番号No6-:1

化合物番号No7-:16,504

化合物番号No8-:16

[実施例10]

CCR3発現細胞へのエオタキシンの結合に対する阻害能の測定

ヒトCCR3発現L1. 2細胞を、アッセイバッファー [RPMI1640 (phenol red free), 25mM HEPES (pH7.4), 0.1%NaN3, 0.1%gelatin, 0.08%CHAPS] に懸濁し、 $5\times10^5$ 個/mLの全細胞懸濁液とした。被験化合物をアッセイバッファーで希釈した溶液を、被験化合物溶液とした。 [ $^{125}$ I] 標識ヒトエオタキシン(アマシャム社製)を、1  $\mu$ C i/mLになるようにアッセイバッファーで希釈した溶液を標識リガンド溶液とした。 0.5%BSAで被覆した96ウェルマイクロプレート(ファルコン社製)に、1ウェルあたり、被験化合物溶液25  $\mu$ L、標識リガンド溶液25  $\mu$ L、全細胞懸濁液50  $\mu$ Lの順番に分注し、撹拌後(反応溶液100  $\mu$ L)、25℃で90分間インキュベートした。

反応終了後、あらかじめ 0.5%ポリエチレンイミン溶液にフィルターを浸漬した 9.6 ウェルフィルタープレート(ミリポア社製)で、反応液をフィルター濾過し、フィルターを冷洗浄バッファー(アッセイバッファー+ 0.5 M NaCl) 1.5 O  $\mu$  Lで、4回洗浄した(冷洗浄バッファー 1.5 O  $\mu$  Lを加えて、濾過した)。フィルターを風乾後、液体シンチレーター(MicroScient-O、パッカード社製)を、1ウェルあた 0.2 S  $\mu$  L ずつ加え、フィルター上の膜画分が保持

する放射能をトップカウント(パッカード社製)にて測定した。

被験化合物の代わりに非標識ヒトエオタキシン100ngを添加した時のカウントを非特異的吸着として差し引き、被験化合物を何も添加しない時のカウントを100%として、ヒトエオタキシンのCCR3発現細胞への結合に対する被験化合物の阻害能を算出した。

阻害率  $(%) = \{1 - (A - B) / (C - B)\} \times 100$ 

(A:被験化合物添加時のカウント、B:非標識ヒトエオタキシン100ng添加時のカウント、C:  $[^{125}I]$  標識ヒトエオタキシンのみ添加した時のカウント)

#### 「実施例11]

エオタキシンにより惹起されるCCR3発現細胞の細胞遊走に対する被験化合物の阻害能の測定

CCR3レセプターを安定して発現するL1.2細胞を用いて、細胞 遊走能に対する本発明における化合物の阻害能を次の方法にて測定した。

被検化合物を、0.5%BSA含有RPMI1640(ギブコBRL 社製)溶液に懸濁したものに、アゴニストとしてヒトエオタキシン(ゼンザイム・テクネ社製)(20ng/mL)を加えたものを、96穴ケモタキシス・チャンバー(ニューロ・プローブ社製)の下層に入れ、ケモタキシス・チャンバー専用フィルターを上層チャンバーではさみこむようにしてセットした。上層チャンバーにも同じ被検化合物及びCCR3発現L1.2細胞を添加したのち、37℃で2時間インキュベートした。反応終了後、鑑別用血液染色液(ディフ・クイック、国際試薬社製)で専用フィルターを染色し、550nmの吸光度の測定を行い、下記の式にて抑制率(%)を算出した。

抑制率  $(%) = \{1 - (A - B) / (C - B)\} \times 100$ 

(A:被験化合物で処理されたCCR3発現L1.2細胞をエオタキシ

ンで刺激したときの細胞遊走能、B:無刺激状態における細胞遊走能、C:被験化合物で処理せずにエオタキシンで刺激したときの細胞遊走能)

実施例10、11において、本発明の化合物のいくつかを被験化合物 として測定したところ、その阻害能は、それぞれ実施例9のものと本質 的に同じであった。

#### 産業上の利用可能性

本発明の式(I)で表される化合物は、エオタキシン等のCCR3のリガンドが標的細胞に結合することを阻害する活性、及びエオタキシン等のCCR3のリガンドの標的細胞への生理的作用を阻害する活性を有し、CCR3拮抗剤として利用できる。

#### 請求の範囲

#### 1. 下記式(I)

$$R^{3}N$$
  $X-(CH_{2})_{q}$   $Y$   $R^{6}$   $N-(CH_{2})_{r}$   $R^{7}$   $R^{7}$   $N$ 

[式中、 $R^1$ はフェニル基、 $C_3 \sim C_8$ シクロアルキル基、又は芳香族複素環基(ヘテロ原子として酸素原子、硫黄原子、及び窒素原子からなる群から選ばれる原子を $1\sim3$  個有する。)を表わし、

R<sup>1</sup>におけるフェニル基又は芳香族複素環基は、ベンゼン環又は芳香族 複素環基(ヘテロ原子として酸素原子、硫黄原子、及び窒素原子からな る群から選ばれる原子を1~3個有する。)と縮合して縮合環を形成し てもよく、

 $R^1$ におけるフェニル基、 $C_3 \sim C_8$ シクロアルキル基、芳香族複素環基、又は縮合環は、無置換或いはハロゲン原子、ヒドロキシ基、シアノ基、ニトロ基、カルボキシル基、 $C_1 \sim C_6$ アルキル基、 $C_3 \sim C_8$ シクロアルキル基、 $C_2 \sim C_6$ アルケニル基、 $C_1 \sim C_6$ アルコキシ基、 $C_1 \sim C_6$ アルキルチオ基、 $C_3 \sim C_6$ アルキレン基、 $C_2 \sim C_4$ アルキレンオキシ基、 $C_1 \sim C_3$ アルキレンジオキシ基、フェニル基、フェノキシ基、フェニルチオ基、ベンジル基、ベンジルオキシ基、ベンゾイルアミノ基、ホルミル基、 $C_2 \sim C_7$ アルカノイル基、 $C_2 \sim C_7$ アルカノイルアミノ基、 $C_2 \sim C_7$ アルカノイルオキシ基、 $C_2 \sim C_7$ アルカノイルアミノル基、 $C_2 \sim C_7$ アルカノイルオキシ基、 $C_3 \sim C_8$  (アルコキシカルボニルメチル基、 $C_3 \sim C_8$  (アルコキシカルボニル)メチル基、アミノ基、モノ( $C_1 \sim C_6$ アルキル)アミノ基、ジ( $C_1 \sim C_6$ アルキル)アミノ基、カルバモイル基、 $C_2 \sim C_7$ Nーアルキルカルバモイル基、 $C_4 \sim C_9$ Nーシクロアルキルカルバモイル基、

N-フェニルカルバモイル基、ピペリジルカルボニル基、モルホリニルカルボニル基、ピロリジニルカルボニル基、ピペラジニルカルボニル基、N-メトキシカルバモイル基、(ホルミル)アミノ基、及びウレイド基からなる群から選ばれる1個以上の置換基で置換されてもよく、

ただし、 $R^1$ が $C_3$ ~ $C_8$ シクロアルキル基の場合、その置換基としてアミノ基、モノ( $C_1$ ~ $C_6$ アルキル)アミノ基、又はジ( $C_1$ ~ $C_6$ アルキル)アミノ基を含まない。

pは、1~6の整数を表す。

 $R^2$ 及び $R^3$ は、同一又は異なって、それぞれ独立に、水素原子、 $C_1$   $\sim C_6$  アルキル基、又はフェニル基を表わし、

 $R^2$ 及び $R^3$ における $C_1 \sim C_6$ アルキル基又はフェニル基は、無置換或いはハロゲン原子、ヒドロキシ基、 $C_1 \sim C_6$ アルキル基、 $C_2 \sim C_7$ アルコキシカルボニル基、アミノ基、カルバモイル基、カルボキシル基、シアノ基、及び $C_1 \sim C_6$ アルコキシ基からなる群から選ばれる 1 個以

上の置換基によって置換されてもよい。

Xは、-CO-、 $-SO_2-$ 、 $-CH_2-$ 、-CS-、又は単結合を表す。

qは、0又は1を表す。

rは、0又は1を表す。

Yは、 $-(R^4)$  C=C( $R^5$ ) -、-S-、又は $-NR^8-$ を表す。

R<sup>4</sup>、R<sup>5</sup>、R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>は、同一又は異なって、それぞれ独立に、水 素原子、ハロゲン原子、ヒドロキシ基、シアノ基、ニトロ基、カルボキ シル基、C<sub>1</sub>~C<sub>6</sub>アルキル基、C<sub>3</sub>~C<sub>8</sub>シクロアルキル基、C<sub>2</sub>~C<sub>6</sub> アルケニル基、 $C_1 \sim C_6$ アルコキシ基、 $C_1 \sim C_6$ アルキルチオ基、 $C_1 \sim C_6$  $_3 \sim C_5$ アルキレン基、 $C_2 \sim C_4$ アルキレンオキシ基、 $C_1 \sim C_3$ アルキ レンジオキシ基、フェニル基、フェノキシ基、フェニルチオ基、フェニ ルスルフォニル基、ベンジル基、ベンジルオキシ基、ベンゾイルアミノ 基、ホルミル基、C。~C,アルカノイル基、C2~C7アルコキシカル ボニル基、C2~C1アルカノイルオキシ基、C2~C1アルカノイルア ミノ基、 $C_4 \sim C_{10}$ シクロアルカノイルアミノ基、 $C_3 \sim C_7$ アルケノ イルアミノ基、C<sub>1</sub>~C<sub>6</sub>アルキルスルホニル基、C<sub>1</sub>~C<sub>6</sub>アルキルス ルホニルアミノ基、C<sub>3</sub>~C<sub>8</sub>(アルコキシカルボニル)メチル基、ア ミノ基、モノ ( $C_1 \sim C_6$ アルキル) アミノ基、ジ ( $C_1 \sim C_6$ アルキ ル) アミノ基、カルバモイル基、C2~C7N-アルキルカルバモイル 基、C<sub>4</sub>~C<sub>6</sub>N-シクロアルキルカルバモイル基、N-フェニルカル バモイル基、N-(C,~C,2フェニルアルキル)カルバモイル基、ピ ペリジルカルボニル基、モルホリニルカルボニル基、ピロリジニルカル ポニル基、ピペラジニルカルボニル基、N-メトキシカルバモイル基、 スルファモイル基、 $C_1 \sim C_6 N - アルキルスルファモイル基、 (ホル$ ミル)アミノ基、(チオホルミル)アミノ基、ウレイド基、又はチオウ

レイド基を表し、

R<sup>4</sup>、R<sup>5</sup>、R<sup>6</sup>及びR<sup>7</sup>の前記基は、それぞれ独立に、無置換或いはC 1~C6アルキル基、C2~C6アルケニル基、C2~C6アルキニル基、 フェニル基、C<sub>3</sub>~C<sub>5</sub>アルキレン基、C<sub>3</sub>~C<sub>8</sub>シクロアルキル基、C  $_3$ ~ $C_8$ シクロアルケニル基、 $C_1$ ~ $C_6$ アルコキシ基、( $C_1$ ~ $C_6$ アル コキシ) ( $C_1 \sim C_6$ アルコキシ) 基、フェニル ( $C_1 \sim C_6$ アルコキ シ) 基、C,~C,アルキルチオ基、アミノ基、モノ(C,~C,アルキ ル) アミノ基、ジ(C<sub>1</sub>~C<sub>6</sub>アルキル) アミノ基、ピロリジニル基、 ピペリジル基、 $(C_2 \sim C_7$ アルカノイル)ピペリジル基、 $C_3 \sim C_7$ ラ クタム基、カルバモイル基、C<sub>2</sub>~C<sub>2</sub>N-アルキルカルバモイル基、 C<sub>4</sub>~C<sub>5</sub>N-シクロアルキルカルバモイル基、N-フェニルカルバモ イル基、N-(C<sub>1</sub>~C<sub>12</sub>フェニルアルキル)カルバモイル基、C<sub>2</sub>~ C,アルカノイルアミノ基、C2~C7アルコキシカルボニル基、カルボ キシル基、ヒドロキシ基、ベンゾイル基、シアノ基、トリフルオロメチ ル基、ハロゲン原子、tertープトキシカルボニルアミノ基、C<sub>1</sub>~ C<sub>6</sub>アルキルスルホニル基、及び複素環若しくは芳香族複素環(複素環 若しくは芳香族複素環は、ヘテロ原子として酸素原子、硫黄原子、及び 窒素原子からなる群から選ばれる原子を $1 \sim 3$ 個有し、 $C_1 \sim C_6$ アル キル基で置換されてもよい。)からなる群から選ばれる1個以上の置換 基によって置換されていてもよい。

 $R^8$ は、水素原子又は $C_1 \sim C_6$ アルキル基を表わし、

 $R^8$ における $C_1 \sim C_6$ アルキル基は、無置換或いはハロゲン原子、ヒドロキシ基、シアノ基、ニトロ基、カルボキシル基、カルバモイル基、メルカプト基、グアニジノ基、 $C_3 \sim C_8$ シクロアルキル基、 $C_1 \sim C_6$ アルコキシ基、 $C_1 \sim C_6$ アルキルチオ基、フェニル基(フェニル基は、無置換或いはハロゲン原子、ヒドロキシ基、 $C_1 \sim C_6$ アルキル基、 $C_1$ 

 $\sim$  C  $_6$  アルコキシ基、及びベンジルオキシ基からなる群から選ばれる 1 個以上の置換基によって置換されていてもよい。)、フェノキシ基、ベンジルオキシ基、ベンジルオキシカルボニル基、C  $_2$   $\sim$  C  $_7$  アルカノイル基、C  $_2$   $\sim$  C  $_7$  アルカノイル基、C  $_2$   $\sim$  C  $_7$  アルカノイルオキシ基、C  $_2$   $\sim$  C  $_7$  アルカノイルアミノ基、C  $_2$   $\sim$  C  $_7$  アルカノイルアミノ基、C  $_2$   $\sim$  C  $_7$  アルキルカルバモイル基、C  $_2$   $\sim$  C  $_6$  アルキルスルホニル基、アミノ基、モノ(C  $_1$   $\sim$  C  $_6$  アルキル)アミノ基、ジ(C  $_1$   $\sim$  C  $_6$  アルキル)アミノ基、及びウレイド基からなる群から選ばれる 1 個以上の置換基によって置換されていてもよい。]

で表される化合物、その薬学的に許容される酸付加体、又はその薬学的に許容される $C_1 \sim C_6$ アルキル付加体。

- 2. 前記式 (I) において、 $Xが-SO_2-$ である請求の範囲第1項に記載の化合物、その薬学的に許容される酸付加体、又はその薬学的に許容される $C_1\sim C_6$ アルキル付加体。
- 3. 前記式 (I) において、Xが-CO-である請求の範囲第1項に記載の化合物、その薬学的に許容される酸付加体、又はその薬学的に許容される $C_1\sim C_6$ アルキル付加体。
- 4. 前記式(I) において、Xが-C  $H_2$  である請求の範囲第1項に記載の化合物、その薬学的に許容される酸付加体、又はその薬学的に許容される $C_1$   $\sim$   $C_6$  アルキル付加体。
- 5. 前記式(I) において、Xが-CS-である請求の範囲第1項に記載の化合物、その薬学的に許容される酸付加体、又はその薬学的に許容される $C_1$ ~ $C_6$ アルキル付加体。
- 6. 前記式(I)において、Xが単結合である請求の範囲第1項に記載 の化合物、その薬学的に許容される酸付加体、又はその薬学的に許容されるC,~C。アルキル付加体。

- 7. 前記式 (I) において、Yが-( $R^4$ ) C = C( $R^5$ ) -である請求の範囲第1項 $\sim$ 第6項のいずれか1項に記載の化合物、その薬学的に許容される酸付加体、又はその薬学的に許容される $C_1 \sim C_6$ アルキル付加体。
- 9. 前記式(I)において、Yが-NR<sup>8</sup>-である請求の範囲第1項~ 第6項のいずれか1項に記載の化合物、その薬学的に許容される酸付加 体、又はその薬学的に許容されるC<sub>1</sub>~C<sub>6</sub>アルキル付加体。
- 10. 前記式 (I) において、 $R^1$ が置換もしくは無置換のフェニル基である請求の範囲第 1 項~第 9 項のいずれか 1 項に記載の化合物、その薬学的に許容される酸付加体、又はその薬学的に許容される $C_1 \sim C_6$  アルキル付加体。
- 11. 前記式(I)において、 $R^2$ が水素原子である請求の範囲第1項 ~第10項のいずれか1項に記載の化合物、その薬学的に許容される酸 付加体、又はその薬学的に許容される $C_1$ ~ $C_6$ アルキル付加体。
- 12. 前記式(I) において、 $R^3$ が水素原子である請求の範囲第1項 ~第11項のいずれか1項に記載の化合物、その薬学的に許容される酸 付加体、又はその薬学的に許容される $C_1$ ~ $C_6$ アルキル付加体。
- 13. 前記式(I)において、q=0であり、かつr=0である請求の範囲第 $1項~第12項のいずれか1項に記載の化合物、その薬学的に許容される酸付加体、又はその薬学的に許容される<math>C_1~C_6$ アルキル付加体。
- 14. 前記式(I) において、q=1であり、かつr=0である請求の範囲第1項~第12項のいずれか1項に記載の化合物、その薬学的に許

容される酸付加体、又はその薬学的に許容される $C_1 \sim C_6$ アルキル付加体。

- 15. 前記式 (I) において、q=0 であり、かつ r=1 である請求の範囲第 1 項~第 1 2 項のいずれか 1 項に記載の化合物、その薬学的に許容される酸付加体、又はその薬学的に許容される  $C_1 \sim C_6$  アルキル付加体。
- 16. 前記式 (I) において、p=1 である請求の範囲第 1 項~第 15 項のいずれか 1 項に記載の化合物、その薬学的に許容される酸付加体、又はその薬学的に許容される  $C_1$  ~  $C_6$  アルキル付加体。
- 17. 前記式 (I) において、Yが-( $R^4$ ) C=C( $R^5$ ) -であり、 $R^1$ が置換もしくは無置換のフェニル基であり、 $R^2$ が水素原子であり、Q=0のであり、Q=0のであり
- 18. 前記式 (I) において、Yが-( $R^4$ ) C=C( $R^5$ ) -であり、 $R^1$ が置換もしくは無置換のフェニル基であり、 $R^2$ が水素原子であり、Q=0のであり、Q=0のであり、Q
- 19. 前記式 (I) において、Yが-( $R^4$ ) C=C( $R^5$ ) -であり、 $R^1$ が置換もしくは無置換のフェニル基であり、 $R^2$ が水素原子であり、Q=0のであり、Q=0のであり
- 20. 前記式 (I) において、Yが- ( $R^4$ ) C = C ( $R^5$ ) であり、 $R^1$ が置換もしくは無置換のフェニル基であり、 $R^2$ が水素原子であり、

 $R^3$ が水素原子であり、q=0であり、r=0であり、p=1である請求の範囲第6項に記載の化合物、その薬学的に許容される酸付加体、又はその薬学的に許容される $C_1 \sim C_3$ アルキル付加体。

21. 前記式(I)において、R  $^4$ 及びR  $^5$ が、同一または異なって、それぞれ独立に、水素原子、ハロゲン原子、ヒドロキシ基、シアノ基、ニトロ基、カルボキシル基、 $C_1 \sim C_6$ アルキル基、 $C_1 \sim C_6$ アルコキシ基、 $C_2 \sim C_7$ アルコキシカルボニル基、 $C_2 \sim C_7$ アルカノイルアミノ基、 $C_1 \sim C_6$ アルキルスルホニル基、アミノ基、カルバモイル基、 $C_2 \sim C_7$ N - アルキルカルバモイル基、スルファモイル基、又は $C_1 \sim C_6$ N - アルキルスルファモイル基である請求の範囲第17項~第20項のいずれか1項に記載の化合物、その薬学的に許容される酸付加体、又はその薬学的に許容される $C_1 \sim C_6$ アルキル付加体。

- 22. 前記式(I)において、R<sup>4</sup>及びR<sup>5</sup>が、同一または異なって、それぞれ独立に、ハロゲン原子、ヒドロキシ基、シアノ基、ニトロ基、 $C_1 \sim C_6$ アルキル基、 $C_1 \sim C_6$ アルコキシ基、 $C_2 \sim C_7$ アルコキシカルボニル基、 $C_1 \sim C_6$ アルキルスルホニル基、又は $C_1 \sim C_6$ Nーアルキルスルファモイル基、である請求の範囲第17項~第20項のいずれか1項に記載の化合物、その薬学的に許容される酸付加体、又はその薬学的に許容される $C_1 \sim C_6$ アルキル付加体。
- 23. 前記式(I)において、 $R^1$ が、同一または異なって、それぞれ独立に水素原子、ハロゲン原子、ヒドロキシ基、シアノ基、ニトロ基、 $C_1 \sim C_6$ アルキル基、又は $C_1 \sim C_6$ アルコキシ基である請求の範囲第 $17項 \sim$ 第22項のいずれか1項に記載の化合物、その薬学的に許容される酸付加体、又はその薬学的に許容される $C_1 \sim C_6$ アルキル付加体。24. 請求の範囲第 $1項 \sim$ 第23項のいずれか1項に記載の前記式(I)で表される化合物、その薬学的に許容される酸付加体、又はその

薬学的に許容される $C_1 \sim C_6$ アルキル付加体を有効成分とする、CCR 3 拮抗作用を有する医薬組成物。

- 25. 請求の範囲第1項~第23項のいずれか1項に記載の前記式
- (I) で表される化合物、その薬学的に許容される酸付加体、又はその薬学的に許容される $C_1 \sim C_6$ アルキル付加体を有効成分とする、CCR 3 が関与する疾患の予防及び/又は治療用組成物。
- 26. 前記疾患がアレルギー性疾患である請求の範囲第25項に記載の予防及び/又は治療用組成物。
- 27. 前記アレルギー性疾患が、気管支喘息、アレルギー性鼻炎、アトピー性皮膚炎、蕁麻疹、接触皮膚炎、又はアレルギー性結膜炎である請求の範囲第26項に記載の予防及び/又は治療用組成物。
- 28. 前記疾患が、炎症性腸疾患である請求の範囲第25項に記載の予防及び/又は治療用組成物。
- 29. 前記疾患が、エイズ(後天性免疫不全症候群)である請求の範囲第25項に記載の予防及び/又は治療用組成物。
- 30. 前記疾患が、好酸球増加症、好酸球性胃腸炎、好酸球増加性腸症、好酸球性筋膜炎、好酸球性肉芽腫、好酸球性膿疱性毛包炎、好酸球性肺炎、又は好酸球性白血病である請求の範囲第25項に記載の予防及び/又は治療用組成物。

### INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/JP03/04841

Int.( 495// A61P According to B. FIELDS Minimum do Int.( 495/	A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER Int.Cl <sup>7</sup> C07D401/12, 401/14, 405/14, 409/14, 413/14, 417/14, 487/04, 495/04, A61K31/454, 31/4709, 31/5377, 31/5415, 31/4545, 31/517, A61P1/00, 11/00, 11/02, 17/00, 27/02, 29/00, 31/18, 37/08, 43/00, 11/06  According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC  B. FIELDS SEARCHED  Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols) Int.Cl <sup>7</sup> C07D401/12, 401/14, 405/14, 409/14, 413/14, 417/14, 487/04, 495/04, A61K31/454, 31/4709, 31/5377, 31/5415, 31/4545, 31/517, A61P1/00, 11/00, 11/02, 17/00, 27/02, 29/00, 31/18, 37/08, 43/00, 11/06				
	ion searched other than minimum documentation to the				
CAPL	MENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT	of data trase and, where practicable, sea	on terms used)		
Category*	Citation of document, with indication, where app	propriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.		
A	WO 99/25686 A1 (DUPONT PHARM 27 May, 1999 (27.05.99), & AU 9913741 A & EP & NO 200002486 A & CZ & SK 200000553 A & HU & CN 1279668 A & BR & KR 2001032213 A & KR	.RES.LAB.),  1030840 Å1  200001434 A  200004200 A  9814645 A	1-30		
А	WO 00/53600 A1 (BANYU PHARM. 14 September. 2000 (14.09.00) & AU 200029420 A		1-30		
<b>A</b>	WO 01/10439 A1 (TEIJIN LTD.) 15 February, 2001 (15.02.01), & AU 200063193 A & EP & KR 2002015722 A & CN		1-30		
× Furth	er documents are listed in the continuation of Box C.	See patent family annex.			
* Special categories of cited documents:  "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance  "E" document but published on or after the international filing date  "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)  "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means  "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed  Date of the actual completion of the international search  16 June, 2003 (16.06.03)  "It later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention  "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art document member of the same patent family  Date of the actual completion of the international search  16 June, 2003 (16.06.03)  Date of mailing of the international search report  01 July, 2003 (01.07.03)					
	mailing address of the ISA/ anese Patent Office	Authorized officer			
Facsimile N	Jo	Telephone No.			

### INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/JP03/04841

ategory*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
P,A	WO 03/028641 A2 (TAISHO PHARM. CO., LTD.), 10 April, 2003 (10.04.03), (Family: none)	1-30
		·
	·	

A. 発明の風する分野の分類(国際特許分類(IPC)) Int. Cl <sup>7</sup> C07D401/12, 401/14, 405/14, 409/14, 413/14, 417/14, 487/04, 495/04, A61K31/454, 31/4709, 3 1/5377, 31/5415, 31/4545, 31/517, A61P1/00, 11/00, 11/02, 17/00, 27/02, 29/00, 31/18, 37/08, 43/00, 11/06				
Int. Cl	『った分野 と小限資料(国際特許分類(IPC)) 『 C07D401/12, 401/14, 405/14, 409/14, 413/ 415, 31/4545, 31/517, A61P1/00, 11/00, 11/02	714, 417/14, 487/04, 495/04, A61K 2, 17/00, 27/02, 29/00, 31/18, 37	31/454, 31/4709, 3 /08, 43/00, 11/06	
最小限資料以外	トの資料で調査を行った分野に含まれるもの 			
国際調査で使用 CAPLUS, REGI	用した電子データベース (データベースの名称、 STRY (STN)	調査に使用した用語 <b>)</b> 		
C. 関連する 引用文献の	ると認められる文献		関連する	
カテゴリー*			請求の範囲の番号	
A	WO 99/25686 A1 (DUPONT PHARM. RES. LA AU 9913741 A & EP 1030840 A1 & NO CZ 200001434 A & SK 200000553 A & CN 1279668 A & BR 9814645 A & KR 2 KR 2001032253 A & JP 2001-523661 A WO 00/53600 A1 (BANYU PHARM. CO., LT) AU 200029420 A	200002486 A & HU 200004200 A & 2001032213 A & A & NZ 503782 A	1-30	
x C欄の続	きにも文献が列挙されている。 	□ パテントファミリーに関す	る別紙を参照。	
* 引用文献のカテゴリー 「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの 「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日 以後に公表された文献であって、出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理師の理解のために引用するもの 以後に公表されたもの 「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献(理由を付す) 「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願「を」同一パテントファミリー文献			、発明の原理又は理論) 、当該文献のみで発明 考えられるもの 、当該文献と他の1以 、て自明である組合せに いれるもの	
国際調査を完	アレた日 16.06.03	国際調査報告の発送日 0]	1.07.03	
日本	の名称及びあて先 国特許庁(ISA/JP) 郵便番号100-8915 部千代田区霞が関三丁目4番3号	11.11.11.11.11.11.11.11.11.11.11.11.11.	4P 9159 印: 01 内線 3490	

国際出願番号 PCT/JP03/04841

C (続き) .	関連すると認められる文献	
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
A	WO 01/10439 A1 (TEIJIN LTD.) 2001.02.15 & AU 200063193 A & EP 1201239 A1 & KR 2002015722 A & CN 1376063 A	1-30
PA	WO 03/028641 A2(TAISHO PHARM.CO.,LTD.) 2003.04.10 (ファミリーなし)	1-30